

教育についてのアンケート調査
報告書

さいたま市 教育委員会事務局

平成 30 年 5 月

< 目次 >

第Ⅰ章 調査の概要	1
1 調査の目的.....	3
2 調査項目.....	3
3 調査方法.....	3
4 調査対象と回収状況.....	3
5 報告書を見る際の注意事項.....	4
第Ⅱ章 調査結果のまとめ	5
児童生徒調査結果から.....	7
保護者・教職員・校長調査結果から.....	9
第Ⅲ章 調査結果	11
児童生徒調査結果.....	13
① あなた自身について.....	13
② 学校や勉強、先生について.....	20
③ いじめや悩みごとについて.....	32
④ 将来について.....	43
保護者調査結果.....	48
① お子さんについて.....	48
② 教育やしつけについて.....	49
③ 子どもについて.....	57
④ 学校・教員について.....	61
教職員調査結果.....	73
① あなた自身について.....	73
② 教育への取組について.....	73
③ 教育・指導方針について.....	84
④ 子どもについて.....	93
⑤ 地域や行政の取組について.....	97
校長調査結果.....	103
① あなた自身について.....	103
② 学校や教職員への取組について.....	104
③ 教育・指導方針について.....	106
④ 子どもについて.....	111
⑤ 地域や行政の取組について.....	113
共通設問の結果.....	117
調査票	127

第 I 章 調査の概要

1 調査の目的

さいたま市では、市の中長期的な目指すべき教育の方向性を示す「さいたま市教育総合ビジョン」の更新にあたり、市内の児童生徒、その保護者、教職員、校長の教育等に関する意識や状況を把握し、ビジョン更新に向けた基礎資料とするために、本アンケート調査を実施しました。

2 調査項目

対 象	調 査 項 目	
児童生徒	①あなた自身について ③いじめや悩みごとについて	②学校や勉強、先生について ④将来について
保護者	①お子さんについて ③子どもについて	②教育やしつけについて ④学校・教員について
教職員	①あなた自身について ③教育・指導方針について ⑤地域や行政の取組について	②教育への取組について ④子どもについて
校長	①あなた自身について ③教育・指導方針について ⑤地域や行政の取組について	②学校や教職員への取組について ④子どもについて

3 調査方法

- (1) 調査実施時期：平成 29 年 10 月
 (2) 調査方法：学校を通じた配布と回収

対 象	調査実施時期	調査方法
児童生徒	平成 29 年 10 月 16 日（月）～10 月 30 日（月）	学校を通じた配布・回収
保護者		
教職員		
校長	平成 29 年 10 月 12 日（木）～10 月 30 日（月）	

4 調査対象と回収状況

- (1) 調査対象

区 分	対 象
小学校	宮前、東大成、大宮、東宮下、大戸、土合、常盤、文蔵、原山、城南
中学校	植水、土呂、八王子、大久保、東浦和、桜山
高等学校	大宮北、大宮西、浦和、浦和南
特別支援学校	ひまわり、さくら草

(2) 回収状況

調査対象		配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
児童 生徒	小学生	966	820	84.9%	814	84.3%
	中学生	670	554	82.7%	547	81.6%
	高校生	155	146	94.2%	146	94.2%
	特別支援学級	64	50	78.1%	48	75.0%
	小計	1,855	1,570	84.6%	1,555	83.8%
保護者	小学生	966	820	84.9%	818	84.7%
	中学生	669	551	82.4%	550	82.2%
	高校生	155	142	91.6%	139	89.7%
	特別支援学校	151	119	78.8%	118	78.1%
	小計	1,941	1,632	84.1%	1,625	83.7%
教職員	小学校	304	274	90.1%	270	88.8%
	中学校	173	152	87.9%	153	88.4%
	高校	59	55	93.2%	54	91.5%
	特別支援学校	14	9	64.3%	9	64.3%
	小計	550	490	89.1%	486	88.4%
校長	小学校	103	103	100.0%	103	100.0%
	中学校	57	57	100.0%	57	100.0%
	高校	4	4	100.0%	4	100.0%
	特別支援学校	2	2	100.0%	2	100.0%
	小計	166	166	100.0%	166	100.0%
合計		4,512	3,858	88.3%	3,832	84.9%

5 報告書を見る際の注意事項

- 図表中の「n」は、設問への回答者数を示しています。
- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位以下を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計は100%を超えることがあります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。

第Ⅱ章 調査結果のまとめ

児童生徒調査結果から

① 自分自身や将来について

人の性格や考え方に関する前向きな表現に対して、自分自身も「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と肯定的に捉えている人の割合は、全体としては小学生、中学生、高校生と年代とともに減少する傾向にありますが、「やさしさや思いやりがある」、「ねばりづよく、最後までやりとげる」、「何事もまじめに取り組む」、「自分の言葉や行動に責任がもてる」、「自分の個性を大事にしたい」については、80%から90%台の肯定的回答が年代に関わらず維持されています。

働くことについて、「働くことの喜びを感じたい」や「働いてほしいものを手に入れたい」との回答は年代とともに多くなる傾向にありますが、「働いて自分の希望をかなえたい」との回答は小学生42.1%に対して中学生では26.5%、高校生では22.6%と低下し、「将来なりたい職業がある」についての肯定的回答の割合についても、小学生では86.1%であるのに対し、中学生は70.0%、高校生は67.8%と、年代とともに減少する傾向となっています。

② 勉強・先生等について

「先生との関係がうまくいっている」について「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の肯定的な回答は、年代とともにゆるやかに減少しており、「友達との関係がうまくいっている」についての回答には、年代間で顕著な違いはありません。一方、「学校の授業がよくわかる」、「クラスの係や委員会活動が楽しい」、「クラブ活動・部活動が楽しい」についての肯定的回答は、年代とともに急速に少なくなっています。

平成25年度に内閣府が行った全国調査と比較すると、「学校の授業がよくわかる」について、本市小学生の肯定的回答の割合（95.0%）は全国と同じで、更にその内訳も「そう思う」67.0%（全国58.4%）、「どちらかといえばそう思う」28.0%（全国36.6%）と、本市のほうが「そう思う」との回答がより多い、良好な結果となっています。しかし、中学生では、「学校の授業がよくわかる」について、本市の肯定的回答は全国中学生よりも4.5ポイント低く、また「どちらかといえばそう思わない」との否定的回答が11.2%と全国よりも3ポイント余り高くなっています。

教わりたい先生については、「わかりやすい授業をしてくれる」との回答が中学生64.0%、高校生72.6%でそれぞれ最も多く、小学生でも58.4%で、「クラスを楽しい雰囲気にしてくれる」の60.3%に続く第2位となっています。

③ いじめ・悩みについて

いじめを減らしたり解決するためにできることについては、「学校にいじめを許さない雰囲気を作る」との回答が中・高校生では最も多く、小学生でも第2位となっていますが、小学生で40.2%と最も多い「いじめに気がついたらすぐに先生や友だちに知らせる」は、中学生では34.2%、高校生では18.5%まで低下しており、「いじめの相談がしやすいようにする」も年代とともに徐々に低下する傾向にあります。一方、年代とともに伸びているのは、「いじめた人を厳しく罰する」と「わからない」となっています。

悩みを相談する相手としての「先生」の割合は、特別支援学級生では56.3%、小学生では36.1%ありますが、中学生22.1%、高校生10.3%と、年代とともに急速に低下しており、先生が「相談したいときに、よく話を聞いてくれる」ということについて、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と否定的な回答をした人の割合は、小学生9.1%に対し、中学生は12.8%、高校生は14.4%と、年代とともに上昇しています。

保護者・教職員・校長調査結果から

① 望ましい子どもの姿や資質・能力について

望ましい子どもの姿については、保護者・教職員・校長の3者ともに、「社会のルールやマナーを守れる子ども」、「最後まであきらめずに取り組む子ども」、「目標に向かって努力する子ども」の回答が多く、3者間の望ましい子どもの姿についての主要な思いは一致しています。

3者間で違いが大きく出たのは「学ぶ意欲のある子ども」で、保護者は22.8%、教職員は30.2%であるのに対し、校長は50.6%と2倍前後に達しています。

これからの社会を生きるために、子どもに必要と思われる資質・能力についても、回答割合が3位までの項目（「豊かな人間関係を築く力」、「様々な問題に積極的に対応し、解決する力」、「根気強さ、忍耐強さ、意志の強さ」）は保護者・教職員・校長の3者で共通しています。

大きな違いが見られたのは、「確かな学力」（保護者12.6%、教職員35.6%、校長49.4%）、「健やかな体」（保護者47.0%、教職員25.9%、校長28.9%）、及び「語学力や国際感覚」（保護者21.4%、教職員7.2%、校長3.6%）となっています。

② 学校教育・教員について

今後の教育施策で特に重要だと思うものについては、保護者・教職員・校長3者の意識が揃っている項目は多くありません。「教職員が各々の職務に専念できる体制の整備」が特に重要との回答は、教職員と校長が6割を超え最も高い一方、保護者では半分の3割程度に留まっています。

前項のとおり、これからの社会を生きるために子どもに必要な能力として「確かな学力」を挙げた保護者は12.6%でしたが、教育施策として「自ら学ぶ力を身に付けさせる取組（学力の向上など）」をあげた保護者は60%を超えて最多となっています。しかし、教職員の回答は50.8%で10ポイント余り、校長は42.8%で20ポイント近く保護者よりも低くなっています。

更に、「社会性を備えた豊かな心を育てる取組（道徳教育、キャリア教育など）」については、ほぼ半数の保護者が重要と回答している一方で、教職員・校長の回答は3割に達していません。

「意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実」について、校長は58.4%が重要と回答し第2位、保護者も42.4%で第3位となっていますが、教職員の回答割合は23.0%に過ぎません。

「基本的な生活習慣を身に付けさせる取組（家庭・地域の教育力向上など）」の回答割合は、全体的に低いものの、教職員の回答が保護者や校長の2倍程度あり、その差は大きくなっています。

望ましい教員像についての考えでも、3者の間で違いが見られています。

教職員と校長の回答が7割を超えて最多の「わかりやすい授業をする」について、保護者の回答はその半分程度の36.4%に留まっています。既述のとおり、わかりやすい授業をする先生を求める児童生徒は非常に多く、この点で、教職員・校長と児童生徒の意見は一致しています。

保護者が望ましいとする教員像で最多の回答は、「児童生徒のやる気を引き出し、意欲を高める」(65.7%)で、教職員・校長の回答はそれよりも15ポイント以上低いですが、「やる気や意欲を高めてくれる」先生に教わりたいとする児童生徒自身の回答は、最も高い高校生で39.0%であることから、児童生徒の希望と教職員・校長の認識の間のずれは大きくありません。

また「公平に児童生徒を評価する」も保護者では43.5%ですが、教職員では14.6%、校長では4.8%と大きな違いが出ています。教わりたい先生として「誰にでも公平に接してくれる」先生との回答は、小学生・中学生ではほぼ4割、高校生でも26.0%と保護者の回答と近くなっています。

③ さいたま市の教育施策について

市が行っている、学校・家庭・行政・地域が連携・協力して、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくむための教育施策に関する評価では、項目により、保護者、教職員、校長の3者の回答に特徴が見られます。

3者ともに評価が高いのは、「学校は『知』『徳』『体』『コミュニケーション』のバランスを大切にしている教育を実践している」で、肯定的な評価が、保護者79.7%、教職員88.8%、校長98.8%となっています。また、「地域は、地域の教育資源や教育力を積極的に生かし、子どもの成長を支えている」と「地域は、地域の中の連携・協力を深め、地域の教育力を高めている」という「地域」に関する項目への肯定的な評価も、保護者で67.0%と64.7%、教職員で72.9%と69.5%、校長で80.2%と79.6%と、3者とも比較的高い割合となっています。

取組の主体となる者による評価が、他と比較して高いという特徴を示す項目も見られます。

「家庭は、家族のふれあいや学びの機会を増やしている」については、保護者の肯定的評価が81.6%であるのに対して、教職員の肯定的評価は53.7%、校長では同じく60.8%に留まっています。また、「家庭は、子どもに基本的な生活習慣を身につけさせようとしている」では、89.9%の保護者が肯定的に評価している一方、教職員は48.6%と、40ポイント以上の差があります。

逆に、90.1%の教職員、100.0%の校長が肯定的評価をしている「学校は、一人ひとりの子どものよさを生かし、確かな学力の向上を図っている」を肯定的に捉える保護者は63.2%と、大きな差が見られます。

更に、「行政は、学校の教育環境を整備している」についての肯定的評価は3者とも低く、保護者の60.1%、教職員の43.4%、校長の55.4%は、全ての施策の中で最も低いレベルにあります。

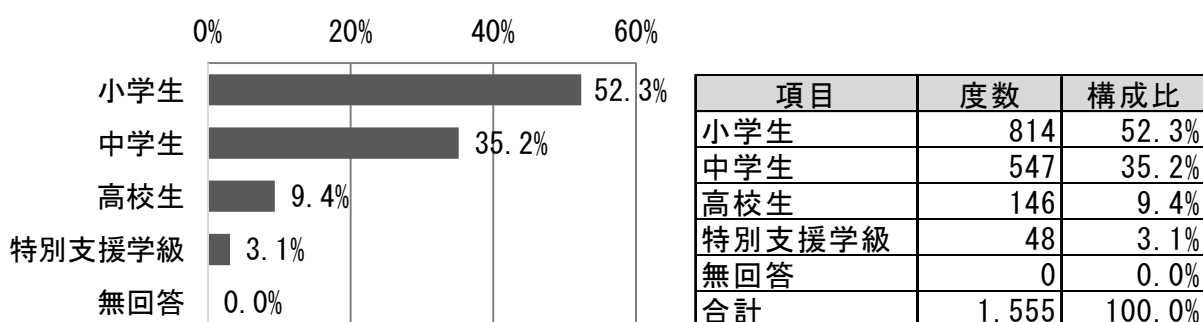
第三章 調査結果

児童生徒調査結果

① あなた自身について

問1 あなたは現在、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

「小学生」が52.3%、「中学生」が35.2%、「高校生」が9.4%、「特別支援学級」が3.1%となっています。



問2 あなたは自分自身のことで、次のことについてどう感じたり、考えたりしますか。あなたの考えに近いと思うものを選んでください。(それぞれ1つに○)

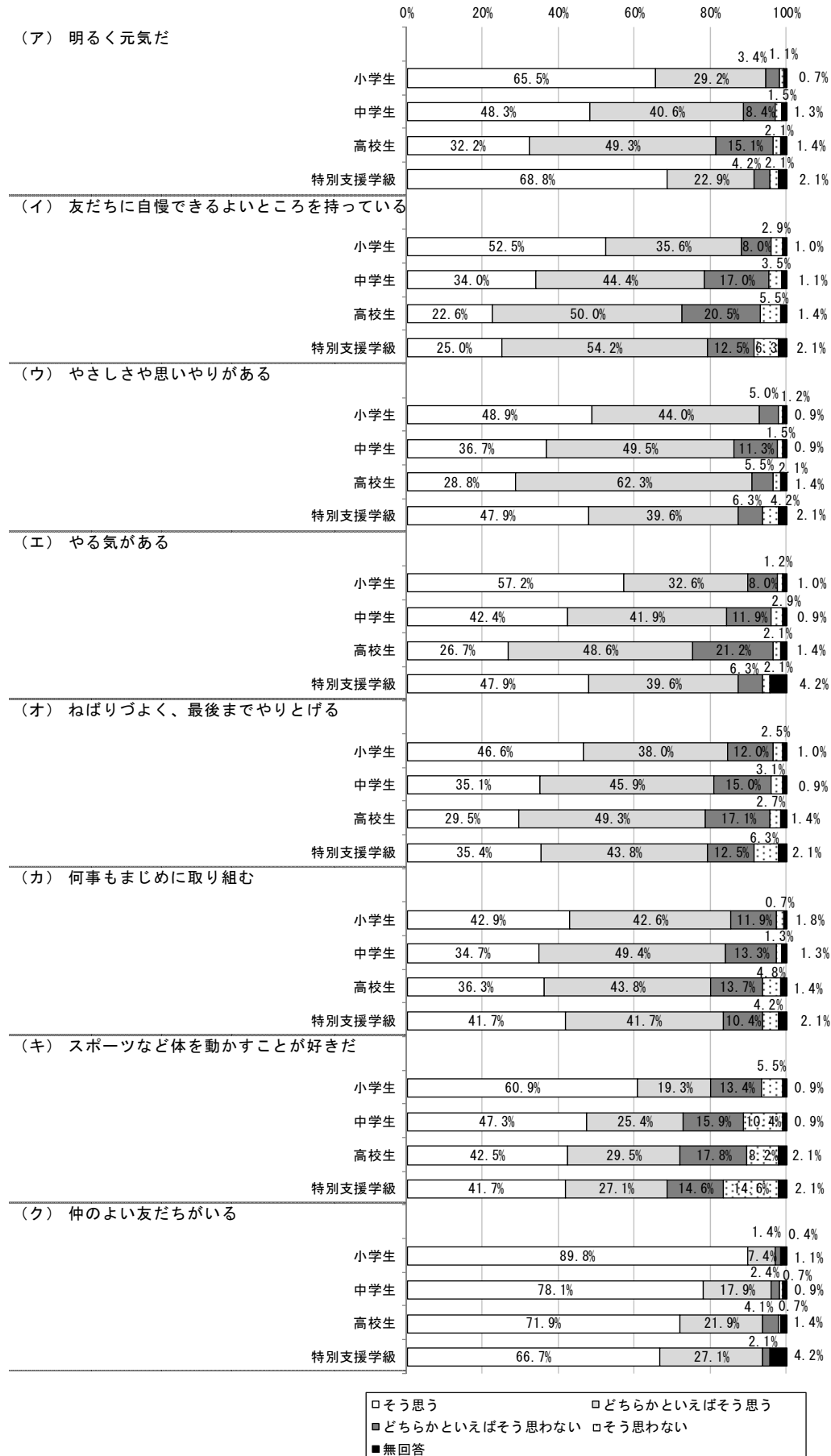
自分自身のことで、自分の考えに近いと思うものについては、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせると、「小学生」では、「仲のよい友だちがいる」が97.2%と最も高く、次いで「明るく元気だ」が94.7%となっています。

「中学生」では、「仲のよい友だちがいる」が96.0%と最も高く、次いで「明るく元気だ」が88.9%となっています。

「高校生」では、「仲のよい友だちがいる」が93.8%と最も高く、次いで「やさしさや思いやりがある」が91.1%となっています。

「特別支援学級」では、「仲のよい友だちがいる」が93.8%と最も高く、次いで「明るく元気だ」が91.7%となっています。

ほぼ全ての項目で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」との回答は、年代の高まりとともに減少する傾向にありますが、「何事もまじめに取り組む」、「自分の言葉や行動に責任がもてる」については、そうした傾向は見られず、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は年代にかかわらず、ほぼ同じレベルとなっています。



項目(度数)	そう思う	どちらかといえ ば そう思う	どちらかといえ ば そう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 明るく元気だ						
小学生	533	238	28	9	6	814
中学生	264	222	46	8	7	547
高校生	47	72	22	3	2	146
特別支援学級	33	11	2	1	1	48
(イ) 友だちに自慢できるよいところを持っている						
小学生	427	290	65	24	8	814
中学生	186	243	93	19	6	547
高校生	33	73	30	8	2	146
特別支援学級	12	26	6	3	1	48
(ウ) やさしさや思いやりがある						
小学生	398	358	41	10	7	814
中学生	201	271	62	8	5	547
高校生	42	91	8	3	2	146
特別支援学級	23	19	3	2	1	48
(エ) やる気がある						
小学生	466	265	65	10	8	814
中学生	232	229	65	16	5	547
高校生	39	71	31	3	2	146
特別支援学級	23	19	3	1	2	48
(オ) ねばりづよく、最後までやりとげる						
小学生	379	309	98	20	8	814
中学生	192	251	82	17	5	547
高校生	43	72	25	4	2	146
特別支援学級	17	21	6	3	1	48
(カ) 何事もまじめに取り組む						
小学生	349	347	97	15	6	814
中学生	190	270	73	7	7	547
高校生	53	64	20	7	2	146
特別支援学級	20	20	5	2	1	48
(キ) スポーツなど体を動かすことが好きだ						
小学生	496	157	109	45	7	814
中学生	259	139	87	57	5	547
高校生	62	43	26	12	3	146
特別支援学級	20	13	7	7	1	48
(ク) 仲のよい友だちがいる						
小学生	731	60	11	3	9	814
中学生	427	98	13	4	5	547
高校生	105	32	6	1	2	146
特別支援学級	32	13	1	0	2	48

項目(構成比)	そう思う	どちらかといえ ば そう思う	どちらかといえ ば そう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 明るく元気だ						
小学生	65.5%	29.2%	3.4%	1.1%	0.7%	100.0%
中学生	48.3%	40.6%	8.4%	1.5%	1.3%	100.0%
高校生	32.2%	49.3%	15.1%	2.1%	1.4%	100.0%
特別支援学級	68.8%	22.9%	4.2%	2.1%	2.1%	100.0%
(イ) 友だちに自慢できるよいところを持っている						
小学生	52.5%	35.6%	8.0%	2.9%	1.0%	100.0%
中学生	34.0%	44.4%	17.0%	3.5%	1.1%	100.0%
高校生	22.6%	50.0%	20.5%	5.5%	1.4%	100.0%
特別支援学級	25.0%	54.2%	12.5%	6.3%	2.1%	100.0%
(ウ) やさしさや思いやりがある						
小学生	48.9%	44.0%	5.0%	1.2%	0.9%	100.0%
中学生	36.7%	49.5%	11.3%	1.5%	0.9%	100.0%
高校生	28.8%	62.3%	5.5%	2.1%	1.4%	100.0%
特別支援学級	47.9%	39.6%	6.3%	4.2%	2.1%	100.0%
(エ) やる気がある						
小学生	57.2%	32.6%	8.0%	1.2%	1.0%	100.0%
中学生	42.4%	41.9%	11.9%	2.9%	0.9%	100.0%
高校生	26.7%	48.6%	21.2%	2.1%	1.4%	100.0%
特別支援学級	47.9%	39.6%	6.3%	2.1%	4.2%	100.0%
(オ) ねばりづよく、最後までやりとげる						
小学生	46.6%	38.0%	12.0%	2.5%	1.0%	100.0%
中学生	35.1%	45.9%	15.0%	3.1%	0.9%	100.0%
高校生	29.5%	49.3%	17.1%	2.7%	1.4%	100.0%
特別支援学級	35.4%	43.8%	12.5%	6.3%	2.1%	100.0%
(カ) 何事もまじめに取り組む						
小学生	42.9%	42.6%	11.9%	1.8%	0.7%	100.0%
中学生	34.7%	49.4%	13.3%	1.3%	1.3%	100.0%
高校生	36.3%	43.8%	13.7%	4.8%	1.4%	100.0%
特別支援学級	41.7%	41.7%	10.4%	4.2%	2.1%	100.0%
(キ) スポーツなど体を動かすことが好きだ						
小学生	60.9%	19.3%	13.4%	5.5%	0.9%	100.0%
中学生	47.3%	25.4%	15.9%	10.4%	0.9%	100.0%
高校生	42.5%	29.5%	17.8%	8.2%	2.1%	100.0%
特別支援学級	41.7%	27.1%	14.6%	14.6%	2.1%	100.0%
(ク) 仲のよい友だちがいる						
小学生	89.8%	7.4%	1.4%	0.4%	1.1%	100.0%
中学生	78.1%	17.9%	2.4%	0.7%	0.9%	100.0%
高校生	71.9%	21.9%	4.1%	0.7%	1.4%	100.0%
特別支援学級	66.7%	27.1%	2.1%	0.0%	4.2%	100.0%

項目(度数)	そう思う	どちらかといえ ば そう思う	どちらかといえ ば そう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ケ) 自分で考え、何かをつくりだすのが得意だ						
小学生	356	301	121	28	8	814
中学生	172	233	114	22	6	547
高校生	36	61	37	10	2	146
特別支援学級	19	11	12	5	1	48
(コ) 将来なりたい職業がある						
小学生	573	128	70	36	7	814
中学生	231	152	98	58	8	547
高校生	51	48	30	15	2	146
特別支援学級	18	15	11	3	1	48
(サ) 自分の言葉や行動に責任がもてる						
小学生	299	379	105	23	8	814
中学生	146	280	97	18	6	547
高校生	35	83	21	5	2	146
特別支援学級	6	22	12	6	2	48
(シ) 将来の夢や目標を持っている						
小学生	582	147	53	24	8	814
中学生	254	165	85	36	7	547
高校生	56	47	34	7	2	146
特別支援学級	17	15	10	4	2	48
(ス) 自分のことが好きである						
小学生	411	301	67	26	9	814
中学生	141	268	99	32	7	547
高校生	27	72	34	11	2	146
特別支援学級	20	21	5	1	1	48
(セ) 自分の個性を大事にしたい						
小学生	539	213	48	7	7	814
中学生	268	217	43	13	6	547
高校生	50	77	12	5	2	146
特別支援学級	20	19	4	3	2	48
(ソ) 自分の中には様々な可能性がある						
小学生	455	277	58	18	6	814
中学生	181	258	85	17	6	547
高校生	31	77	31	5	2	146
特別支援学級	14	27	2	3	2	48

項目(構成比)	そう思う	どちらかといえ ば そう思う	どちらかといえ ば そう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ケ) 自分で考え、何かをつくりだすのが得意だ						
小学生	43.7%	37.0%	14.9%	3.4%	1.0%	100.0%
中学生	31.4%	42.6%	20.8%	4.0%	1.1%	100.0%
高校生	24.7%	41.8%	25.3%	6.8%	1.4%	100.0%
特別支援学級	39.6%	22.9%	25.0%	10.4%	2.1%	100.0%
(コ) 将来なりたい職業がある						
小学生	70.4%	15.7%	8.6%	4.4%	0.9%	100.0%
中学生	42.2%	27.8%	17.9%	10.6%	1.5%	100.0%
高校生	34.9%	32.9%	20.5%	10.3%	1.4%	100.0%
特別支援学級	37.5%	31.3%	22.9%	6.3%	2.1%	100.0%
(サ) 自分の言葉や行動に責任がもてる						
小学生	36.7%	46.6%	12.9%	2.8%	1.0%	100.0%
中学生	26.7%	51.2%	17.7%	3.3%	1.1%	100.0%
高校生	24.0%	56.8%	14.4%	3.4%	1.4%	100.0%
特別支援学級	12.5%	45.8%	25.0%	12.5%	4.2%	100.0%
(シ) 将来の夢や目標を持っている						
小学生	71.5%	18.1%	6.5%	2.9%	1.0%	100.0%
中学生	46.4%	30.2%	15.5%	6.6%	1.3%	100.0%
高校生	38.4%	32.2%	23.3%	4.8%	1.4%	100.0%
特別支援学級	35.4%	31.3%	20.8%	8.3%	4.2%	100.0%
(ス) 自分のことが好きである						
小学生	50.5%	37.0%	8.2%	3.2%	1.1%	100.0%
中学生	25.8%	49.0%	18.1%	5.9%	1.3%	100.0%
高校生	18.5%	49.3%	23.3%	7.5%	1.4%	100.0%
特別支援学級	41.7%	43.8%	10.4%	2.1%	2.1%	100.0%
(セ) 自分の個性を大事にしたい						
小学生	66.2%	26.2%	5.9%	0.9%	0.9%	100.0%
中学生	49.0%	39.7%	7.9%	2.4%	1.1%	100.0%
高校生	34.2%	52.7%	8.2%	3.4%	1.4%	100.0%
特別支援学級	41.7%	39.6%	8.3%	6.3%	4.2%	100.0%
(ソ) 自分の中には様々な可能性がある						
小学生	55.9%	34.0%	7.1%	2.2%	0.7%	100.0%
中学生	33.1%	47.2%	15.5%	3.1%	1.1%	100.0%
高校生	21.2%	52.7%	21.2%	3.4%	1.4%	100.0%
特別支援学級	29.2%	56.3%	4.2%	6.3%	4.2%	100.0%

② 学校や勉強、先生について

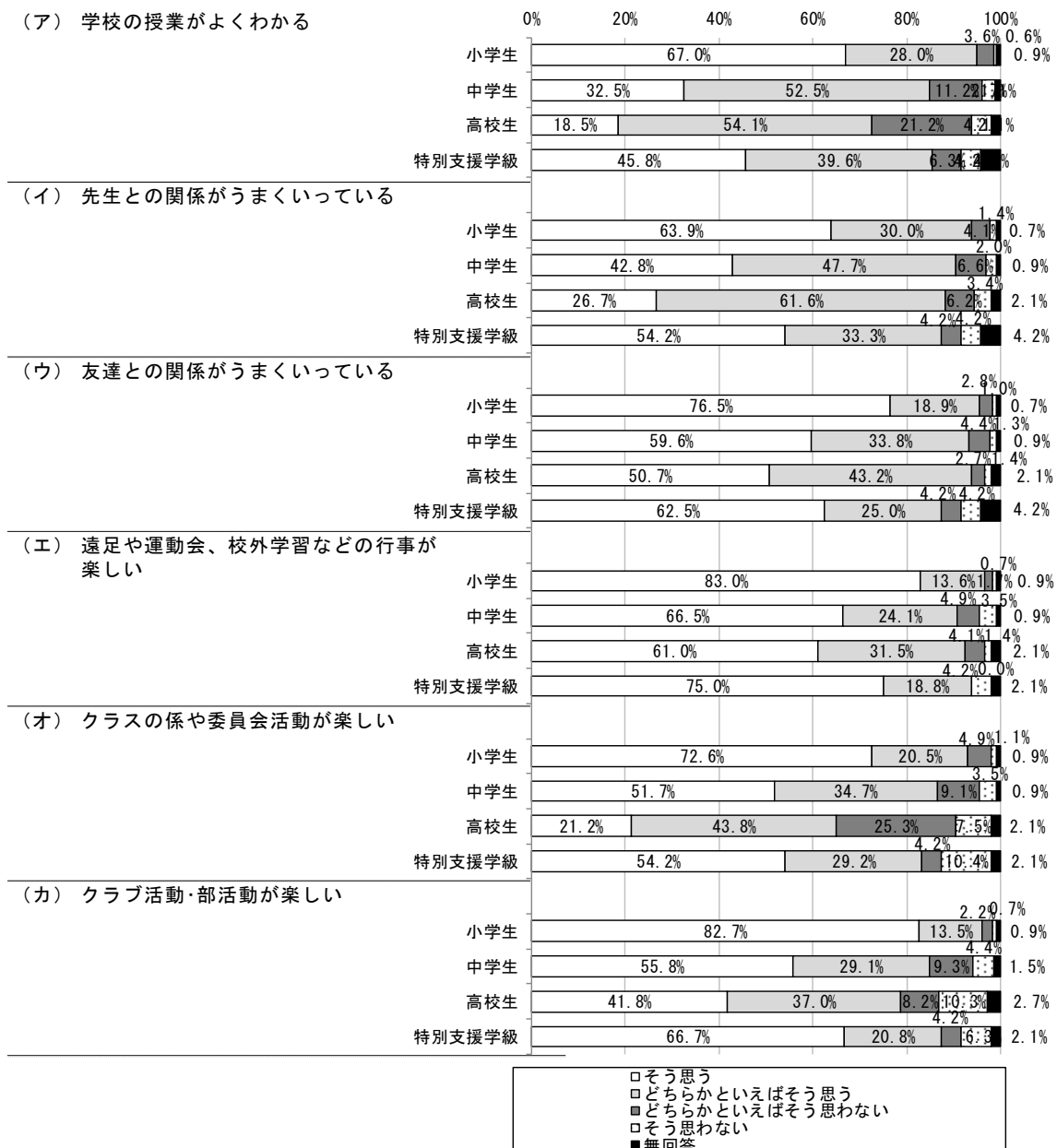
問3 学校生活についてどのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

学校生活については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせると、「小学生」では、「遠足や運動会、校外学習などの行事が楽しい」が96.6%と最も高く、次いで「クラブ活動・部活動が楽しい」が96.2%となっています。

「中学生」では、「友達との関係がうまくいっている」が93.4%と最も高く、次いで「遠足や運動会、校外学習などの行事が楽しい」が90.6%となっています。

「高校生」では、「友達との関係がうまくいっている」が93.9%と最も高く、次いで「遠足や運動会、校外学習などの行事が楽しい」が92.5%となっています。

「特別支援学級」では、「遠足や運動会、校外学習などの行事が楽しい」が93.8%と最も高く、次いで「先生との関係がうまくいっている」、「友達との関係がうまくいっている」、「クラブ活動・部活動が楽しい」が同率で87.5%となっています。



項目(度数)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 学校の授業がよくわかる						
小学生	545	228	29	5	7	814
中学生	178	287	61	15	6	547
高校生	27	79	31	6	3	146
特別支援学級	22	19	3	2	2	48
(イ) 先生との関係がうまくいっている						
小学生	520	244	33	11	6	814
中学生	234	261	36	11	5	547
高校生	39	90	9	5	3	146
特別支援学級	26	16	2	2	2	48
(ウ) 友達との関係がうまくいっている						
小学生	623	154	23	8	6	814
中学生	326	185	24	7	5	547
高校生	74	63	4	2	3	146
特別支援学級	30	12	2	2	2	48
(エ) 遠足や運動会、校外学習などの行事が楽しい						
小学生	676	111	14	6	7	814
中学生	364	132	27	19	5	547
高校生	89	46	6	2	3	146
特別支援学級	36	9	0	2	1	48
(オ) クラスの係や委員会活動が楽しい						
小学生	591	167	40	9	7	814
中学生	283	190	50	19	5	547
高校生	31	64	37	11	3	146
特別支援学級	26	14	2	5	1	48
(カ) クラブ活動・部活動が楽しい						
小学生	673	110	18	6	7	814
中学生	305	159	51	24	8	547
高校生	61	54	12	15	4	146
特別支援学級	32	10	2	3	1	48

項目(構成比)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 学校の授業がよくわかる						
小学生	67.0%	28.0%	3.6%	0.6%	0.9%	100.0%
中学生	32.5%	52.5%	11.2%	2.7%	1.1%	100.0%
高校生	18.5%	54.1%	21.2%	4.1%	2.1%	100.0%
特別支援学級	45.8%	39.6%	6.3%	4.2%	4.2%	100.0%
(イ) 先生との関係がうまくいっている						
小学生	63.9%	30.0%	4.1%	1.4%	0.7%	100.0%
中学生	42.8%	47.7%	6.6%	2.0%	0.9%	100.0%
高校生	26.7%	61.6%	6.2%	3.4%	2.1%	100.0%
特別支援学級	54.2%	33.3%	4.2%	4.2%	4.2%	100.0%
(ウ) 友達との関係がうまくいっている						
小学生	76.5%	18.9%	2.8%	1.0%	0.7%	100.0%
中学生	59.6%	33.8%	4.4%	1.3%	0.9%	100.0%
高校生	50.7%	43.2%	2.7%	1.4%	2.1%	100.0%
特別支援学級	62.5%	25.0%	4.2%	4.2%	4.2%	100.0%
(エ) 遠足や運動会、校外学習などの行事が楽しい						
小学生	83.0%	13.6%	1.7%	0.7%	0.9%	100.0%
中学生	66.5%	24.1%	4.9%	3.5%	0.9%	100.0%
高校生	61.0%	31.5%	4.1%	1.4%	2.1%	100.0%
特別支援学級	75.0%	18.8%	0.0%	4.2%	2.1%	100.0%
(オ) クラスの係や委員会活動が楽しい						
小学生	72.6%	20.5%	4.9%	1.1%	0.9%	100.0%
中学生	51.7%	34.7%	9.1%	3.5%	0.9%	100.0%
高校生	21.2%	43.8%	25.3%	7.5%	2.1%	100.0%
特別支援学級	54.2%	29.2%	4.2%	10.4%	2.1%	100.0%
(カ) クラブ活動・部活動が楽しい						
小学生	82.7%	13.5%	2.2%	0.7%	0.9%	100.0%
中学生	55.8%	29.1%	9.3%	4.4%	1.5%	100.0%
高校生	41.8%	37.0%	8.2%	10.3%	2.7%	100.0%
特別支援学級	66.7%	20.8%	4.2%	6.3%	2.1%	100.0%

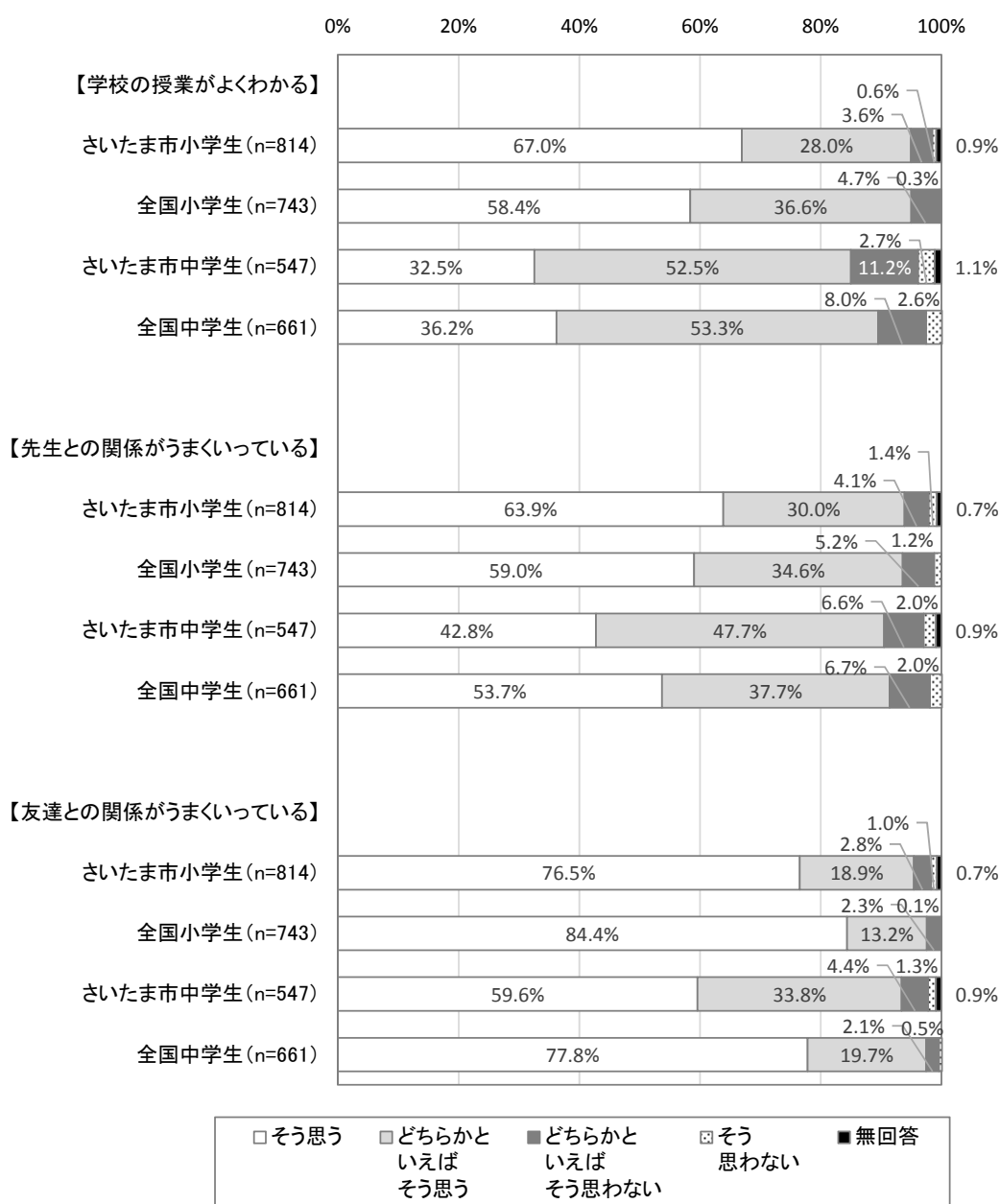
■平成 25 年度内閣府「小学生・中学生の意識に関する調査」結果との比較

【内閣府設問】あなたは、ここにあげてあることがどの程度あてはまりますか。（1つに〇）

「学校の授業がよくわかる」について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的回答の割合は、「小学生」では本市・全国とも 95.0%で並んでいますが、「中学生」では、本市が 85.0%、全国が 89.5%とやや差が見られ、特に本市では、「どちらかといえばそう思わない」との回答が 11.2%と、全国よりも 3 ポイントあまり高くなっています。

「先生との関係がうまくいっている」についての肯定的回答の割合は、「小学生」では、本市 93.9%、全国 93.6%「中学生」では、本市 90.5%、全国 91.4%とほぼ同等となっています。

「友達との関係がうまくいっている」についての肯定的回答の割合は、「小学生」では、本市 95.4%、全国 97.6%、「中学生」では、本市 93.4%、全国 97.5%と、本市のほうがやや低くなっています。

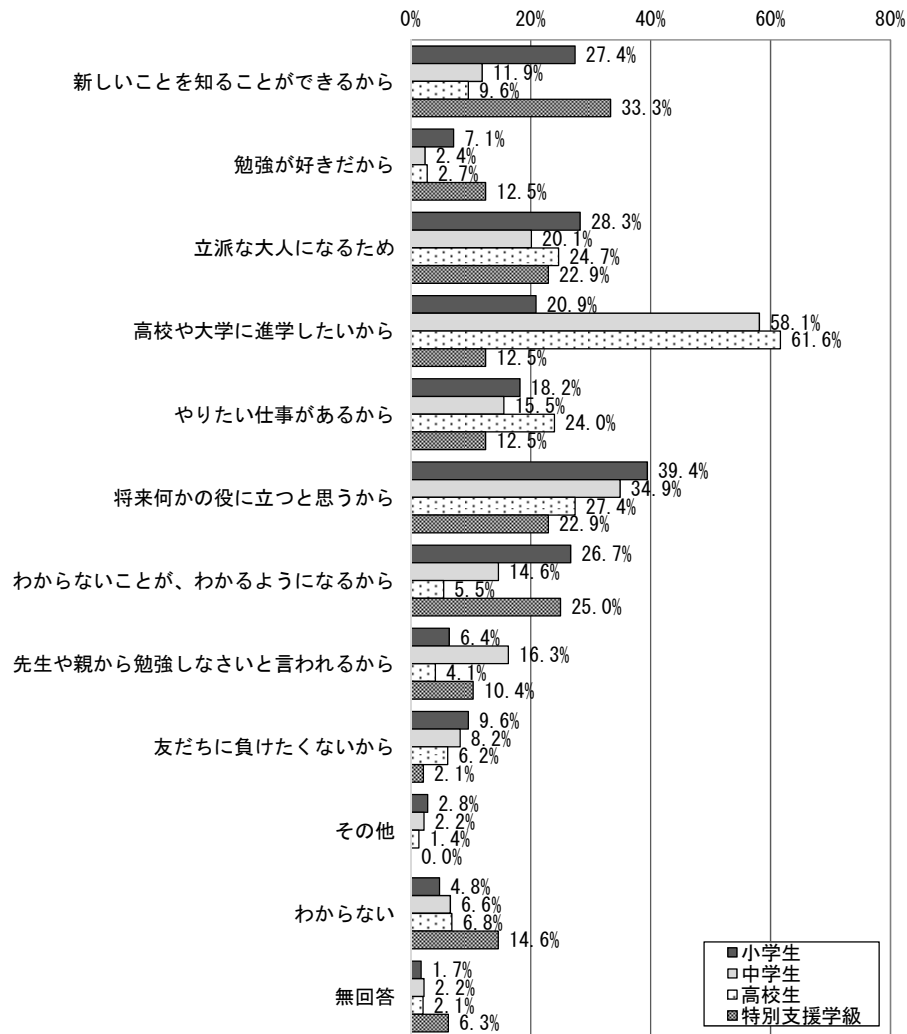


問4 あなたが勉強する理由は何ですか。(2つまでに○)

勉強する理由については、「小学生」では、「将来何かの役に立つと思うから」が39.4%と最も高く、次いで「立派な大人になるため」が28.3%となっています。

「中学生」、「高校生」では、「高校や大学に進学したいから」が最も高く、「中学生」が58.1%、「高校生」が61.6%となっています。次いで「将来何かの役に立つと思うから」で「中学生」が34.9%、「高校生」が27.4%となっています。

「特別支援学級」では、「新しいことを知ることができるから」が33.3%と最も多く、次いで「わからないことが、わかるようになるから」が25.0%となっています。

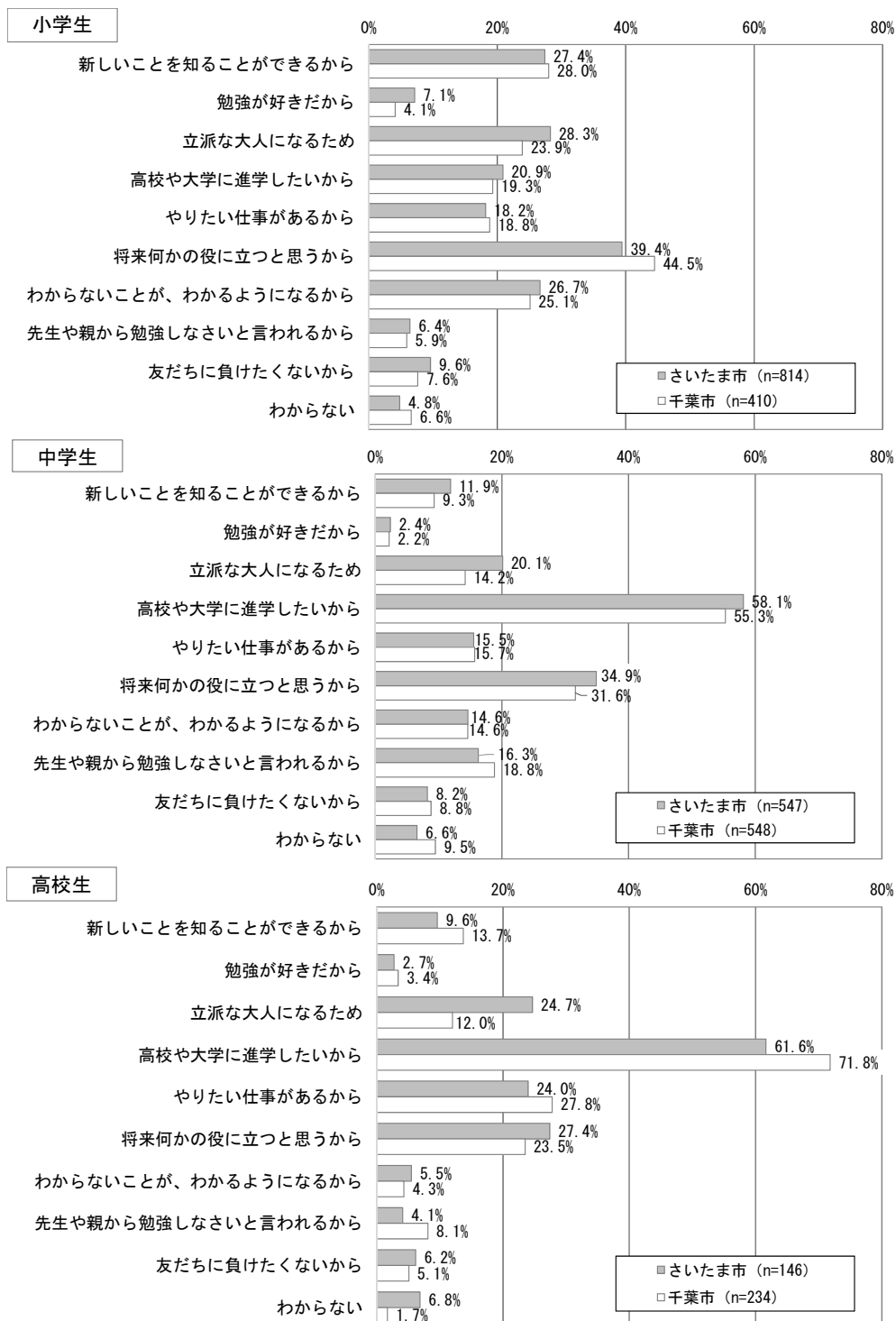


項目	小学生		中学生		高校生		特別支援学級	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
新しいことを知ることができるから	223	27.4%	65	11.9%	14	9.6%	16	33.3%
勉強が好きだから	58	7.1%	13	2.4%	4	2.7%	6	12.5%
立派な大人になるため	230	28.3%	110	20.1%	36	24.7%	11	22.9%
高校や大学に進学したいから	170	20.9%	318	58.1%	90	61.6%	6	12.5%
やりたい仕事があるから	148	18.2%	85	15.5%	35	24.0%	6	12.5%
将来何かの役に立つと思うから	321	39.4%	191	34.9%	40	27.4%	11	22.9%
わからないことが、わかるようになるから	217	26.7%	80	14.6%	8	5.5%	12	25.0%
先生や親から勉強しなさいと言われるから	52	6.4%	89	16.3%	6	4.1%	5	10.4%
友だちに負けたくないから	78	9.6%	45	8.2%	9	6.2%	1	2.1%
その他	23	2.8%	12	2.2%	2	1.4%	0	0.0%
わからない	39	4.8%	36	6.6%	10	6.8%	7	14.6%
無回答	14	1.7%	12	2.2%	3	2.1%	3	6.3%
回答者数	814		547		146		48	

■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

【千葉市設問】あなたが勉強する理由は何ですか。次の中から特に自分の考えに近いと思うものを選んでください（2 つまで）

「小学生」、「中学生」、「高校生」とも、両市で同じ項目が最も高く回答されています。「立派な大人になるため」の回答は、いずれの年代でも本市のほうが多く、特に「高校生」では 12 ポイント以上もの差となっています。一方、「高校や大学に進学したいから」への「高校生」の回答は、本市のほうが 10 ポイント低くなっています。

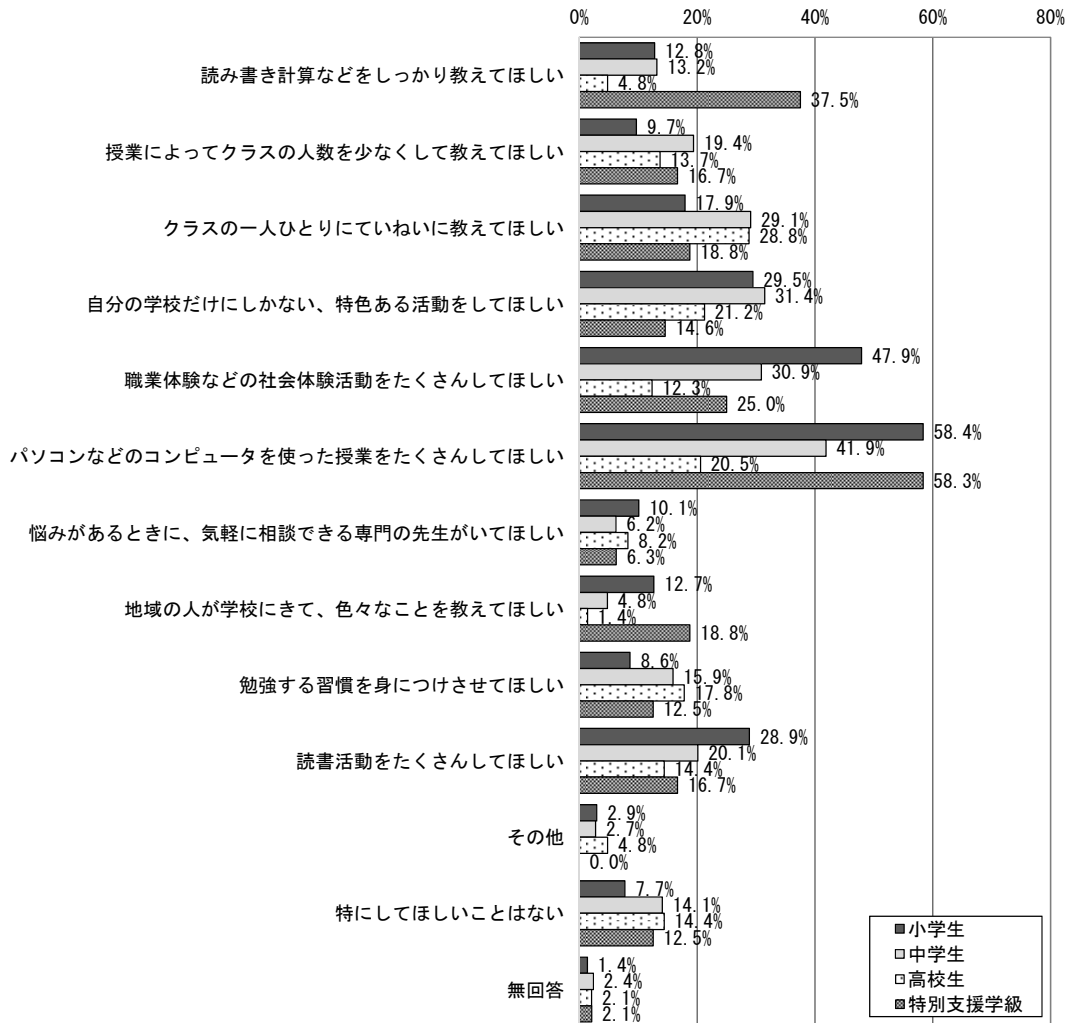


問5 学校で特にしてほしいことは何ですか。(3つまでに○)

学校で特にしてほしいことについては、「小学生」、「中学生」、「特別支援学級」では、「パソコンなどのコンピュータを使った授業をたくさんしてほしい」が最も高く、「小学生」が58.4%、「中学生」が41.9%、特別支援学級が58.3%となっています。

「小学生」では、「職業体験などの社会体験活動をたくさんしてほしい」の項目でも47.9%と高くなっています。

「高校生」では、「クラスの一人ひとりにていねいに教えてほしい」が28.8%と最も高くなっています。



項目	小学生		中学生		高校生		特別支援学級	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
読み書き計算などをしっかり教えてほしい	104	12.8%	72	13.2%	7	4.8%	18	37.5%
授業によってクラスの人数を少なくして教えてほしい	79	9.7%	106	19.4%	20	13.7%	8	16.7%
クラスの一人ひとりにていねいに教えてほしい	146	17.9%	159	29.1%	42	28.8%	9	18.8%
自分の学校だけにしかない、特色ある活動をしてほしい	240	29.5%	172	31.4%	31	21.2%	7	14.6%
職業体験などの社会体験活動をたくさんしてほしい	390	47.9%	169	30.9%	18	12.3%	12	25.0%
パソコンなどのコンピュータを使った授業をたくさんしてほしい	475	58.4%	229	41.9%	30	20.5%	28	58.3%
悩みがあるときに、気軽に相談できる専門の先生がいてほしい	82	10.1%	34	6.2%	12	8.2%	3	6.3%
地域の人が学校にきて、色々なことを教えてほしい	103	12.7%	26	4.8%	2	1.4%	9	18.8%
勉強する習慣を身につけさせてほしい	70	8.6%	87	15.9%	26	17.8%	6	12.5%
読書活動をたくさんしてほしい	235	28.9%	110	20.1%	21	14.4%	8	16.7%
その他	24	2.9%	15	2.7%	7	4.8%	0	0.0%
特にしてほしいことはない	63	7.7%	77	14.1%	21	14.4%	6	12.5%
無回答	11	1.4%	13	2.4%	3	2.1%	1	2.1%
回答者数	814		547		146		48	

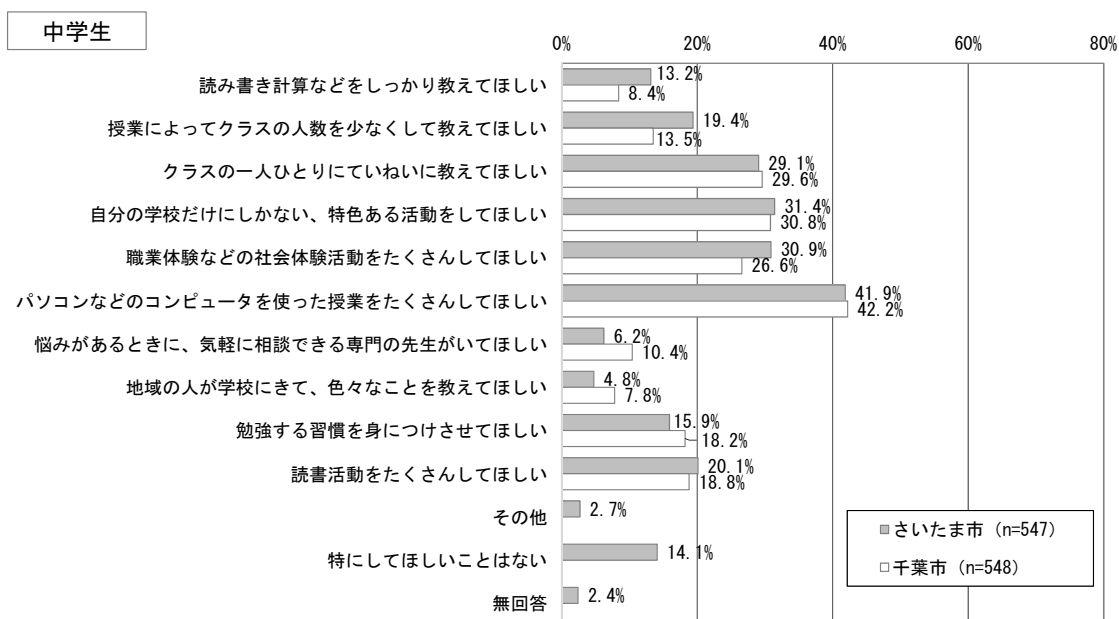
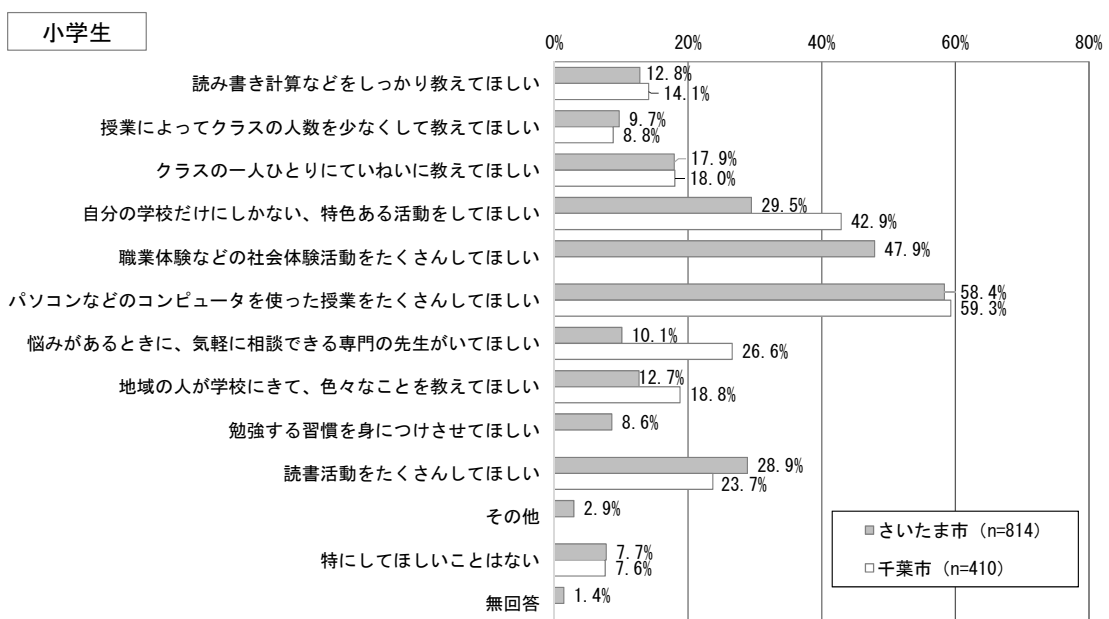
■平成 26 年度千葉市「第2次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

【千葉市設問】これからの学校で特にしてほしいことは何ですか。次の中から選んでください。(いくつでも)

※本市は3つまでの複数選択、千葉市は「いくつでも」との違いがあります。

両市の「小・中学生」で最も高い回答は共通して「パソコンなどのコンピュータを使った授業をたくさんしてほしい」となっています。

また、「授業によってクラスの人数を少なくして教えてほしい（千葉市：授業によってクラスの人数を少なく分けてほしい）」の回答が、本市の「中学生」では、選択数に上限があってもおよそ6ポイント高くなっています。



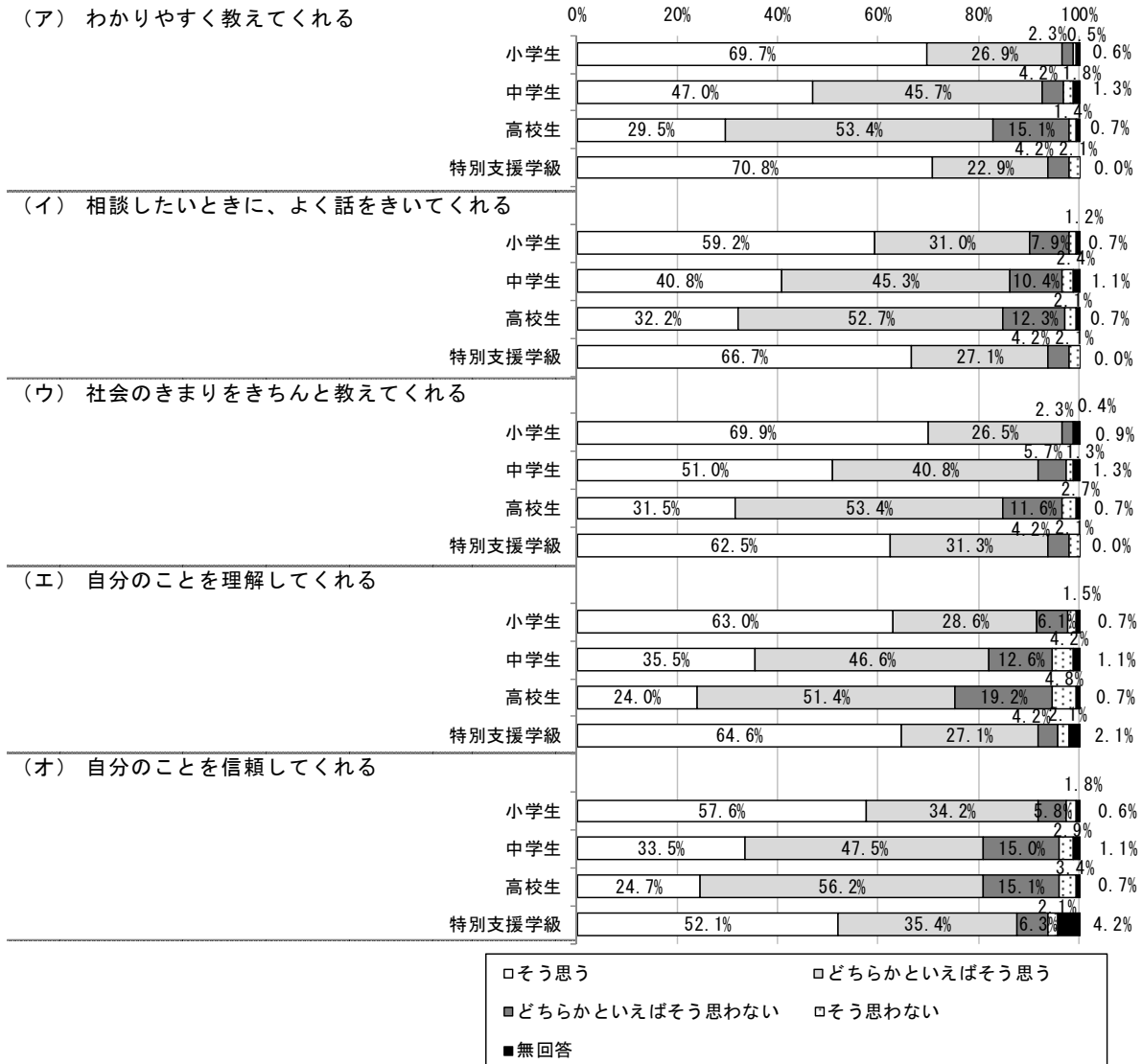
問6 あなたは、先生についてどのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

先生について感じていることは、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせると、「小学生」では、「わかりやすく教えてくれる」が96.6%と最も高く、次いで「社会のきまりをきちんと教えてくれる」が96.4%なっています。

「中学生」では、「わかりやすく教えてくれる」が92.7%と最も高く、次いで「社会のきまりをきちんと教えてくれる」が91.8%なっています。

「高校生」では、「相談したいときに、よく話をきいてくれる」、「社会のきまりをきちんと教えてくれる」が同率で84.9%と最も高くなっています。

「特別支援学級」では、「相談したいときに、よく話をきいてくれる」、「社会のきまりをきちんと教えてくれる」が同率で93.8%と最も高くなっています。



項目(度数)	そう思う	どちらかといえ ば そう思う	どちらかといえ ば そう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) わかりやすく教えてくれる						
小学生	567	219	19	4	5	814
中学生	257	250	23	10	7	547
高校生	43	78	22	2	1	146
特別支援学級	34	11	2	1	0	48
(イ) 相談したいときに、よく話をきいてくれる						
小学生	482	252	64	10	6	814
中学生	223	248	57	13	6	547
高校生	47	77	18	3	1	146
特別支援学級	32	13	2	1	0	48
(ウ) 社会のきまりをきちんと教えてくれる						
小学生	569	216	19	3	7	814
中学生	279	223	31	7	7	547
高校生	46	78	17	4	1	146
特別支援学級	30	15	2	1	0	48
(エ) 自分のことを理解してくれる						
小学生	513	233	50	12	6	814
中学生	194	255	69	23	6	547
高校生	35	75	28	7	1	146
特別支援学級	31	13	2	1	1	48
(オ) 自分のことを信頼してくれる						
小学生	469	278	47	15	5	814
中学生	183	260	82	16	6	547
高校生	36	82	22	5	1	146
特別支援学級	25	17	3	1	2	48

項目(構成比)	そう思う	どちらかといえ ば そう思う	どちらかといえ ば そう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) わかりやすく教えてくれる						
小学生	69.7%	26.9%	2.3%	0.5%	0.6%	100.0%
中学生	47.0%	45.7%	4.2%	1.8%	1.3%	100.0%
高校生	29.5%	53.4%	15.1%	1.4%	0.7%	100.0%
特別支援学級	70.8%	22.9%	4.2%	2.1%	0.0%	100.0%
(イ) 相談したいときに、よく話をきいてくれる						
小学生	59.2%	31.0%	7.9%	1.2%	0.7%	100.0%
中学生	40.8%	45.3%	10.4%	2.4%	1.1%	100.0%
高校生	32.2%	52.7%	12.3%	2.1%	0.7%	100.0%
特別支援学級	66.7%	27.1%	4.2%	2.1%	0.0%	100.0%
(ウ) 社会のきまりをきちんと教えてくれる						
小学生	69.9%	26.5%	2.3%	0.4%	0.9%	100.0%
中学生	51.0%	40.8%	5.7%	1.3%	1.3%	100.0%
高校生	31.5%	53.4%	11.6%	2.7%	0.7%	100.0%
特別支援学級	62.5%	31.3%	4.2%	2.1%	0.0%	100.0%
(エ) 自分のことを理解してくれる						
小学生	63.0%	28.6%	6.1%	1.5%	0.7%	100.0%
中学生	35.5%	46.6%	12.6%	4.2%	1.1%	100.0%
高校生	24.0%	51.4%	19.2%	4.8%	0.7%	100.0%
特別支援学級	64.6%	27.1%	4.2%	2.1%	2.1%	100.0%
(オ) 自分のことを信頼してくれる						
小学生	57.6%	34.2%	5.8%	1.8%	0.6%	100.0%
中学生	33.5%	47.5%	15.0%	2.9%	1.1%	100.0%
高校生	24.7%	56.2%	15.1%	3.4%	0.7%	100.0%
特別支援学級	52.1%	35.4%	6.3%	2.1%	4.2%	100.0%

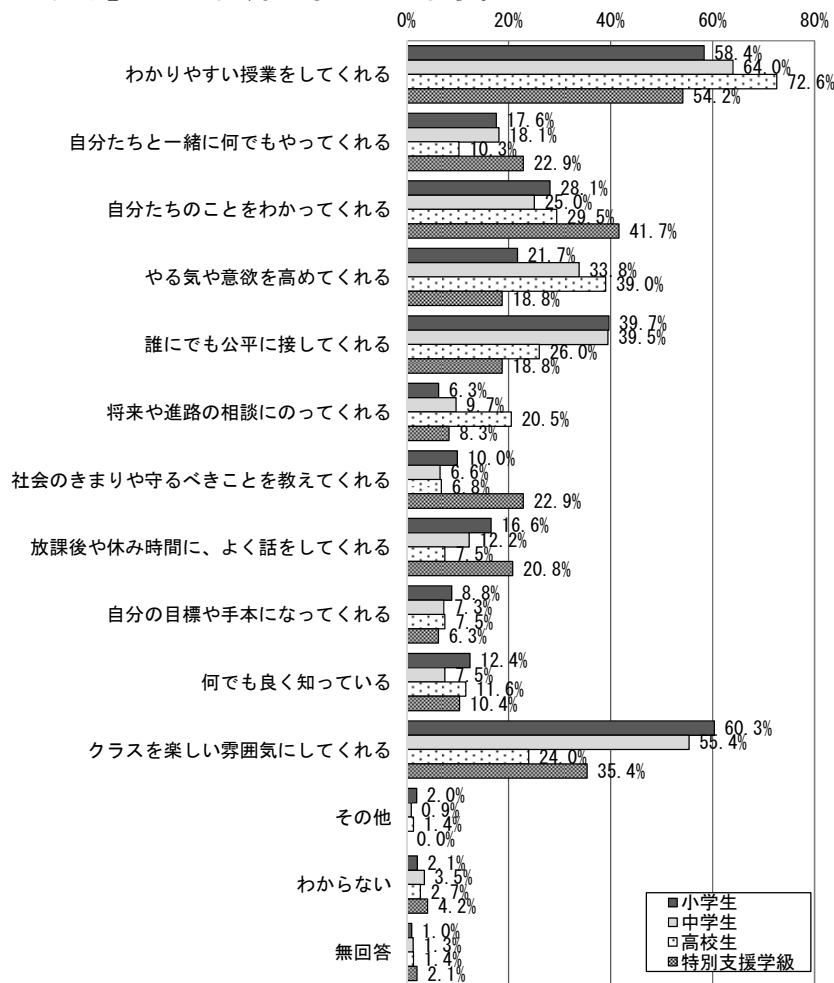
問7 あなたが教わりたい先生はどのような人ですか。(3つまでに○)

教わりたい先生については、「小学生」では、「クラスを楽しい雰囲気にしてくれる」が60.3%と最も高く、次いで「わかりやすい授業をしてくれる」が58.4%となっています。

「中学生」では、「わかりやすい授業をしてくれる」が64.0%と最も高く、次いで「クラスを楽しい雰囲気にしてくれる」が55.4%となっています。

「高校生」では、「わかりやすい授業をしてくれる」が72.6%と最も高く、次いで「やる気や意欲を高めてくれる」が39.0%となっています。

「特別支援学級」では、「わかりやすい授業をしてくれる」が54.2%と最も高く、次いで「自分たちのことをわかってくれる」が41.7%となっています。



項目	小学生		中学生		高校生		特別支援学級	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
わかりやすい授業をしてくれる	475	58.4%	350	64.0%	106	72.6%	26	54.2%
自分たちと一緒に何でもやってくれる	143	17.6%	99	18.1%	15	10.3%	11	22.9%
自分たちのことをわかってくれる	229	28.1%	137	25.0%	43	29.5%	20	41.7%
やる気や意欲を高めてくれる	177	21.7%	185	33.8%	57	39.0%	9	18.8%
誰にでも公平に接してくれる	323	39.7%	216	39.5%	38	26.0%	9	18.8%
将来や進路の相談にのってくれる	51	6.3%	53	9.7%	30	20.5%	4	8.3%
社会のきまりや守るべきことを教えてくれる	81	10.0%	36	6.6%	10	6.8%	11	22.9%
放課後や休み時間に、よく話してくれる	135	16.6%	67	12.2%	11	7.5%	10	20.8%
自分の目標や手本になってくれる	72	8.8%	40	7.3%	11	7.5%	3	6.3%
何でも良く知っている	101	12.4%	41	7.5%	17	11.6%	5	10.4%
クラスを楽しい雰囲気にしてくれる	491	60.3%	303	55.4%	35	24.0%	17	35.4%
その他	16	2.0%	5	0.9%	2	1.4%	0	0.0%
わからない	17	2.1%	19	3.5%	4	2.7%	2	4.2%
無回答	8	1.0%	7	1.3%	2	1.4%	1	2.1%
回答者数	814		547		146		48	

■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

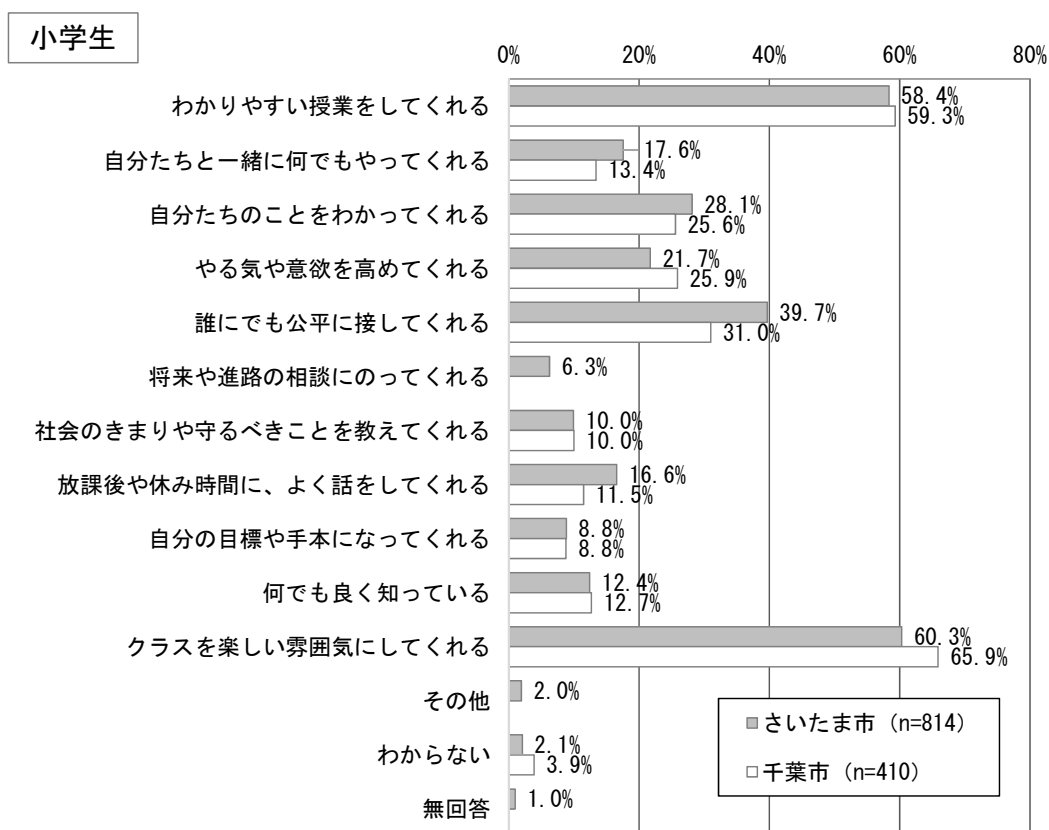
【千葉市設問】あなたが教わりたい先生はどのような人ですか。特に重要だと思うものを次の中から選んでください。（3つまで）

※両市とも 3 つまでの複数選択の設問ですが、「将来や進路の相談にのってくれる」と「その他」の選択肢は千葉市にはありません。

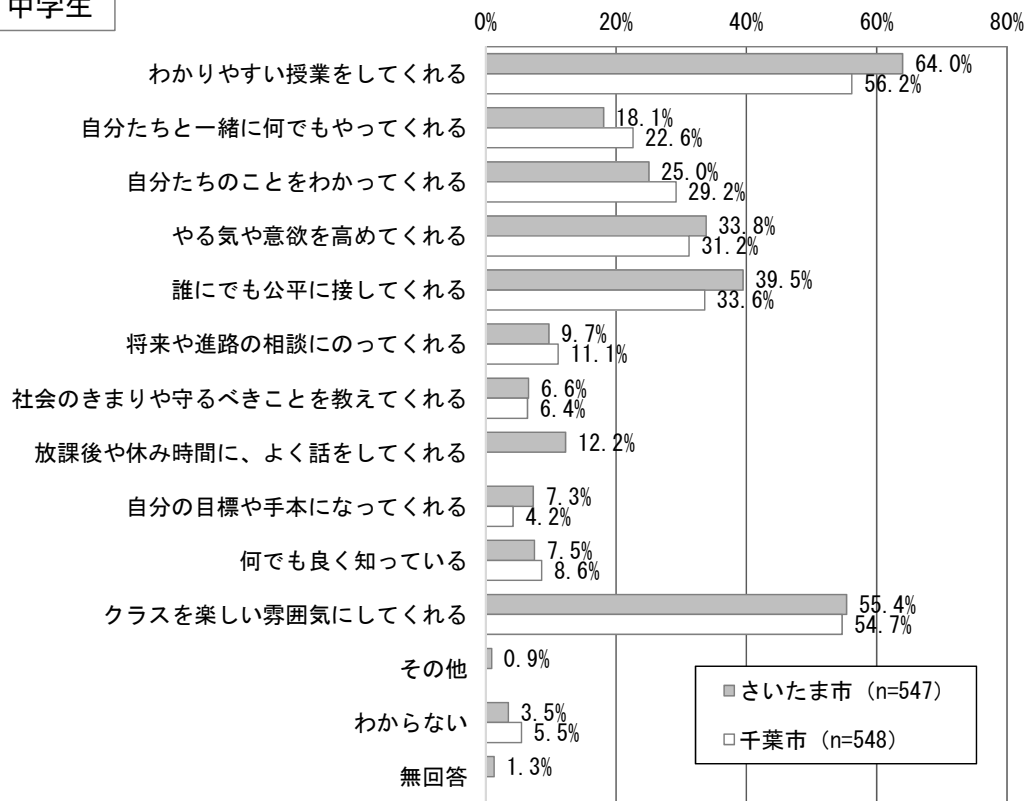
教わりたい先生について、「小学生」では「クラスを楽しい雰囲気にしてくれる」、「わかりやすい授業をしてくれる」、「誰にでも公平に接してくれる」が、本市、千葉市ともに 1～3 位となっていますが、「楽しい雰囲気にしてくれる」では、本市のほうが 5 ポイントあまり低く、「公平に接してくれる」では、逆に 8.7 ポイント高くなっています。

「中学生」では、回答上位の 3 項目は小学生と同じですが、「わかりやすい授業をしてくれる」ではおよそ 8 ポイント、「誰にでも公平に接してくれる」では 6 ポイント、それぞれ本市のほうが高くなっています。

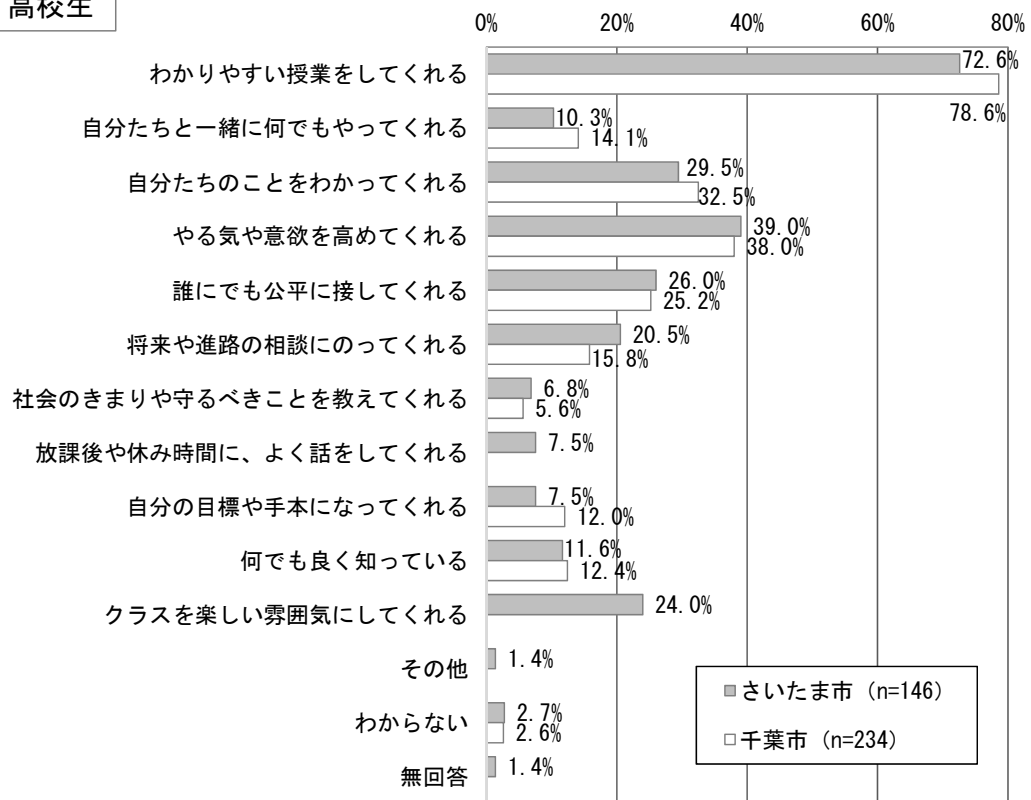
「高校生」では、「わかりやすい授業をしてくれる」、「やる気や意欲を高めてくれる」、「自分たちのことをわかってくれる」がともに 1～3 位となっていますが、「わかりやすい授業をしてくれる」で本市は、6 ポイント低くなっています。



中学生



高校生



③ いじめや悩みごとについて

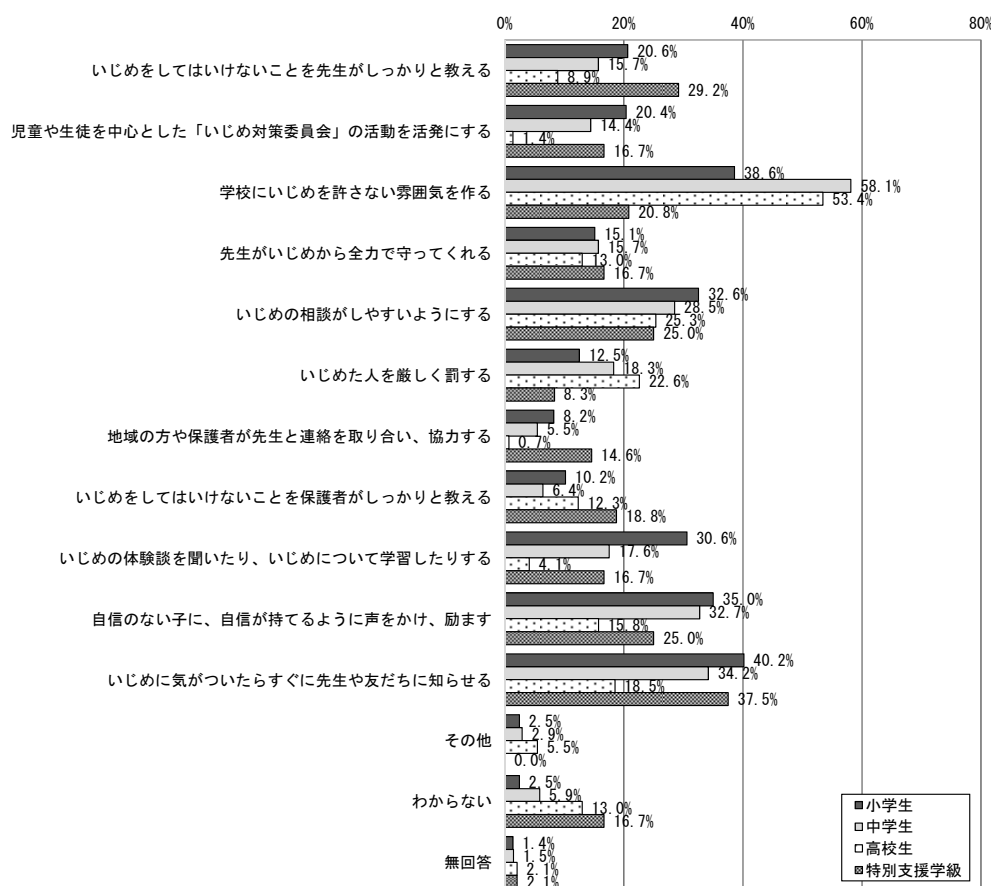
問8 どうしたらいじめを減らしたり、解決したりできると思いますか。(3つまでに○)

いじめについて、「小学生」では、「いじめに気がついたらすぐに先生や友だちに知らせる」が40.2%と最も高く、次いで「学校にいじめを許さない雰囲気を作る」が38.6%となっています。

「中学生」では、「学校にいじめを許さない雰囲気を作る」が58.1%と最も高く、次いで「いじめに気がついたらすぐに先生や友だちに知らせる」が34.2%となっています。

「高校生」では、「学校にいじめを許さない雰囲気を作る」が53.4%と最も高く、次いで「いじめの相談がしやすいようにする」が25.3%となっています。

「特別支援学級」では、「いじめに気がついたらすぐに先生や友だちに知らせる」が37.5%と最も高く、次いで「いじめをしてはいけないことを先生がしっかりと教える」が29.2%となっています。



項目	小学生		中学生		高校生		特別支援学級	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
いじめをしてはいけないことを先生がしっかりと教える	168	20.6%	86	15.7%	13	8.9%	14	29.2%
児童や生徒を中心とした「いじめ対策委員会」の活動を活発にする	166	20.4%	79	14.4%	2	1.4%	8	16.7%
学校にいじめを許さない雰囲気を作る	314	38.6%	318	58.1%	78	53.4%	10	20.8%
先生がいじめから全力で守ってくれる	123	15.1%	86	15.7%	19	13.0%	8	16.7%
いじめの相談がしやすいようにする	265	32.6%	156	28.5%	37	25.3%	12	25.0%
いじめた人を厳しく罰する	102	12.5%	100	18.3%	33	22.6%	4	8.3%
地域の方や保護者が先生と連絡を取り合い、協力する	67	8.2%	30	5.5%	1	0.7%	7	14.6%
いじめをしてはいけないことを保護者がしっかりと教える	83	10.2%	35	6.4%	18	12.3%	9	18.8%
いじめの体験談を聞いたり、いじめについて学習したりする	249	30.6%	96	17.6%	6	4.1%	8	16.7%
自信のない子に、自信が持てるように声をかけ、励ます	285	35.0%	179	32.7%	23	15.8%	12	25.0%
いじめに気がついたらすぐに先生や友だちに知らせる	327	40.2%	187	34.2%	27	18.5%	18	37.5%
その他	20	2.5%	16	2.9%	8	5.5%	0	0.0%
わからない	20	2.5%	32	5.9%	19	13.0%	8	16.7%
無回答	11	1.4%	8	1.5%	3	2.1%	1	2.1%
回答者数	814		547		146		48	

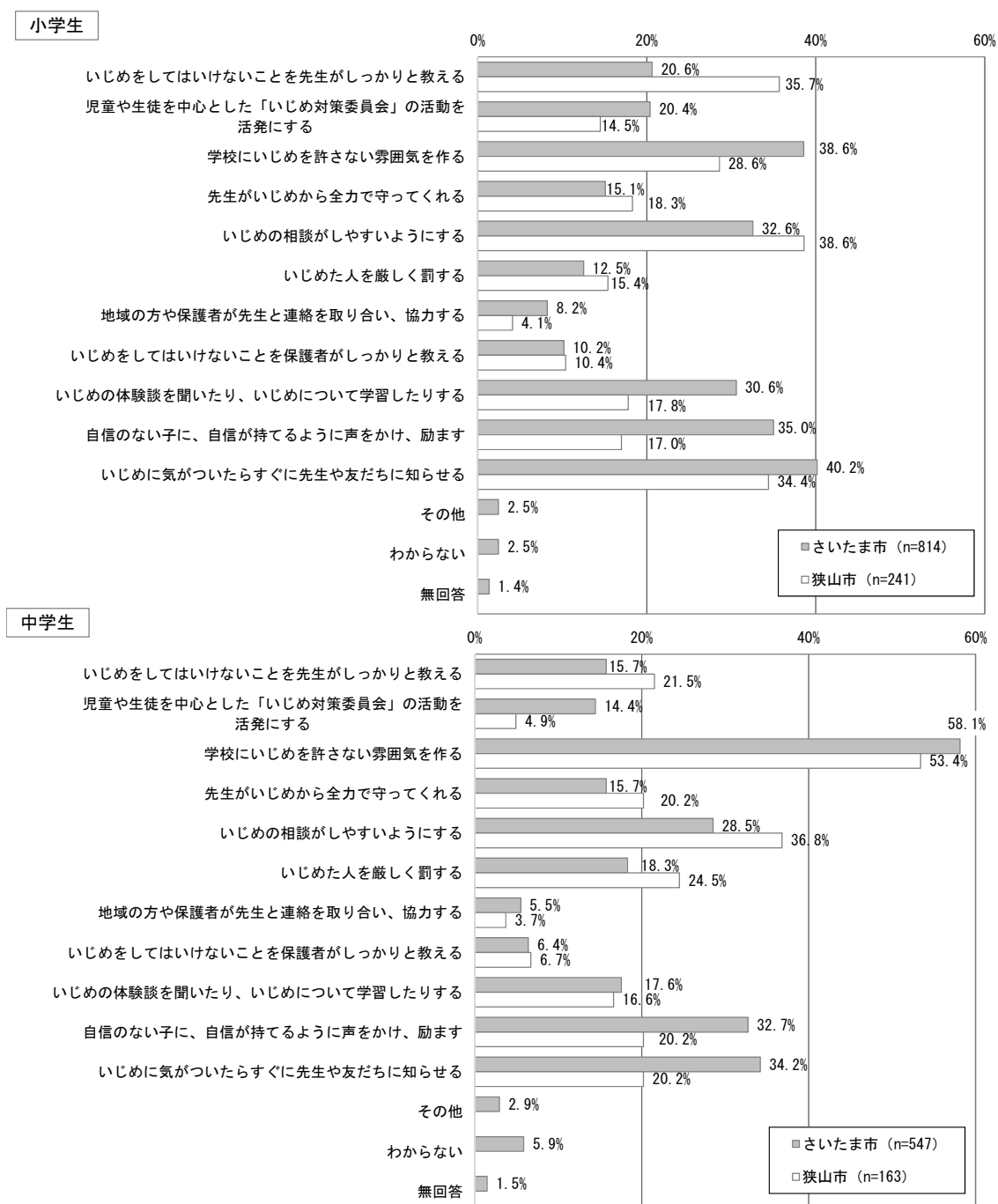
■平成 28 年度狭山市「教育振興基本計画策定のためのアンケート調査」結果との比較

【狭山市設問】 どうしたらいじめを減らしたり、解決したりできると思いますか。（3つまで〇）

※グラフに数値の記載はありませんが、狭山市も「その他」と「わからない」の選択肢は設けられています。

どうしたらいじめを減らすことができると思うかについて、「小学生」では、「学校にいじめを許さない雰囲気を作る」、「いじめの体験談を聞いたり、いじめについて学習したりする」、「自信のない子に、自信がもてるように声をかけ、励ます」などで、10 ポイント以上本市の回答は高く、「いじめをしてはいけないことを先生がしっかりと教える」では 15 ポイント低くなっています。

「中学生」では、「小学生」で見られた両市間の違いは概ね縮小していますが、「いじめ対策委員会」と「いじめに気がついたらすぐに先生や友達に知らせる」では逆に拡大しています。

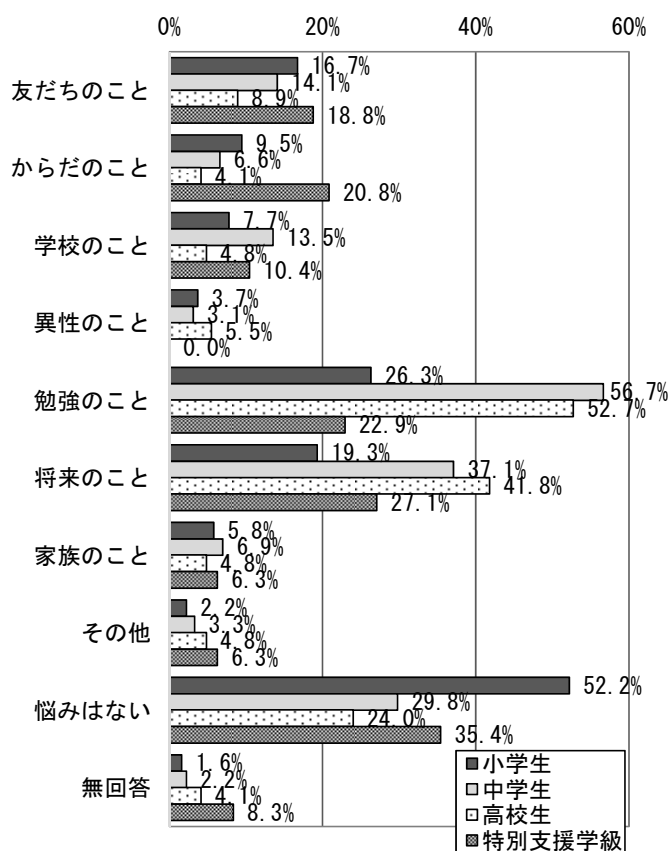


問9 あなたが悩んでいることや、気がかりなことは何ですか。(〇はいくつでも)

悩みや気がかりなことについては、「小学生」では、「悩みはない」が52.2%と最も高く、次いで「勉強のこと」が26.3%となっています。「中学生」では、「勉強のこと」が56.7%と最も高く、次いで「将来のこと」が37.1%となっています。「高校生」では、「勉強のこと」が52.7%と最も高く、次いで「将来のこと」が41.8%となっています。

「特別支援学級」では、「悩みはない」が35.4%と最も高く、次いで「将来のこと」が27.1%となっています。

「勉強のこと」の悩みは「小学生」から「中学生」にかけて倍増し、「高校生」でも高い割合となっています。また、「将来のこと」は、年代とともに徐々に高くなる傾向にあり、「悩みはない」との回答は年代とともに低くなっています。

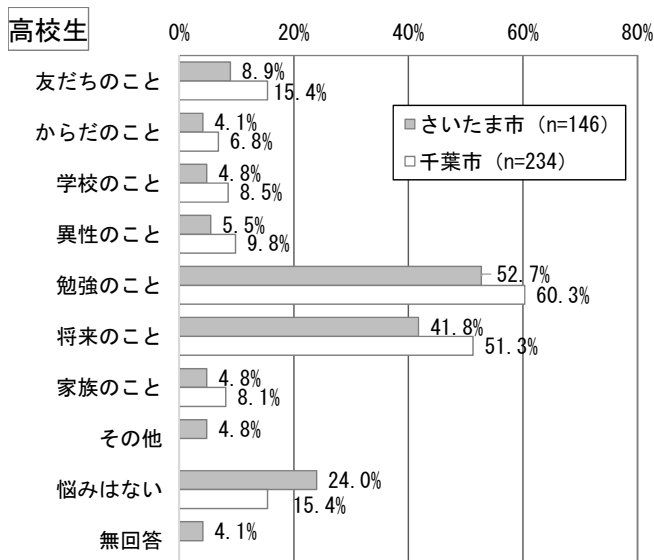
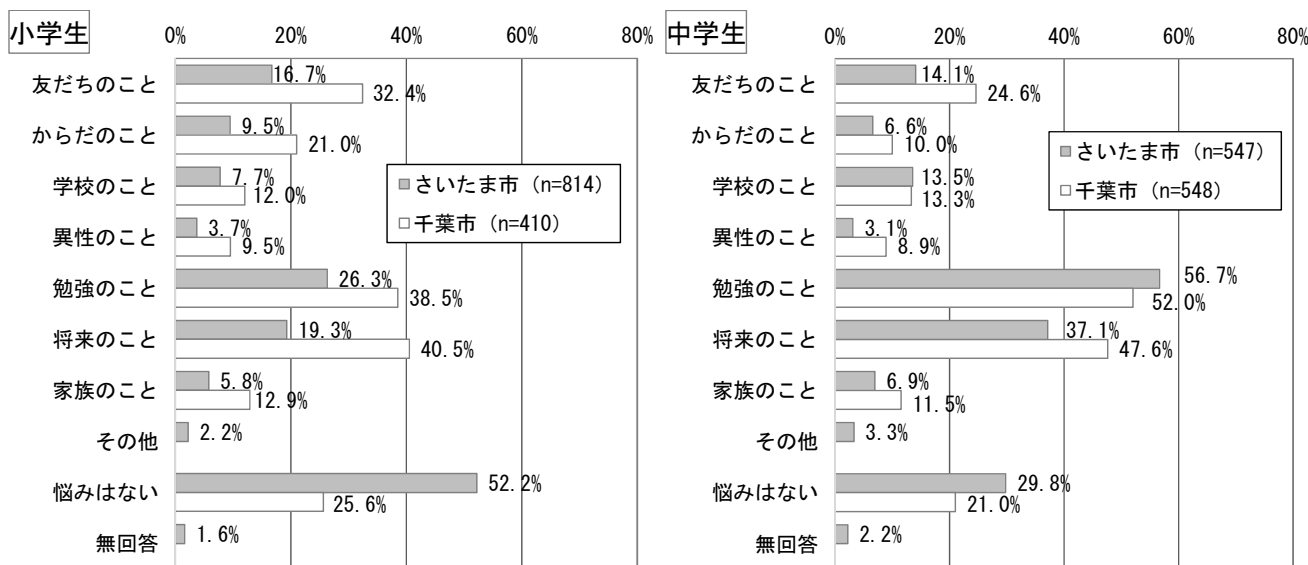


項目	小学生		中学生		高校生		特別支援学級	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
友だちのこと	136	16.7%	77	14.1%	13	8.9%	9	18.8%
からだのこと	77	9.5%	36	6.6%	6	4.1%	10	20.8%
学校のこと	63	7.7%	74	13.5%	7	4.8%	5	10.4%
異性のこと	30	3.7%	17	3.1%	8	5.5%	0	0.0%
勉強のこと	214	26.3%	310	56.7%	77	52.7%	11	22.9%
将来のこと	157	19.3%	203	37.1%	61	41.8%	13	27.1%
家族のこと	47	5.8%	38	6.9%	7	4.8%	3	6.3%
その他	18	2.2%	18	3.3%	7	4.8%	3	6.3%
悩みはない	425	52.2%	163	29.8%	35	24.0%	17	35.4%
無回答	13	1.6%	12	2.2%	6	4.1%	4	8.3%
回答者数	814		547		146		48	

■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

【千葉市設問】あなたが悩んでいることや、気がかりなことは何ですか。次の中から選んでください。(いくつでも)

悩みについて、「小学生」では、「悩みはない」との回答が本市では千葉市の2倍に達しており、各悩みについての回答は少なくなっています。この傾向は、「中学生」・「高校生」でも同様で、「中学生」における「勉強のこと」(本市 56.7%、千葉市 52.0%)と「学校のこと」(本市 13.5%、千葉市 13.3%)を除き、全ての悩みで本市は千葉市よりも低い回答となっています。



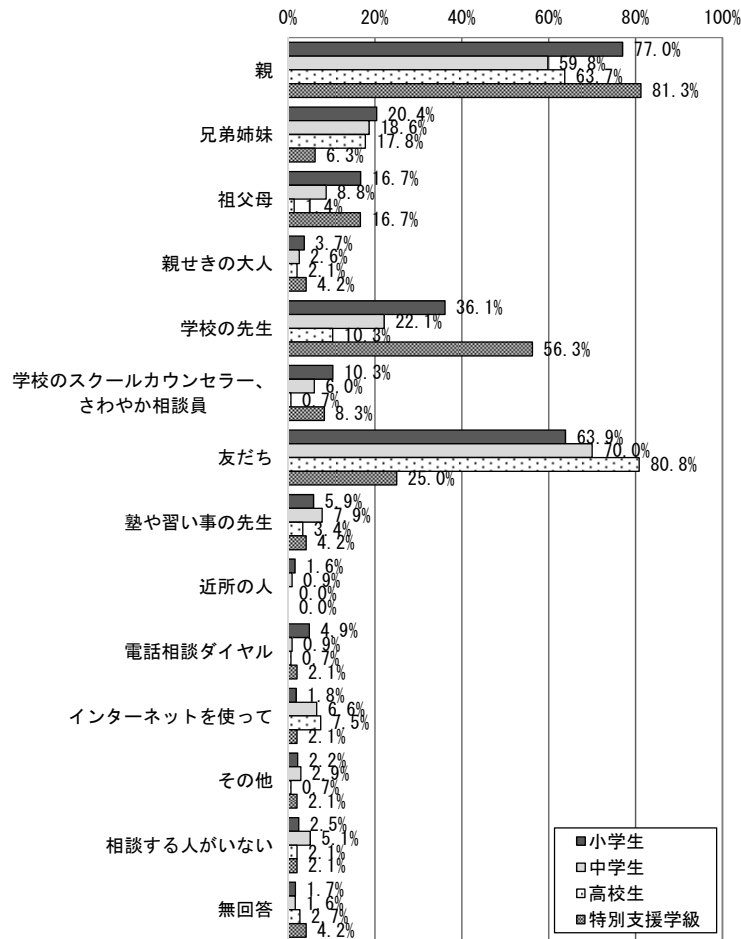
問10 あなたは悩みや不安なことや、自分だけでは解決できないことがあるとき、誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

相談相手については、「小学生」では、「親」が77.0%と最も高く、次いで「友だち」が63.9%となっています。

「中学生」では、「友だち」が70.0%と最も高く、次いで「親」が59.8%となっています。

「高校生」では、「友だち」が80.8%と最も高く、次いで「親」が63.7%となっています。

「特別支援学級」では、「親」が81.3%と最も高く、次いで「学校の先生」が56.3%となっています。



項目	小学生		中学生		高校生		特別支援学級	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
親	627	77.0%	327	59.8%	93	63.7%	39	81.3%
兄弟姉妹	166	20.4%	102	18.6%	26	17.8%	3	6.3%
祖父母	136	16.7%	48	8.8%	2	1.4%	8	16.7%
親せきの大人	30	3.7%	14	2.6%	3	2.1%	2	4.2%
学校の先生	294	36.1%	121	22.1%	15	10.3%	27	56.3%
学校のスクールカウンセラー、 さわやか相談員	84	10.3%	33	6.0%	1	0.7%	4	8.3%
友だち	520	63.9%	383	70.0%	118	80.8%	12	25.0%
塾や習い事の先生	48	5.9%	43	7.9%	5	3.4%	2	4.2%
近所の人	13	1.6%	5	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
電話相談ダイヤル	40	4.9%	5	0.9%	1	0.7%	1	2.1%
インターネットを使って	15	1.8%	36	6.6%	11	7.5%	1	2.1%
その他	18	2.2%	16	2.9%	1	0.7%	1	2.1%
相談する人がいない	20	2.5%	28	5.1%	3	2.1%	1	2.1%
無回答	14	1.7%	9	1.6%	4	2.7%	2	4.2%
回答者数	814		547		146		48	

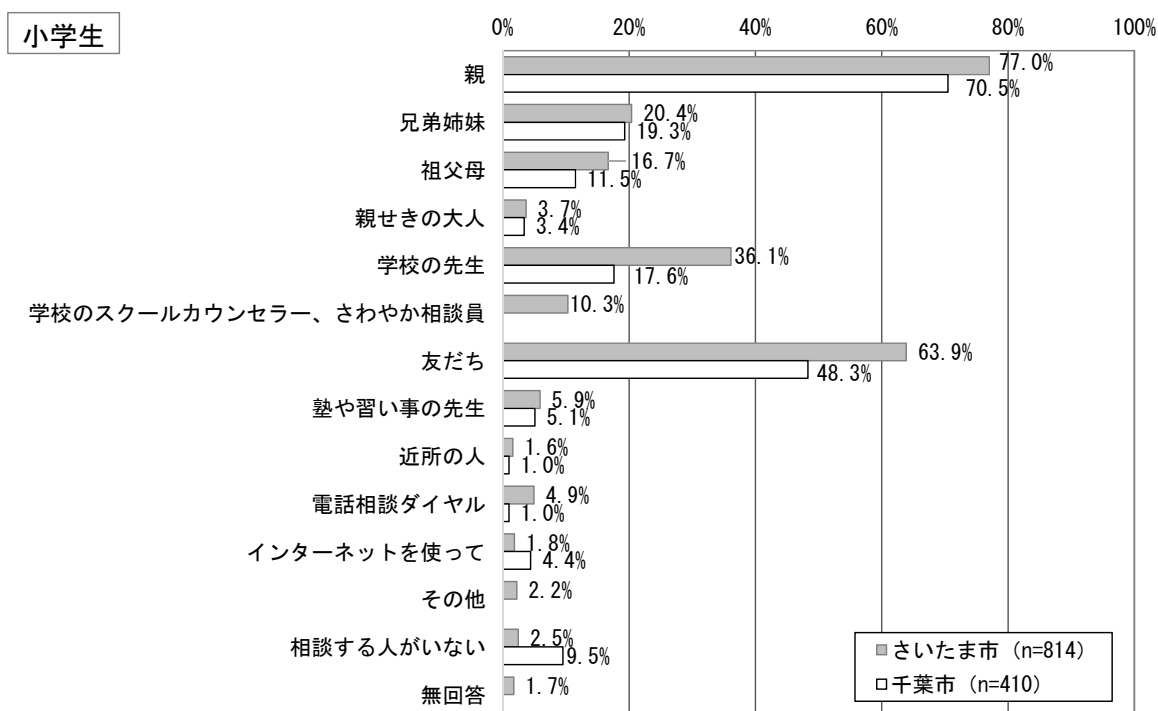
■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

【千葉市設問】あなたは悩みや不安なことや、自分だけでは解決できないことがあるとき、誰に相談しますか。次の中から選んでください。（いくつでも）

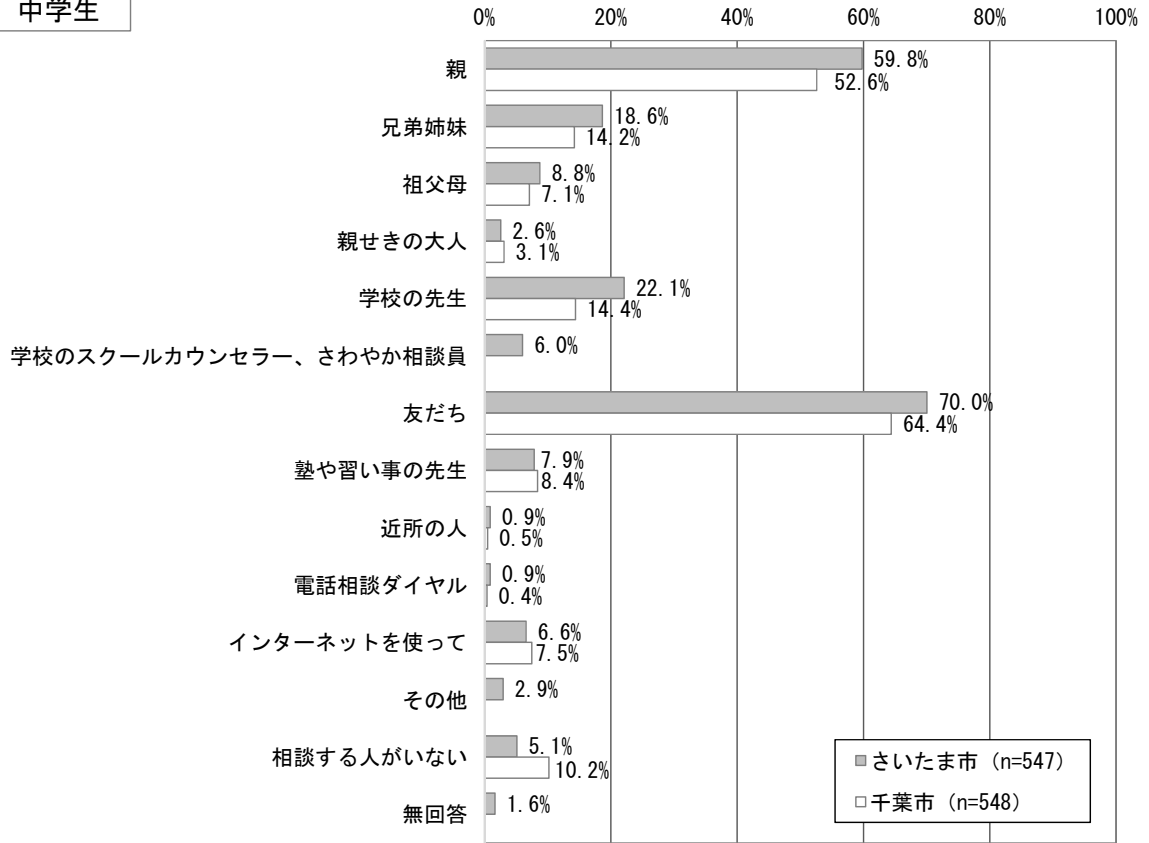
※千葉市の設問では「学校のスクールカウンセラー、さわやか相談員」は選択肢にありません。

相談相手として、「小学生」では、本市・千葉市とも「親」との回答が 7 割を超えて最も高く、次いで「友だち」が多くなっていますが、その回答割合は、本市が 63.9%に対し千葉市は 48.3%と、15 ポイント余りの差があり、「学校の先生」との回答も、本市は 36.1%、千葉市は 17.6%と本市のほうが多くなっています。また、「相談する人がいない」との回答は、本市 2.5%に対し千葉市 9.5%と、本市のほうが少ないです。

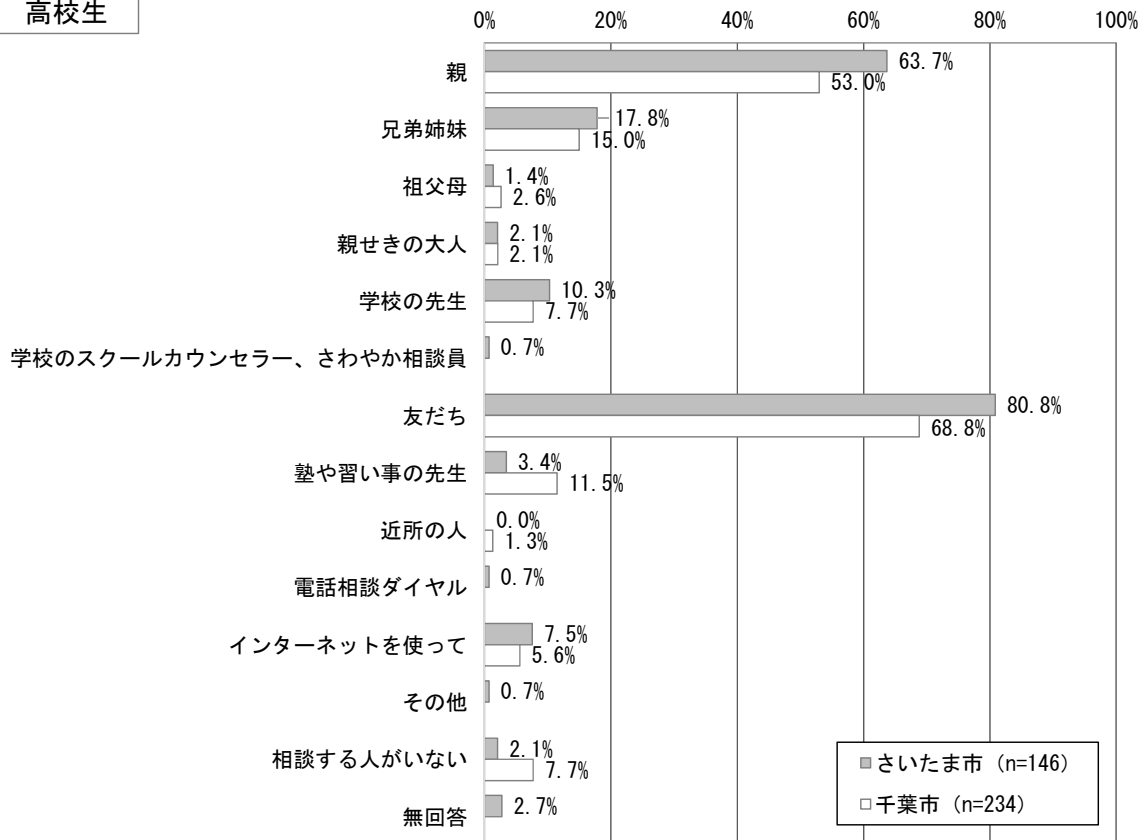
「中学生」・「高校生」でも同様の傾向で、「中学生」の「学校の先生」との回答は、本市 22.1%、千葉市 14.4%と本市が高く、「相談する人がいない」との回答は、本市 5.1%に対し千葉市 10.2%と本市のほうが少ないです。「高校生」の「学校の先生」との回答は、本市 10.3%、千葉市 7.7%と、差は「小学生」・「中学生」と比較して縮小していますが、依然本市が高く、「相談する人がいない」との回答は、本市 2.1%に対し千葉市 7.7%と本市のほうが少ないです。



中学生



高校生



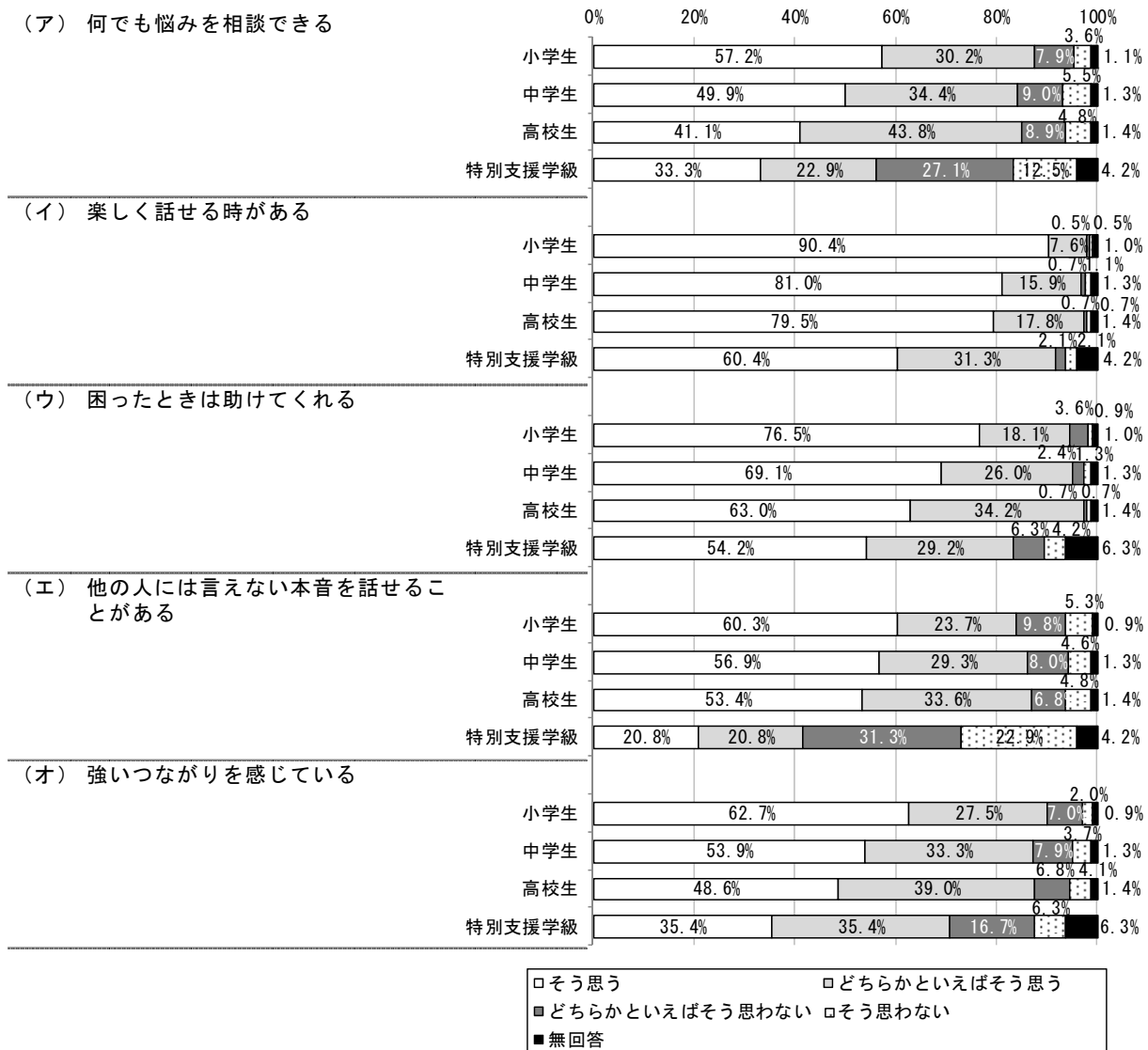
問11 学校で出会った友だちとあなたのかかわりはどのようなものですか。(それぞれ1つに○)

学校の友だちとのかかわりについては、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせると、「小学生」では、「楽しく話せるときがある」が98.0%と最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」が94.6%となっています。

「中学生」では、「楽しく話せるときがある」が96.9%と最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」が95.1%となっています。

「高校生」では、「楽しく話せるときがある」が97.3%と最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」が97.2%となっています。

「特別支援学級」では、「楽しく話せるときがある」が91.7%と最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」が83.4%となっています。



項目(度数)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 何でも悩みを相談できる						
小学生	466	246	64	29	9	814
中学生	273	188	49	30	7	547
高校生	60	64	13	7	2	146
特別支援学級	16	11	13	6	2	48
(イ) 楽しく話せる時がある						
小学生	736	62	4	4	8	814
中学生	443	87	4	6	7	547
高校生	116	26	1	1	2	146
特別支援学級	29	15	1	1	2	48
(ウ) 困ったときは助けてくれる						
小学生	623	147	29	7	8	814
中学生	378	142	13	7	7	547
高校生	92	50	1	1	2	146
特別支援学級	26	14	3	2	3	48
(エ) 他の人には言えない本音を話せることがある						
小学生	491	193	80	43	7	814
中学生	311	160	44	25	7	547
高校生	78	49	10	7	2	146
特別支援学級	10	10	15	11	2	48
(オ) 強いつながりを感じている						
小学生	510	224	57	16	7	814
中学生	295	182	43	20	7	547
高校生	71	57	10	6	2	146
特別支援学級	17	17	8	3	3	48

項目(度数)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 何でも悩みを相談できる						
小学生	57.2%	30.2%	7.9%	3.6%	1.1%	100.0%
中学生	49.9%	34.4%	9.0%	5.5%	1.3%	100.0%
高校生	41.1%	43.8%	8.9%	4.8%	1.4%	100.0%
特別支援学級	33.3%	22.9%	27.1%	12.5%	4.2%	100.0%
(イ) 楽しく話せる時がある						
小学生	90.4%	7.6%	0.5%	0.5%	1.0%	100.0%
中学生	81.0%	15.9%	0.7%	1.1%	1.3%	100.0%
高校生	79.5%	17.8%	0.7%	0.7%	1.4%	100.0%
特別支援学級	60.4%	31.3%	2.1%	2.1%	4.2%	100.0%
(ウ) 困ったときは助けてくれる						
小学生	76.5%	18.1%	3.6%	0.9%	1.0%	100.0%
中学生	69.1%	26.0%	2.4%	1.3%	1.3%	100.0%
高校生	63.0%	34.2%	0.7%	0.7%	1.4%	100.0%
特別支援学級	54.2%	29.2%	6.3%	4.2%	6.3%	100.0%
(エ) 他の人には言えない本音を話せることがある						
小学生	60.3%	23.7%	9.8%	5.3%	0.9%	100.0%
中学生	56.9%	29.3%	8.0%	4.6%	1.3%	100.0%
高校生	53.4%	33.6%	6.8%	4.8%	1.4%	100.0%
特別支援学級	20.8%	20.8%	31.3%	22.9%	4.2%	100.0%
(オ) 強いつながりを感じている						
小学生	62.7%	27.5%	7.0%	2.0%	0.9%	100.0%
中学生	53.9%	33.3%	7.9%	3.7%	1.3%	100.0%
高校生	48.6%	39.0%	6.8%	4.1%	1.4%	100.0%
特別支援学級	35.4%	35.4%	16.7%	6.3%	6.3%	100.0%

■平成 28 年度内閣府「子供・若者の意識に関する調査」結果との比較

【内閣府設問】学校で出会った友人とあなたのかかわりはどのようなものですか。（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）（単数回答）

※内閣府調査では、「高校生」との区分がないため、本市の「高校生」と「15～19 歳」の年代との比較を行いました。また、性別で区分された結果のみが提示されているため、男性と女性を併記しました。

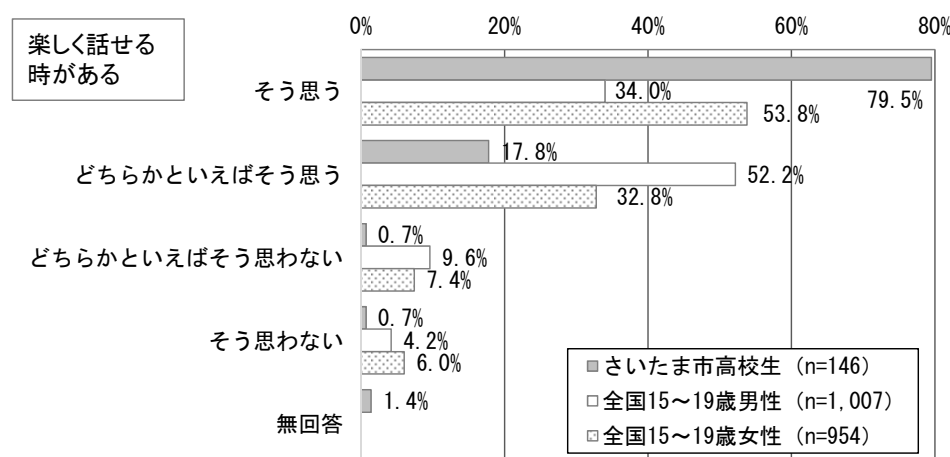
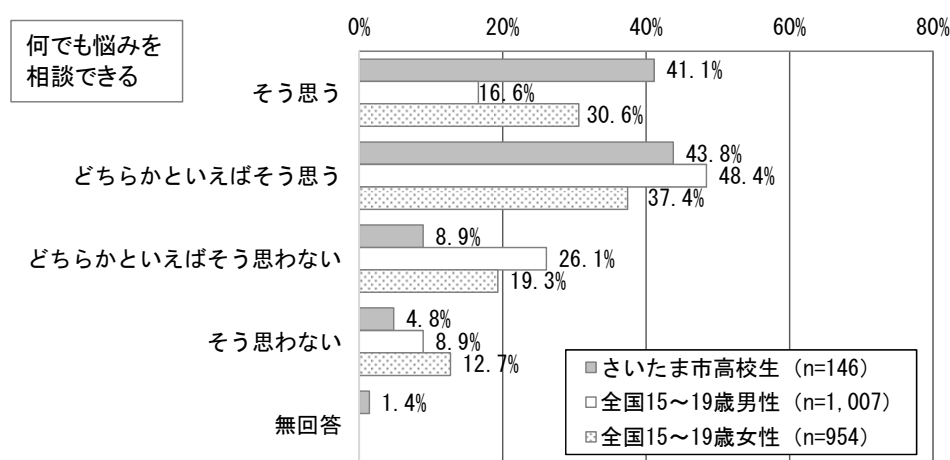
「何でも悩みを相談できる」について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的回答の割合は、本市 84.9%に対して、全国（15～19 歳、以下同様）の男性は 65.0%、女性は 68.0%と、本市のほうが 20 ポイント近く高くなっています。

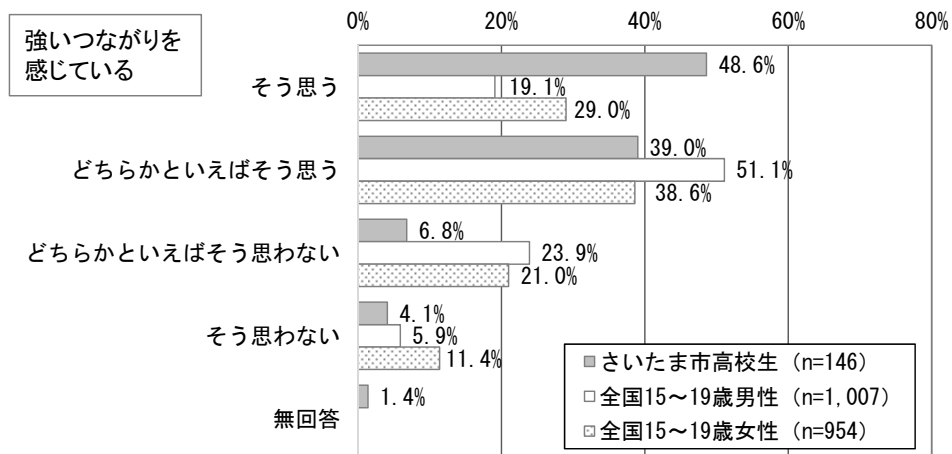
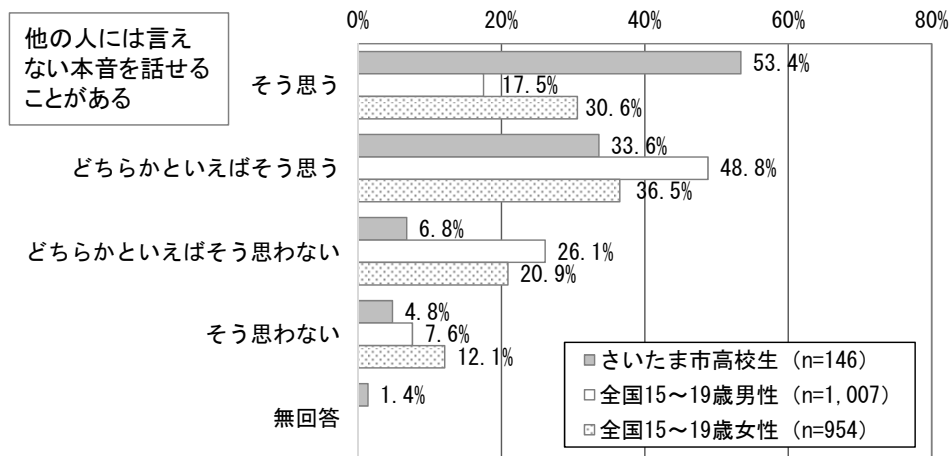
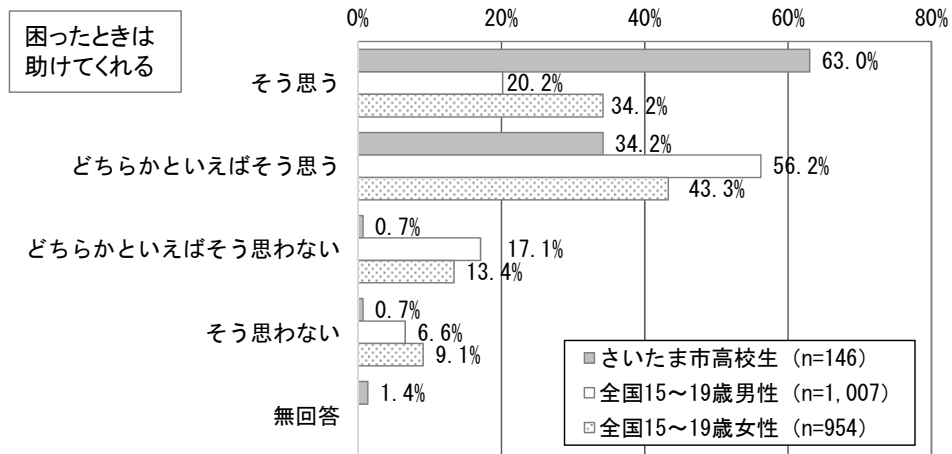
「楽しく話せる時がある」について肯定的回答は、本市 97.3%に対して、全国の男性は 86.2%、女性は 86.6%と、本市のほうが 10 ポイント余り高くなっています。

「困ったときは助けてくれる」について肯定的回答は、本市 97.2%に対して、全国の男性は 76.4%、女性は 77.5%と、本市のほうが 20 ポイント程度高くなっています。

「他の人には言えない本音を話せることがある」について肯定的回答は、本市 87.0%に対して、全国の男性は 66.3%、女性は 67.1%と、本市のほうが 20 ポイント程度高くなっています。

「強いつながりを感じている」について肯定的回答は、本市 87.6%に対して、全国の男性は 70.2%、女性は 67.6%と、本市のほうが 20 ポイント程度高くなっています。





④ 将来について

問12 あなたは、働くことについてどのように考えていますか。次の中から特にあてはまるものを選んでください。(1つに〇)

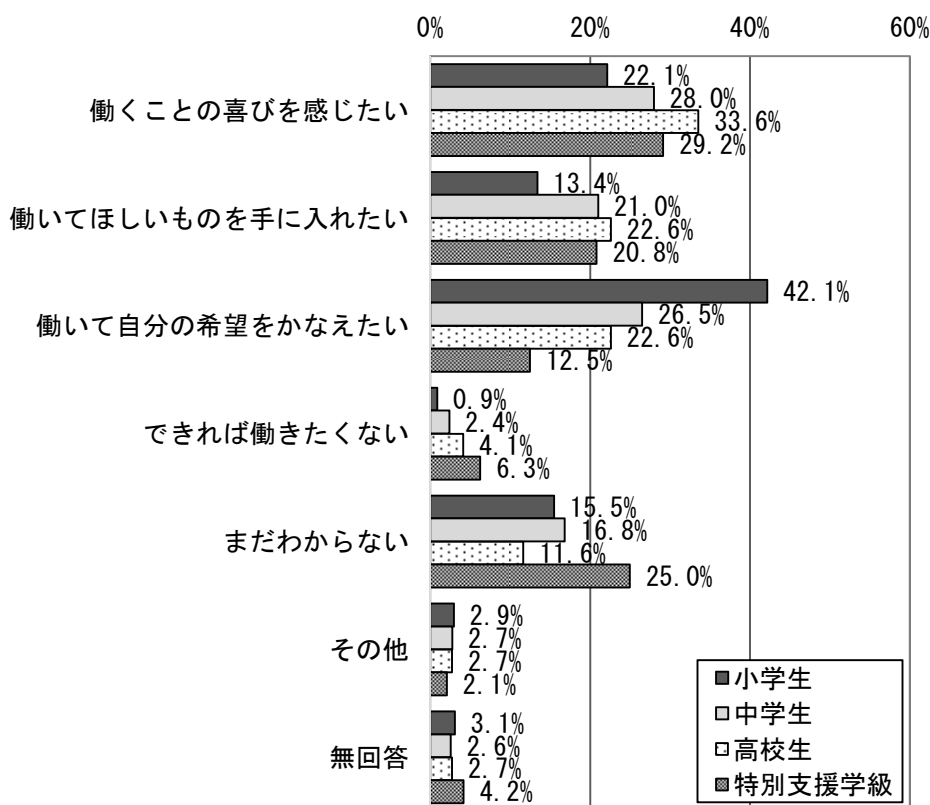
働くことについて、「小学生」では、「働いて自分の希望をかなえたい」が42.1%と最も高く、次いで「働くことの喜びを感じたい」が22.1%となっています。

「中学生」では、「働くことの喜びを感じたい」が28.0%と最も高く、次いで「働いて自分の希望をかなえたい」が26.5%となっています。

「高校生」では、「働くことの喜びを感じたい」が33.6%と最も高く、次いで「働いてほしいものを手に入れたい」、「働いて自分の希望をかなえたい」が同率で22.6%となっています。

「特別支援学級」では、「働くことの喜びを感じたい」が29.2%と最も高く、次いで「まだわからない」が25.0%となっています。

「働いて自分の希望をかなえたい」が年代とともに回答割合が減少するのに対し、「働くことの喜びを感じたい」は年代とともに、回答は増加しています。

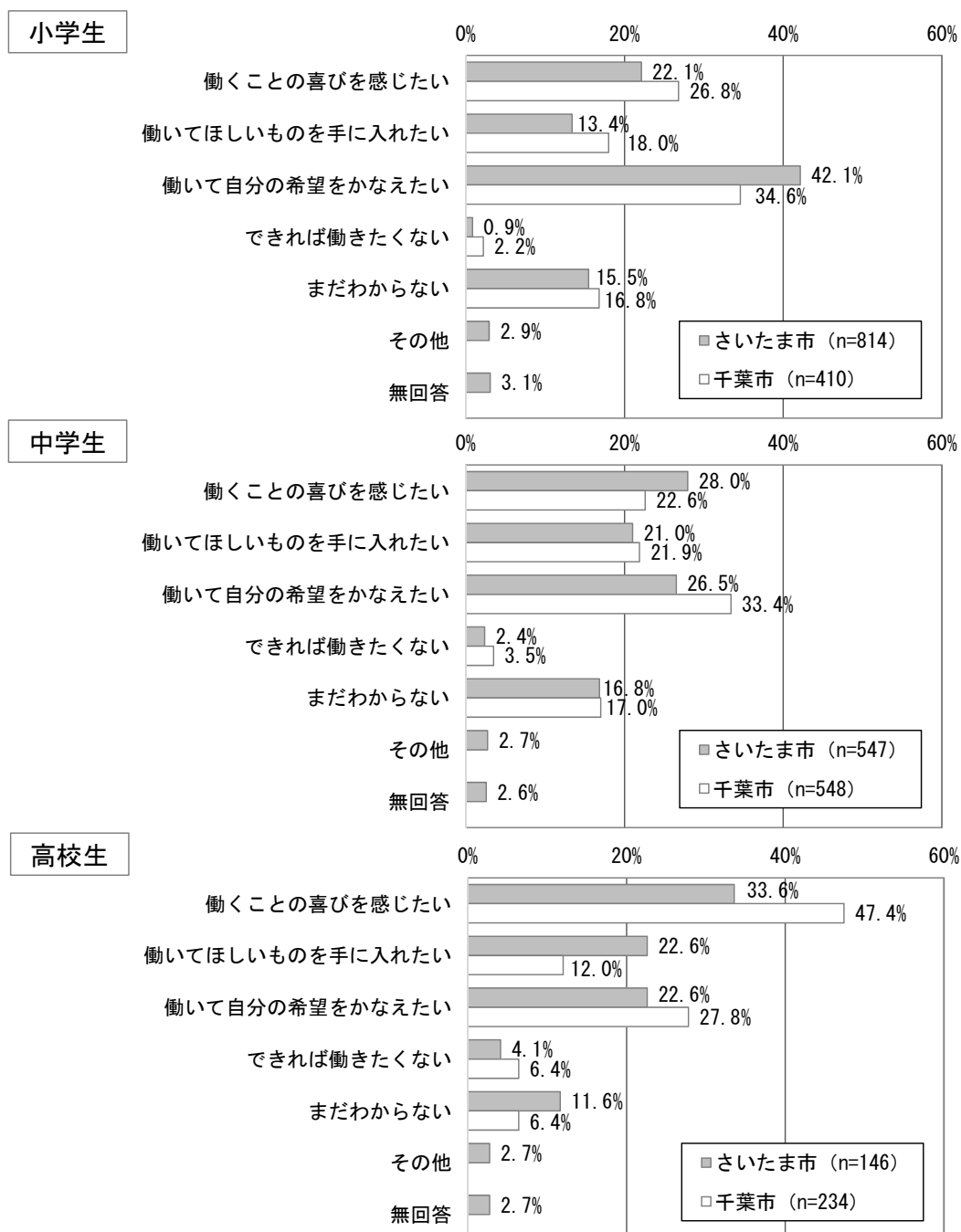


項目	小学生		中学生		高校生		特別支援学級	
	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比
働くことの喜びを感じたい	180	22.1%	153	28.0%	49	33.6%	14	29.2%
働いてほしいものを手に入れたい	109	13.4%	115	21.0%	33	22.6%	10	20.8%
働いて自分の希望をかなえたい	343	42.1%	145	26.5%	33	22.6%	6	12.5%
できれば働きたくない	7	0.9%	13	2.4%	6	4.1%	3	6.3%
まだわからない	126	15.5%	92	16.8%	17	11.6%	12	25.0%
その他	24	2.9%	15	2.7%	4	2.7%	1	2.1%
無回答	25	3.1%	14	2.6%	4	2.7%	2	4.2%
合計	814	100.0%	547	100.0%	146	100.0%	48	100.0%

■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

【千葉市設問】あなたは、はたらくことについてどのように考えていますか。次の中からあてはまるものを選んでください。（単数回答）

働くことについて、「小学生」から「高校生」まで、本市・千葉市とも回答は類似しています。違いが比較的大きいのは、「小学生」の「働いて自分の希望をかなえたい」（本市 42.1%、千葉市 34.6%）、「中学生」の「働いて自分の希望をかなえたい」（本市 26.5%、千葉市 33.4%）、「高校生」の「働くことの喜びを感じたい」（本市 33.6%、千葉市 47.4%）及び「働いてほしいものを手にいれたい」（本市 22.6%、千葉市 12.0%）などとなっています。また、「高校生」の「まだわからない」が本市では 11.6%あり、千葉市の 6.4%と比較するとやや高くなっています。



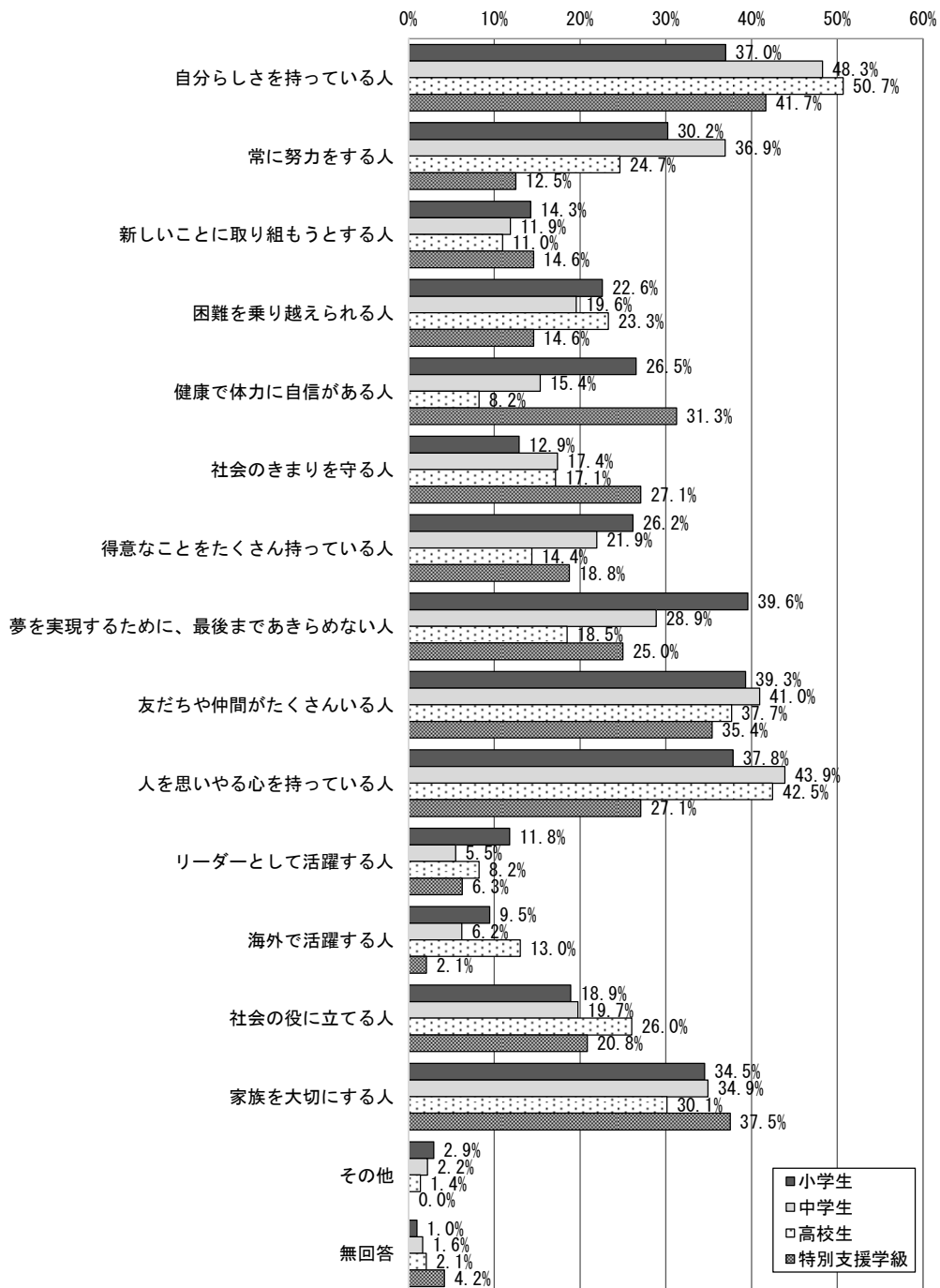
問13 あなたは、将来どんな大人になりたいですか。(4つまでに○)

将来になりたい大人について、「小学生」では、「夢を実現するために、最後まであきらめない人」が39.6%と最も高く、次いで「友だちや仲間がたくさんいる人」が39.3%となっていますが、前者は「中学生」では28.9%、「高校生」では18.5%と年代とともに減少しています。

「中学生」では、「自分らしさを持っている人」が48.3%と最も高く、次いで「人を思いやる心を持っている人」が43.9%となっています。

「高校生」では、「自分らしさを持っている人」が50.7%と最も高く、次いで「人を思いやる心を持っている人」が42.5%となっています。

「特別支援学級」では、「自分らしさを持っている人」が41.7%と最も高く、次いで「家族を大切にしている人」が37.5%となっています。

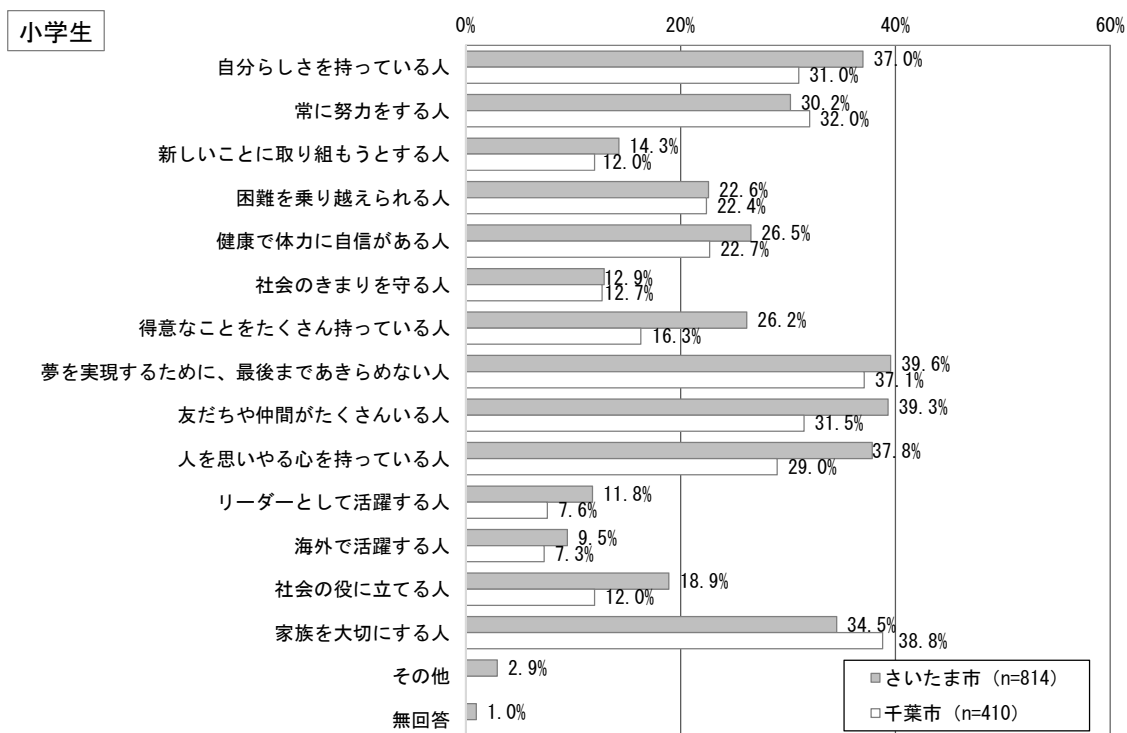


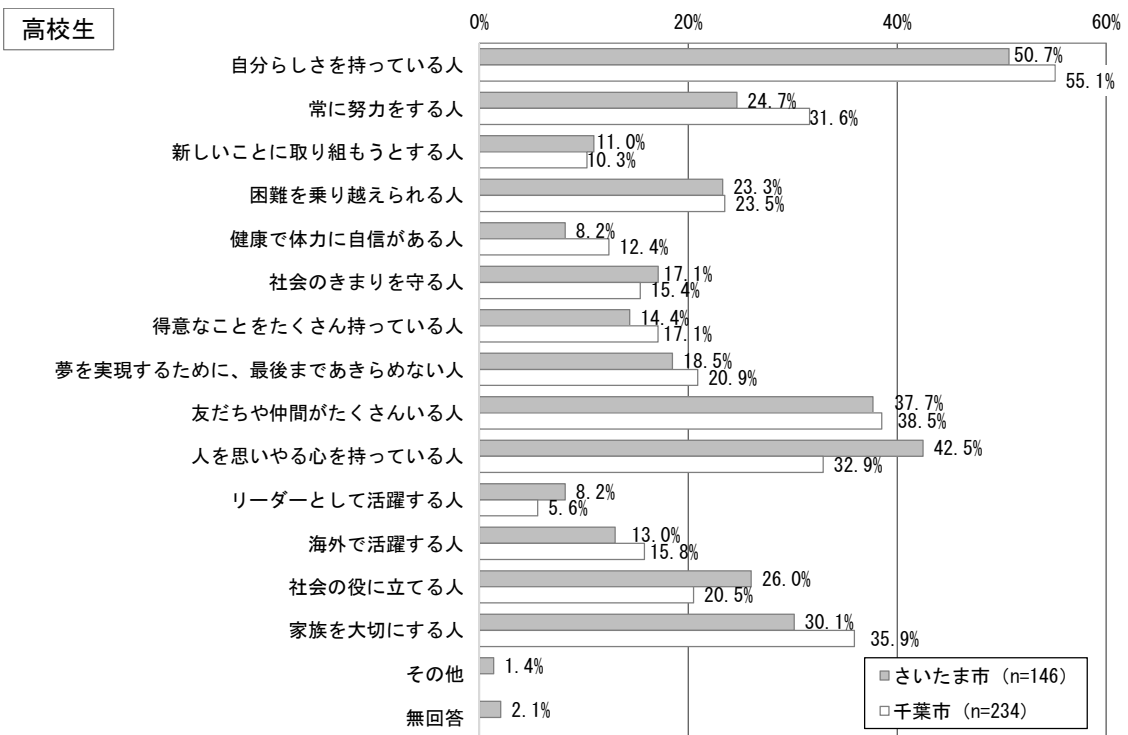
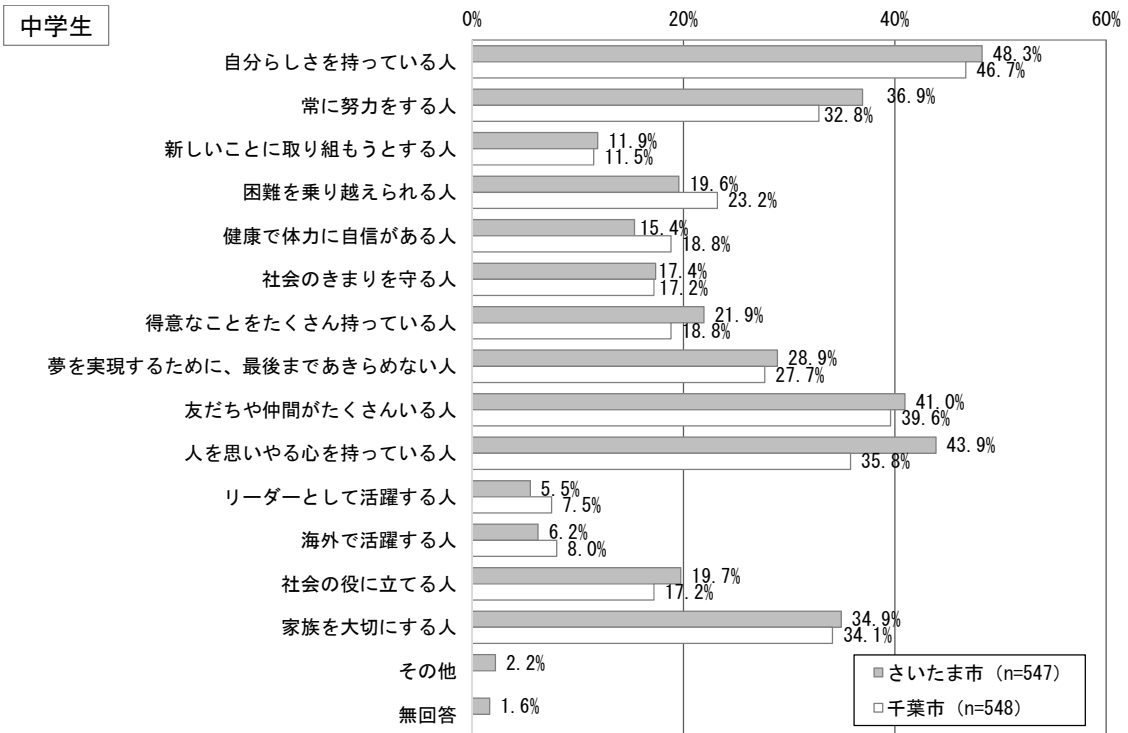
項目	小学生		中学生		高校生		特別支援学級	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
自分らしさを持っている人	301	37.0%	264	48.3%	74	50.7%	20	41.7%
常に努力をする人	246	30.2%	202	36.9%	36	24.7%	6	12.5%
新しいことに取り組もうとする人	116	14.3%	65	11.9%	16	11.0%	7	14.6%
困難を乗り越えられる人	184	22.6%	107	19.6%	34	23.3%	7	14.6%
健康で体力に自信がある人	216	26.5%	84	15.4%	12	8.2%	15	31.3%
社会のきまりを守る人	105	12.9%	95	17.4%	25	17.1%	13	27.1%
得意なことをたくさん持っている人	213	26.2%	120	21.9%	21	14.4%	9	18.8%
夢を実現するために、最後まであきらめない人	322	39.6%	158	28.9%	27	18.5%	12	25.0%
友だちや仲間がたくさんいる人	320	39.3%	224	41.0%	55	37.7%	17	35.4%
人を思いやる心を持っている人	308	37.8%	240	43.9%	62	42.5%	13	27.1%
リーダーとして活躍する人	96	11.8%	30	5.5%	12	8.2%	3	6.3%
海外で活躍する人	77	9.5%	34	6.2%	19	13.0%	1	2.1%
社会の役に立てる人	154	18.9%	108	19.7%	38	26.0%	10	20.8%
家族を大切に人	281	34.5%	191	34.9%	44	30.1%	18	37.5%
その他	24	2.9%	12	2.2%	2	1.4%	0	0.0%
無回答	8	1.0%	9	1.6%	3	2.1%	2	4.2%
回答者数	814		547		146		48	

■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

【千葉市設問】あなたは、将来どんな大人になりたいですか。次の中から特にあてはまるものを選んでください。(4 つまで)

将来なりたい大人について、本市と千葉市とで違いが比較的大きいのは、「小学生」の「得意なことをたくさん持っている人」(本市 26.2%、千葉市 (16.3%)、「人を思いやる心を持っている人」(本市 37.8%、千葉市 29.0%)、「友だちや仲間がたくさんいる人」(本市 39.3%、千葉市 31.5%)、「中学生」の「人を思いやる心を持っている人」(本市 43.9%、千葉市 35.8%)、「高校生」の「人を思いやる心を持っている人」(本市 42.5%、千葉市 32.9%) などとなっています。また、「社会の役に立てる人」は「小学生」から「高校生」まで、本市のほうが千葉市よりも高くなっています。



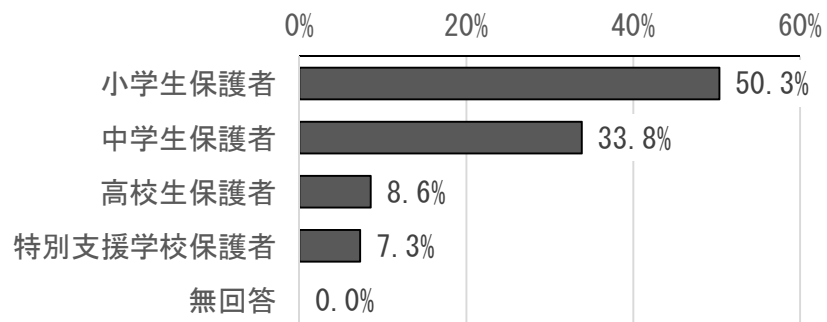


保護者調査結果

① お子さんについて

問1 お子さんは現在、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

「小学生保護者」が50.3%、「中学生保護者」が33.8%、「高校生保護者」が8.6%、「特別支援学校保護者」が7.3%となっています。



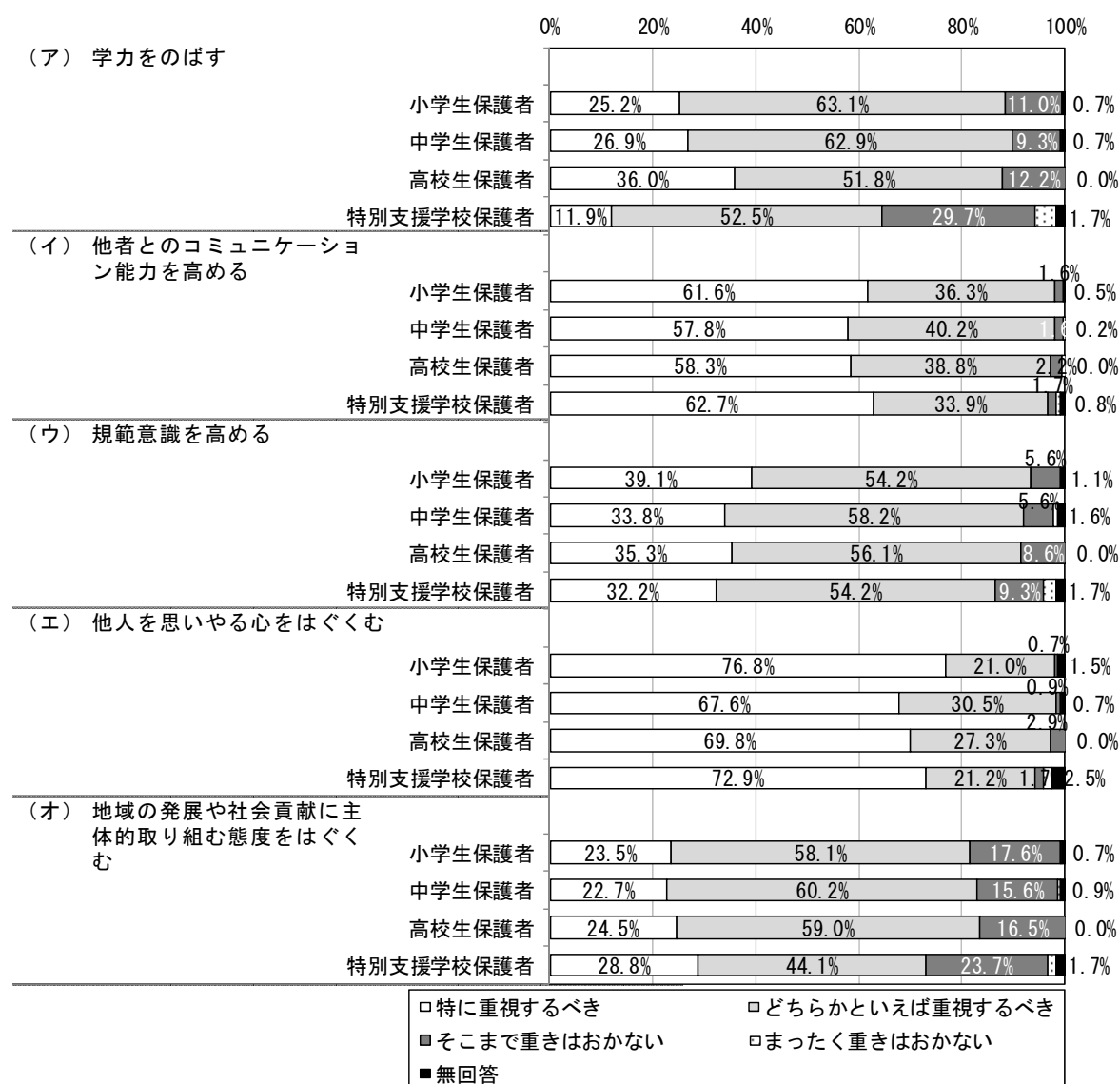
項目	度数	構成比
小学生保護者	818	50.3%
中学生保護者	550	33.8%
高校生保護者	139	8.6%
特別支援学校保護者	118	7.3%
無回答	0	0.0%
合計	1,625	100.0%

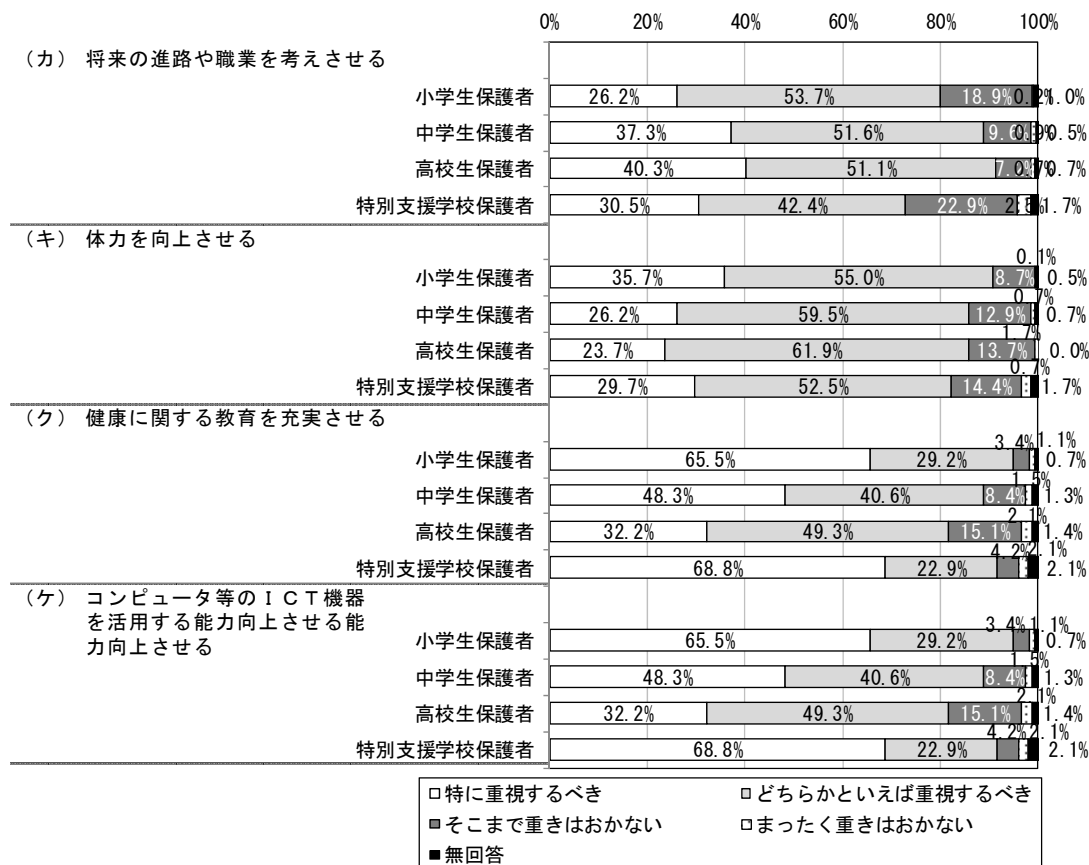
② 教育やしつけについて

問2 今後の子どもに対する家庭での教育について、どのように思いますか。
(それぞれ1つに〇)

今後の子どもに対する家庭での教育について、「特に重視すべき」が最も高いものは、「他人を思いやる心はぐくむ」で「小学生保護者」が76.8%、「中学生保護者」が67.6%、「高校生保護者」69.8%、「特別支援学校保護者」が72.9%となっています。

「小学生保護者」と「特別支援学校保護者」では「健康に関する教育を充実させる」、「コンピュータ等のICT機器を活用する能力向上させる」が同率の65.5%、65.8%で続き、「中学生保護者」と「高校生保護者」では「他者とのコミュニケーション能力を高める」がそれぞれ57.8%と58.3%で続いています。





項目(度数)	特に重視するべき	どちらかといえば重視するべき	そこまで重きはおかない	まったく重きはおかない	無回答	合計
(ア) 学力をのばす						
小学生保護者	206	516	90	0	6	818
中学生保護者	148	346	51	1	4	550
高校生保護者	50	72	17	0	0	139
特別支援学校保護者	14	62	35	5	2	118
(イ) 他者とのコミュニケーション能力を高める						
小学生保護者	504	297	13	0	4	818
中学生保護者	318	221	9	1	1	550
高校生保護者	81	54	3	1	0	139
特別支援学校保護者	74	40	2	1	1	118
(ウ) 規範意識を高める						
小学生保護者	320	443	46	0	9	818
中学生保護者	186	320	31	4	9	550
高校生保護者	49	78	12	0	0	139
特別支援学校保護者	38	64	11	3	2	118
(エ) 他人を思いやる心をはぐくむ						
小学生保護者	628	172	6	0	12	818
中学生保護者	372	168	5	1	4	550
高校生保護者	97	38	4	0	0	139
特別支援学校保護者	86	25	2	2	3	118
(オ) 地域の発展や社会貢献に主体的取り組む態度をはぐくむ						
小学生保護者	192	475	144	1	6	818
中学生保護者	125	331	86	3	5	550
高校生保護者	34	82	23	0	0	139
特別支援学校保護者	34	52	28	2	2	118

項目(構成比)	特に重視するべき	どちらかといえば重視するべき	そこまで重きはおかない	まったく重きはおかない	無回答	合計
(ア) 学力をのばす						
小学生保護者	25.2%	63.1%	11.0%	0.0%	0.7%	100.0%
中学生保護者	26.9%	62.9%	9.3%	0.2%	0.7%	100.0%
高校生保護者	36.0%	51.8%	12.2%	0.0%	0.0%	100.0%
特別支援学校保護者	11.9%	52.5%	29.7%	4.2%	1.7%	100.0%
(イ) 他者とのコミュニケーション能力を高める						
小学生保護者	61.6%	36.3%	1.6%	0.0%	0.5%	100.0%
中学生保護者	57.8%	40.2%	1.6%	0.2%	0.2%	100.0%
高校生保護者	58.3%	38.8%	2.2%	0.7%	0.0%	100.0%
特別支援学校保護者	62.7%	33.9%	1.7%	0.8%	0.8%	100.0%
(ウ) 規範意識を高める						
小学生保護者	39.1%	54.2%	5.6%	0.0%	1.1%	100.0%
中学生保護者	33.8%	58.2%	5.6%	0.7%	1.6%	100.0%
高校生保護者	35.3%	56.1%	8.6%	0.0%	0.0%	100.0%
特別支援学校保護者	32.2%	54.2%	9.3%	2.5%	1.7%	100.0%
(エ) 他人を思いやる心をはぐくむ						
小学生保護者	76.8%	21.0%	0.7%	0.0%	1.5%	100.0%
中学生保護者	67.6%	30.5%	0.9%	0.2%	0.7%	100.0%
高校生保護者	69.8%	27.3%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%
特別支援学校保護者	72.9%	21.2%	1.7%	1.7%	2.5%	100.0%
(オ) 地域の発展や社会貢献に主体的取り組む態度をはぐくむ						
小学生保護者	23.5%	58.1%	17.6%	0.1%	0.7%	100.0%
中学生保護者	22.7%	60.2%	15.6%	0.5%	0.9%	100.0%
高校生保護者	24.5%	59.0%	16.5%	0.0%	0.0%	100.0%
特別支援学校保護者	28.8%	44.1%	23.7%	1.7%	1.7%	100.0%

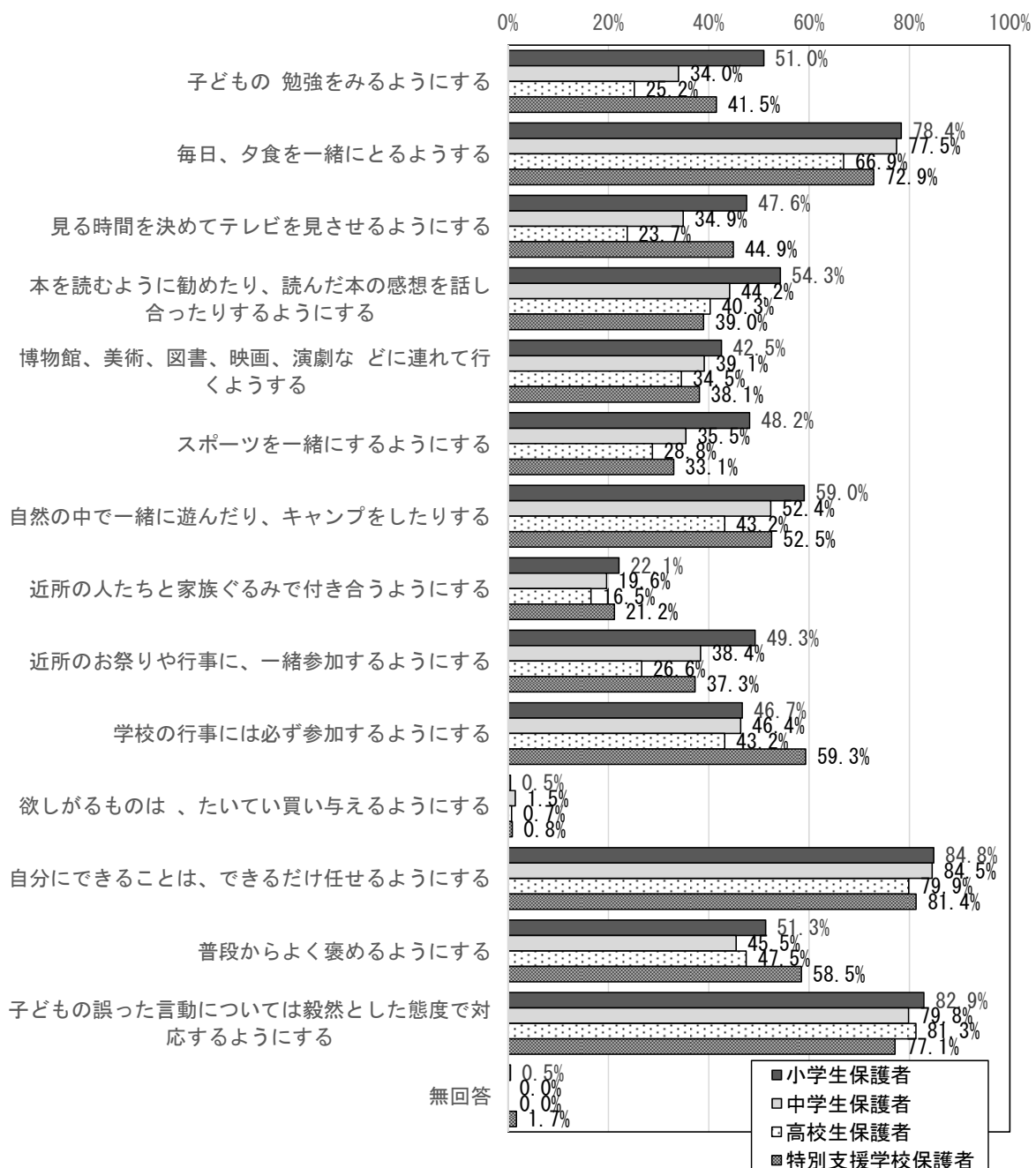
項目(度数)	特に重視するべき	どちらかといえば重視するべき	そこまで重きは おかない	まったく重きは おかない	無回答	合計
(カ) 将来の進路や職業を考えさせる						
小学生保護者	214	439	155	2	8	818
中学生保護者	205	284	53	5	3	550
高校生保護者	56	71	10	1	1	139
特別支援学校保護者	36	50	27	3	2	118
(キ) 体力を向上させる						
小学生保護者	292	450	71	1	4	818
中学生保護者	144	327	71	4	4	550
高校生保護者	33	86	19	1	0	139
特別支援学校保護者	35	62	17	2	2	118
(ク) 健康に関する教育を充実させる						
小学生保護者	210	478	122	1	7	818
中学生保護者	146	302	93	3	6	550
高校生保護者	37	75	27	0	0	139
特別支援学校保護者	34	53	27	2	2	118
(ケ) コンピュータ等のICT機器を活用する能力向上させる						
小学生保護者	157	427	216	11	7	818
中学生保護者	106	279	159	4	2	550
高校生保護者	27	74	35	3	0	139
特別支援学校保護者	19	56	39	3	1	118
(コ) その他						
小学生保護者	21	7	17	6	767	818
中学生保護者	7	5	5	8	525	550
高校生保護者	6	5	1	1	126	139
特別支援学校保護者	2	2	0	0	114	118

項目(構成比)	特に重視するべき	どちらかといえば重視するべき	そこまで重きは おかない	まったく重きは おかない	無回答	合計
(カ) 将来の進路や職業を考えさせる						
小学生保護者	26.2%	53.7%	18.9%	0.2%	1.0%	100.0%
中学生保護者	37.3%	51.6%	9.6%	0.9%	0.5%	100.0%
高校生保護者	40.3%	51.1%	7.2%	0.7%	0.7%	100.0%
特別支援学校保護者	30.5%	42.4%	22.9%	2.5%	1.7%	100.0%
(キ) 体力を向上させる						
小学生保護者	35.7%	55.0%	8.7%	0.1%	0.5%	100.0%
中学生保護者	26.2%	59.5%	12.9%	0.7%	0.7%	100.0%
高校生保護者	23.7%	61.9%	13.7%	0.7%	0.0%	100.0%
特別支援学校保護者	29.7%	52.5%	14.4%	1.7%	1.7%	100.0%
(ク) 健康に関する教育を充実させる						
小学生保護者	65.5%	29.2%	3.4%	1.1%	0.7%	100.0%
中学生保護者	48.3%	40.6%	8.4%	1.5%	1.3%	100.0%
高校生保護者	32.2%	49.3%	15.1%	2.1%	1.4%	100.0%
特別支援学校保護者	68.8%	22.9%	4.2%	2.1%	2.1%	100.0%
(ケ) コンピュータ等のICT機器を活用する能力向上させる						
小学生保護者	65.5%	29.2%	3.4%	1.1%	0.7%	100.0%
中学生保護者	48.3%	40.6%	8.4%	1.5%	1.3%	100.0%
高校生保護者	32.2%	49.3%	15.1%	2.1%	1.4%	100.0%
特別支援学校保護者	68.8%	22.9%	4.2%	2.1%	2.1%	100.0%
(コ) その他						
小学生保護者	2.6%	0.9%	2.1%	0.7%	93.8%	100.0%
中学生保護者	1.3%	0.9%	0.9%	1.5%	95.5%	100.0%
高校生保護者	4.3%	3.6%	0.7%	0.7%	90.6%	100.0%
特別支援学校保護者	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	96.6%	100.0%

問3 子どもの教育やしつけについて、大人が心がけるべきだと思うものを次の中から選んでください。(あてはまるものすべてに○)

子どもの教育やしつけで心がけることについては、「自分にできることは、できるだけ任せるようにする」で「小学生保護者」が84.8%、「中学生保護者」が84.5%、「特別支援学校保護者」が81.4%で最も高くなっています。次いで「子どもの誤った言動については毅然とした態度で対応するようにする」で「小学生保護者」が82.9%、「中学生保護者」が79.8%、「特別支援学校保護者」が77.1%となっています。

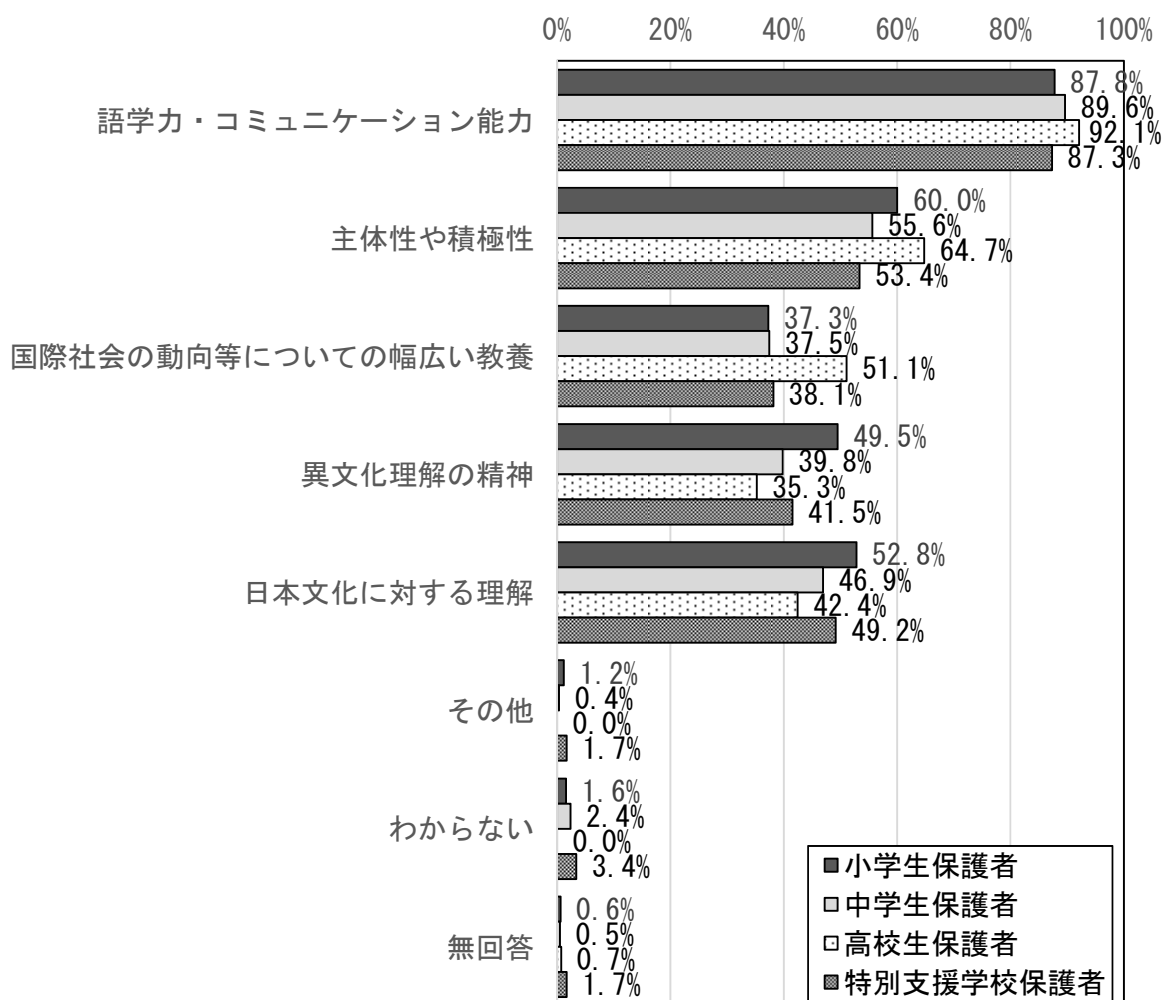
「高校生保護者」では、「子どもの誤った言動については毅然とした態度で対応するようにする」が81.3%と最も高く、次いで「自分にできることは、できるだけ任せるようにする」が79.9%となっています。



項目	小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者		特別支援学校保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
子どもの勉強をみるようにする	417	51.0%	187	34.0%	35	25.2%	49	41.5%
毎日、夕食を一緒にとるようする	641	78.4%	426	77.5%	93	66.9%	86	72.9%
見る時間を決めてテレビを見させるようにする	389	47.6%	192	34.9%	33	23.7%	53	44.9%
本を読むように勧めたり、読んだ本の感想を話し合ったりするようにする	444	54.3%	243	44.2%	56	40.3%	46	39.0%
博物館、美術、図書、映画、演劇などに連れて行くようする	348	42.5%	215	39.1%	48	34.5%	45	38.1%
スポーツを一緒にするようにする	394	48.2%	195	35.5%	40	28.8%	39	33.1%
自然の中で一緒に遊んだり、キャンプをしたりする	483	59.0%	288	52.4%	60	43.2%	62	52.5%
近所の人たちと家族ぐるみで付き合いようにする	181	22.1%	108	19.6%	23	16.5%	25	21.2%
近所のお祭りや行事に、一緒参加するようにする	403	49.3%	211	38.4%	37	26.6%	44	37.3%
学校の行事には必ず参加するようにする	382	46.7%	255	46.4%	60	43.2%	70	59.3%
欲しいものは、たいてい買い与えるようにする	4	0.5%	8	1.5%	1	0.7%	1	0.8%
自分にできることは、できるだけ任せるようにする	694	84.8%	465	84.5%	111	79.9%	96	81.4%
普段からよく褒めるようにする	420	51.3%	250	45.5%	66	47.5%	69	58.5%
子どもの誤った言動については毅然とした態度で対応するようにする	678	82.9%	439	79.8%	113	81.3%	91	77.1%
無回答	4	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.7%
回答者数	818		550		139		118	

問4 グローバル人材を育成していくために、今後、教育においてどのような能力を伸ばしていくことが重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

グローバル人材を育成するために教育で重要なことについては、「語学力・コミュニケーション能力」で「小学生保護者」が87.8%、「中学生保護者」が89.6%、「高校生保護者」が92.1%、「特別支援学校保護者」が87.3%と最も高くなっています。

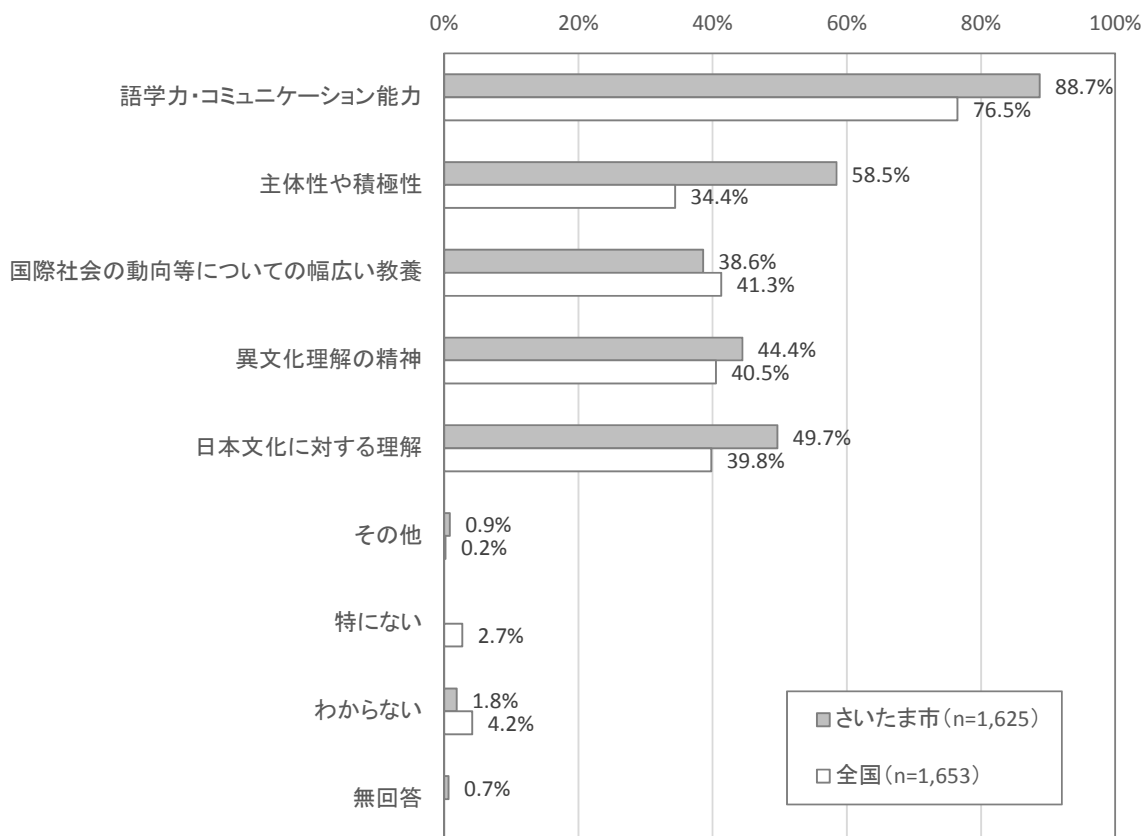


項目	小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者		特別支援学校保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
語学力・コミュニケーション能力	718	87.8%	493	89.6%	128	92.1%	103	87.3%
主体性や積極性	491	60.0%	306	55.6%	90	64.7%	63	53.4%
国際社会の動向等についての幅広い教養	305	37.3%	206	37.5%	71	51.1%	45	38.1%
異文化理解の精神	405	49.5%	219	39.8%	49	35.3%	49	41.5%
日本文化に対する理解	432	52.8%	258	46.9%	59	42.4%	58	49.2%
その他	10	1.2%	2	0.4%	0	0.0%	2	1.7%
わからない	13	1.6%	13	2.4%	0	0.0%	4	3.4%
無回答	5	0.6%	3	0.5%	1	0.7%	2	1.7%
回答者数	818		550		139		118	

■平成 27 年度内閣府「教育・生涯学習に関する調査」結果との比較

【内閣府設問】あなたは、グローバル人材を育成していくために、今後、教育においてどのような能力を伸ばしていくことが重要であると思いますか。（複数回答）

本市「保護者」では、「語学力・コミュニケーション能力」が 88.7%で最も高く、「主体性や積極性」が 58.5%で続いています。また、「全国」では、「語学力・コミュニケーション能力」以外の項目は、概ね 40%程度で並んでいます。



※内閣府調査の対象：20 歳以上の日本人

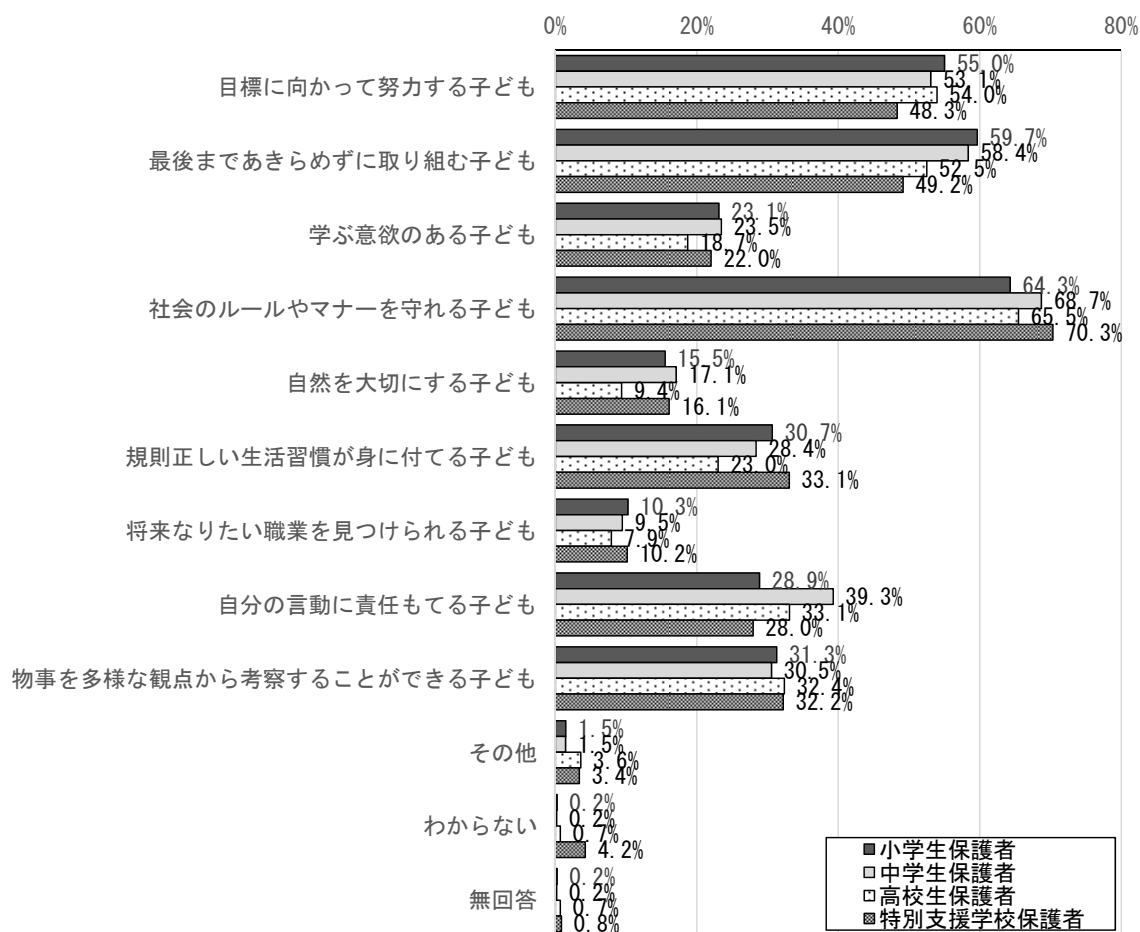
③ 子どもについて

以下の質問は、あなたのお子様に限らず、一般的なこととしてお答え願います。

問5 あなたは、どのような子どもの姿が望ましいと思いますか。次の項目についてお考えに近いと思うものを選んでください。(3つまでに○)

子どもの望ましい姿については、「社会のルールやマナーを守る子ども」で「小学生保護者」が64.3%、「中学生保護者」が68.7%、「高校生保護者」が65.5%、「特別支援学校保護者」が70.3%と最も高くなっています。次いで「最後まであきらめずに取り組む子ども」で「小学生保護者」が59.7%、「中学生保護者」が58.4%、「特別支援学校保護者」が49.2%となっています。

「高校生保護者」では、「目標に向かって努力する子ども」が54.0%となっています。



項目	小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者		特別支援学校保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
目標に向かって努力する子ども	450	55.0%	292	53.1%	75	54.0%	57	48.3%
最後まであきらめずに取り組む子ども	488	59.7%	321	58.4%	73	52.5%	58	49.2%
学ぶ意欲のある子ども	189	23.1%	129	23.5%	26	18.7%	26	22.0%
社会のルールやマナーを守る子ども	526	64.3%	378	68.7%	91	65.5%	83	70.3%
自然を大切にする子ども	127	15.5%	94	17.1%	13	9.4%	19	16.1%
規則正しい生活習慣が身に付てる子ども	251	30.7%	156	28.4%	32	23.0%	39	33.1%
将来なりたい職業を見つけられる子ども	84	10.3%	52	9.5%	11	7.9%	12	10.2%
自分の言動に責任もてる子ども	236	28.9%	216	39.3%	46	33.1%	33	28.0%
物事を多様な観点から考察することができる子ども	256	31.3%	168	30.5%	45	32.4%	38	32.2%
その他	12	1.5%	8	1.5%	5	3.6%	4	3.4%
わからない	2	0.2%	1	0.2%	1	0.7%	5	4.2%
無回答	2	0.2%	1	0.2%	1	0.7%	1	0.8%
回答者数	818		550		139		118	

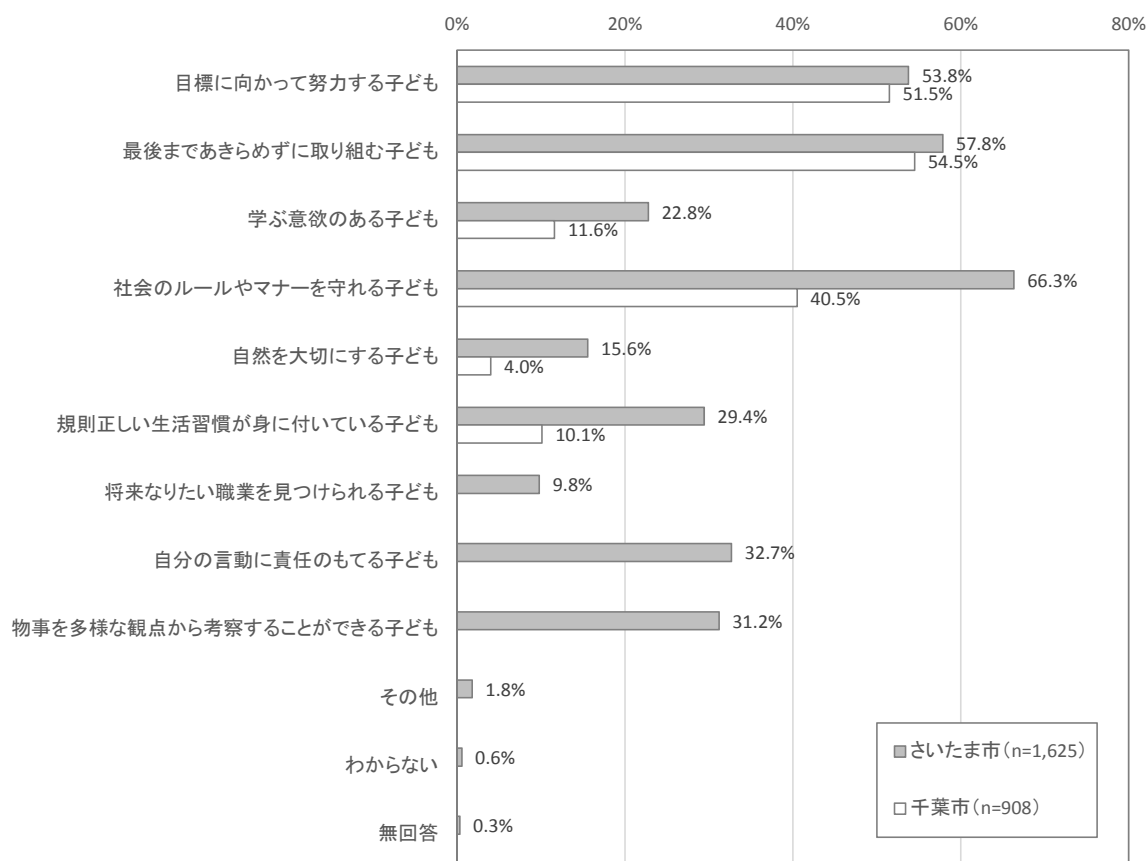
■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

【千葉市設問】あなたは、どのような子どもの姿が望ましいと思いますか。次の項目についてお考えに近いと思うものを選んでください。（3つまで）

※千葉市には、「友達がたくさんいる子ども」、「スポーツが得意な子ども」、「人を思いやる心を持っている子ども」、「読書が好きな子ども」の選択肢があり、それぞれ 27.6%、2.5%、74.8%、1.1%の回答となっています。

また、本市の「将来なりたい職業をみつけられる子ども」、「自分の言動に責任のもてる子ども」、「物事を多様な観点から考察することができる子ども」の選択肢は千葉市にはありません。

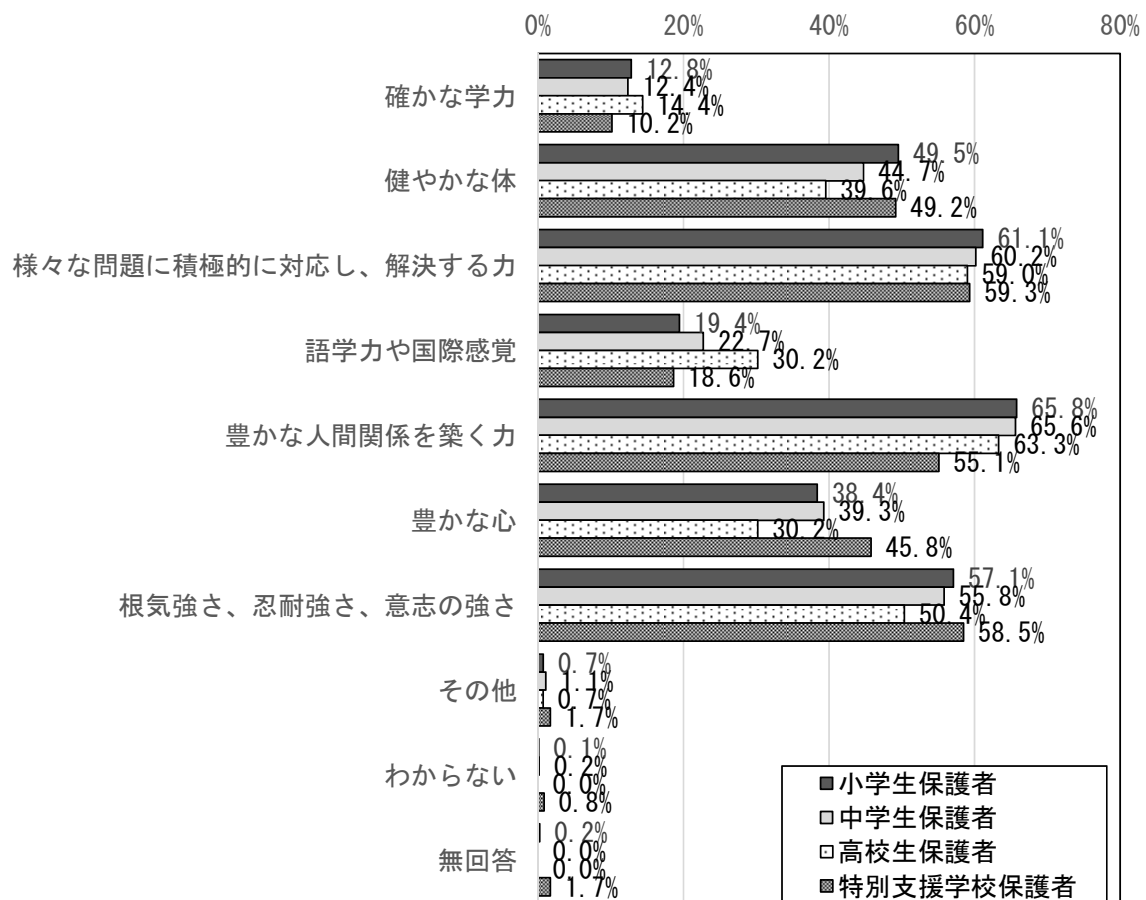
本市では、「社会のルールやマナーを守れる子ども」の回答が66.3%と最も高くなっていますが、千葉市では40.5%と20ポイント以上の差が見られます。千葉市では、本市の選択肢にない、「人を思いやる心を持っている子ども」が74.8%で最も高くなっています。



問6 これからの社会を生きるために、子どもに必要と思われる資質・能力は何ですか。
(3つまでに〇)

これからの社会を生きるために、子どもに必要と思われる資質・能力は、「豊かな人間関係を築く力」で「小学生保護者」が65.8%、「中学生保護者」が65.6%、「高校生保護者」が63.3%と最も高くなっています。また、「様々な問題に積極的に対応し、解決する力」で「小学生保護者」が61.1%、「中学生保護者」が60.2%、「高校生保護者」が59.0%となっています。

「特別支援学校保護者」では、「様々な問題に積極的に対応し、解決する力」が59.3%で最も高く、「根気強さ、忍耐強さ、意志の強さ」が58.5%で続いています。



項目	小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者		特別支援学校保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
確かな学力	105	12.8%	68	12.4%	20	14.4%	12	10.2%
健やかな体	405	49.5%	246	44.7%	55	39.6%	58	49.2%
様々な問題に積極的に対応し、解決する力	500	61.1%	331	60.2%	82	59.0%	70	59.3%
語学力や国際感覚	159	19.4%	125	22.7%	42	30.2%	22	18.6%
豊かな人間関係を築く力	538	65.8%	361	65.6%	88	63.3%	65	55.1%
豊かな心	314	38.4%	216	39.3%	42	30.2%	54	45.8%
根気強さ、忍耐強さ、意志の強さ	467	57.1%	307	55.8%	70	50.4%	69	58.5%
その他	6	0.7%	6	1.1%	1	0.7%	2	1.7%
わからない	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%	1	0.8%
無回答	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.7%
回答者数	818		550		139		118	

■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

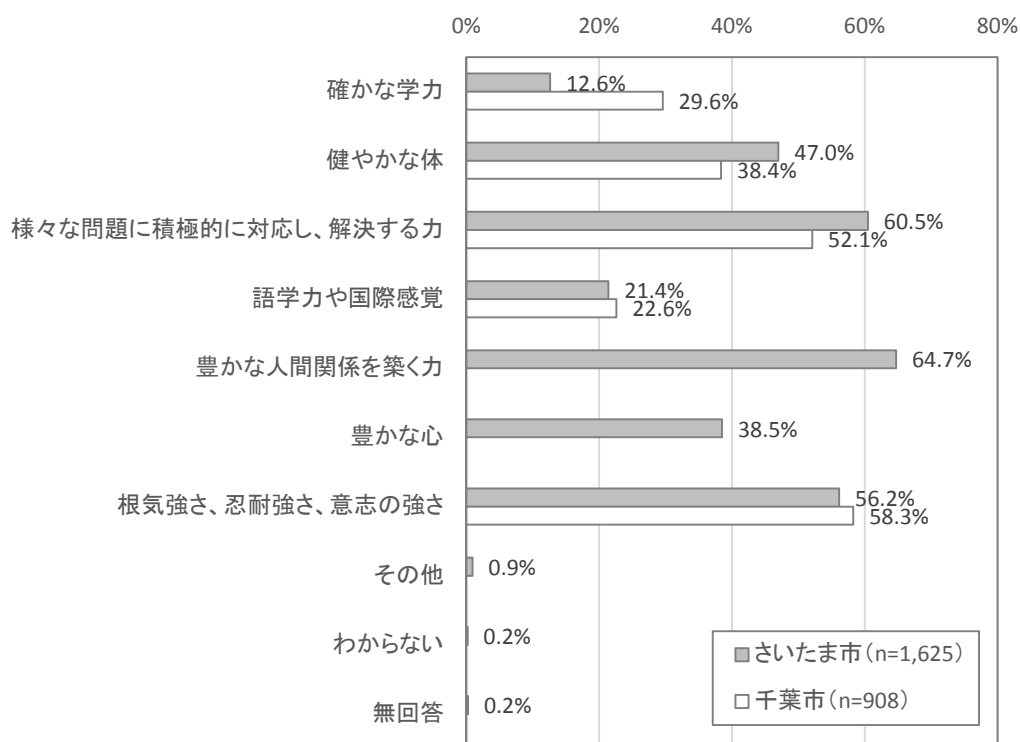
【千葉市設問】これからの社会を生きるために、子どもに必要なと思われる資質・能力は何ですか。

次の中から、選んでください。(3つまで)

※本市の「確かな学力」は千葉市の「基礎的な知識・技能」に、「健やかな体」は「健康や体力」に対応させています。また、本市の「豊かな人間関係を築く力」、「豊かな心」は千葉市にはなく、千葉市の「自らを律しつつ、他人とともに協調すること」(33.1%)と「他人を思いやる心や、感動する心」(51.1%)、「災害に適切に対応する能力」(4.8%)は、本市の選択肢にはありません。

本市では、「豊かな人間関係を築く力」が 64.7%で最も高くなっています。千葉市に直接対応する選択肢はありませんが、近い選択肢と思われる「自らを律しつつ、他人とともに協調すること」や「他人を思いやる心や、感動する心」が、それぞれ 33.1%と 51.1%となっています。

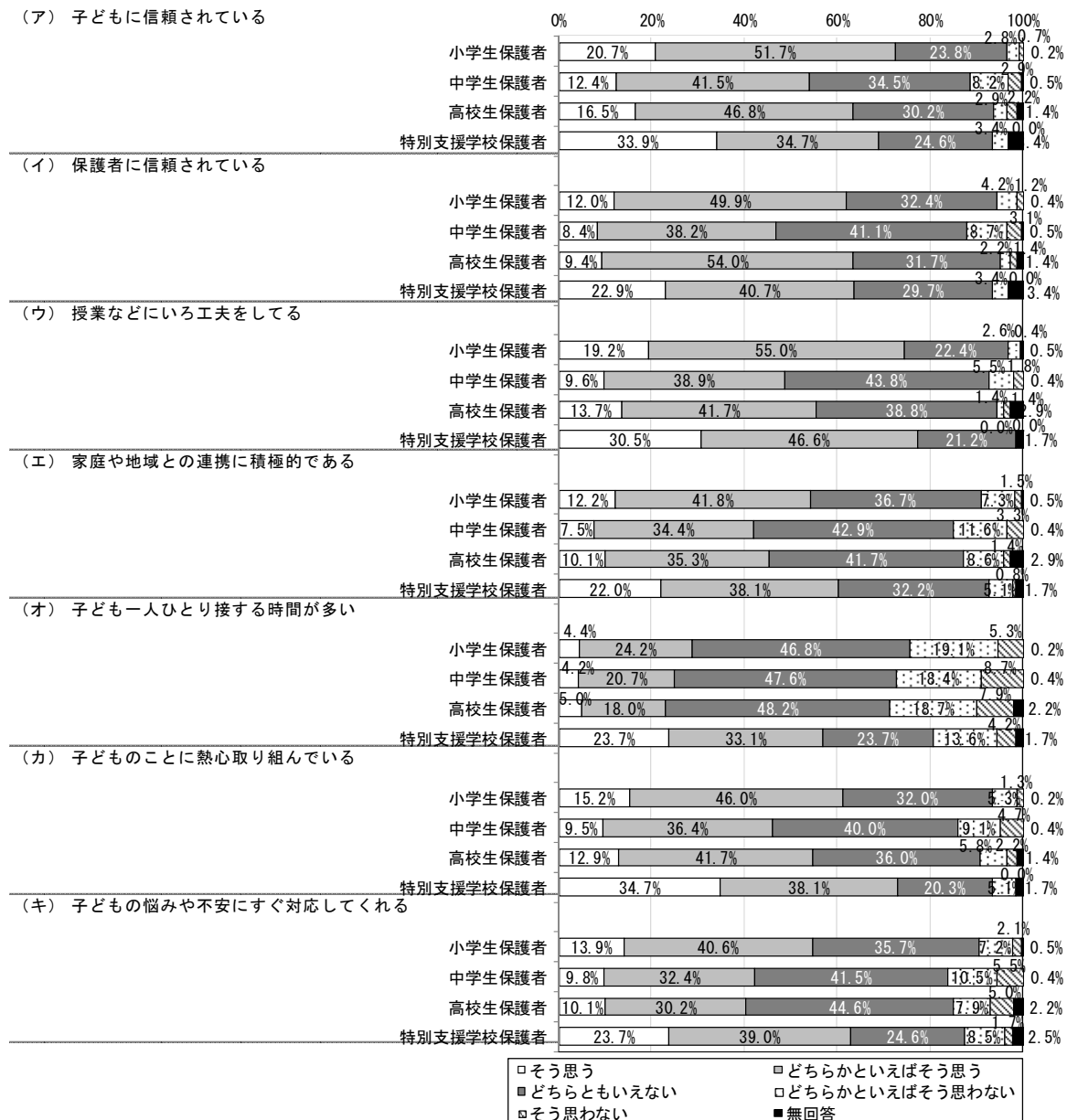
また、「根気強さ、忍耐強さ、意志の強さ」は、本市が 56.2%、千葉市が 58.3%とほぼ等しい割合となっています。



④ 学校・教員について

問7 あなたは、教員全般に対してどのような印象をお持ちですか。一般的なこととして、あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。（それぞれ1つに○）

教員全般の印象については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて、「授業などにいろいろな工夫をしている」で「小学生保護者」が74.2%、「特別支援学校保護者」が77.1%と最も高くなっています。また、「中学生保護者」では「子どもに信頼されている」が53.9%、「高校生保護者」では「保護者に信頼されている」が63.4%でそれぞれ最も高くなっています。

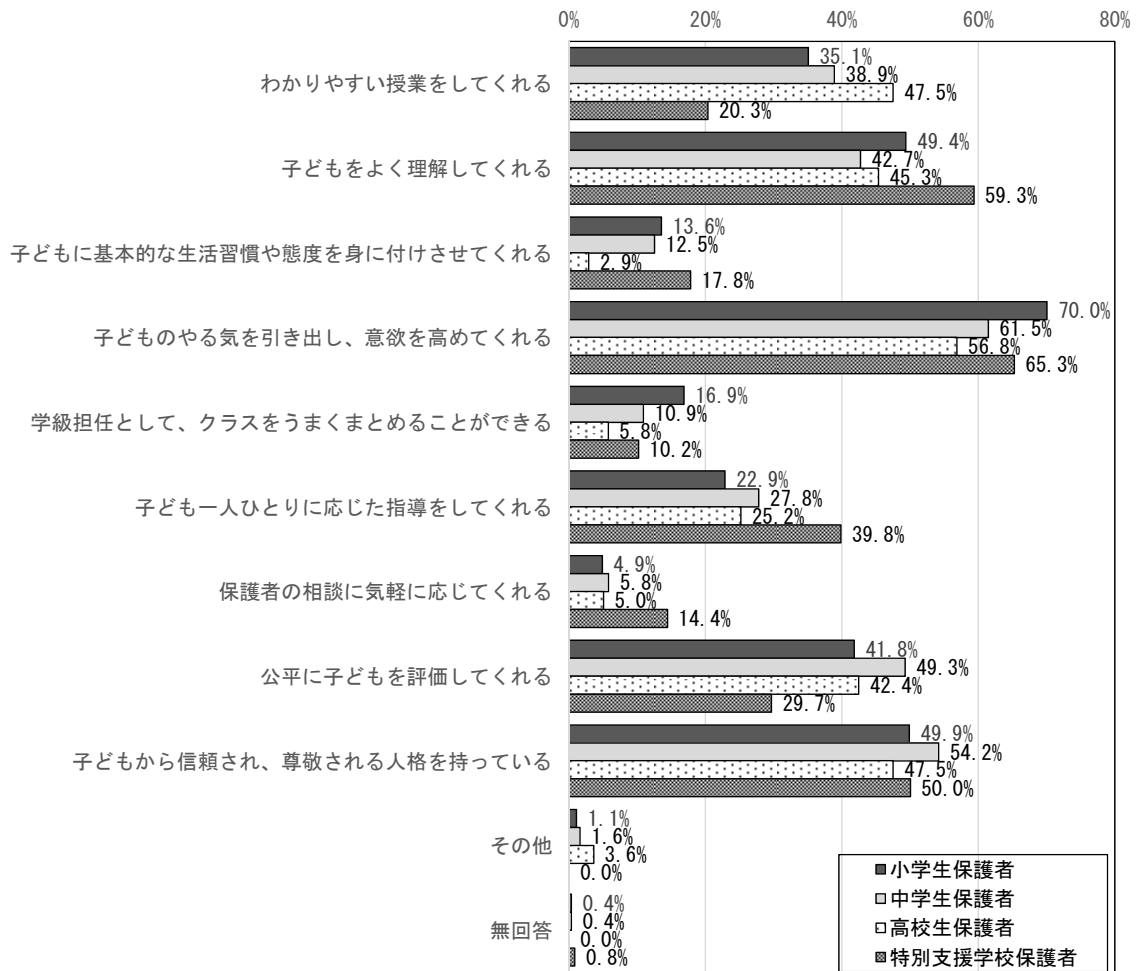


項目(度数)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 子どもに信頼されている							
小学生保護者	169	423	195	23	6	2	818
中学生保護者	68	228	190	45	16	3	550
高校生保護者	23	65	42	4	3	2	139
特別支援学校保護者	40	41	29	4	0	4	118
(イ) 保護者に信頼されている							
小学生保護者	98	408	265	34	10	3	818
中学生保護者	46	210	226	48	17	3	550
高校生保護者	13	75	44	3	2	2	139
特別支援学校保護者	27	48	35	4	0	4	118
(ウ) 授業などにいる工夫をしてる							
小学生保護者	157	450	183	21	3	4	818
中学生保護者	53	214	241	30	10	2	550
高校生保護者	19	58	54	2	2	4	139
特別支援学校保護者	36	55	25	0	0	2	118
(エ) 家庭や地域との連携に積極的である							
小学生保護者	100	342	300	60	12	4	818
中学生保護者	41	189	236	64	18	2	550
高校生保護者	14	49	58	12	2	4	139
特別支援学校保護者	26	45	38	6	1	2	118
(オ) 子ども一人ひとりと接する時間が多い							
小学生保護者	36	198	383	156	43	2	818
中学生保護者	23	114	262	101	48	2	550
高校生保護者	7	25	67	26	11	3	139
特別支援学校保護者	28	39	28	16	5	2	118
(カ) 子どものことに熱心取り組んでいる							
小学生保護者	124	376	262	43	11	2	818
中学生保護者	52	200	220	50	26	2	550
高校生保護者	18	58	50	8	3	2	139
特別支援学校保護者	41	45	24	6	0	2	118
(キ) 子どもの悩みや不安にすぐ対応してくれる							
小学生保護者	114	332	292	59	17	4	818
中学生保護者	54	178	228	58	30	2	550
高校生保護者	14	42	62	11	7	3	139
特別支援学校保護者	28	46	29	10	2	3	118

項目(構成比)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 子どもに信頼されている							
小学生保護者	20.7%	51.7%	23.8%	2.8%	0.7%	0.2%	100.0%
中学生保護者	12.4%	41.5%	41.5%	8.2%	2.9%	0.5%	100.0%
高校生保護者	16.5%	46.8%	30.2%	2.9%	2.2%	1.4%	100.0%
特別支援学校保護者	33.9%	34.7%	24.6%	3.4%	0.0%	3.4%	100.0%
(イ) 保護者に信頼されている							
小学生保護者	12.0%	49.9%	32.4%	4.2%	1.2%	0.4%	100.0%
中学生保護者	8.4%	38.2%	41.1%	8.7%	3.1%	0.5%	100.0%
高校生保護者	9.4%	54.0%	31.7%	2.2%	1.4%	1.4%	100.0%
特別支援学校保護者	22.9%	40.7%	29.7%	3.4%	0.0%	3.4%	100.0%
(ウ) 授業などにいる工夫をしてる							
小学生保護者	19.2%	55.0%	22.4%	2.6%	0.4%	0.5%	100.0%
中学生保護者	9.6%	38.9%	43.8%	5.5%	1.8%	0.4%	100.0%
高校生保護者	13.7%	41.7%	38.8%	1.4%	1.4%	2.9%	100.0%
特別支援学校保護者	30.5%	46.6%	21.2%	0.0%	0.0%	1.7%	100.0%
(エ) 家庭や地域との連携に積極的である							
小学生保護者	12.2%	41.8%	36.7%	7.3%	1.5%	0.5%	100.0%
中学生保護者	7.5%	34.4%	42.9%	11.6%	3.3%	0.4%	100.0%
高校生保護者	10.1%	35.3%	41.7%	8.6%	1.4%	2.9%	100.0%
特別支援学校保護者	22.0%	38.1%	32.2%	5.1%	0.8%	1.7%	100.0%
(オ) 子ども一人ひとりと接する時間が多い							
小学生保護者	4.4%	24.2%	46.8%	19.1%	5.3%	0.2%	100.0%
中学生保護者	4.2%	20.7%	47.6%	18.4%	8.7%	0.4%	100.0%
高校生保護者	5.0%	18.0%	48.2%	18.7%	7.9%	2.2%	100.0%
特別支援学校保護者	23.7%	33.1%	23.7%	13.6%	4.2%	1.7%	100.0%
(カ) 子どものことに熱心取り組んでいる							
小学生保護者	15.2%	46.0%	32.0%	5.3%	1.3%	0.2%	100.0%
中学生保護者	9.5%	36.4%	40.0%	9.1%	4.7%	0.4%	100.0%
高校生保護者	12.9%	41.7%	36.0%	5.8%	2.2%	1.4%	100.0%
特別支援学校保護者	34.7%	38.1%	20.3%	5.1%	0.0%	1.7%	100.0%
(キ) 子どもの悩みや不安にすぐ対応してくれる							
小学生保護者	13.9%	40.6%	35.7%	7.2%	2.1%	0.5%	100.0%
中学生保護者	9.8%	32.4%	41.5%	10.5%	5.5%	0.4%	100.0%
高校生保護者	10.1%	30.2%	44.6%	7.9%	5.0%	2.2%	100.0%
特別支援学校保護者	23.7%	39.0%	24.6%	8.5%	1.7%	2.5%	100.0%

問8 あなたはどのような教員が望ましいと考えますか。(3つまでに○)

望ましい教員については、「子どものやる気を引き出し、意欲を高めてくれる」が「小学生保護者」が70.0%、「中学生保護者」が61.5%、「高校生保護者」が56.8%、「特別支援学校保護者」が65.3%でそれぞれ最も高くなっています。

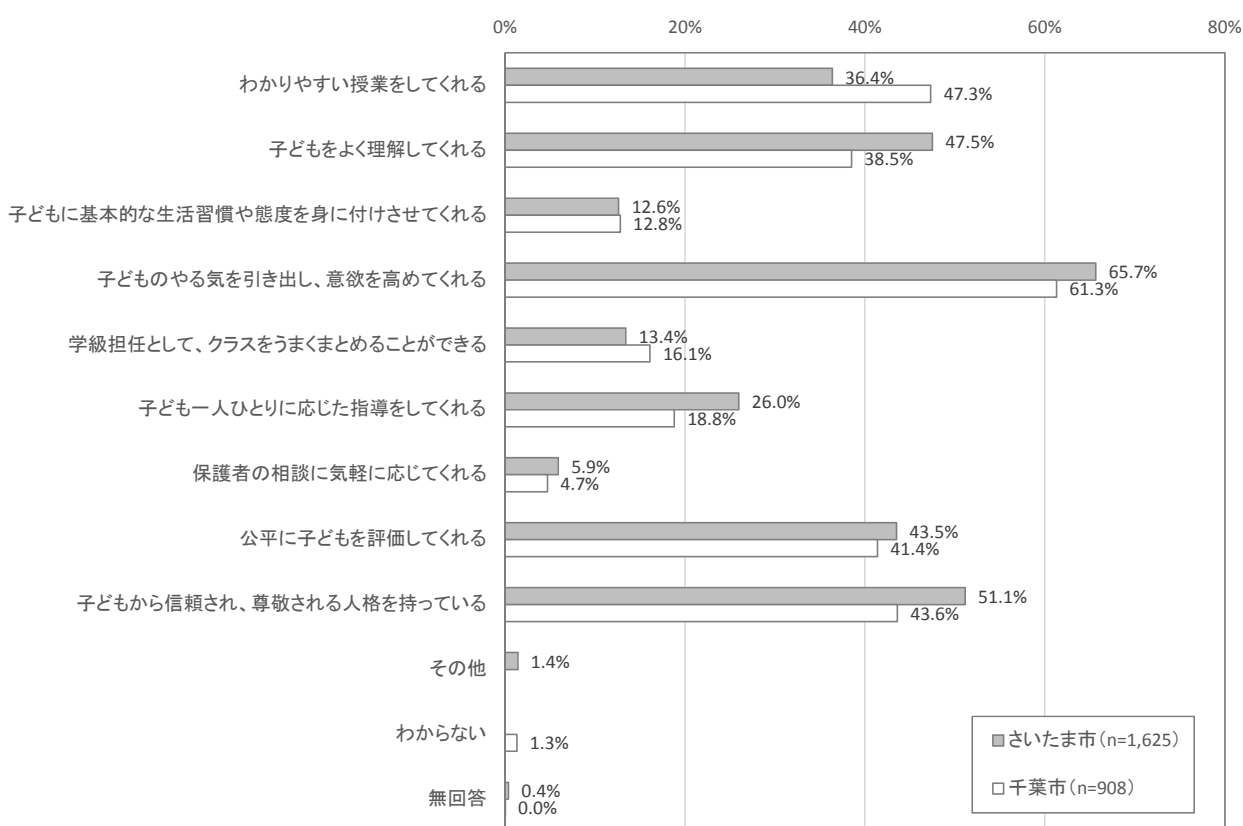


項目	小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者		特別支援学校保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
わかりやすい授業をしてくれる	287	35.1%	214	38.9%	66	47.5%	24	20.3%
子どもをよく理解してくれる	404	49.4%	235	42.7%	63	45.3%	70	59.3%
子どもに基本的な生活習慣や態度を身に付けさせてくれる	111	13.6%	69	12.5%	4	2.9%	21	17.8%
子どものやる気を引き出し、意欲を高めてくれる	573	70.0%	338	61.5%	79	56.8%	77	65.3%
学級担任として、クラスをうまくまとめることができる	138	16.9%	60	10.9%	8	5.8%	12	10.2%
子ども一人ひとりに応じた指導をしてくれる	187	22.9%	153	27.8%	35	25.2%	47	39.8%
保護者の相談に気軽に応じてくれる	40	4.9%	32	5.8%	7	5.0%	17	14.4%
公平に子どもを評価してくれる	342	41.8%	271	49.3%	59	42.4%	35	29.7%
子どもから信頼され、尊敬される人格を持っている	408	49.9%	298	54.2%	66	47.5%	59	50.0%
その他	9	1.1%	9	1.6%	5	3.6%	0	0.0%
無回答	3	0.4%	2	0.4%	0	0.0%	1	0.8%
回答者数	818		550		139		118	

■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

【千葉市設問】あなたは、どのような教員が望ましいと考えますか。最も近いものを次の中から選んでください。（3つまで）

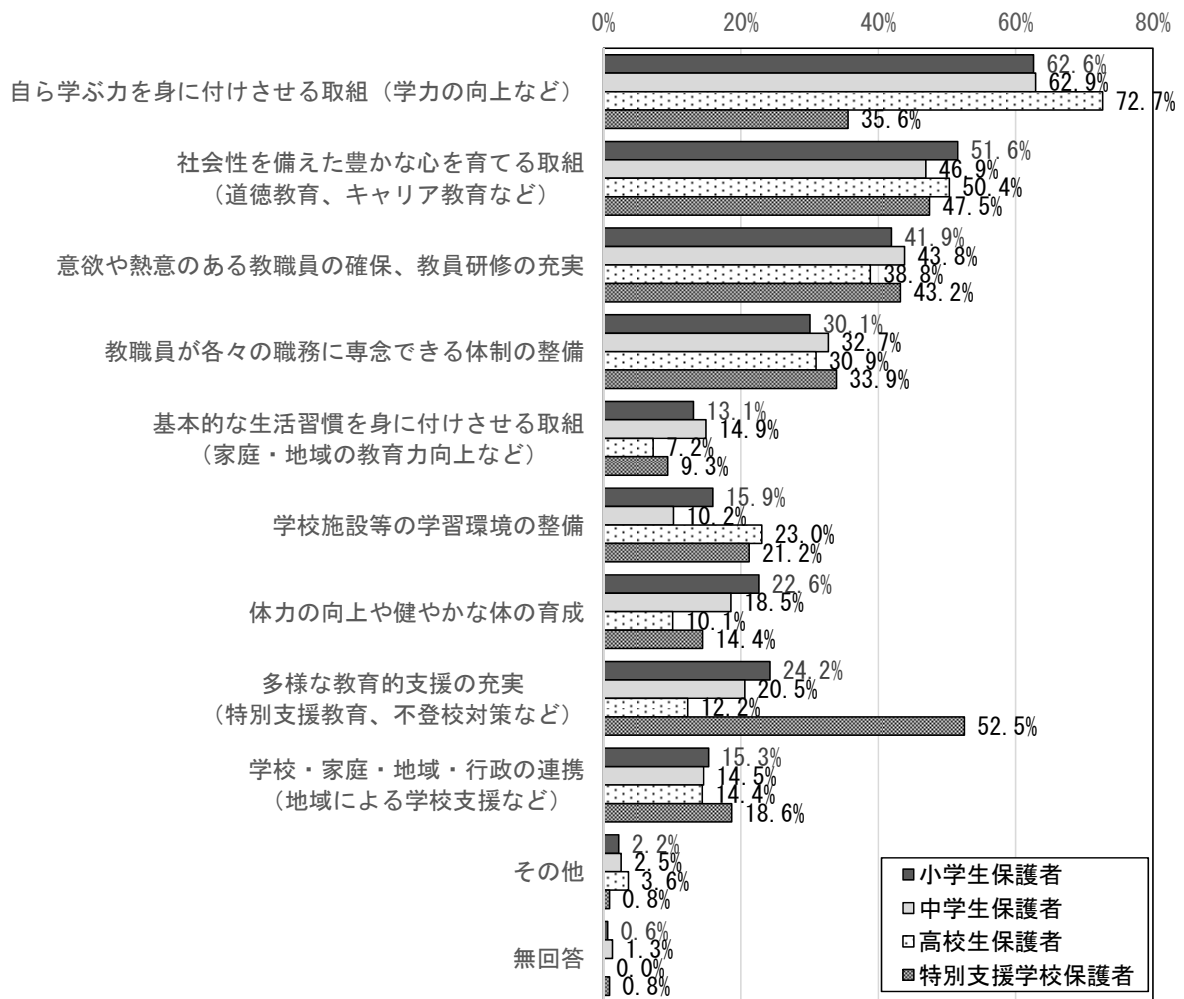
本市と千葉市とで違いが大きいのは、「わかりやすい授業をしてくれる」（本市 36.4%、千葉市 47.3%）、「子どもをよく理解している」（本市 47.5%、千葉市 38.5%）、「子ども一人ひとりに応じた指導をしてくれる」（本市 26.0%、千葉市 18.8%）、「子どもから信頼され、尊敬される人格を持っている」（本市 51.1%、千葉市 43.6%）などで、千葉市が教員の技能やスキルに注目が高い一方、本市では、人格や子どもとの関係に関する点がより注目されています。



問9 今後の教育施策で特に重要だと思うものを次の中から選んでください。(3つまでに○)

今後の教育施策で重要と思うことは、「自ら学ぶ力を身につけさせる取組（学力の向上など）」で「小学生保護者」が62.6%、「中学生保護者」が62.9%、「高校生保護者」が72.7%と最も高くなっています。

「特別支援学校保護者」では、「多様な教育的支援の充実（特別支援教育、不登校対策など）」が52.5%と最も高くなっています。



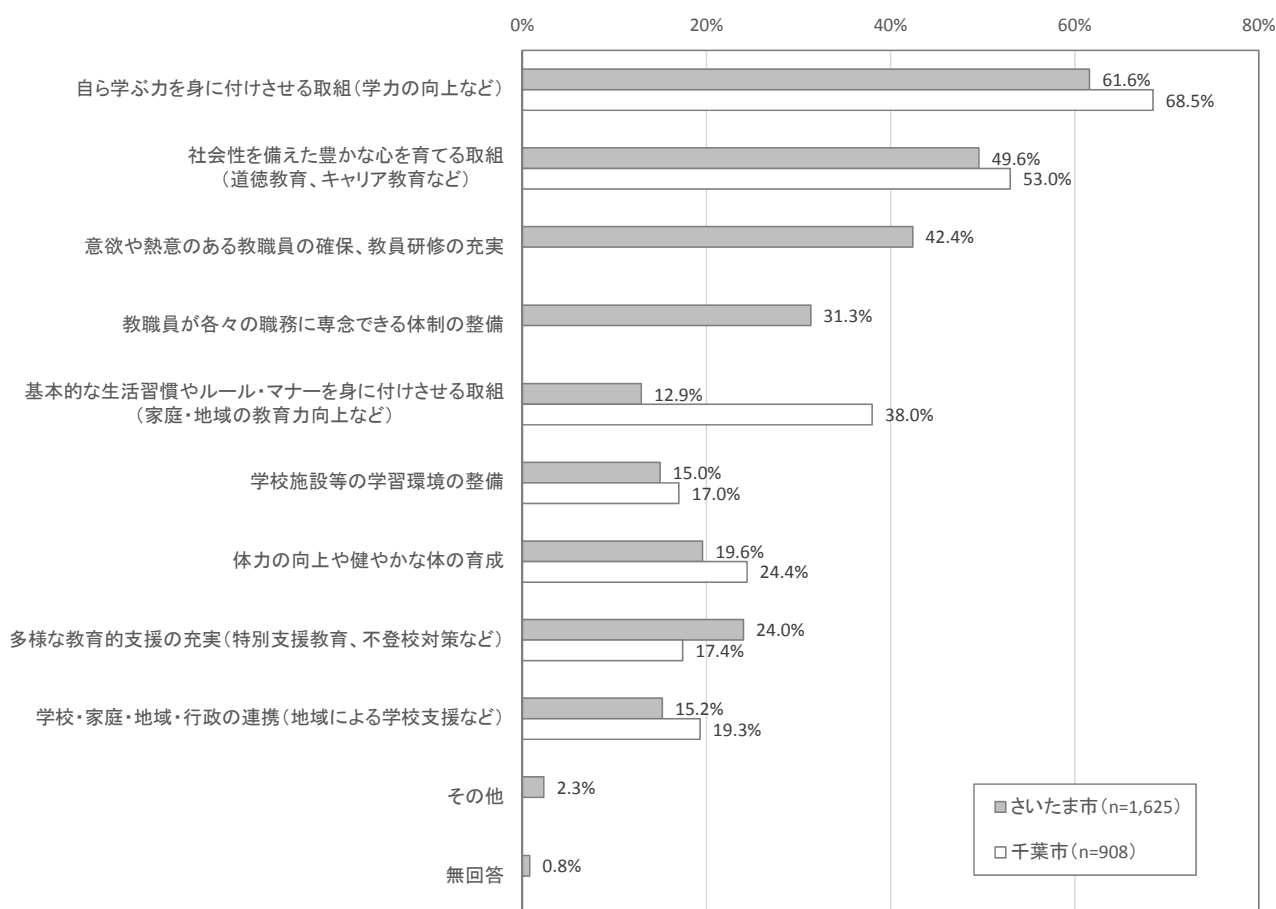
項目	小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者		特別支援学校保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
自ら学ぶ力を身につけさせる取組（学力の向上など）	512	62.6%	346	62.9%	101	72.7%	42	35.6%
社会性を備えた豊かな心を育てる取組（道徳教育、キャリア教育など）	422	51.6%	258	46.9%	70	50.4%	56	47.5%
意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実	343	41.9%	241	43.8%	54	38.8%	51	43.2%
教職員が各々の職務に専念できる体制の整備	246		180	32.7%	43	30.9%	40	33.9%
基本的な生活習慣を身につけさせる取組（家庭・地域の教育力向上など）	107	13.1%	82	14.9%	10	7.2%	11	9.3%
学校施設等の学習環境の整備	130	15.9%	56	10.2%	32	23.0%	25	21.2%
体力の向上や健やかな体の育成	185	22.6%	102	18.5%	14	10.1%	17	14.4%
多様な教育的支援の充実（特別支援教育、不登校対策など）	198	24.2%	113	20.5%	17	12.2%	62	52.5%
学校・家庭・地域・行政の連携（地域による学校支援など）	125	15.3%	80	14.5%	20	14.4%	22	18.6%
その他	18	2.2%	14	2.5%	5	3.6%	1	0.8%
無回答	5	0.6%	7	1.3%	0	0.0%	1	0.8%
回答者数	818		550		139		118	

■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

【千葉市設問】今後の教育施策で特に重要だと思うものを次の中から選んでください。（3つまで）

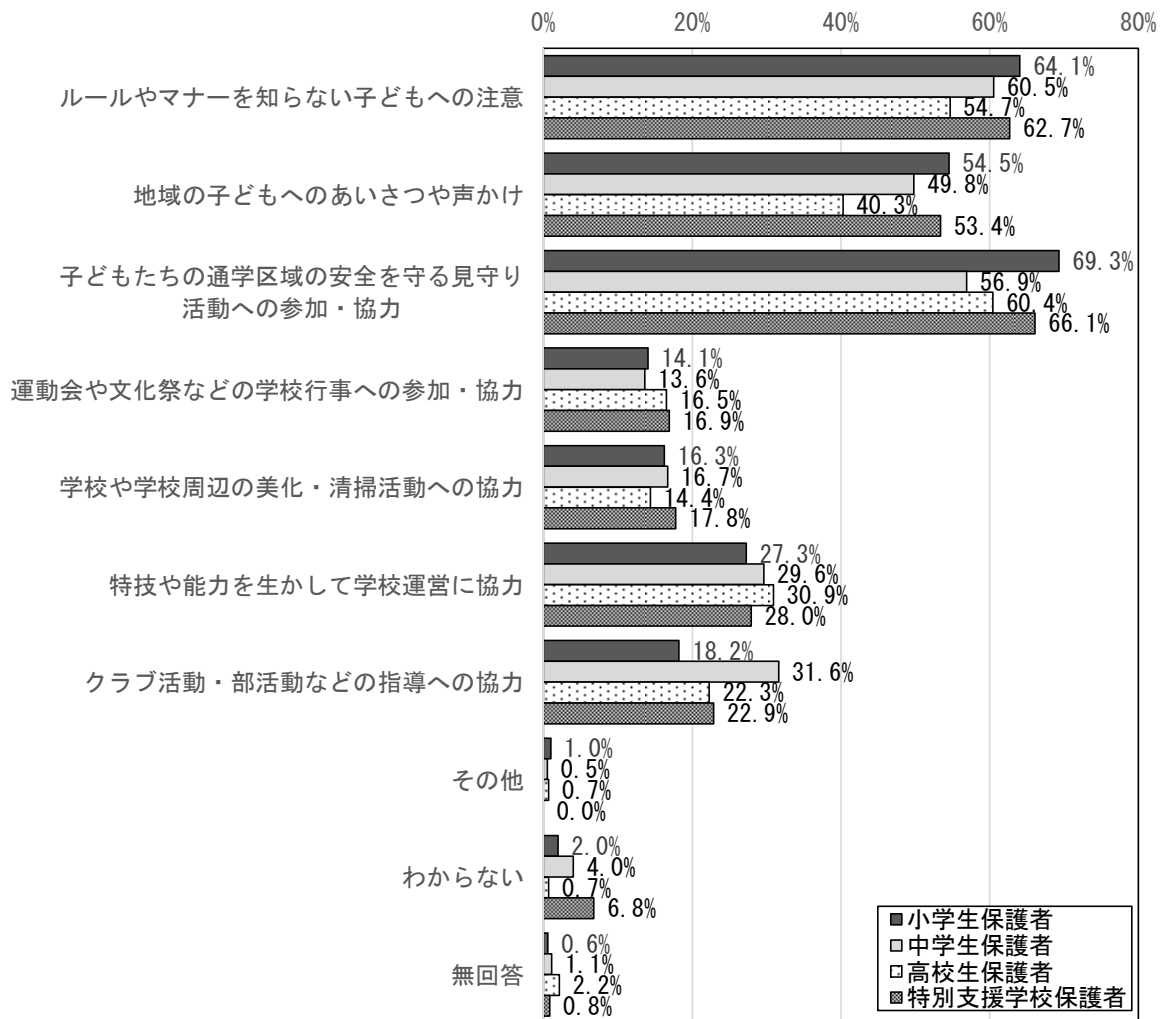
※本市の「意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実」と「教職員が各々の職務に専念できる体制の整備」は、千葉市では「質の高い教職員を確保するとともに、教職員が各々の職務に専念できる体制の整備」に集約され、39.2%の回答となっています。

本市と千葉市で、各選択肢への回答割合の傾向は類似していますが、「基本的な生活習慣やルール・マナーを身につけさせる取組（家庭・地域の教育力向上など）」については、千葉市 38.0%に対して、本市では 12.9%と大きな違いが出ています。



問10 教育問題に対して、より一層地域の力が必要だと思うものを、次の中から選んでください。(あてはまるものすべてに○)

地域の力が必要な教育問題については、「子ども達の通学区域の安全を守る見守り活動への参加・協力」で「小学生保護者」が69.3%、「高校生保護者」が60.4%、「特別支援学校保護者」が66.1でそれぞれ最も高くなっています。「中学生保護者」では、「ルールやマナーを知らない子どもへの注意」が60.5%と最も高くなっています。

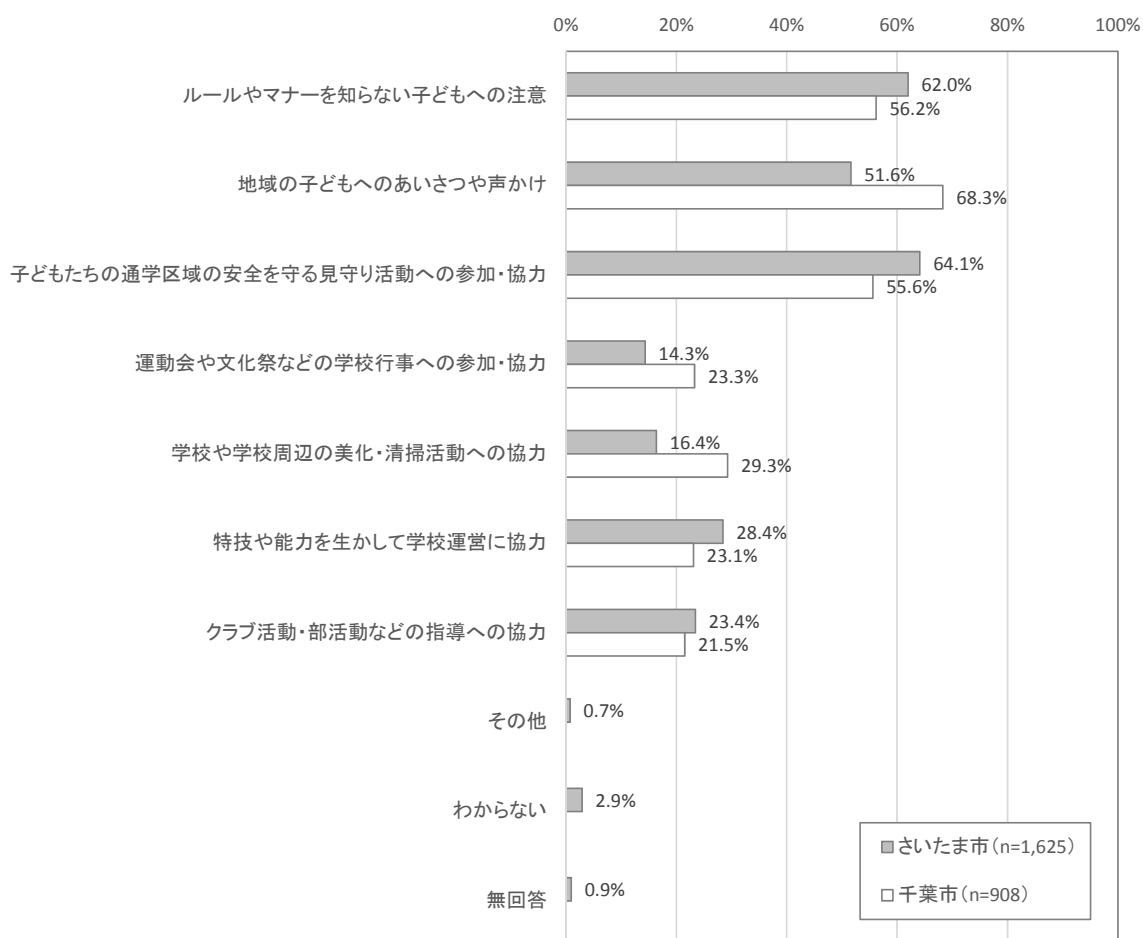


項目	小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者		特別支援学校保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
ルールやマナーを知らない子どもへの注意	524	64.1%	333	60.5%	76	54.7%	74	62.7%
地域の子どもへのあいさつや声かけ	446	54.5%	274	49.8%	56	40.3%	63	53.4%
子どもたちの通学区域の安全を守る見守り活動への参加・協力	567	69.3%	313	56.9%	84	60.4%	78	66.1%
運動会や文化祭などの学校行事への参加・協力	115	14.1%	75	13.6%	23	16.5%	20	16.9%
学校や学校周辺の美化・清掃活動への協力	133	16.3%	92	16.7%	20	14.4%	21	17.8%
特技や能力を生かして学校運営に協力	223	27.3%	163	29.6%	43	30.9%	33	28.0%
クラブ活動・部活動などの指導への協力	149	18.2%	174	31.6%	31	22.3%	27	22.9%
その他	8	1.0%	3	0.5%	1	0.7%	0	0.0%
わからない	16	2.0%	22	4.0%	1	0.7%	8	6.8%
無回答	5	0.6%	6	1.1%	3	2.2%	1	0.8%
回答者数	818		550		139		118	

■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

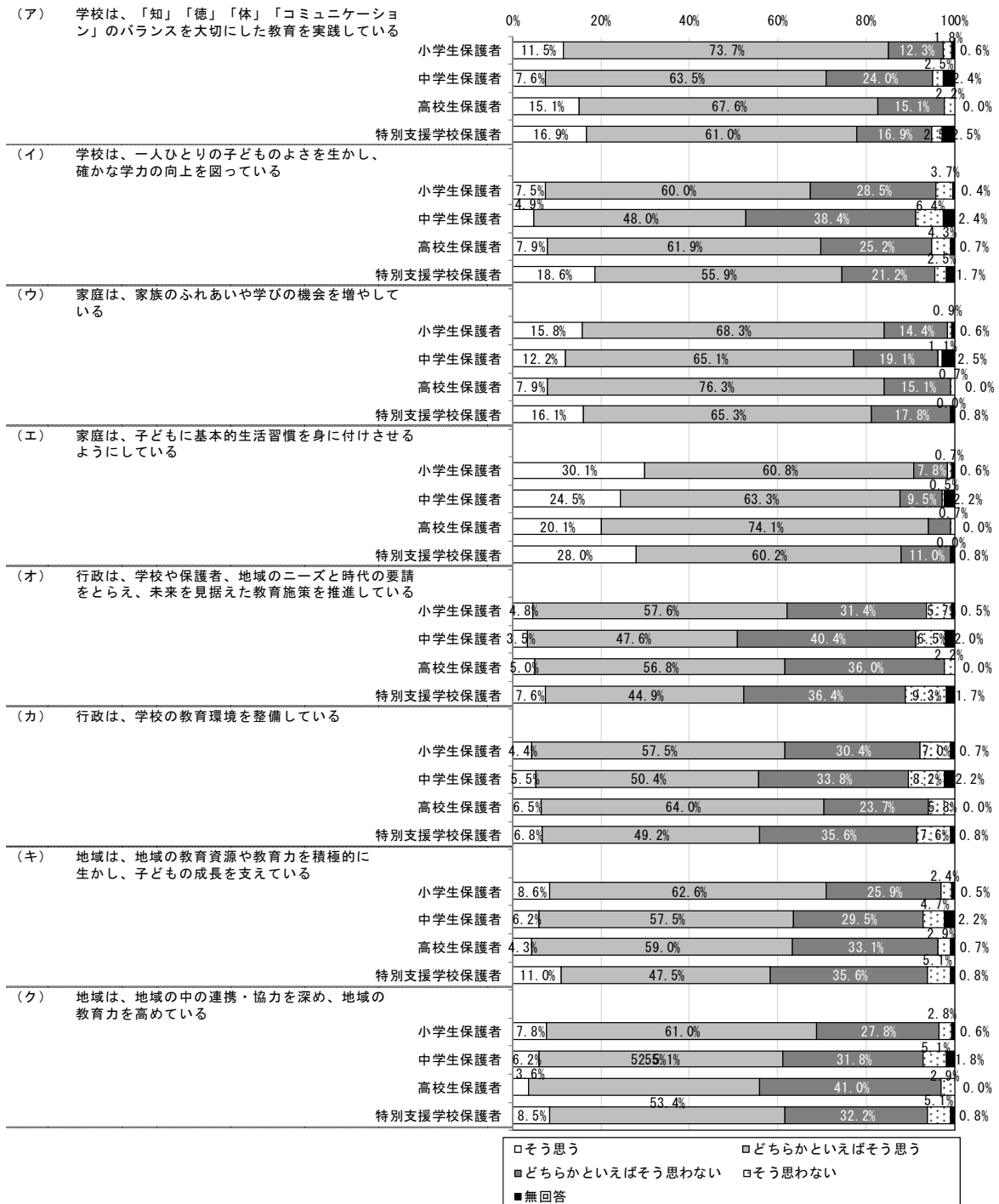
【千葉市設問】現在、様々な教育問題に対して地域での教育力に期待する声があります。あなたは地域でできると思うものを、次の中から選んでください。（いくつでも）

本市では「子どもたちの通学区域の安全を見守る活動への参加・協力」（64.1%）と「ルールやマナーを知らない子どもへの注意」（62.0%）が高く、「地域の子どものあいさつや声かけ」が 51.6%とやや低くなっています。一方、千葉市では、「地域の子どものあいさつや声かけ」が 68.3%で最も高く、「子どもたちの通学区域の安全を見守る活動への参加・協力」と「ルールやマナーを知らない子どもへの注意」がともに 50%台半ばで続いています。



問11 現在、さいたま市では、学校・家庭・行政・地域が連携・協力して、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくむため、様々な教育施策を行っています。これらの取組について、どのように評価しますか。(それぞれ1つに〇)

学校・家庭・行政・地域が連携・協力して、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくむための教育施策の取組について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて高いものは、「家庭は、子どもに基本的な生活習慣を身につけさせるようにしている」で「小学生保護者」が90.9%、「中学生保護者」が87.8%、「高校生保護者」が94.2%、「特別支援学校保護者」が88.2%と最も高くなっています。

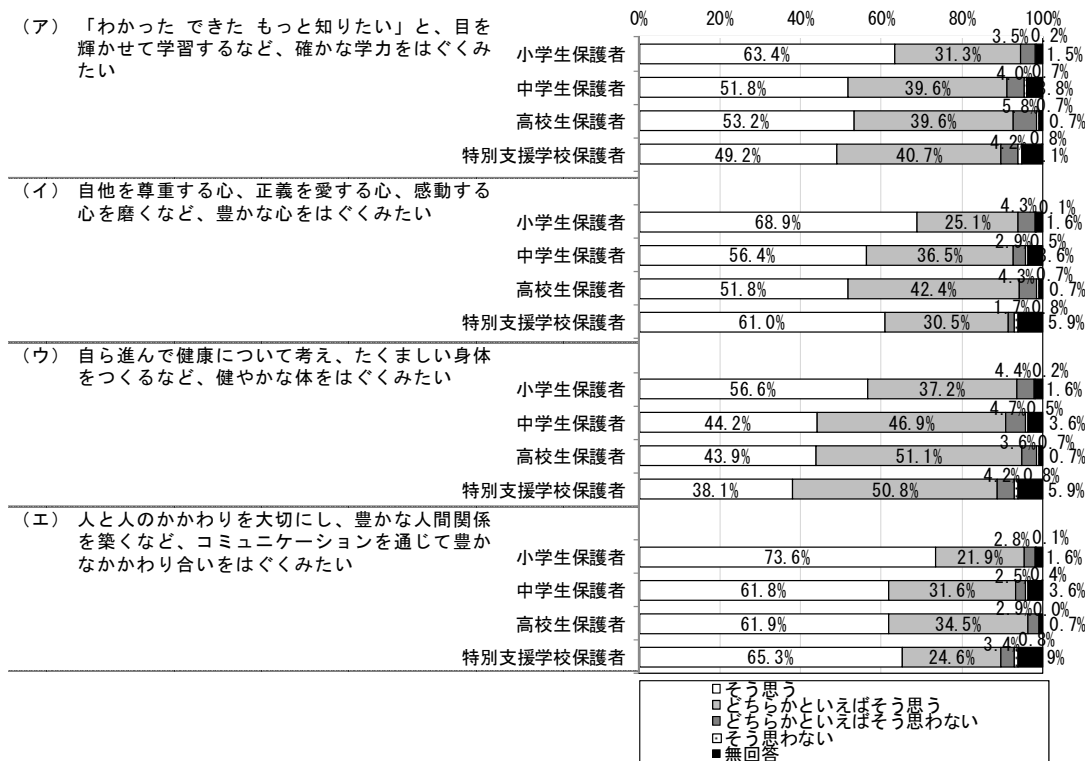


項目(度数)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 学校は、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスを大切にした教育を実践している						
小学生保護者	94	603	101	15	5	818
中学生保護者	42	349	132	14	13	550
高校生保護者	21	94	21	3	0	139
特別支援学校保護者	20	72	20	3	3	118
(イ) 学校は、一人ひとりの子どものよさを生かし、確かな学力の向上を図っている						
小学生保護者	61	491	233	30	3	818
中学生保護者	27	264	211	35	13	550
高校生保護者	11	86	35	6	1	139
特別支援学校保護者	22	66	25	3	2	118
(ウ) 家庭は、家族のふれあいや学びの機会を増やしている						
小学生保護者	129	559	118	7	5	818
中学生保護者	67	358	105	6	14	550
高校生保護者	11	106	21	1	0	139
特別支援学校保護者	19	77	21	0	1	118
(エ) 家庭は、子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせるようにしている						
小学生保護者	246	497	64	6	5	818
中学生保護者	135	348	52	3	12	550
高校生保護者	28	103	7	1	0	139
特別支援学校保護者	33	71	13	0	1	118
(オ) 行政は、学校や保護者、地域のニーズと時代の要請をとらえ、未来を見据えた教育施策を推進している						
小学生保護者	39	471	257	47	4	818
中学生保護者	19	262	222	36	11	550
高校生保護者	7	79	50	3	0	139
特別支援学校保護者	9	53	43	11	2	118
(カ) 行政は、学校の教育環境を整備している						
小学生保護者	36	470	249	57	6	818
中学生保護者	30	277	186	45	12	550
高校生保護者	9	89	33	8	0	139
特別支援学校保護者	8	58	42	9	1	118
(キ) 地域は、地域の教育資源や教育力を積極的に生かし、子どもの成長を支えている						
小学生保護者	70	512	212	20	4	818
中学生保護者	34	316	162	26	12	550
高校生保護者	6	82	46	4	1	139
特別支援学校保護者	13	56	42	6	1	118
(ク) 地域は、地域の中の連携・協力を深め、地域の教育力を高めている						0
小学生保護者	64	499	227	23	5	818
中学生保護者	34	303	175	28	10	550
高校生保護者	5	73	57	4	0	139
特別支援学校保護者	10	63	38	6	1	118

項目(構成比)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 学校は、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスを大切にした教育を実践している						
小学生保護者	11.5%	73.7%	12.3%	1.8%	0.6%	100.0%
中学生保護者	7.6%	63.5%	24.0%	2.5%	2.4%	100.0%
高校生保護者	15.1%	67.6%	15.1%	2.2%	0.0%	100.0%
特別支援学校保護者	16.9%	61.0%	16.9%	2.5%	2.5%	100.0%
(イ) 学校は、一人ひとりの子どものよさを生かし、確かな学力の向上を図っている						
小学生保護者	7.5%	60.0%	28.5%	3.7%	0.4%	100.0%
中学生保護者	4.9%	48.0%	38.4%	6.4%	2.4%	100.0%
高校生保護者	7.9%	61.9%	25.2%	4.3%	0.7%	100.0%
特別支援学校保護者	18.6%	55.9%	21.2%	2.5%	1.7%	100.0%
(ウ) 家庭は、家族のふれあいや学びの機会を増やしている						
小学生保護者	15.8%	68.3%	14.4%	0.9%	0.6%	100.0%
中学生保護者	12.2%	65.1%	19.1%	1.1%	2.5%	100.0%
高校生保護者	7.9%	76.3%	15.1%	0.7%	0.0%	100.0%
特別支援学校保護者	16.1%	65.3%	17.8%	0.0%	0.8%	100.0%
(エ) 家庭は、子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせるようにしている						
小学生保護者	30.1%	60.8%	7.8%	0.7%	0.6%	100.0%
中学生保護者	24.5%	63.3%	9.5%	0.5%	2.2%	100.0%
高校生保護者	20.1%	74.1%	5.0%	0.7%	0.0%	100.0%
特別支援学校保護者	28.0%	60.2%	11.0%	0.0%	0.8%	100.0%
(オ) 行政は、学校や保護者、地域のニーズと時代の要請をとらえ、未来を見据えた教育施策を推進している						
小学生保護者	4.8%	57.6%	31.4%	5.7%	0.5%	100.0%
中学生保護者	3.5%	47.6%	40.4%	6.5%	2.0%	100.0%
高校生保護者	5.0%	56.8%	36.0%	2.2%	0.0%	100.0%
特別支援学校保護者	7.6%	44.9%	36.4%	9.3%	1.7%	100.0%
(カ) 行政は、学校の教育環境を整備している						
小学生保護者	4.4%	57.5%	30.4%	7.0%	0.7%	100.0%
中学生保護者	5.5%	50.4%	33.8%	8.2%	2.2%	100.0%
高校生保護者	6.5%	64.0%	23.7%	5.8%	0.0%	100.0%
特別支援学校保護者	6.8%	49.2%	35.6%	7.6%	0.8%	100.0%
(キ) 地域は、地域の教育資源や教育力を積極的に生かし、子どもの成長を支えている						
小学生保護者	8.6%	62.6%	25.9%	2.4%	0.5%	100.0%
中学生保護者	6.2%	57.5%	29.5%	4.7%	2.2%	100.0%
高校生保護者	4.3%	59.0%	33.1%	2.9%	0.7%	100.0%
特別支援学校保護者	11.0%	47.5%	35.6%	5.1%	0.8%	100.0%
(ク) 地域は、地域の中の連携・協力を深め、地域の教育力を高めている						
小学生保護者	7.8%	61.0%	27.8%	2.8%	0.6%	100.0%
中学生保護者	6.2%	55.1%	31.8%	5.1%	1.8%	100.0%
高校生保護者	3.6%	52.5%	41.0%	2.9%	0.0%	100.0%
特別支援学校保護者	8.5%	53.4%	32.2%	5.1%	0.8%	100.0%

問12 現在、さいたま市では、学校・家庭・行政・地域が連携・協力して、さいたま市の目指す子ども像である「ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども」の実現に向けた取組を行っています。このことに関連して、次の事項について、あなたはどのように思いますか。（それぞれ1つに○）

さいたま市の目指す子ども像実現のための取組に関連した事項について、「そう思う」が高いものは、「人と人のかかわりを大切に、豊かな人間関係を築くなど、コミュニケーションを通じて豊かななかかわり合いをはぐくみたい」で「小学生保護者」が73.6%、「中学生保護者」が61.8%、「高校生保護者」が61.9%、「特別支援学校保護者」が65.3%と最も高くなっています。



項目(度数)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 「わかった できた もっと知りたい」と、目を輝かせて学習するなど、確かな学力をはぐくみたい						
小学生保護者	519	256	29	2	12	818
中学生保護者	285	218	22	4	21	550
高校生保護者	74	55	8	1	1	139
特別支援学校保護者	58	48	5	1	6	118
(イ) 自他を尊重する心、正義を愛する心、感動する心を磨くなど、豊かな心をはぐくみたい						
小学生保護者	564	205	35	1	13	818
中学生保護者	310	201	16	3	20	550
高校生保護者	72	59	6	1	1	139
特別支援学校保護者	72	36	2	1	7	118
(ウ) 自ら進んで健康について考え、たくましい身体をつくるなど、健やかな体をはぐくみたい						
小学生保護者	463	304	36	2	13	818
中学生保護者	243	258	26	3	20	550
高校生保護者	61	71	5	1	1	139
特別支援学校保護者	45	60	5	1	7	118
(エ) 人と人のかかわりを大切に、豊かな人間関係を築くなど、コミュニケーションを通じて豊かなかかわり合いをはぐくみたい						
小学生保護者	602	179	23	1	13	818
中学生保護者	340	174	14	2	20	550
高校生保護者	86	48	4	0	1	139
特別支援学校保護者	77	29	4	1	7	118

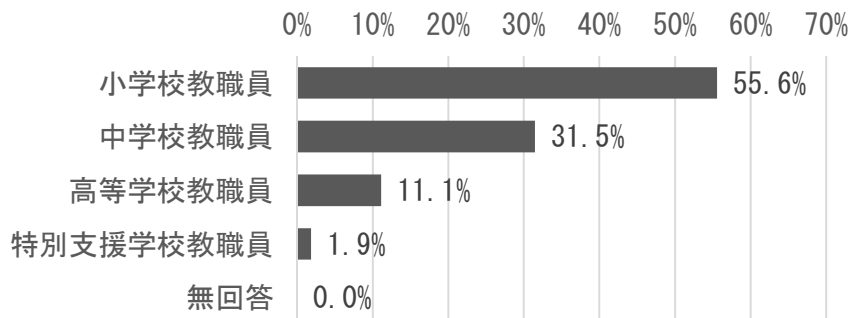
項目(構成比)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 「わかった できた もっと知りたい」と、目を輝かせて学習するなど、確かな学力をはぐくみたい						
小学生保護者	63.4%	31.3%	3.5%	0.2%	1.5%	100.0%
中学生保護者	51.8%	39.6%	4.0%	0.7%	3.8%	100.0%
高校生保護者	53.2%	39.6%	5.8%	0.7%	0.7%	100.0%
特別支援学校保護者	49.2%	40.7%	4.2%	0.8%	5.1%	100.0%
(イ) 自他を尊重する心、正義を愛する心、感動する心を磨くなど、豊かな心をはぐくみたい						
小学生保護者	68.9%	25.1%	4.3%	0.1%	1.6%	100.0%
中学生保護者	56.4%	36.5%	2.9%	0.5%	3.6%	100.0%
高校生保護者	51.8%	42.4%	4.3%	0.7%	0.7%	100.0%
特別支援学校保護者	61.0%	30.5%	1.7%	0.8%	5.9%	100.0%
(ウ) 自ら進んで健康について考え、たくましい身体をつくるなど、健やかな体をはぐくみたい						
小学生保護者	56.6%	37.2%	4.4%	0.2%	1.6%	100.0%
中学生保護者	44.2%	46.9%	4.7%	0.5%	3.6%	100.0%
高校生保護者	43.9%	51.1%	3.6%	0.7%	0.7%	100.0%
特別支援学校保護者	38.1%	50.8%	4.2%	0.8%	5.9%	100.0%
(エ) 人と人のかかわりを大切に、豊かな人間関係を築くなど、コミュニケーションを通じて豊かなかかわり合いをはぐくみたい						
小学生保護者	73.6%	21.9%	2.8%	0.1%	1.6%	100.0%
中学生保護者	61.8%	31.6%	2.5%	0.4%	3.6%	100.0%
高校生保護者	61.9%	34.5%	2.9%	0.0%	0.7%	100.0%
特別支援学校保護者	65.3%	24.6%	3.4%	0.8%	5.9%	100.0%

教職員調査結果

① あなた自身について

問1 あなたは、次のうちどれにあてはまりますか。（1つに〇）

「小学校教職員」が55.6%、「中学校教職員」が31.5%、「高等学校教職員」が11.1%、「特別支援学校教職員」が1.9%となっています。



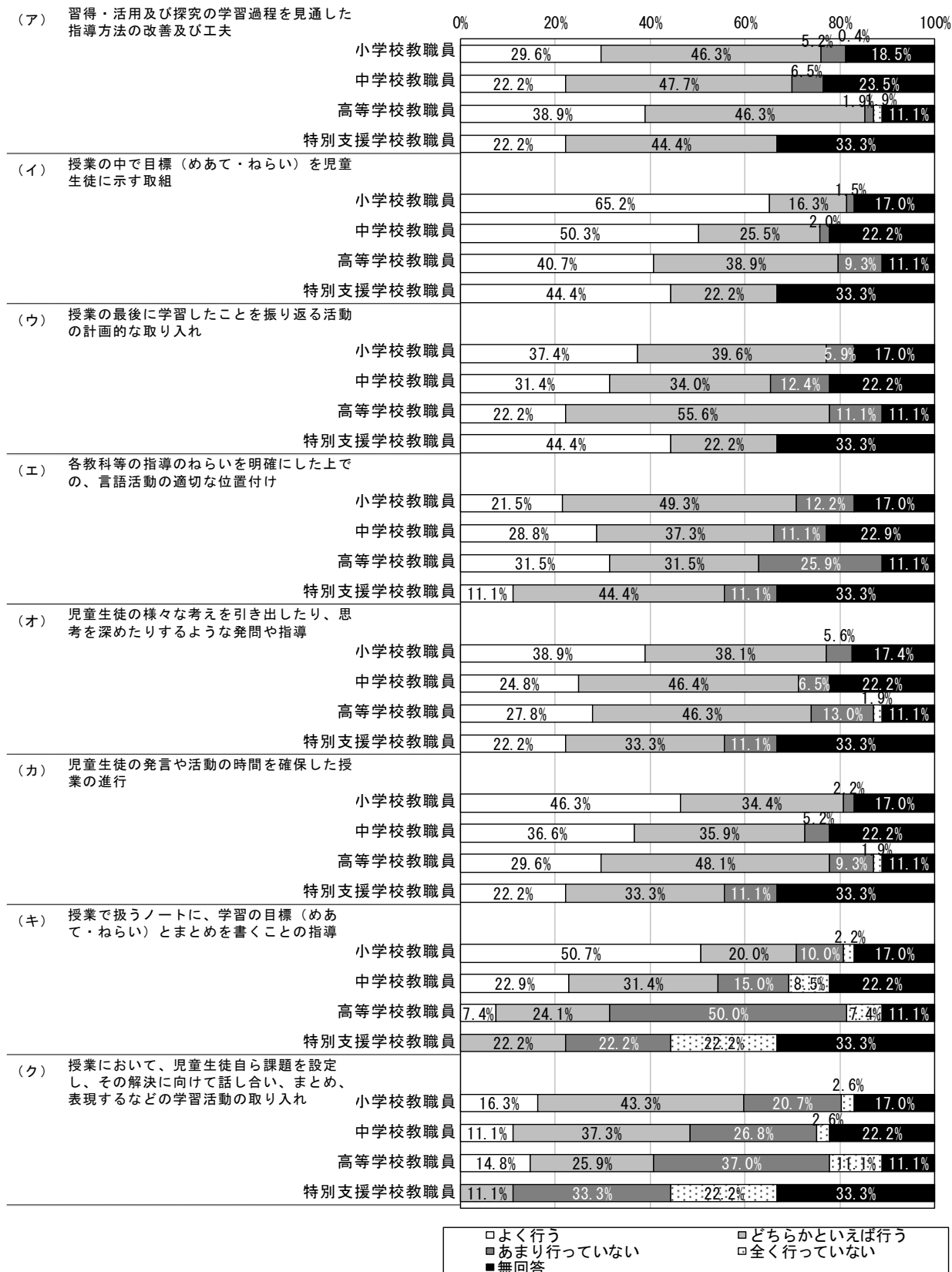
項目	度数	構成比
小学校教職員	270	55.6%
中学校教職員	153	31.5%
高等学校教職員	54	11.1%
特別支援学校教職員	9	1.9%
無回答	0	0.0%
合計	486	100.0%

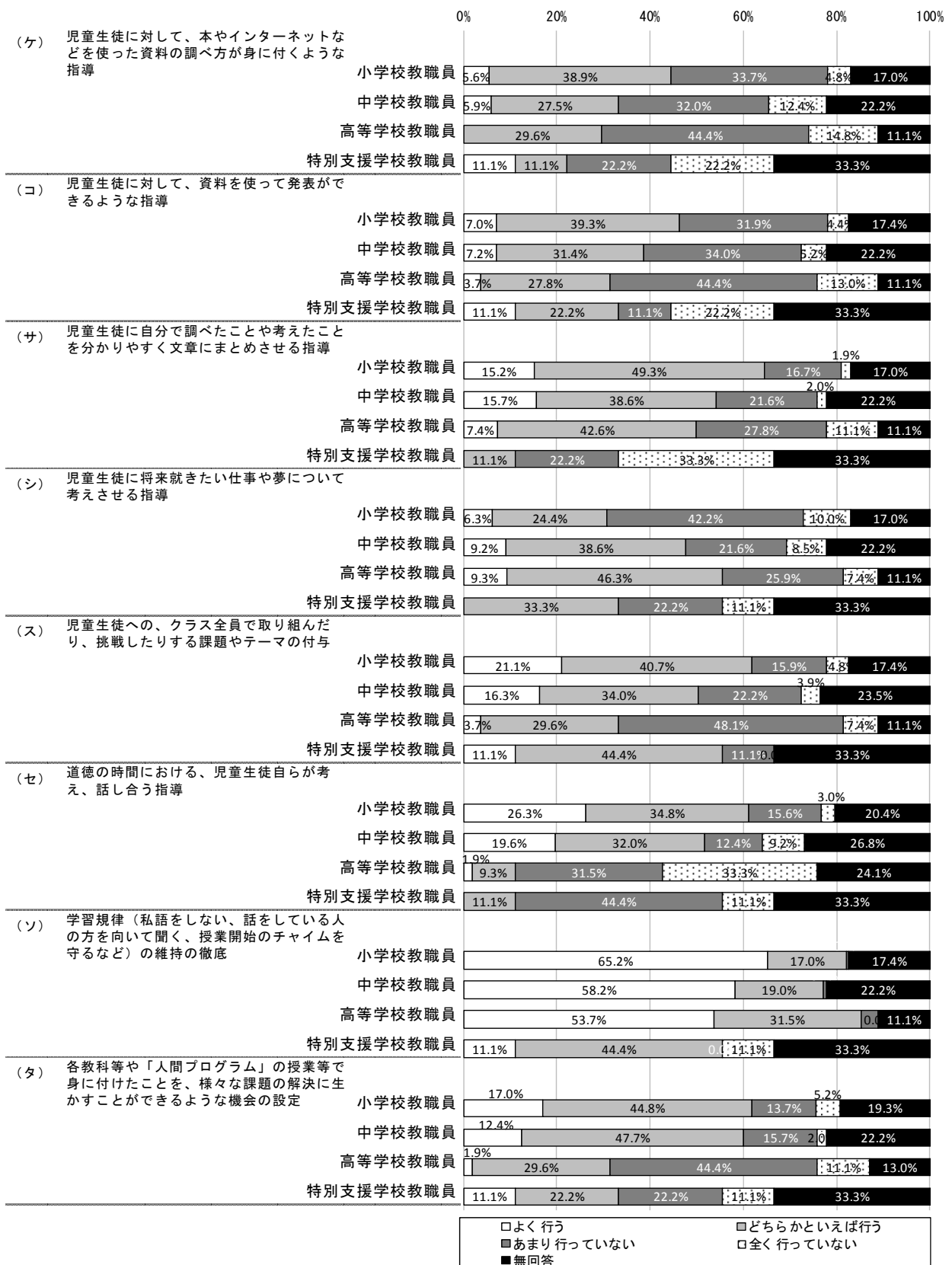
② 教育への取組について

問2 教諭にお尋ねします。それ以外の職種の方については回答不要です。あなたが担当するクラスの児童生徒に対する指導に関して、取り組んでいるものはどれですか。（それぞれ1つに〇）

担当クラスの指導で取り組んでいるものについては、「よく行う」、「どちらかといえばよく行う」を合わせて高いものは、「学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、授業開始のチャイムを守るなど）の維持の徹底」で「小学校教職員」が82.2%、「中学校教職員」が77.2%、「高等学校教職員」が85.2%と最も高く、次いで「授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示す取組」で「小学校教職員」が81.5%、「中学校教職員」が75.8%、「高等学校教職員」が79.6%となっています。

「特別支援学校教職員」では、「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫」、「授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示す取組」、「授業の最期に学習したことを振り返る活動の計画的な取り入れ」が同率の66.6%で最も高くなっています。





項目(度数)	よく行う	どちらかといえは行う	あまり行っていない	全く行っていない	無回答	合計
(ア) 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫						
小学校教職員	80	125	14	1	50	270
中学校教職員	34	73	10	0	36	153
高等学校教職員	21	25	1	1	6	54
特別支援学校教職員	2	4	0	0	3	9
(イ) 授業の中で目標(めあて・ねらい)を児童生徒に示す取組						
小学校教職員	176	44	4	0	46	270
中学校教職員	77	39	3	0	34	153
高等学校教職員	22	21	5	0	6	54
特別支援学校教職員	4	2	0	0	3	9
(ウ) 授業の最後に学習したことを振り返る活動の計画的な取り入れ						
小学校教職員	101	107	16	0	46	270
中学校教職員	48	52	19	0	34	153
高等学校教職員	12	30	6	0	6	54
特別支援学校教職員	4	2	0	0	3	9
(エ) 各教科等の指導のねらいを明確にした上での、言語活動の適切な位置付け						
小学校教職員	58	133	33	0	46	270
中学校教職員	44	57	17	0	35	153
高等学校教職員	17	17	14	0	6	54
特別支援学校教職員	1	4	1	0	3	9
(オ) 児童生徒の様々な考えを引き出ししたり、思考を深めたりするような発問や指導						
小学校教職員	105	103	15	0	47	270
中学校教職員	38	71	10	0	34	153
高等学校教職員	15	25	7	1	6	54
特別支援学校教職員	2	3	1	0	3	9
(カ) 児童生徒の発言や活動の時間を確保した授業の進行						
小学校教職員	125	93	6	0	46	270
中学校教職員	56	55	8	0	34	153
高等学校教職員	16	26	5	1	6	54
特別支援学校教職員	2	3	1	0	3	9
(キ) 授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くことの指導						
小学校教職員	137	54	27	6	46	270
中学校教職員	35	48	23	13	34	153
高等学校教職員	4	13	27	4	6	54
特別支援学校教職員	0	2	2	2	3	9
(ク) 授業において、児童生徒自ら課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動の取り入れ						
小学校教職員	44	117	56	7	46	270
中学校教職員	17	57	41	4	34	153
高等学校教職員	8	14	20	6	6	54
特別支援学校教職員	0	1	3	2	3	9

項目(構成比)	よく行う	どちらかといえば行う	あまり行っていない	全く行っていない	無回答	合計
(ア) 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫						
小学校教職員	29.6%	46.3%	5.2%	0.4%	18.5%	100.0%
中学校教職員	22.2%	47.7%	6.5%	0.0%	23.5%	100.0%
高等学校教職員	38.9%	46.3%	1.9%	1.9%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%
(イ) 授業の中で目標(めあて・ねらい)を児童生徒に示す取組						
小学校教職員	65.2%	16.3%	1.5%	0.0%	17.0%	100.0%
中学校教職員	50.3%	25.5%	2.0%	0.0%	22.2%	100.0%
高等学校教職員	40.7%	38.9%	9.3%	0.0%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%
(ウ) 授業の最後に学習したことを振り返る活動の計画的な取り入れ						
小学校教職員	37.4%	39.6%	5.9%	0.0%	17.0%	100.0%
中学校教職員	31.4%	34.0%	12.4%	0.0%	22.2%	100.0%
高等学校教職員	22.2%	55.6%	11.1%	0.0%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%
(エ) 各教科等の指導のねらいを明確にした上での、言語活動の適切な位置付け						
小学校教職員	21.5%	49.3%	12.2%	0.0%	17.0%	100.0%
中学校教職員	28.8%	37.3%	11.1%	0.0%	22.9%	100.0%
高等学校教職員	31.5%	31.5%	25.9%	0.0%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	11.1%	44.4%	11.1%	0.0%	33.3%	100.0%
(オ) 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導						
小学校教職員	38.9%	38.1%	5.6%	0.0%	17.4%	100.0%
中学校教職員	24.8%	46.4%	6.5%	0.0%	22.2%	100.0%
高等学校教職員	27.8%	46.3%	13.0%	1.9%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%	33.3%	100.0%
(カ) 児童生徒の発言や活動の時間を確保した授業の進行						
小学校教職員	46.3%	34.4%	2.2%	0.0%	17.0%	100.0%
中学校教職員	36.6%	35.9%	5.2%	0.0%	22.2%	100.0%
高等学校教職員	29.6%	48.1%	9.3%	1.9%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%	33.3%	100.0%
(キ) 授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くことの指導						
小学校教職員	50.7%	20.0%	10.0%	2.2%	17.0%	100.0%
中学校教職員	22.9%	31.4%	15.0%	8.5%	22.2%	100.0%
高等学校教職員	7.4%	24.1%	50.0%	7.4%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	22.2%	22.2%	22.2%	33.3%	100.0%
(ク) 授業において、児童生徒自ら課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動の取り入れ						
小学校教職員	16.3%	43.3%	20.7%	2.6%	17.0%	100.0%
中学校教職員	11.1%	37.3%	26.8%	2.6%	22.2%	100.0%
高等学校教職員	14.8%	25.9%	37.0%	11.1%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	11.1%	33.3%	22.2%	33.3%	100.0%

項目(度数)	よく行う	どちらかといえば行う	あまり行っていない	全く行っていない	無回答	合計
(ケ) 児童生徒に対して、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くような指導						
小学校教職員	15	105	91	13	46	270
中学校教職員	9	42	49	19	34	153
高等学校教職員	0	16	24	8	6	54
特別支援学校教職員	1	1	2	2	3	9
(コ) 児童生徒に対して、資料を使って発表ができるような指導						
小学校教職員	19	106	86	12	47	270
中学校教職員	11	48	52	8	34	153
高等学校教職員	2	15	24	7	6	54
特別支援学校教職員	1	2	1	2	3	9
(サ) 児童生徒に自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章にまとめさせる指導						
小学校教職員	41	133	45	5	46	270
中学校教職員	24	59	33	3	34	153
高等学校教職員	4	23	15	6	6	54
特別支援学校教職員	0	1	2	3	3	9
(シ) 児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導						
小学校教職員	17	66	114	27	46	270
中学校教職員	14	59	33	13	34	153
高等学校教職員	5	25	14	4	6	54
特別支援学校教職員	0	3	2	1	3	9
(ス) 児童生徒への、クラス全員で取り組んだり、挑戦したりする課題やテーマの付与						
小学校教職員	57	110	43	13	47	270
中学校教職員	25	52	34	6	36	153
高等学校教職員	2	16	26	4	6	54
特別支援学校教職員	1	4	1	0	3	9
(セ) 道徳の時間における、児童生徒自らが考え、話し合う指導						
小学校教職員	71	94	42	8	55	270
中学校教職員	30	49	19	14	41	153
高等学校教職員	1	5	17	18	13	54
特別支援学校教職員	0	1	4	1	3	9
(ソ) 学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、授業開始のチャイムを守るなど）の維持の徹底						
小学校教職員	176	46	1	0	47	270
中学校教職員	89	29	1	0	34	153
高等学校教職員	29	17	2	0	6	54
特別支援学校教職員	1	4	0	1	3	9
(タ) 各教科等や「人間プログラム」の授業等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会の設定						
小学校教職員	46	121	37	14	52	270
中学校教職員	19	73	24	3	34	153
高等学校教職員	1	16	24	6	7	54
特別支援学校教職員	1	2	2	1	3	9

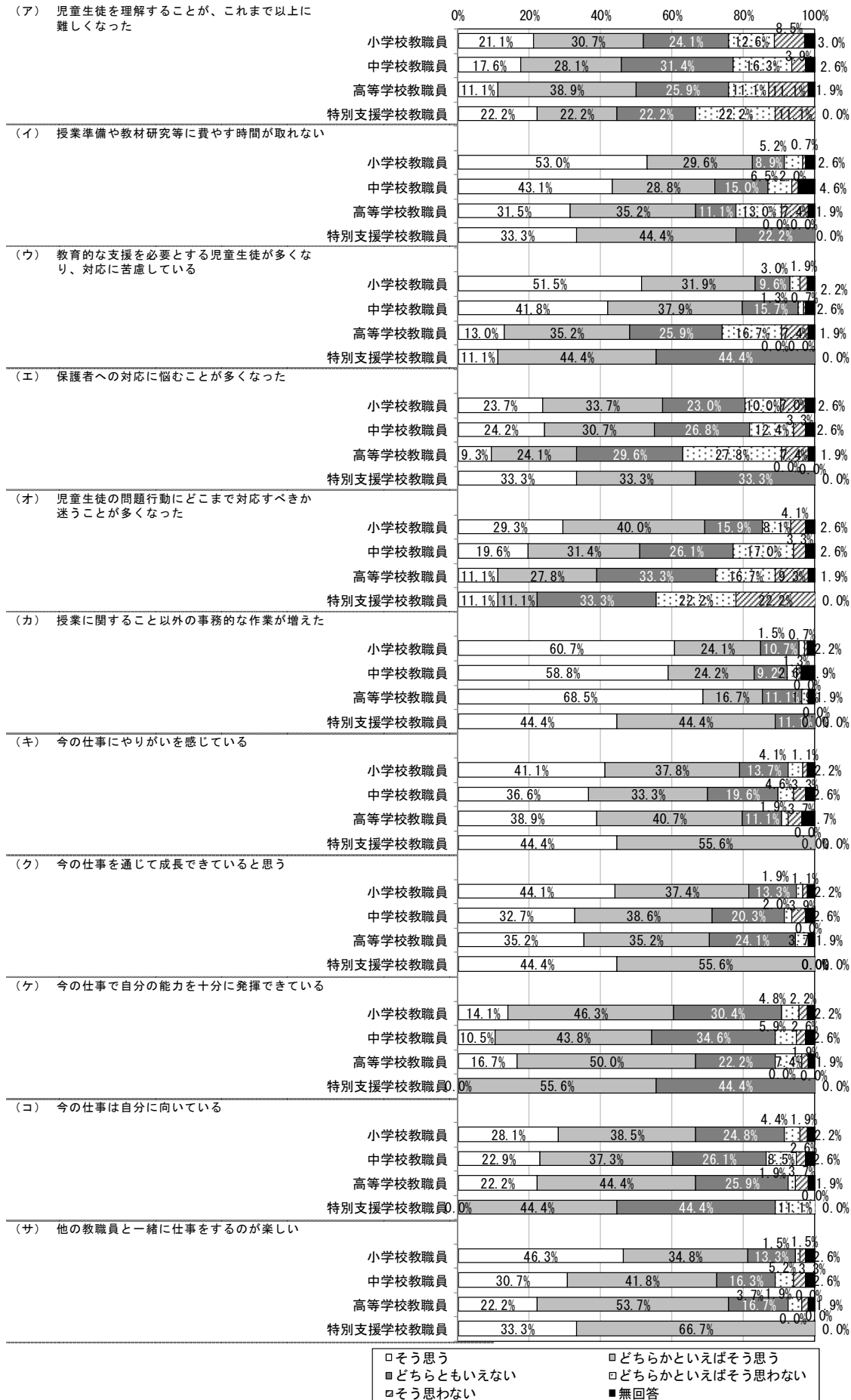
項目(構成比)	よく行う	どちらかといえは行う	あまり行っていない	全く行っていない	無回答	合計
(ケ) 児童生徒に対して、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くような指導						
小学校教職員	5.6%	38.9%	33.7%	4.8%	17.0%	100.0%
中学校教職員	5.9%	27.5%	32.0%	12.4%	22.2%	100.0%
高等学校教職員	0.0%	29.6%	44.4%	14.8%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	33.3%	100.0%
(コ) 児童生徒に対して、資料を使って発表ができるような指導						
小学校教職員	7.0%	39.3%	31.9%	4.4%	17.4%	100.0%
中学校教職員	7.2%	31.4%	34.0%	5.2%	22.2%	100.0%
高等学校教職員	3.7%	27.8%	44.4%	13.0%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	11.1%	22.2%	11.1%	22.2%	33.3%	100.0%
(サ) 児童生徒に自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章にまとめさせる指導						
小学校教職員	15.2%	49.3%	16.7%	1.9%	17.0%	100.0%
中学校教職員	15.7%	38.6%	21.6%	2.0%	22.2%	100.0%
高等学校教職員	7.4%	42.6%	27.8%	11.1%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	11.1%	22.2%	33.3%	33.3%	100.0%
(シ) 児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導						
小学校教職員	6.3%	24.4%	42.2%	10.0%	17.0%	100.0%
中学校教職員	9.2%	38.6%	21.6%	8.5%	22.2%	100.0%
高等学校教職員	9.3%	46.3%	25.9%	7.4%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	33.3%	22.2%	11.1%	33.3%	100.0%
(ス) 児童生徒への、クラス全員で取り組んだり、挑戦したりする課題やテーマの付与						
小学校教職員	21.1%	40.7%	15.9%	4.8%	17.4%	100.0%
中学校教職員	16.3%	34.0%	22.2%	3.9%	23.5%	100.0%
高等学校教職員	3.7%	29.6%	48.1%	7.4%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	11.1%	44.4%	11.1%	0.0%	33.3%	100.0%
(セ) 道徳の時間における、児童生徒自らが考え、話し合う指導						
小学校教職員	26.3%	34.8%	15.6%	3.0%	20.4%	100.0%
中学校教職員	19.6%	32.0%	12.4%	9.2%	26.8%	100.0%
高等学校教職員	1.9%	9.3%	31.5%	33.3%	24.1%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	11.1%	44.4%	11.1%	33.3%	100.0%
(ソ) 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、授業開始のチャイムを守るなど)の維持の徹底						
小学校教職員	65.2%	17.0%	0.4%	0.0%	17.4%	100.0%
中学校教職員	58.2%	19.0%	0.7%	0.0%	22.2%	100.0%
高等学校教職員	53.7%	31.5%	3.7%	0.0%	11.1%	100.0%
特別支援学校教職員	11.1%	44.4%	0.0%	11.1%	33.3%	100.0%
(タ) 各教科等や「人間プログラム」の授業等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会の設定						
小学校教職員	17.0%	44.8%	13.7%	5.2%	19.3%	100.0%
中学校教職員	12.4%	47.7%	15.7%	2.0%	22.2%	100.0%
高等学校教職員	1.9%	29.6%	44.4%	11.1%	13.0%	100.0%
特別支援学校教職員	11.1%	22.2%	22.2%	11.1%	33.3%	100.0%

以下の問いは皆様にお尋ねします。

問3 あなたは、日々の業務についてどのように感じていますか。次の項目についてあなたのお考えと近いものを選んでください。（それぞれ1つに○）

日々の業務について感じていることは、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせて高いものは、「授業に関すること以外の事務的な作業が増えた」で「小学校教職員」が84.8%、「中学校教職員」が83.0%、「高等学校教職員」が85.2%と最も高くなっています。

「特別支援学校教職員」では、9人全員が「今の仕事を通じて成長できていると思う」と回答しています。



項目(度数)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 児童生徒を理解することが、これまで以上に難しくなった							
小学校教職員	57	83	65	34	23	8	270
中学校教職員	27	43	48	25	6	4	153
高等学校教職員	6	21	14	6	6	1	54
特別支援学校教職員	2	2	2	2	1	0	9
(イ) 授業準備や教材研究等に費やす時間が取れない							
小学校教職員	143	80	24	14	2	7	270
中学校教職員	66	44	23	10	3	7	153
高等学校教職員	17	19	6	7	4	1	54
特別支援学校教職員	3	4	2	0	0	0	9
(ウ) 教育的な支援を必要とする児童生徒が多くなり、対応に苦慮している							
小学校教職員	139	86	26	8	5	6	270
中学校教職員	64	58	24	2	1	4	153
高等学校教職員	7	19	14	9	4	1	54
特別支援学校教職員	1	4	4	0	0	0	9
(エ) 保護者への対応に悩むことが多くなった							
小学校教職員	64	91	62	27	19	7	270
中学校教職員	37	47	41	19	5	4	153
高等学校教職員	5	13	16	15	4	1	54
特別支援学校教職員	3	3	3	0	0	0	9
(オ) 児童生徒の問題行動にどこまで対応すべきか迷うことが多くなった							
小学校教職員	79	108	43	22	11	7	270
中学校教職員	30	48	40	26	5	4	153
高等学校教職員	6	15	18	9	5	1	54
特別支援学校教職員	1	1	3	2	2	0	9
(カ) 授業に関すること以外の事務的な作業が増えた							
小学校教職員	164	65	29	4	2	6	270
中学校教職員	90	37	14	4	2	6	153
高等学校教職員	37	9	6	1	0	1	54
特別支援学校教職員	4	4	1	0	0	0	9
(キ) 今の仕事にやりがいを感じている							
小学校教職員	111	102	37	11	3	6	270
中学校教職員	56	51	30	7	5	4	153
高等学校教職員	21	22	6	1	2	2	54
特別支援学校教職員	4	5	0	0	0	0	9
(ク) 今の仕事を通じて成長できていると思う							
小学校教職員	119	101	36	5	3	6	270
中学校教職員	50	59	31	3	6	4	153
高等学校教職員	19	19	13	2	0	1	54
特別支援学校教職員	4	5	0	0	0	0	9
(ケ) 今の仕事で自分の能力を十分に発揮できている							
小学校教職員	38	125	82	13	6	6	270
中学校教職員	16	67	53	9	4	4	153
高等学校教職員	9	27	12	4	1	1	54
特別支援学校教職員	0	5	4	0	0	0	9
(コ) 今の仕事は自分に向いている							
小学校教職員	76	104	67	12	5	6	270
中学校教職員	35	57	40	13	4	4	153
高等学校教職員	12	24	14	1	2	1	54
特別支援学校教職員	0	4	4	1	0	0	9
(サ) 他の教職員と一緒に仕事をするのが楽しい							
小学校教職員	125	94	36	4	4	7	270
中学校教職員	47	64	25	8	5	4	153
高等学校教職員	12	29	9	2	1	1	54
特別支援学校教職員	3	6	0	0	0	0	9

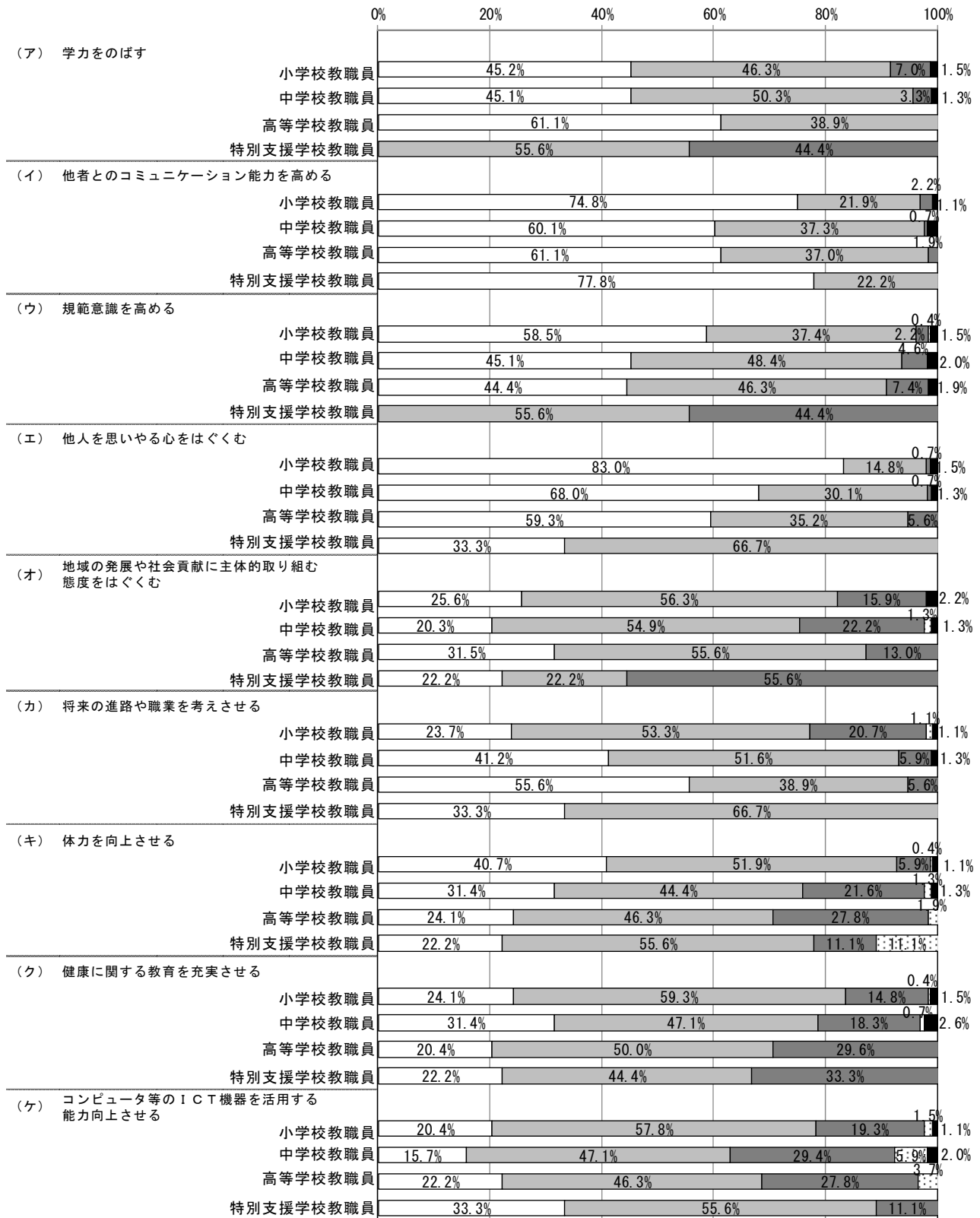
項目(構成比)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 児童生徒を理解することが、これまで以上に難しくなった							
小学校教職員	21.1%	30.7%	24.1%	12.6%	8.5%	3.0%	100.0%
中学校教職員	17.6%	28.1%	31.4%	16.3%	3.9%	2.6%	100.0%
高等学校教職員	11.1%	38.9%	25.9%	11.1%	11.1%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	11.1%	0.0%	100.0%
(イ) 授業準備や教材研究等に費やす時間が取れない							
小学校教職員	53.0%	29.6%	8.9%	5.2%	0.7%	2.6%	100.0%
中学校教職員	43.1%	28.8%	15.0%	6.5%	2.0%	4.6%	100.0%
高等学校教職員	31.5%	35.2%	11.1%	13.0%	7.4%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(ウ) 教育的な支援を必要とする児童生徒が多くなり、対応に苦慮している							
小学校教職員	51.5%	31.9%	9.6%	3.0%	1.9%	2.2%	100.0%
中学校教職員	41.8%	37.9%	15.7%	1.3%	0.7%	2.6%	100.0%
高等学校教職員	13.0%	35.2%	25.9%	16.7%	7.4%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(エ) 保護者への対応に悩むことが多くなった							
小学校教職員	23.7%	33.7%	23.0%	10.0%	7.0%	2.6%	100.0%
中学校教職員	24.2%	30.7%	26.8%	12.4%	3.3%	2.6%	100.0%
高等学校教職員	9.3%	24.1%	29.6%	27.8%	7.4%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(オ) 児童生徒の問題行動にどこまで対応すべきか迷うことが多くなった							
小学校教職員	29.3%	40.0%	15.9%	8.1%	4.1%	2.6%	100.0%
中学校教職員	19.6%	31.4%	26.1%	17.0%	3.3%	2.6%	100.0%
高等学校教職員	11.1%	27.8%	33.3%	16.7%	9.3%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	11.1%	11.1%	33.3%	22.2%	22.2%	0.0%	100.0%
(カ) 授業に関すること以外の事務的な作業が増えた							
小学校教職員	60.7%	24.1%	10.7%	1.5%	0.7%	2.2%	100.0%
中学校教職員	58.8%	24.2%	9.2%	2.6%	1.3%	3.9%	100.0%
高等学校教職員	68.5%	16.7%	11.1%	1.9%	0.0%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(キ) 今の仕事にやりがいを感じている							
小学校教職員	41.1%	37.8%	13.7%	4.1%	1.1%	2.2%	100.0%
中学校教職員	36.6%	33.3%	19.6%	4.6%	3.3%	2.6%	100.0%
高等学校教職員	38.9%	40.7%	11.1%	1.9%	3.7%	3.7%	100.0%
特別支援学校教職員	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(ク) 今の仕事を通じて成長できていると思う							
小学校教職員	44.1%	37.4%	13.3%	1.9%	1.1%	2.2%	100.0%
中学校教職員	32.7%	38.6%	20.3%	2.0%	3.9%	2.6%	100.0%
高等学校教職員	35.2%	35.2%	24.1%	3.7%	0.0%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(ケ) 今の仕事で自分の能力を十分に発揮できている							
小学校教職員	14.1%	46.3%	30.4%	4.8%	2.2%	2.2%	100.0%
中学校教職員	10.5%	43.8%	34.6%	5.9%	2.6%	2.6%	100.0%
高等学校教職員	16.7%	50.0%	22.2%	7.4%	1.9%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(コ) 今の仕事は自分に向いている							
小学校教職員	28.1%	38.5%	24.8%	4.4%	1.9%	2.2%	100.0%
中学校教職員	22.9%	37.3%	26.1%	8.5%	2.6%	2.6%	100.0%
高等学校教職員	22.2%	44.4%	25.9%	1.9%	3.7%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%
(サ) 他の教職員と一緒に仕事をするのが楽しい							
小学校教職員	46.3%	34.8%	13.3%	1.5%	1.5%	2.6%	100.0%
中学校教職員	30.7%	41.8%	16.3%	5.2%	3.3%	2.6%	100.0%
高等学校教職員	22.2%	53.7%	16.7%	3.7%	1.9%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

③ 教育・指導方針について

問4 今後、あなたの学校の教育指導等について、どのように思いますか。(それぞれ1つに○)

今後のあなたの学校の教育指導については、「特に重視したいと思う」が高いものは、「他人を思いやる心をはぐくむ」で「小学校教職員」が83.0%、「中学校教職員」が68.0%と最も高くなっています。また、「高等学校教職員」では、「学力をのばす」、「他者とのコミュニケーション能力を高める」が同率で61.1%となっています。

「特別支援学校教職員」では、「他者とのコミュニケーション能力を高める」が77.8%と最も高くなっています。



特に重視したいと思う どちらかといえば重視したいと思う
 そこまで重きはおいていない まったく重きはおいていない
 無回答

項目(度数)	特に重視 したいと思う	どちらか といえば重視 したいと思う	そこまで 重きはおいて いない	まったく 重きはおいて いない	無回答	合計
(ア) 学力をのばす						
小学校教職員	122	125	19	0	4	270
中学校教職員	69	77	5	0	2	153
高等学校教職員	33	21	0	0	0	54
特別支援学校教職員	0	5	4	0	0	9
(イ) 他者とのコミュニケーション能力を高める						
小学校教職員	202	59	6	0	3	270
中学校教職員	92	57	1	0	3	153
高等学校教職員	33	20	1	0	0	54
特別支援学校教職員	7	2	0	0	0	9
(ウ) 規範意識を高める						
小学校教職員	158	101	6	1	4	270
中学校教職員	69	74	7	0	3	153
高等学校教職員	24	25	4	0	1	54
特別支援学校教職員	0	5	4	0	0	9
(エ) 他人を思いやる心をはぐくむ						
小学校教職員	224	40	2	0	4	270
中学校教職員	104	46	1	0	2	153
高等学校教職員	32	19	3	0	0	54
特別支援学校教職員	3	6	0	0	0	9
(オ) 地域の発展や社会貢献に主体的に取り組む態度をはぐくむ						
小学校教職員	69	152	43	0	6	270
中学校教職員	31	84	34	2	2	153
高等学校教職員	17	30	7	0	0	54
特別支援学校教職員	2	2	5	0	0	9
(カ) 将来の進路や職業を考えさせる						
小学校教職員	64	144	56	3	3	270
中学校教職員	63	79	9	0	2	153
高等学校教職員	30	21	3	0	0	54
特別支援学校教職員	3	6	0	0	0	9
(キ) 体力を向上させる						
小学校教職員	110	140	16	1	3	270
中学校教職員	48	68	33	2	2	153
高等学校教職員	13	25	15	1	0	54
特別支援学校教職員	2	5	1	1	0	9
(ク) 健康に関する教育を充実させる						
小学校教職員	65	160	40	1	4	270
中学校教職員	48	72	28	1	4	153
高等学校教職員	11	27	16	0	0	54
特別支援学校教職員	2	4	3	0	0	9
(ケ) コンピュータ等のICT機器を活用する能力向上させる						
小学校教職員	55	156	52	4	3	270
中学校教職員	24	72	45	9	3	153
高等学校教職員	12	25	15	2	0	54
特別支援学校教職員	3	5	1	0	0	9

項目(構成比)	特に重視 したいと思う	どちらか といえば重視 したいと思う	そこまで 重きはおいて いない	まったく 重きはおいて いない	無回答	合計
(ア) 学力をのばす						
小学校教職員	45.2%	46.3%	7.0%	0.0%	1.5%	100.0%
中学校教職員	45.1%	50.3%	3.3%	0.0%	1.3%	100.0%
高等学校教職員	61.1%	38.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	100.0%
(イ) 他者とのコミュニケーション能力を高める						
小学校教職員	74.8%	21.9%	2.2%	0.0%	1.1%	100.0%
中学校教職員	60.1%	37.3%	0.7%	0.0%	2.0%	100.0%
高等学校教職員	61.1%	37.0%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%
特別支援学校教職員	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(ウ) 規範意識を高める						
小学校教職員	58.5%	37.4%	2.2%	0.4%	1.5%	100.0%
中学校教職員	45.1%	48.4%	4.6%	0.0%	2.0%	100.0%
高等学校教職員	44.4%	46.3%	7.4%	0.0%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	100.0%
(エ) 他人を思いやる心をはぐくむ						
小学校教職員	83.0%	14.8%	0.7%	0.0%	1.5%	100.0%
中学校教職員	68.0%	30.1%	0.7%	0.0%	1.3%	100.0%
高等学校教職員	59.3%	35.2%	5.6%	0.0%	0.0%	100.0%
特別支援学校教職員	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(オ) 地域の発展や社会貢献に主体的に取り組む態度をはぐくむ						
小学校教職員	25.6%	56.3%	15.9%	0.0%	2.2%	100.0%
中学校教職員	20.3%	54.9%	22.2%	1.3%	1.3%	100.0%
高等学校教職員	31.5%	55.6%	13.0%	0.0%	0.0%	100.0%
特別支援学校教職員	22.2%	22.2%	55.6%	0.0%	0.0%	100.0%
(カ) 将来の進路や職業を考えさせる						
小学校教職員	23.7%	53.3%	20.7%	1.1%	1.1%	100.0%
中学校教職員	41.2%	51.6%	5.9%	0.0%	1.3%	100.0%
高等学校教職員	55.6%	38.9%	5.6%	0.0%	0.0%	100.0%
特別支援学校教職員	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(キ) 体力を向上させる						
小学校教職員	40.7%	51.9%	5.9%	0.4%	1.1%	100.0%
中学校教職員	31.4%	44.4%	21.6%	1.3%	1.3%	100.0%
高等学校教職員	24.1%	46.3%	27.8%	1.9%	0.0%	100.0%
特別支援学校教職員	22.2%	55.6%	11.1%	11.1%	0.0%	100.0%
(ク) 健康に関する教育を充実させる						
小学校教職員	24.1%	59.3%	14.8%	0.4%	1.5%	100.0%
中学校教職員	31.4%	47.1%	18.3%	0.7%	2.6%	100.0%
高等学校教職員	20.4%	50.0%	29.6%	0.0%	0.0%	100.0%
特別支援学校教職員	22.2%	44.4%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
(ケ) コンピュータ等のICT機器を活用する能力向上させる						
小学校教職員	20.4%	57.8%	19.3%	1.5%	1.1%	100.0%
中学校教職員	15.7%	47.1%	29.4%	5.9%	2.0%	100.0%
高等学校教職員	22.2%	46.3%	27.8%	3.7%	0.0%	100.0%
特別支援学校教職員	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%

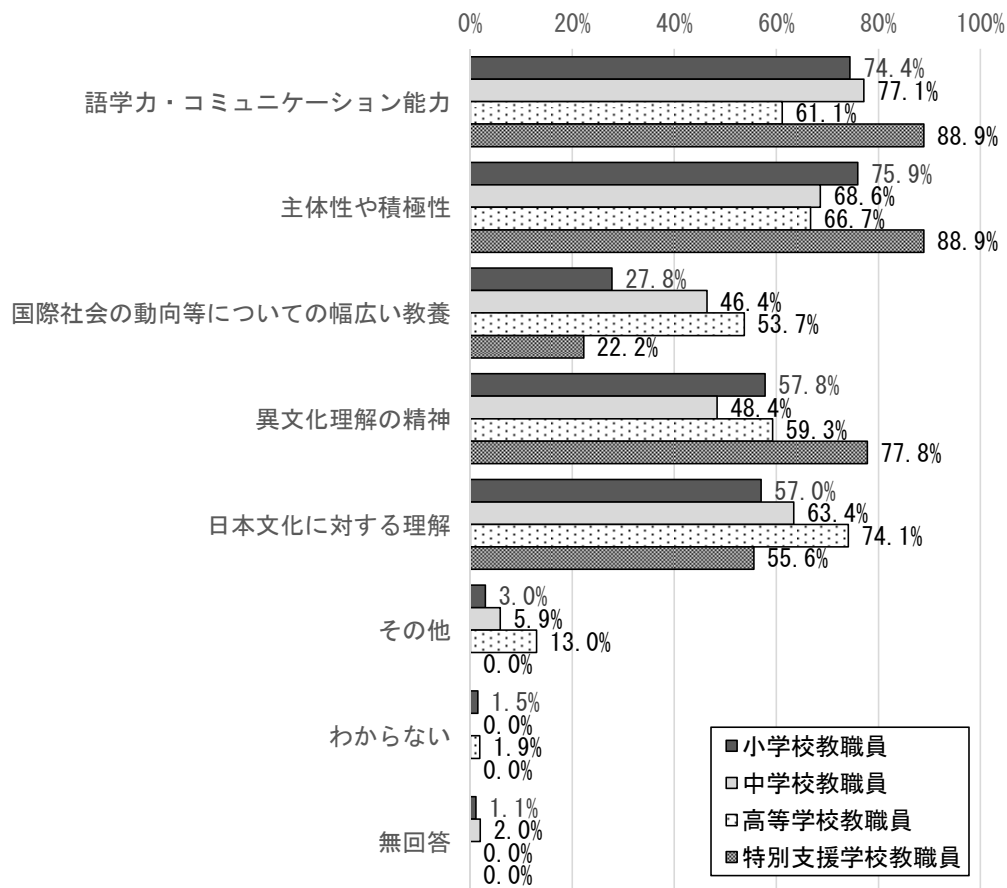
問5 あなたは、グローバル人材を育成していくために、今後、教育においてどのような能力を伸ばしていくことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

グローバル人材の育成のためにどんな教育が重要かについては、「小学校教職員」で、「主体性や積極性」が75.9%と最も高く、次いで「語学力・コミュニケーション能力」が74.4%となっています。

「中学校教職員」では、「語学力・コミュニケーション能力」が77.1%と最も高く、次いで「主体性や積極性」が68.6%となっています。

「高等学校教職員」では、「日本文化に対する理解」が74.1%と最も高く、次いで「主体性や積極性」が66.7%となっています。

「特別支援学校教職員」では、「語学力・コミュニケーション能力」と「主体性や積極性」が同率で88.9%となっています。



項目	小学校教職員		中学校教職員		高等学校教職員		特別支援学校教職員	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
語学力・コミュニケーション能力	201	74.4%	118	77.1%	33	61.1%	8	88.9%
主体性や積極性	205	75.9%	105	68.6%	36	66.7%	8	88.9%
国際社会の動向等についての幅広い教	75	27.8%	71	46.4%	29	53.7%	2	22.2%
異文化理解の精神	156	57.8%	74	48.4%	32	59.3%	7	77.8%
日本文化に対する理解	154	57.0%	97	63.4%	40	74.1%	5	55.6%
その他	8	3.0%	9	5.9%	7	13.0%	0	0.0%
わからない	4	1.5%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%
無回答	3	1.1%	3	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	270		153		54		9	

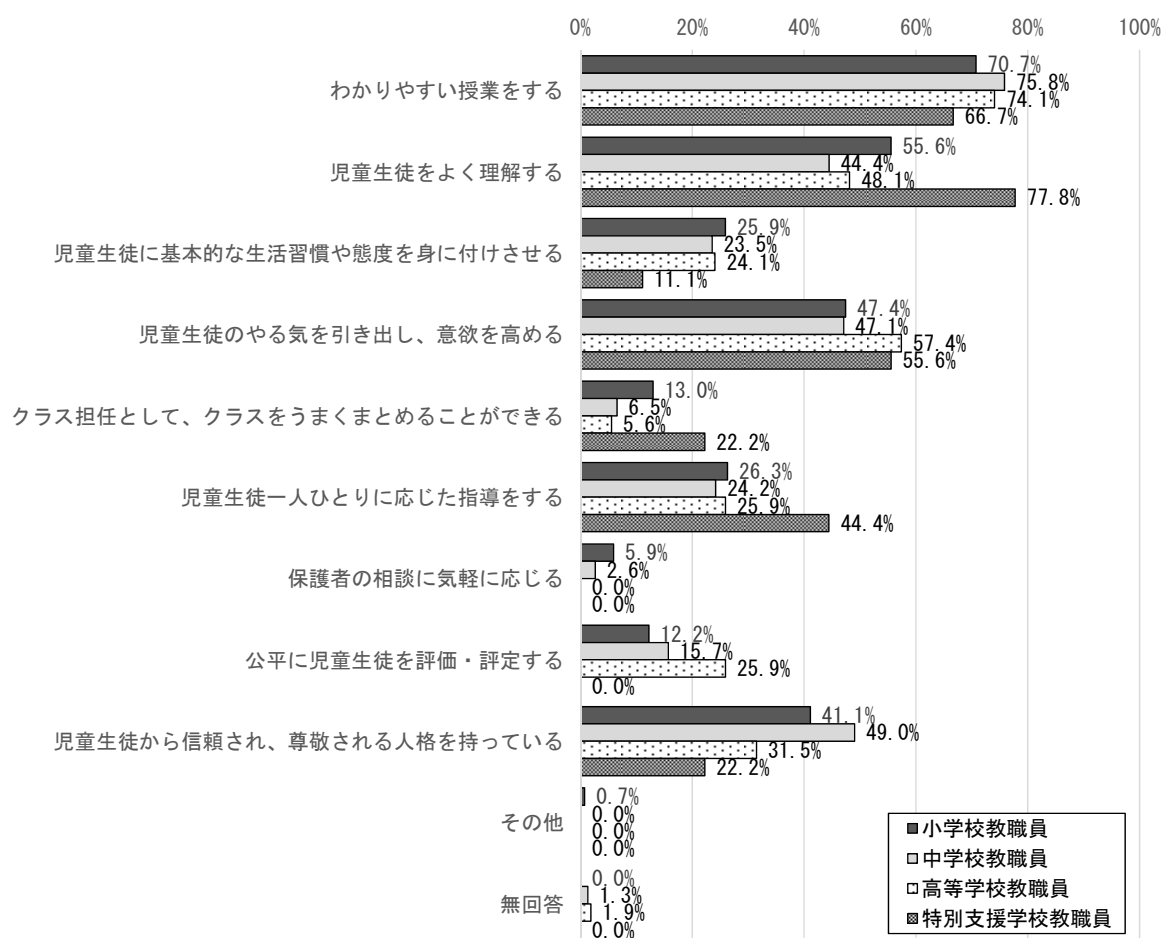
問6 あなたはどのような教員が望ましいと考えますか。（3つまでに○）

望ましい教員については、「小学校教職員」で、「わかりやすい授業をする」が70.7%と最も高く、次いで「児童生徒をよく理解する」が55.6%となっています。

「中学校教職員」では、「わかりやすい授業をする」が75.8%と最も高く、次いで「児童生徒から信頼され、尊敬される人格を持っている」が49.0%となっています。

「高等学校教職員」では、「わかりやすい授業をする」が74.1%と最も高く、次いで「児童生徒のやる気を引き出し、意欲を高める」が57.4%となっています。

「特別支援学校教職員」では、「児童生徒をよく理解する」が77.8%と最も高く、次いで「わかりやすい授業をする」が66.7%となっています。

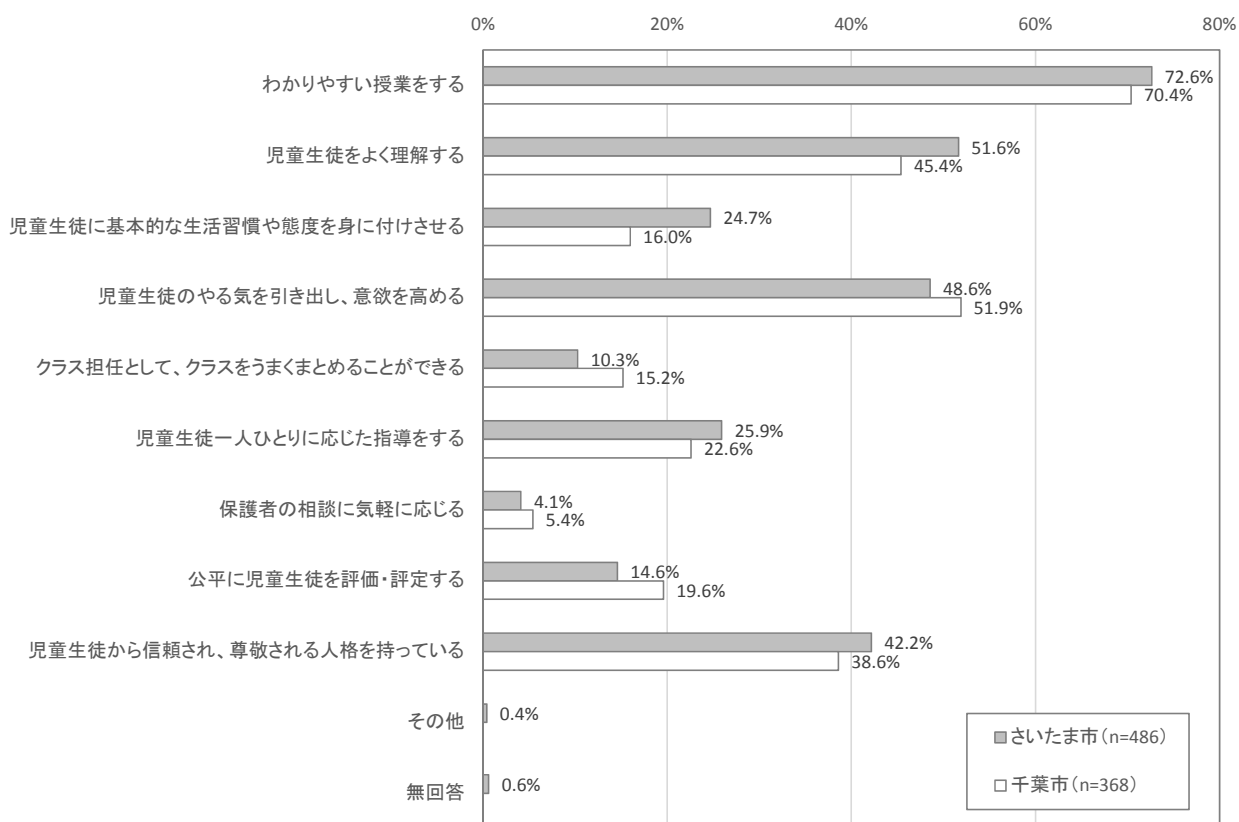


項目	小学校教職員		中学校教職員		高等学校教職員		特別支援学校教職員	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
わかりやすい授業をする	191	70.7%	116	75.8%	40	74.1%	6	66.7%
児童生徒をよく理解する	150	55.6%	68	44.4%	26	48.1%	7	77.8%
児童生徒に基本的な生活習慣や態度を身に付けさせる	70	25.9%	36	23.5%	13	24.1%	1	11.1%
児童生徒のやる気を引き出し、意欲を高める	128	47.4%	72	47.1%	31	57.4%	5	55.6%
クラス担任として、クラスをうまくまとめることができる	35	13.0%	10	6.5%	3	5.6%	2	22.2%
児童生徒一人ひとりに応じた指導をする	71	26.3%	37	24.2%	14	25.9%	4	44.4%
保護者の相談に気軽に応じる	16	5.9%	4	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
公平に児童生徒を評価・評定する	33	12.2%	24	15.7%	14	25.9%	0	0.0%
児童生徒から信頼され、尊敬される人格を持っている	111	41.1%	75	49.0%	17	31.5%	2	22.2%
その他	2	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	2	1.3%	1	1.9%	0	0.0%
回答者数	270		153		54		9	

■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

【千葉市設問】あなたは、どのような教員が望ましいと考えますか。最も近いものを次の中から選んでください。（3つまで）

本市と千葉市とで違いが大きいのは「児童生徒に基本的な生活習慣や態度を身につけさせる」（本市 24.7%、千葉市 16.0%）、「児童生徒をよく理解する」（本市 51.6%、千葉市 45.4%）、「公平に児童生徒を評価・評定する」（本市 14.6%、千葉市 19.6%）、「クラス担任として、クラスをうまくまとめることができる」（本市 10.3%、千葉市 15.2%）などとなっています。



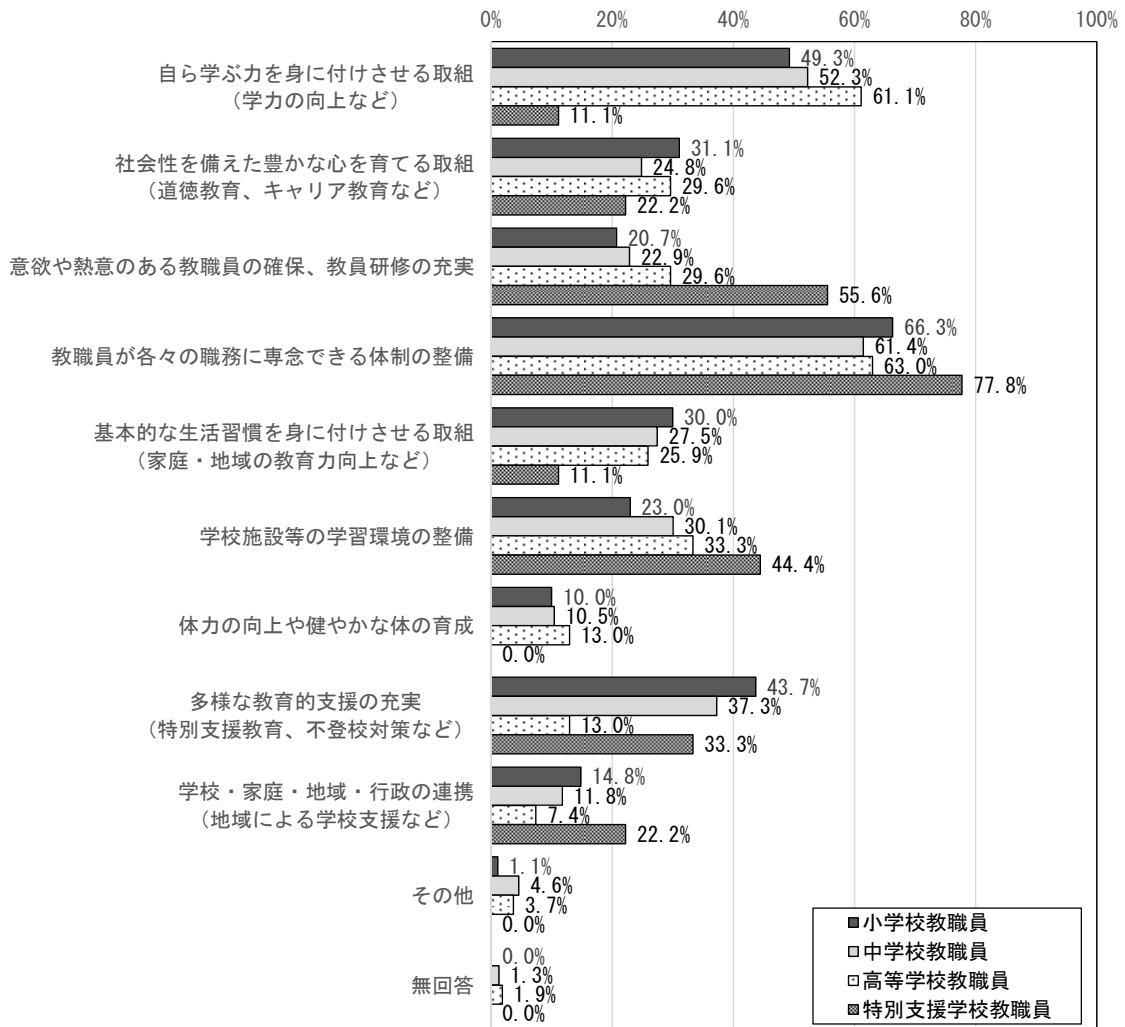
問7 今後の教育施策で特に重要だと思うものを次の中から選んでください。(3つまでに○)

今後の教育施策で重要なものについては、「小学校教職員」で、「教職員が各々の職務に専念できる体制の整備」が66.3%と最も高く、次いで「自ら学ぶ力を身に付けさせる取組(学力の向上など)」が49.3%となっています。

「中学校教職員」では、「教職員が各々の職務に専念できる体制の整備」が61.4%と最も高く、次いで「自ら学ぶ力を身に付けさせる取組(学力の向上など)」が52.3%となっています。

「高等学校教職員」では、「教職員が各々の職務に専念できる体制の整備」が63.0%と最も高く、次いで「自ら学ぶ力を身に付けさせる取組(学力の向上など)」が61.1%となっています。

「特別支援学校教職員」では、「教職員が各々の職務に専念できる体制の整備」が77.8%と最も高く、次いで「意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実」が55.6%となっています。



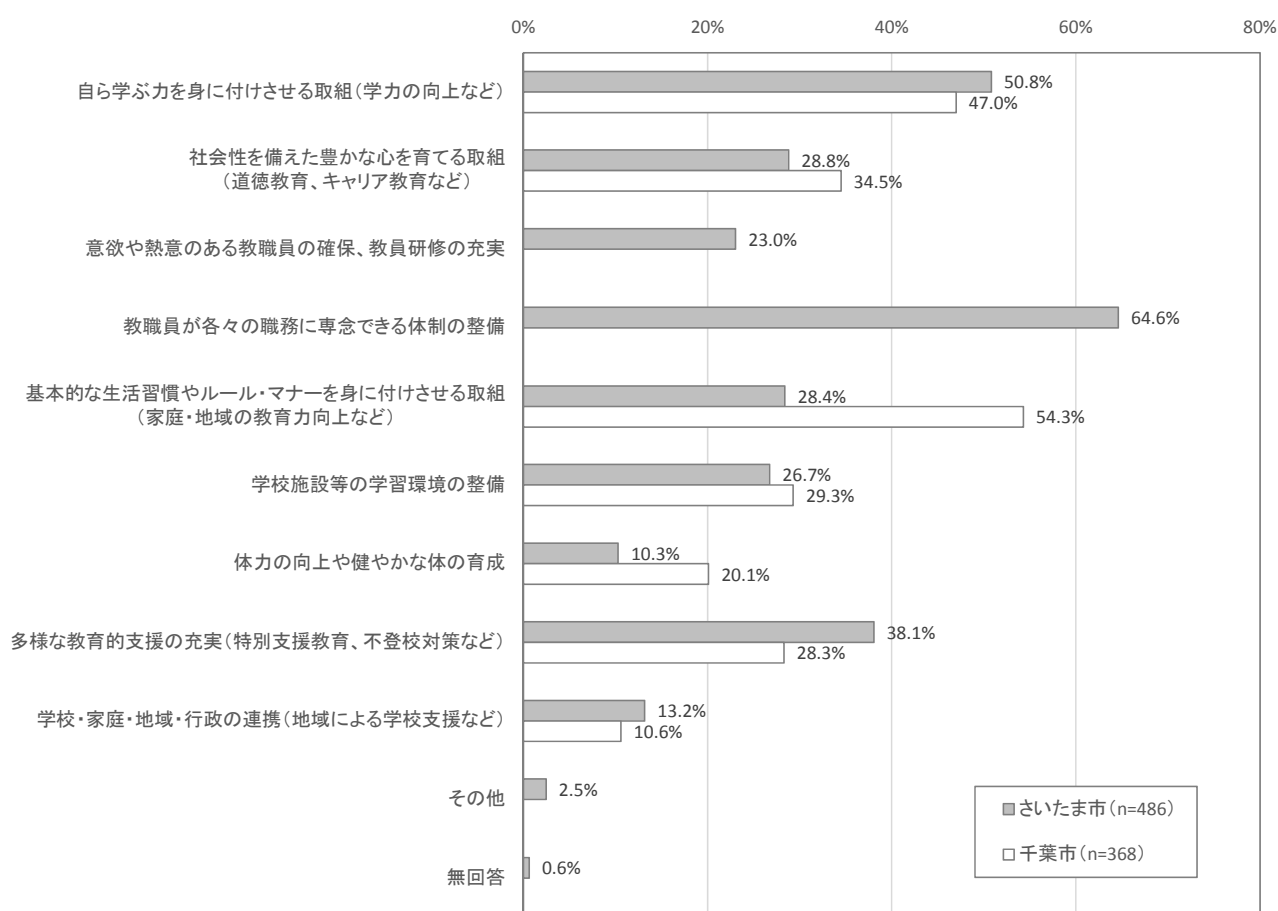
項目	小学校教職員		中学校教職員		高等学校教職員		特別支援学校教職員	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
自ら学ぶ力を身に付けさせる取組 (学力の向上など)	133	49.3%	80	52.3%	33	61.1%	1	11.1%
社会性を備えた豊かな心を育てる取組 (道徳教育、キャリア教育など)	84	31.1%	38	24.8%	16	29.6%	2	22.2%
意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実	56	20.7%	35	22.9%	16	29.6%	5	55.6%
教職員が各々の職務に専念できる体制の整備	179	66.3%	94	61.4%	34	63.0%	7	77.8%
基本的な生活習慣を身に付けさせる取組 (家庭・地域の教育力向上など)	81	30.0%	42	27.5%	14	25.9%	1	11.1%
学校施設等の学習環境の整備	62	23.0%	46	30.1%	18	33.3%	4	44.4%
体力の向上や健やかな体の育成	27	10.0%	16	10.5%	7	13.0%	0	0.0%
多様な教育的支援の充実 (特別支援教育、不登校対策など)	118	43.7%	57	37.3%	7	13.0%	3	33.3%
学校・家庭・地域・行政の連携 (地域による学校支援など)	40	14.8%	18	11.8%	4	7.4%	2	22.2%
その他	3	1.1%	7	4.6%	2	3.7%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	2	1.3%	1	1.9%	0	0.0%
回答者数	270		153		54		9	

■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

【千葉市設問】今後の教育施策で特に重要だと思うものを次の中から選んでください。（3つまで）

※本市の「意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実」と「教職員が各々の職務に専念できる体制の整備」は、千葉市では「質の高い教職員を確保するとともに、教職員が各々の職務に専念できる体制の整備」に集約され、46.7%の回答となっています。

本市と千葉市で違いの大きい項目は、「基本的な生活習慣やルール・マナーを身につけさせる取組（家庭・地域の教育力向上など）」で、千葉市 54.3%に対して、本市では 28.4%となっています。また、「多様な教育的支援の充実（特別支援教育、不登校対策）」では、本市が 38.1%、千葉市が 28.3%と、ほぼ 10 ポイント本市が高くなっています。

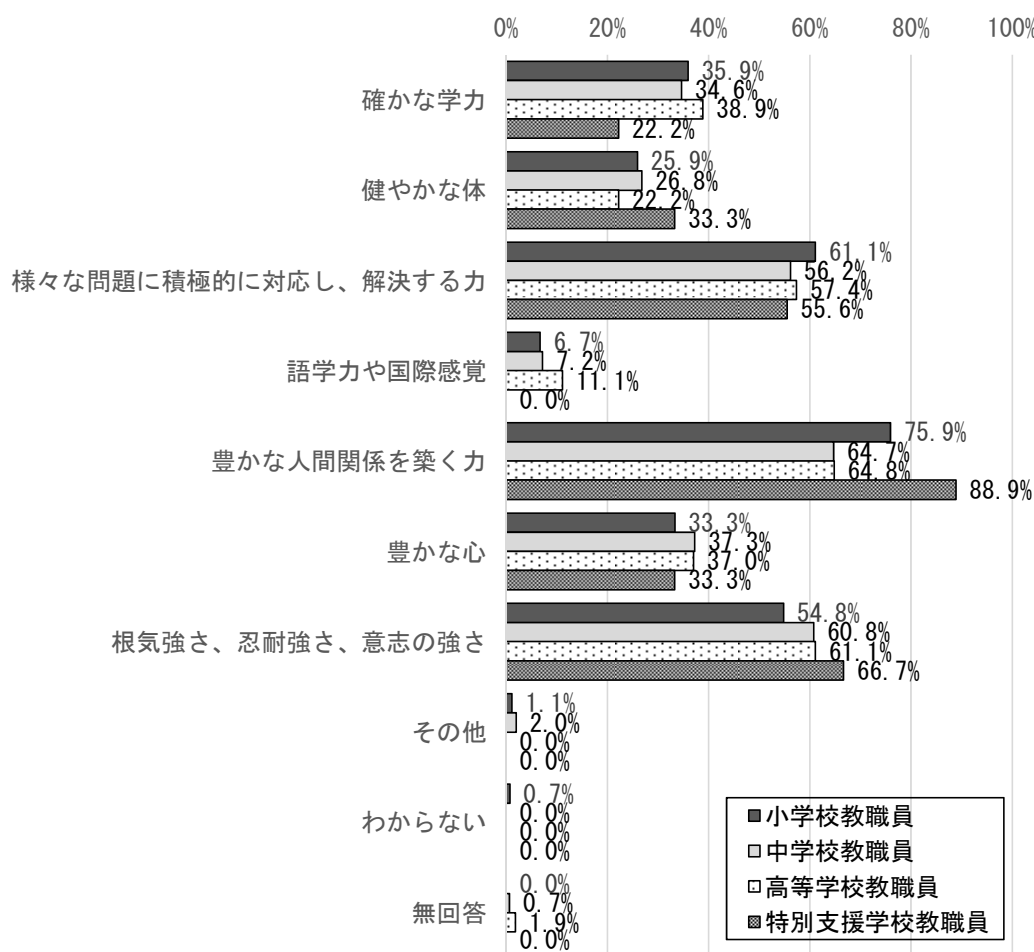


④ 子どもについて

問8 これからの社会を生きるために、子どもに必要なと思われる資質・能力は何ですか。(3つまでに〇)

これからの社会を生きるために必要な子どもの資質や能力については、「小学校教職員」で、「豊かな人間関係を築く力」が75.9%と最も高く、次いで「様々な問題に積極的に対応し、解決する力」が61.1%となっています。

「中学校教職員」、「高等学校教職員」及び「特別支援学校教職員」では、「豊かな人間関係を築く力」がそれぞれ64.7%、64.8%、88.9%と最も高く、次いで「根気強さ、忍耐強さ、意志の強さ」がそれぞれ60.8%、61.1%、66.7%となっています。



項目	小学校教職員		中学校教職員		高等学校教職員		特別支援学校教職員	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
確かな学力	97	35.9%	53	34.6%	21	38.9%	2	22.2%
健やかな体	70	25.9%	41	26.8%	12	22.2%	3	33.3%
様々な問題に積極的に対応し、解決す	165	61.1%	86	56.2%	31	57.4%	5	55.6%
語学力や国際感覚	18	6.7%	11	7.2%	6	11.1%	0	0.0%
豊かな人間関係を築く力	205	75.9%	99	64.7%	35	64.8%	8	88.9%
豊かな心	90	33.3%	57	37.3%	20	37.0%	3	33.3%
根気強さ、忍耐強さ、意志の強さ	148	54.8%	93	60.8%	33	61.1%	6	66.7%
その他	3	1.1%	3	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	2	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	1	0.7%	1	1.9%	0	0.0%
回答者数	270		153		54		9	

■平成 26 年度千葉市「第2次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

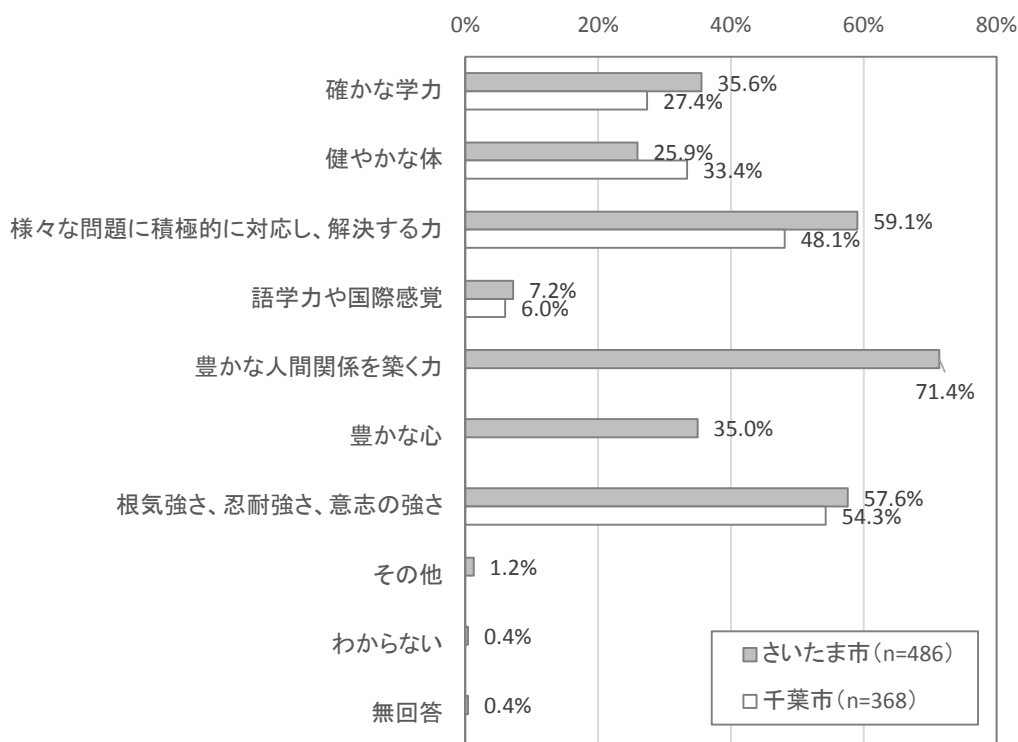
【千葉市設問】これからの社会を生きるために、子どもに必要なと思われる資質・能力は何ですか。

次の中から、選んでください。(3つまで)

※本市の「確かな学力」は千葉市の「基礎的な知識・技能」に、「健やかな体」は「健康や体力」に対応させています。また、本市の「豊かな人間関係を築く力」、「豊かな心」は千葉市にはなく、千葉市の「自らを律しつつ、他人とともに協調すること」(56.5%)と「他人を思いやる心や、感動する心」(63.0%)、「災害に適切に対応する能力」(1.6%)は、本市の選択肢にはありません。

本市では、「豊かな人間関係を築く力」が71.4%で最も高くなっています。千葉市に直接対応する選択肢はありませんが、近い選択肢と思われる「自らを律しつつ、他人とともに協調すること」や「他人を思いやる心や、感動する心」が、それぞれ56.5%と63.0%となっています。

また、本市で第2位の回答である「様々な問題に対応し、解決する力」は、本市が59.1%、千葉市が48.1%と11ポイントの差が出ています。



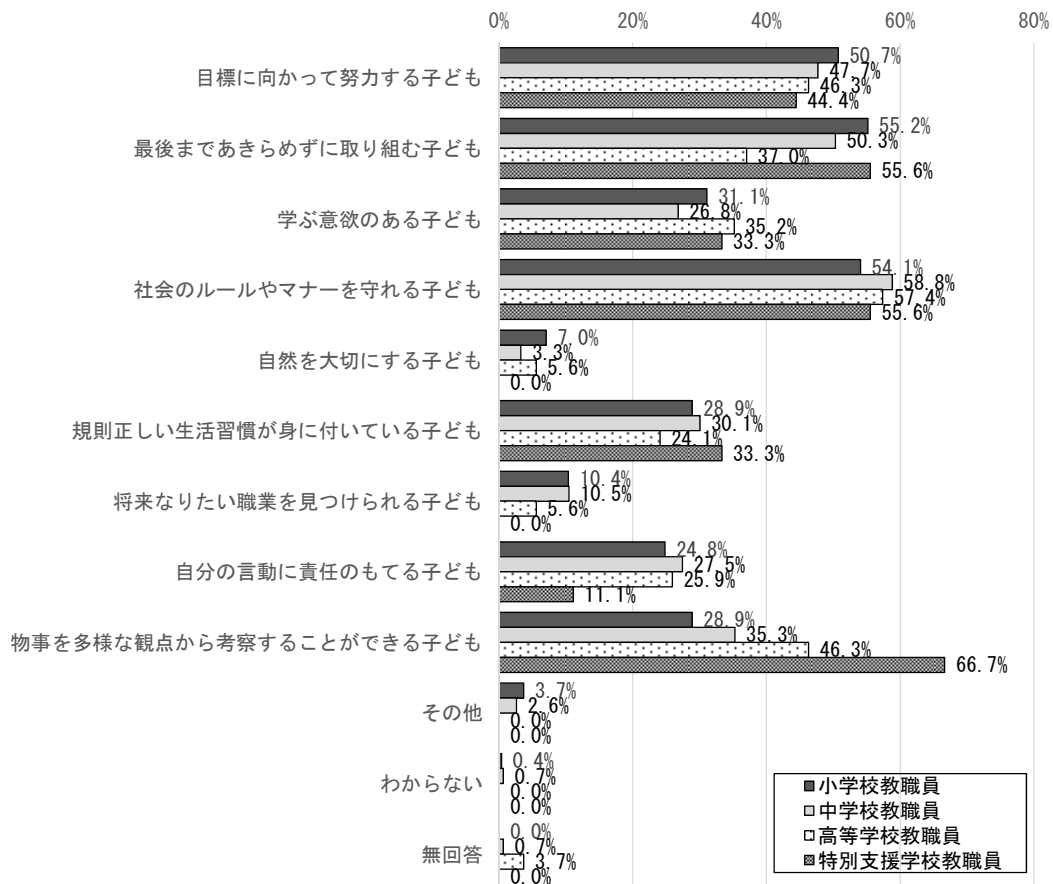
問9 あなたは、どのような子どもの姿が望ましいと思いますか。次の項目についてお考えに近いと思うものを選んでください。（3つまでに○）

望ましい子どもの姿については、「小学校教職員」で、「最後まであきらめずに取り組む子ども」が55.2%と最も高く、次いで「社会のルールやマナーを守れる子ども」が54.1%となっています。

「中学校教職員」では、「社会のルールやマナーを守れる子ども」が58.8%と最も高く、次いで「最後まであきらめずに取り組む子ども」が50.3%となっています。

「高等学校教職員」では、「社会のルールやマナーを守れる子ども」が57.4%と最も高く、次いで「目標に向かって努力する子ども」、「物事を多様な観点から考察することができる子ども」が同率で46.3%となっています。

「特別支援学校教職員」では、「物事を多様な観点から考察することができる子ども」が66.7%で最も高く、次いで「最後まであきらめずに取り組む子ども」と「社会のルールやマナーを守れる子ども」が同率で55.6%となっています。



項目	小学校教職員		中学校教職員		高等学校教職員		特別支援学校教職員	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
目標に向かって努力する子ども	137	50.7%	73	47.7%	25	46.3%	4	44.4%
最後まであきらめずに取り組む子ども	149	55.2%	77	50.3%	20	37.0%	5	55.6%
学ぶ意欲のある子ども	84	31.1%	41	26.8%	19	35.2%	3	33.3%
社会のルールやマナーを守れる子ども	146	54.1%	90	58.8%	31	57.4%	5	55.6%
自然を大切にする子ども	19	7.0%	5	3.3%	3	5.6%	0	0.0%
規則正しい生活習慣が身に付いている子ども	78	28.9%	46	30.1%	13	24.1%	3	33.3%
将来なりたい職業を見つけられる子ども	28	10.4%	16	10.5%	3	5.6%	0	0.0%
自分の言動に責任のもてる子ども	67	24.8%	42	27.5%	14	25.9%	1	11.1%
物事を多様な観点から考察することができる子ども	78	28.9%	54	35.3%	25	46.3%	6	66.7%
その他	10	3.7%	4	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	1	0.4%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	1	0.7%	2	3.7%	0	0.0%
回答者数	270		153		54		9	

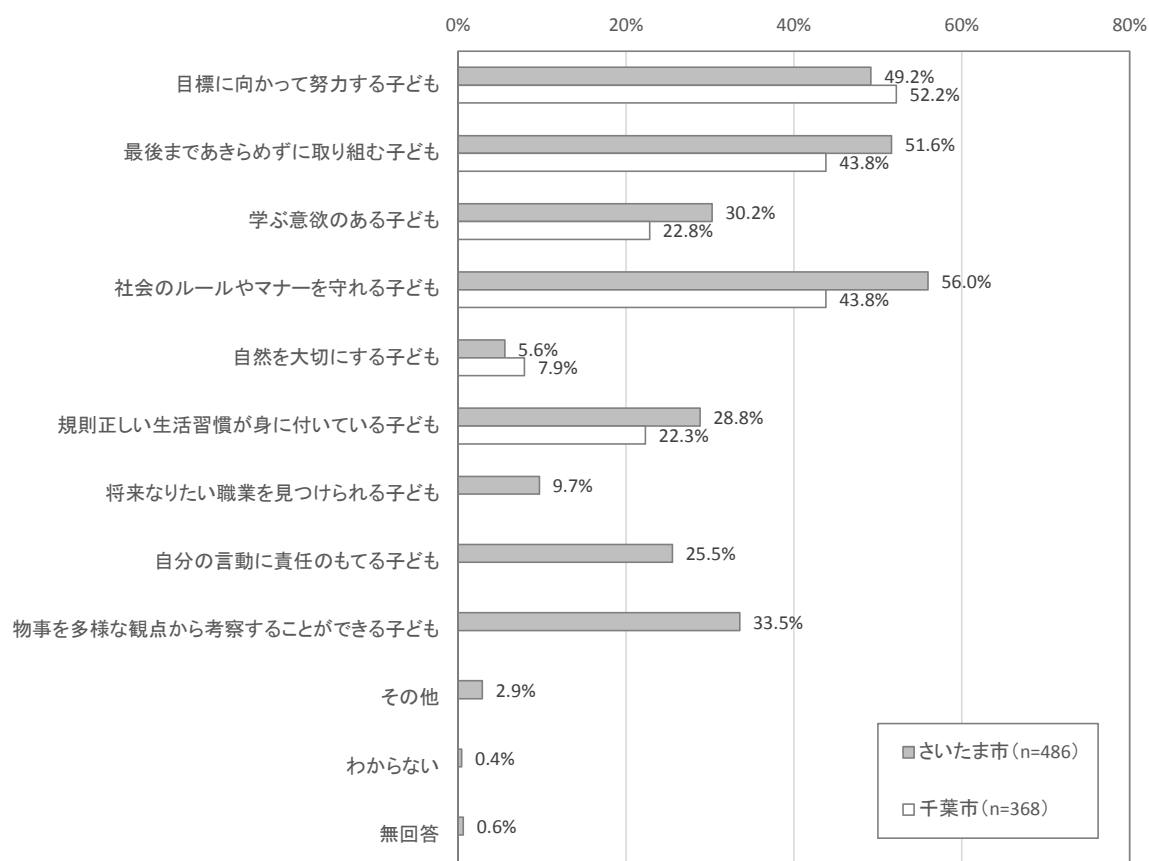
■平成 26 年度千葉市「第 2 次千葉市学校教育推進計画策定のための調査」結果との比較

【千葉市設問】あなたは、どのような子どもの姿が望ましいと思いますか。次の項目についてお考えに近いと思うものを選んでください。（3つまで）

※千葉市には、「友達がたくさんいる子ども」、「スポーツが得意な子ども」、「人を思いやる心を持っている子ども」、「読書が好きな子ども」の選択肢があり、それぞれ 15.5%、1.6%、81.8%、3.0%の回答となっています。

また、本市の「将来なりたい職業をみつけられる子ども」、「自分の言動に責任のもてる子ども」、「物事を多様な観点から考察することができる子ども」の選択肢は千葉市にはありません。

本市では、「社会のルールやマナーを守れる子ども」の回答が56.0%と最も高くなっていますが、千葉市では43.8%と12ポイント余りの差が見られます。千葉市では、本市の選択肢にない、「人を思いやる心を持っている子ども」が81.8%で最も高くなっています。



⑤ 地域や行政の取組について

問10 現在、さいたま市では、学校・家庭・行政・地域が連携・協力して、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくむため、様々な教育施策を行っています。これらの取組について、どのように評価しますか。(それぞれ1つに○)

学校・家庭・行政・地域が連携・協力して、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくむための教育施策の取組については、「小学校教職員」で、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせて高いものは、「学校は、一人ひとりの子どものよさを生かし、確かな学力の向上を図っている」で「小学校教職員」が91.8%、「中学校教職員」が90.2%、「高等学校教職員」が79.7%、「特別支援学校教職員」が100.0%と最も高くなっています。

項目(度数)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 学校は、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスを大切にした教育を実践している						
小学校教職員	83	164	22	0	1	270
中学校教職員	31	105	16	1	0	153
高等学校教職員	15	26	9	3	1	54
特別支援学校教職員	1	7	1	0	0	9
(イ) 学校は、一人ひとりの子どものよさを生かし、確かな学力の向上を図っている						
小学校教職員	77	171	20	0	2	270
中学校教職員	28	110	14	1	0	153
高等学校教職員	5	38	8	2	1	54
特別支援学校教職員	0	9	0	0	0	9
(ウ) 家庭は、家族のふれあいや学びの機会を増やしている						
小学校教職員	25	140	92	12	1	270
中学校教職員	2	56	83	12	0	153
高等学校教職員	3	28	20	2	1	54
特別支援学校教職員	0	7	2	0	0	9
(エ) 家庭は、子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせるようにしている						
小学校教職員	16	121	115	16	2	270
中学校教職員	3	63	77	10	0	153
高等学校教職員	7	21	22	2	2	54
特別支援学校教職員	1	4	4	0	0	9
(オ) 行政は、学校や保護者、地域のニーズと時代の要請をとらえ、未来を見据えた教育施策を推進している						
小学校教職員	15	143	97	14	1	270
中学校教職員	7	77	59	10	0	153
高等学校教職員	3	29	18	3	1	54
特別支援学校教職員	0	6	3	0	0	9
(カ) 行政は、学校の教育環境を整備している						
小学校教職員	13	111	107	38	1	270
中学校教職員	7	57	60	29	0	153
高等学校教職員	4	17	21	11	1	54
特別支援学校教職員	0	2	6	1	0	9
(キ) 地域は、地域の教育資源や教育力を積極的に生かし、子どもの成長を支えている						
小学校教職員	33	184	51	1	1	270
中学校教職員	9	94	46	4	0	153
高等学校教職員	2	26	20	4	2	54
特別支援学校教職員	0	6	3	0	0	9
(ク) 地域は、地域の中の連携・協力を深め、地域の教育力を高めている						
小学校教職員	31	173	62	2	2	270
中学校教職員	7	96	45	5	0	153
高等学校教職員	0	26	22	4	2	54
特別支援学校教職員	0	5	4	0	0	9

項目(構成比)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 学校は、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスを大切にした教育を実践している						
小学校教職員	30.7%	60.7%	8.1%	0.0%	0.4%	100.0%
中学校教職員	20.3%	68.6%	10.5%	0.7%	0.0%	100.0%
高等学校教職員	27.8%	48.1%	16.7%	5.6%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	11.1%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%
(イ) 学校は、一人ひとりの子どものよさを生かし、確かな学力の向上を図っている						
小学校教職員	28.5%	63.3%	7.4%	0.0%	0.7%	100.0%
中学校教職員	18.3%	71.9%	9.2%	0.7%	0.0%	100.0%
高等学校教職員	9.3%	70.4%	14.8%	3.7%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(ウ) 家庭は、家族のふれあいや学びの機会を増やしている						
小学校教職員	9.3%	51.9%	34.1%	4.4%	0.4%	100.0%
中学校教職員	1.3%	36.6%	54.2%	7.8%	0.0%	100.0%
高等学校教職員	5.6%	51.9%	37.0%	3.7%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	100.0%
(エ) 家庭は、子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせるようにしている						
小学校教職員	5.9%	44.8%	42.6%	5.9%	0.7%	100.0%
中学校教職員	2.0%	41.2%	50.3%	6.5%	0.0%	100.0%
高等学校教職員	13.0%	38.9%	40.7%	3.7%	3.7%	100.0%
特別支援学校教職員	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%	0.0%	100.0%
(オ) 行政は、学校や保護者、地域のニーズと時代の要請をとらえ、未来を見据えた教育施策を推進している						
小学校教職員	5.6%	53.0%	35.9%	5.2%	0.4%	100.0%
中学校教職員	4.6%	50.3%	38.6%	6.5%	0.0%	100.0%
高等学校教職員	5.6%	53.7%	33.3%	5.6%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
(カ) 行政は、学校の教育環境を整備している						
小学校教職員	4.8%	41.1%	39.6%	14.1%	0.4%	100.0%
中学校教職員	4.6%	37.3%	39.2%	19.0%	0.0%	100.0%
高等学校教職員	7.4%	31.5%	38.9%	20.4%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	100.0%
(キ) 地域は、地域の教育資源や教育力を積極的に生かし、子どもの成長を支えている						
小学校教職員	12.2%	68.1%	18.9%	0.4%	0.4%	100.0%
中学校教職員	5.9%	61.4%	30.1%	2.6%	0.0%	100.0%
高等学校教職員	3.7%	48.1%	37.0%	7.4%	3.7%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
(ク) 地域は、地域の中での連携・協力を深め、地域の教育力を高めている						
小学校教職員	11.5%	64.1%	23.0%	0.7%	0.7%	100.0%
中学校教職員	4.6%	62.7%	29.4%	3.3%	0.0%	100.0%
高等学校教職員	0.0%	48.1%	40.7%	7.4%	3.7%	100.0%
特別支援学校教職員	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	100.0%

項目(度数)	そう思う	どちらかといえ ば そう思う	どちらかといえ ば そう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 「わかった できた もっと知りたい」と、目を輝かせて学習するなど、確かな学力をはぐくみたい						
小学校教職員	192	75	1	0	2	270
中学校教職員	97	55	1	0	0	153
高等学校教職員	28	22	3	0	1	54
特別支援学校教職員	5	3	1	0	0	9
(イ) 自他を尊重する心、正義を愛する心、感動する心を磨くなど、豊かな心をはぐくみたい						
小学校教職員	203	64	2	0	1	270
中学校教職員	109	40	3	1	0	153
高等学校教職員	33	19	1	0	1	54
特別支援学校教職員	6	3	0	0	0	9
(ウ) 自ら進んで健康について考え、たくましい身体をつくるなど、健やかな体をはぐくみたい						
小学校教職員	181	83	5	0	1	270
中学校教職員	79	70	3	1	0	153
高等学校教職員	18	35	0	0	1	54
特別支援学校教職員	5	4	0	0	0	9
(エ) 人と人のかかわりを大切に、豊かな人間関係を築くなど、コミュニケーションを通じて豊かなかかわり合いをはぐくみたい						
小学校教職員	225	42	2	0	1	270
中学校教職員	108	43	1	1	0	153
高等学校教職員	32	21	0	0	1	54
特別支援学校教職員	6	3	0	0	0	9

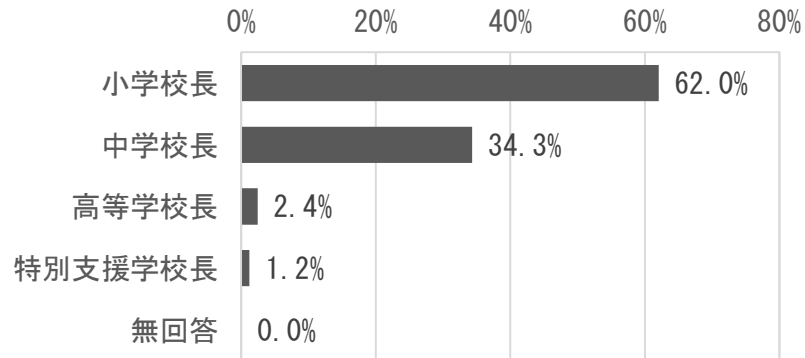
項目(構成比)	そう思う	どちらかといえ ば そう思う	どちらかといえ ば そう 思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 「わかった できた もっと知りたい」と、目を輝かせて学習するなど、確かな学力をはぐくみたい						
小学校教職員	71.1%	27.8%	0.4%	0.0%	0.7%	100.0%
中学校教職員	63.4%	35.9%	0.7%	0.0%	0.0%	100.0%
高等学校教職員	51.9%	40.7%	5.6%	0.0%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%
(イ) 自他を尊重する心、正義を愛する心、感動する心を磨くなど、豊かな心をはぐくみたい						
小学校教職員	75.2%	23.7%	0.7%	0.0%	0.4%	100.0%
中学校教職員	71.2%	26.1%	2.0%	0.7%	0.0%	100.0%
高等学校教職員	61.1%	35.2%	1.9%	0.0%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(ウ) 自ら進んで健康について考え、たくましい身体をつくるなど、健やかな体をはぐくみたい						
小学校教職員	67.0%	30.7%	1.9%	0.0%	0.4%	100.0%
中学校教職員	51.6%	45.8%	2.0%	0.7%	0.0%	100.0%
高等学校教職員	33.3%	64.8%	0.0%	0.0%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(エ) 人と人のかかわりを大切に、豊かな人間関係を築くなど、コミュニケーションを通じて豊かなかかわり合いをはぐくみたい						
小学校教職員	83.3%	15.6%	0.7%	0.0%	0.4%	100.0%
中学校教職員	70.6%	28.1%	0.7%	0.7%	0.0%	100.0%
高等学校教職員	59.3%	38.9%	0.0%	0.0%	1.9%	100.0%
特別支援学校教職員	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

校長調査結果

① あなた自身について

問1 あなたは、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

「小学校長」が 62.0%、「中学校長」が 34.3%、「高等学校長」が 2.4%、「特別支援学校長」が 1.2%となっています。

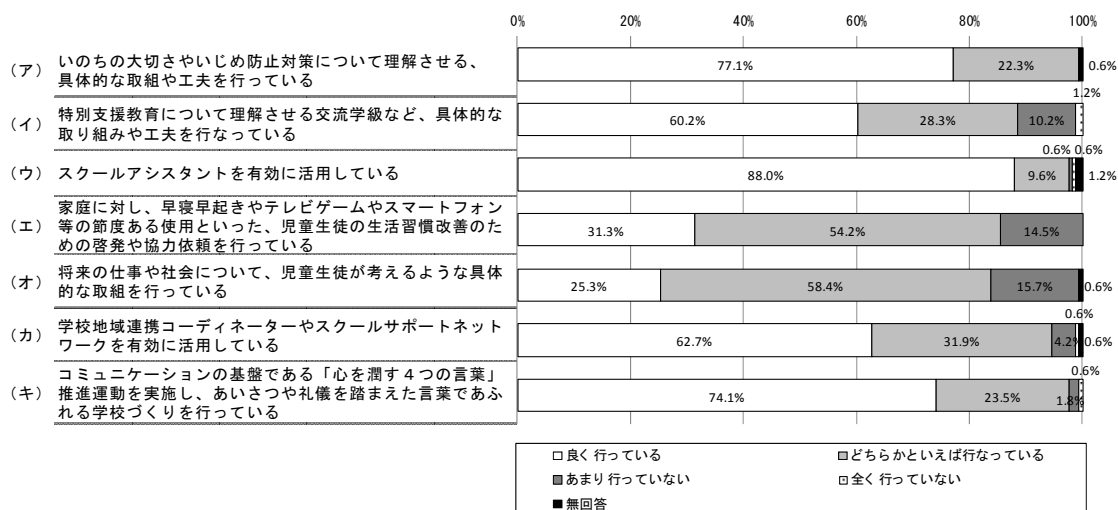


項目	度数	構成比
小学校長	103	62.0%
中学校長	57	34.3%
高等学校長	4	2.4%
特別支援学校長	2	1.2%
無回答	0	0.0%
合計	166	100.0%

② 学校や教職員への取組について

問2 あなたの学校では、次の事項にどの程度当てはまりますか。(それぞれ1つに○)

学校で取り組んでいるものについて、「良く行っている」との回答が多い項目は、「スクールアシスタントを有効に活用している」で88.0%と最も高く、次いで「いのちの大切さやいじめ防止対策について理解させる、具体的な取組や工夫を行っている」が77.1%、「コミュニケーションの基礎である「心を潤す4つの言葉」推進運動を実施し、あいさつや礼儀を踏まえた言葉であふれる学校づくりを行っている」が74.1%となっています。



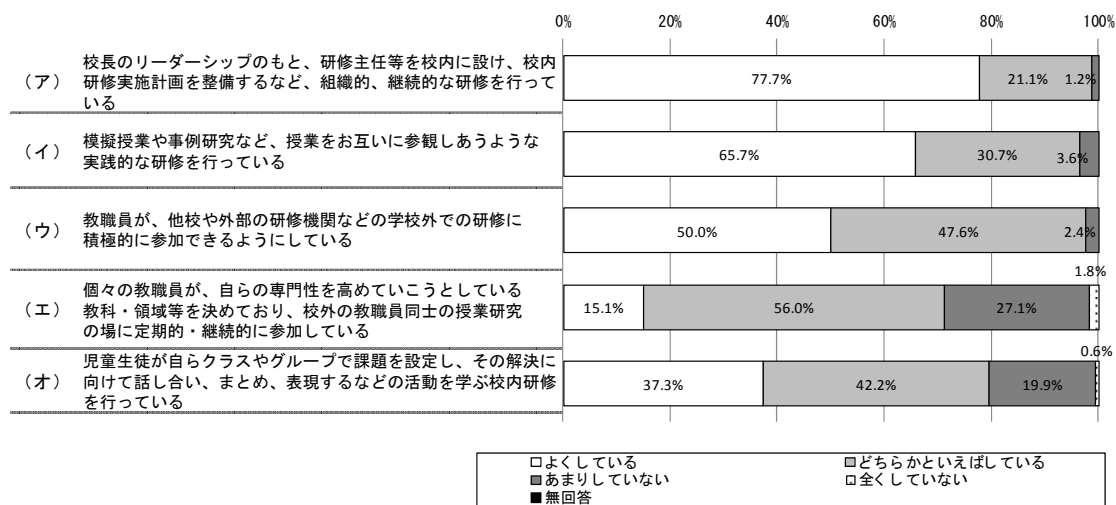
項目(度数)	良く行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない	無回答	合計
(ア) いのちの大切さやいじめ防止対策について理解させる、具体的な取組や工夫を行っている	128	37	0	0	1	166
(イ) 特別支援教育について理解させる交流学級など、具体的な取組みや工夫を行なっている	100	47	17	2	0	166
(ウ) スクールアシスタントを有効に活用している	146	16	1	1	2	166
(エ) 家庭に対し、早寝早起きやテレビゲームやスマートフォン等の節度ある使用といった、児童生徒の生活習慣改善のための啓発や協力依頼を行っている	52	90	24	0	0	166
(オ) 将来の仕事や社会について、児童生徒が考えるような具体的な取組を行っている	42	97	26	0	1	166
(カ) 学校地域連携コーディネーターやスクールサポートネットワークを有効に活用している	104	53	7	1	1	166
(キ) コミュニケーションの基盤である「心を潤す4つの言葉」推進運動を実施し、あいさつや礼儀を踏まえた言葉であふれる学校づくりを行っている	123	39	3	1	0	166

項目(構成比)	良く行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない	無回答	合計
(ア) いのちの大切さやいじめ防止対策について理解させる、具体的な取組や工夫を行っている	77.1%	22.3%	0.0%	0.0%	0.6%	100.0%
(イ) 特別支援教育について理解させる交流学級など、具体的な取組みや工夫を行なっている	60.2%	28.3%	10.2%	1.2%	0.0%	100.0%
(ウ) スクールアシスタントを有効に活用している	88.0%	9.6%	0.6%	0.6%	1.2%	100.0%
(エ) 家庭に対し、早寝早起きやテレビゲームやスマートフォン等の節度ある使用といった、児童生徒の生活習慣改善のための啓発や協力依頼を行っている	31.3%	54.2%	14.5%	0.0%	0.0%	100.0%
(オ) 将来の仕事や社会について、児童生徒が考えるような具体的な取組を行っている	25.3%	58.4%	15.7%	0.0%	0.6%	100.0%
(カ) 学校地域連携コーディネーターやスクールサポートネットワークを有効に活用している	62.7%	31.9%	4.2%	0.6%	0.6%	100.0%
(キ) コミュニケーションの基盤である「心を潤す4つの言葉」推進運動を実施し、あいさつや礼儀を踏まえた言葉であふれる学校づくりを行っている	74.1%	23.5%	1.8%	0.6%	0.0%	100.0%

問3 あなたの学校の教職員の研修状況は、次の事項にどの程度当てはまりますか。(それぞれ1つに〇)

学校教職員の研修状況について、「よくしている」との回答が多い項目は、「校長のリーダーシップのもと、研修主任等を校内に設け、校内研修実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている」が77.7%と最も高く、次いで「模擬授業や事例研究など、授業をお互いに参観しあうような実践的な研修を行っている」が65.7%となっています。

また、「個々の教職員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教職員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加している」の項目で、「あまりしていない」が27.1%と高くなっています。



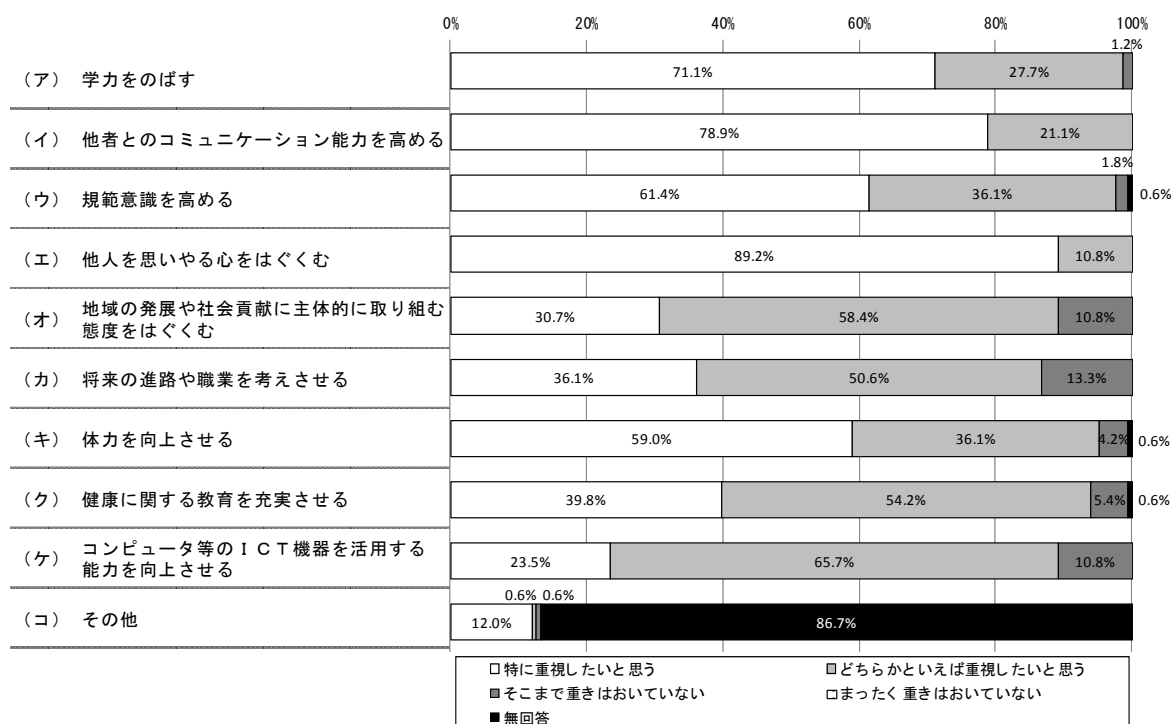
項目(度数)	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない	無回答	合計
(ア) 校長のリーダーシップのもと、研修主任等を校内に設け、校内研修実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている	129	35	2	0	0	166
(イ) 模擬授業や事例研究など、授業をお互いに参観しあうような実践的な研修を行っている	109	51	6	0	0	166
(ウ) 教職員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしている	83	79	4	0	0	166
(エ) 個々の教職員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教職員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加している	25	93	45	3	0	166
(オ) 児童生徒が自らクラスやグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの活動を学ぶ校内研修を行っている	62	70	33	1	0	166

項目(構成比)	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない	無回答	合計
(ア) 校長のリーダーシップのもと、研修主任等を校内に設け、校内研修実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている	77.7%	21.1%	1.2%	0.0%	0.0%	100.0%
(イ) 模擬授業や事例研究など、授業をお互いに参観しあうような実践的な研修を行っている	65.7%	30.7%	3.6%	0.0%	0.0%	100.0%
(ウ) 教職員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしている	50.0%	47.6%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%
(エ) 個々の教職員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教職員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加している	15.1%	56.0%	27.1%	1.8%	0.0%	100.0%
(オ) 児童生徒が自らクラスやグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの活動を学ぶ校内研修を行っている	37.3%	42.2%	19.9%	0.6%	0.0%	100.0%

③ 教育・指導方針について

問4 今後、あなたの学校の教育指導等について、どのように思いますか。(それぞれ1つに〇)

学校の教育指導について、「特に重視したいと思う」との回答が高い項目は、「他人を思いやる心をはぐくむ」が89.2%と最も高く、次いで「他者とのコミュニケーション能力を高める」が78.9%、「学力をのばす」が71.1%となっています。

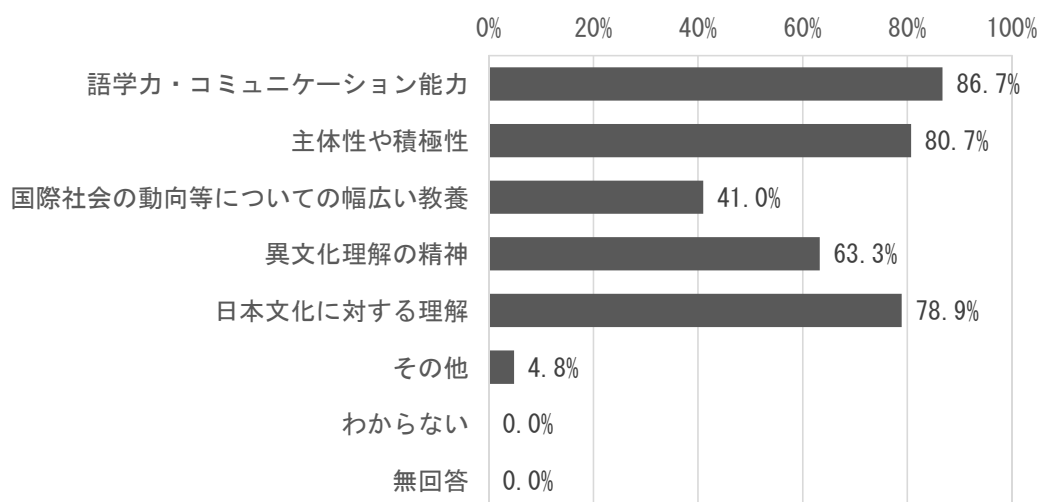


項目(度数)	特に重視したいと思う	どちらかといえば重視したいと思う	そこまで重きはおいていない	まったく重きはおいていない	無回答	合計
(ア) 学力をのばす	118	46	2	0	0	166
(イ) 他者とのコミュニケーション能力を高める	131	35	0	0	0	166
(ウ) 規範意識を高める	102	60	3	0	1	166
(エ) 他人を思いやる心をはぐくむ	148	18	0	0	0	166
(オ) 地域の発展や社会貢献に主体的に取り組む態度をはぐくむ	51	97	18	0	0	166
(カ) 将来の進路や職業を考えさせる	60	84	22	0	0	166
(キ) 体力を向上させる	98	60	7	0	1	166
(ク) 健康に関する教育を充実させる	66	90	9	0	1	166
(ケ) コンピュータ等のICT機器を活用する能力を向上させる	39	109	18	0	0	166
(コ) その他	20	1	1	0	144	166

項目(構成比)	特に重視 したいと思う	どちらかと いえば重視 したいと思う	そこまで 重きはおいて いない	まったく 重きはおいて いない	無回答	合計
(ア) 学力をのばす	71.1%	27.7%	1.2%	0.0%	0.0%	100.0%
(イ) 他者とのコミュニケーション能力を高める	78.9%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(ウ) 規範意識を高める	61.4%	36.1%	1.8%	0.0%	0.6%	100.0%
(エ) 他人を思いやる心をはぐくむ	89.2%	10.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(オ) 地域の発展や社会貢献に主体的に取り組む 態度をはぐくむ	30.7%	58.4%	10.8%	0.0%	0.0%	100.0%
(カ) 将来の進路や職業を考えさせる	36.1%	50.6%	13.3%	0.0%	0.0%	100.0%
(キ) 体力を向上させる	59.0%	36.1%	4.2%	0.0%	0.6%	100.0%
(ク) 健康に関する教育を充実させる	39.8%	54.2%	5.4%	0.0%	0.6%	100.0%
(ケ) コンピュータ等のICT機器を活用する能 力を向上させる	23.5%	65.7%	10.8%	0.0%	0.0%	100.0%
(コ) その他	12.0%	0.6%	0.6%	0.0%	86.7%	100.0%

問5 あなたは、グローバル人材を育成していくために、今後、教育においてどのような能力を伸ばしていくことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

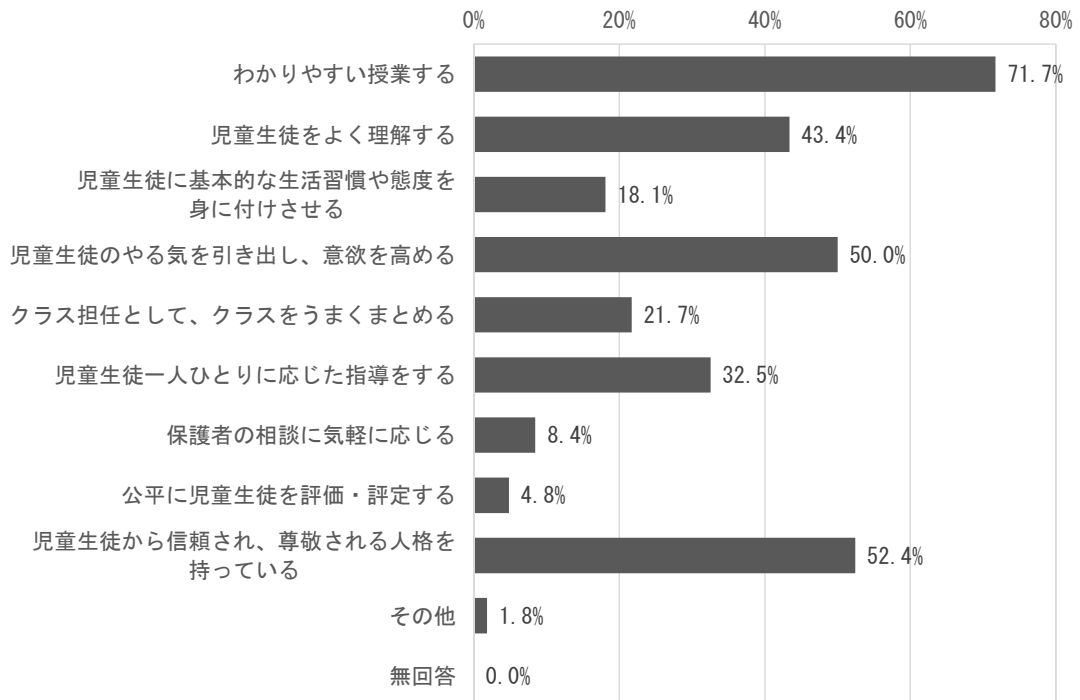
グローバル人材の育成のために教育で伸ばすことが重要な能力については、「語学力・コミュニケーション能力」が86.7%と最も高く、次いで、「主体性や積極性」が80.7%、「日本文化に対する理解」が78.9%となっています。



項目	度数	比率
語学力・コミュニケーション能力	144	86.7%
主体性や積極性	134	80.7%
国際社会の動向等についての幅広い教養	68	41.0%
異文化理解の精神	105	63.3%
日本文化に対する理解	131	78.9%
その他	8	4.8%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	166	

問6 あなたはどのような教員が望ましいと考えますか。(3つまでに○)

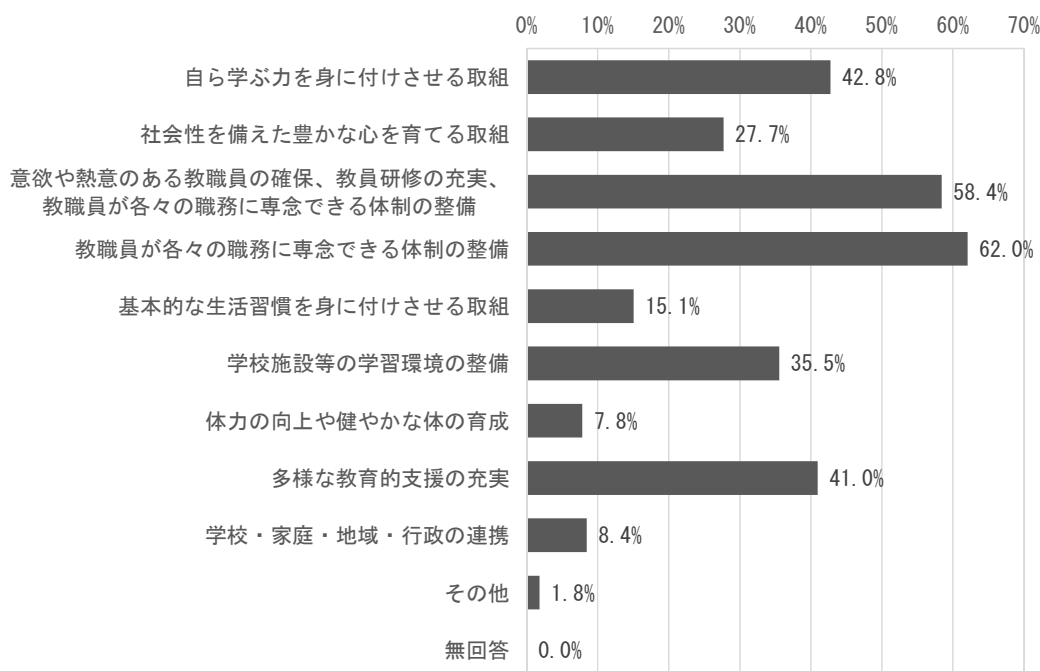
望ましい教員については、「わかりやすい授業をする」が71.7%と最も高く、次いで、「児童生徒から信頼され、尊敬される人格を持っている」が52.4%、「児童生徒のやる気を引き出し、意欲を高める」が50.0%となっています。



項目	度数	比率
わかりやすい授業をする	119	71.7%
児童生徒をよく理解する	72	43.4%
児童生徒に基本的な生活習慣や態度を身に付けさせる	30	18.1%
児童生徒のやる気を引き出し、意欲を高める	83	50.0%
クラス担任として、クラスをうまくまとめる	36	21.7%
児童生徒一人ひとりに応じた指導をする	54	32.5%
保護者の相談に気軽に応じる	14	8.4%
公平に児童生徒を評価・評定する	8	4.8%
児童生徒から信頼され、尊敬される人格を持っている	87	52.4%
その他	3	1.8%
無回答	0	0.0%
回答者数	166	

問7 今後の教育施策で特に重要だと思うものを次の中から選んでください。(3つまでに○)

今後の教育施策で重要なことについては、「教職員が各々の職務に専念できる体制の整備」が62.0%と最も高く、次いで、「意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実、教職員が各々の職務に専念できる体制の整備」が58.4%、「自ら学ぶ力を身に付けさせる取組」が42.8%となっています。

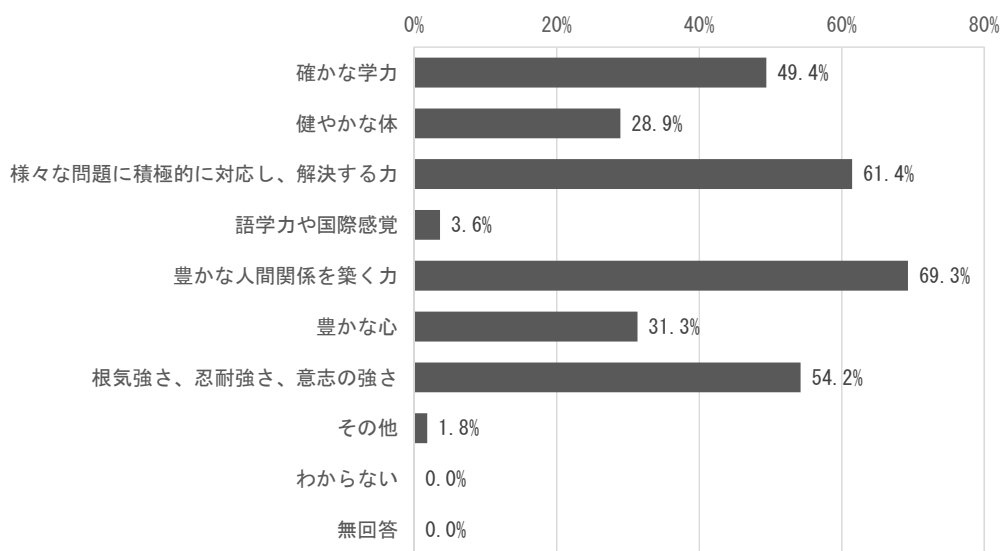


項目	度数	比率
自ら学ぶ力を身に付けさせる取組 (学力の向上など)	71	42.8%
社会性を備えた豊かな心を育てる取組 (道徳教育、キャリア教育など)	46	27.7%
意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実、 教職員が各々の職務に専念できる体制の整備	97	58.4%
教職員が各々の職務に専念できる体制の整備	103	62.0%
基本的な生活習慣を身に付けさせる取組 (家庭・地域の教育力向上など)	25	15.1%
学校施設等の学習環境の整備	59	35.5%
体力の向上や健やかな体の育成	13	7.8%
多様な教育的支援の充実 (特別支援教育、不登校対策など)	68	41.0%
学校・家庭・地域・行政の連携 (地域による学校支援など)	14	8.4%
その他	3	1.8%
無回答	0	0.0%
回答者数	166	

④ 子どもについて

問8 これからの社会を生きるために、子どもに必要な資質・能力は何ですか。(3つまでに〇)

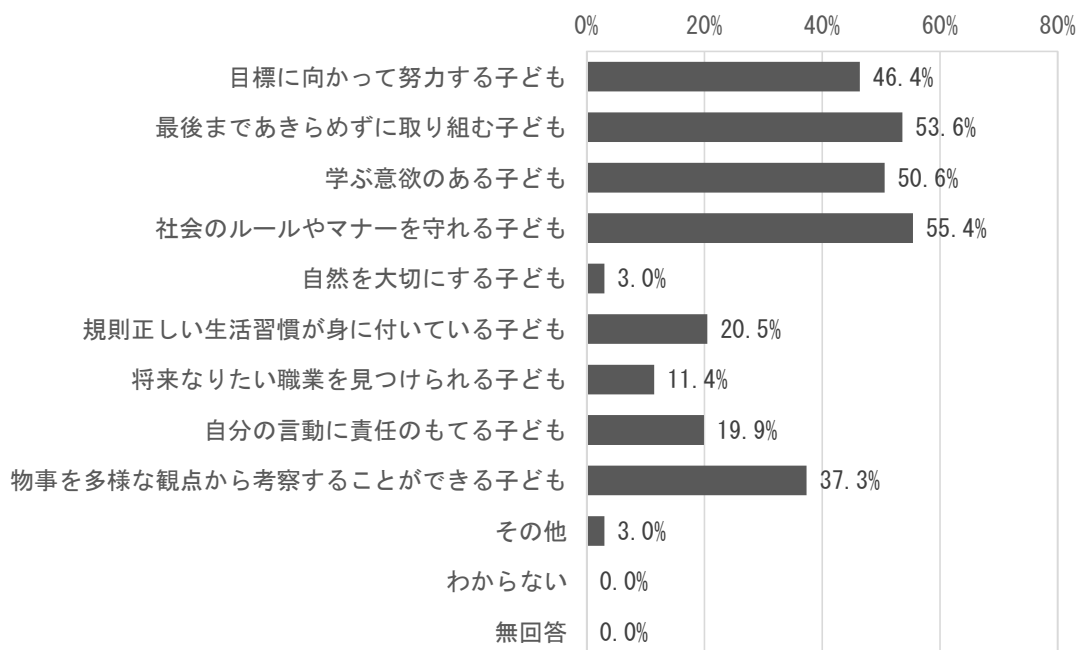
これからの社会を生きるために、子どもに必要な資質・能力については、「豊かな人間関係を築く力」が69.3%と最も高く、次いで、「様々な問題に積極的に対応し、解決する力」が61.4%、「根気強さ、忍耐強さ、意志の強さ」が54.2%となっています。



項目	度数	比率
確かな学力	82	49.4%
健やかな体	48	28.9%
様々な問題に積極的に対応し、 解決する力	102	61.4%
語学力や国際感覚	6	3.6%
豊かな人間関係を築く力	115	69.3%
豊かな心	52	31.3%
根気強さ、忍耐強さ、意志の強さ	90	54.2%
その他	3	1.8%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	166	

問9 あなたは、どのような子どもの姿が望ましいと思いますか。次の項目についてお考えに近いと思うものを選んでください。（3つまでに○）

望ましい子どもの姿については、「社会のルールやマナーを守れる子ども」が55.4%と最も高く、次いで、「最後まであきらめずに取り組む子ども」が53.6%、「学ぶ意欲のある子ども」が50.6%となっています。

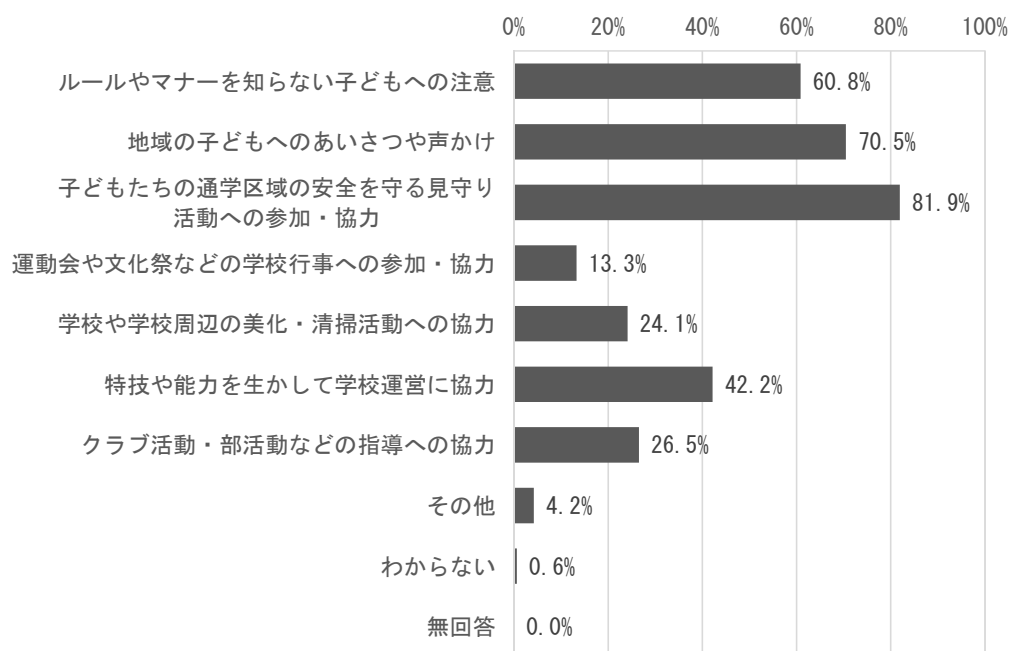


項目	度数	比率
目標に向かって努力する子ども	77	46.4%
最後まであきらめずに取り組む子ども	89	53.6%
学ぶ意欲のある子ども	84	50.6%
社会のルールやマナーを守れる子ども	92	55.4%
自然を大切にする子ども	5	3.0%
規則正しい生活習慣が身に付いている子ども	34	20.5%
将来なりたい職業を見つけられる子ども	19	11.4%
自分の言動に責任のもてる子ども	33	19.9%
物事を多様な観点から考察することができる子ども	62	37.3%
その他	5	3.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	166	

⑤ 地域や行政の取組について

問10 教育問題に対して、より一層地域の力が必要だと思うものを、次の中から選んでください。(あてはまるものすべてに○)

地域の力が必要な教育問題については、「子どもたちの通学区域の安全を守る見守り活動への参加・協力」が81.9%と最も高く、次いで、「地域の子どもへのあいさつや声かけ」が70.5%、「ルールやマナーを知らない子どもへの注意」が60.8%となっています。

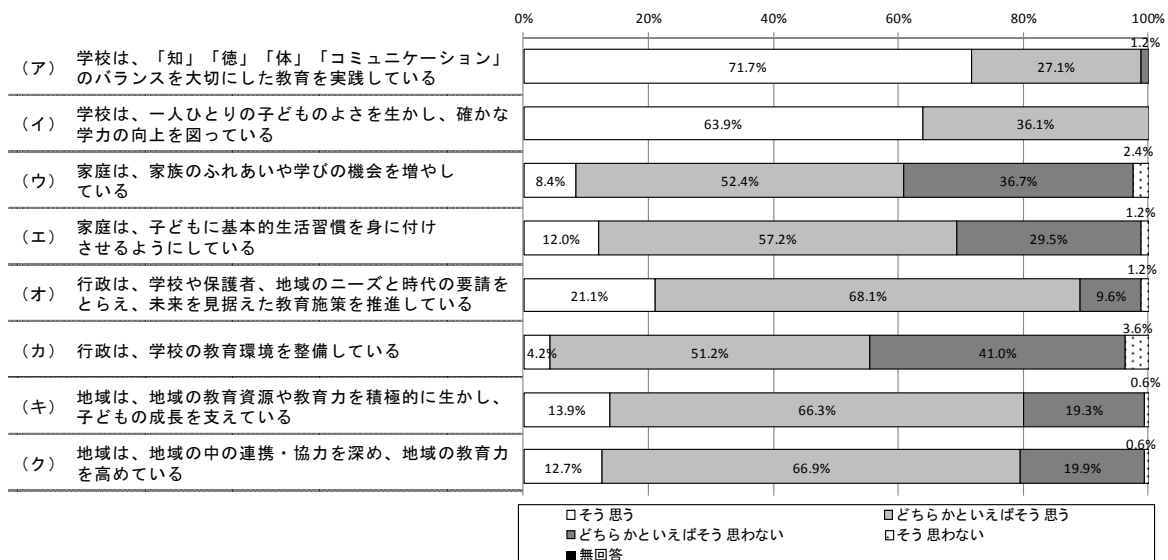


項目	度数	比率
ルールやマナーを知らない子どもへの注意	101	60.8%
地域の子どもへのあいさつや声かけ	117	70.5%
子どもたちの通学区域の安全を守る見守り活動への参加・協力	136	81.9%
運動会や文化祭などの学校行事への参加・協力	22	13.3%
学校や学校周辺の美化・清掃活動への協力	40	24.1%
特技や能力を生かして学校運営に協力	70	42.2%
クラブ活動・部活動などの指導への協力	44	26.5%
その他	7	4.2%
わからない	1	0.6%
無回答	0	0.0%
回答者数	166	

問11 現在、さいたま市では、学校・家庭・行政・地域が連携・協力して、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくむため、様々な教育施策を行っています。これらの取組について、どのように評価しますか。（それぞれ1つに〇）

さいたま市の「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくむための取組について、「そう思う」との回答が高い項目については、「学校は、「知」「特」「身体」「コミュニケーション」のバランスを大切にした教育を実践している」が71.7%と最も高く、次いで、「学校は、一人ひとりの子どものよさを生かし、確かな学力の向上を図っている」が63.9%となっています。

また、「行政は学校の教育環境を整備している」、「家庭は、家族のふれあいや学びの機会を増やしている」、「家庭は、子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせるようにしている」の項目で「どちらかといえばそう思わない」との回答がやや高くなっています。

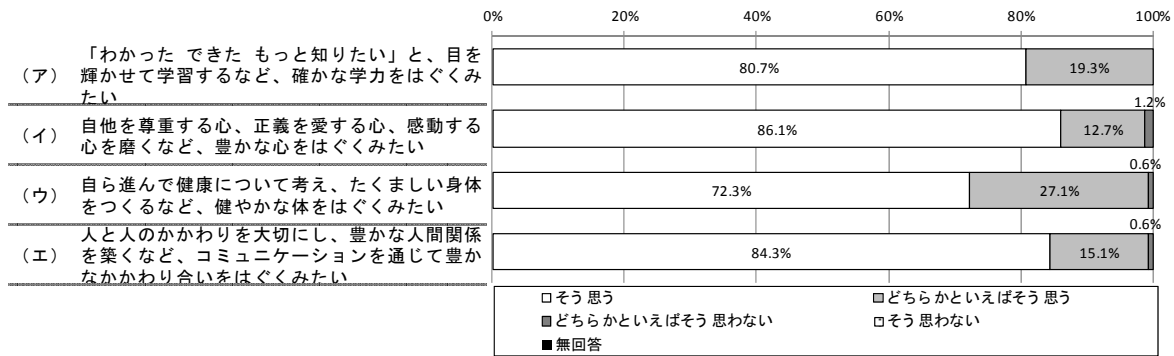


項目(度数)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	合計
(ア) 学校は、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスを大切にした教育を実践している	119	45	2	0	0	166
(イ) 学校は、一人ひとりの子どものよさを生かし、確かな学力の向上を図っている	106	60	0	0	0	166
(ウ) 家庭は、家族のふれあいや学びの機会を増やしている	14	87	61	4	0	166
(エ) 家庭は、子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせるようにしている	20	95	49	2	0	166
(オ) 行政は、学校や保護者、地域のニーズと時代の要請をとらえ、未来を見据えた教育施策を推進している	35	113	16	2	0	166
(カ) 行政は、学校の教育環境を整備している	7	85	68	6	0	166
(キ) 地域は、地域の教育資源や教育力を積極的に生かし、子どもの成長を支えている	23	110	32	1	0	166
(ク) 地域は、地域の中の連携・協力を深め、地域の教育力を高めている	21	111	33	1	0	166

項目(構成比)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	無回答	合計
(ア) 学校は、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスを大切に した教育を実践している	71.7%	27.1%	1.2%	0.0%	0.0%	100.0%
(イ) 学校は、一人ひとりの 子どものよさを生かし、 確かな学力の向上を 図っている	63.9%	36.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(ウ) 家庭は、家族のふれあ いや学びの機会を増や している	8.4%	52.4%	36.7%	2.4%	0.0%	100.0%
(エ) 家庭は、子どもに基本 的生活習慣を身に付け させるようにしている	12.0%	57.2%	29.5%	1.2%	0.0%	100.0%
(オ) 行政は、学校や保護者、 地域のニーズと時代の 要請をとらえ、未来を 見据えた教育施策を推 進している	21.1%	68.1%	9.6%	1.2%	0.0%	100.0%
(カ) 行政は、学校の教育環 境を整備している	4.2%	51.2%	41.0%	3.6%	0.0%	100.0%
(キ) 地域は、地域の教育資 源や教育力を積極的に 生かし、子どもの成長 を支えている	13.9%	66.3%	19.3%	0.6%	0.0%	100.0%
(ク) 地域は、地域の中の連 携・協力を深め、地域 の教育力を高めている	12.7%	66.9%	19.9%	0.6%	0.0%	100.0%

問12 現在、さいたま市では、本市の目指す子ども像である「ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども」の実現を目指し、様々な取組を行っています。このことに関連して、次の事項について、あなたはどのように思いますか。(それぞれ1つに○)

さいたま市の目指す子ども像への取組に関連した事項については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」との回答を合わせると、全ての項目でほとんどの方が「思う」と回答しています。



項目(度数)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	合計
(ア) 「わかった できた もっと知りたい」と、目を輝かせて学習するなど、確かな学力をはぐくみたい	134	32	0	0	0	166
(イ) 自他を尊重する心、正義を愛する心、感動する心を磨くなど、豊かな心をはぐくみたい	143	21	2	0	0	166
(ウ) 自ら進んで健康について考え、たくましい身体をつくるなど、健やかな体をはぐくみたい	120	45	1	0	0	166
(エ) 人と人のかかわりを大切に、豊かな人間関係を築くなど、コミュニケーションを通じて豊かなかかわり合いをはぐくみたい	140	25	1	0	0	166

項目(構成比)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	合計
(ア) 「わかった できた もっと知りたい」と、目を輝かせて学習するなど、確かな学力をはぐくみたい	80.7%	19.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
(イ) 自他を尊重する心、正義を愛する心、感動する心を磨くなど、豊かな心をはぐくみたい	86.1%	12.7%	1.2%	0.0%	0.0%	100.0%
(ウ) 自ら進んで健康について考え、たくましい身体をつくるなど、健やかな体をはぐくみたい	72.3%	27.1%	0.6%	0.0%	0.0%	100.0%
(エ) 人と人のかかわりを大切に、豊かな人間関係を築くなど、コミュニケーションを通じて豊かなかかわり合いをはぐくみたい	84.3%	15.1%	0.6%	0.0%	0.0%	100.0%

共通設問の結果

本項では、保護者・教職員・校長に共通する設問の結果を、ひとつのグラフに示しています。

調査結果の比率は、各集団全体に対する比率として、小数点第2位以下を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。従って、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合があります。

各集団の母数は、以下のとおりです。

保護者：1,625

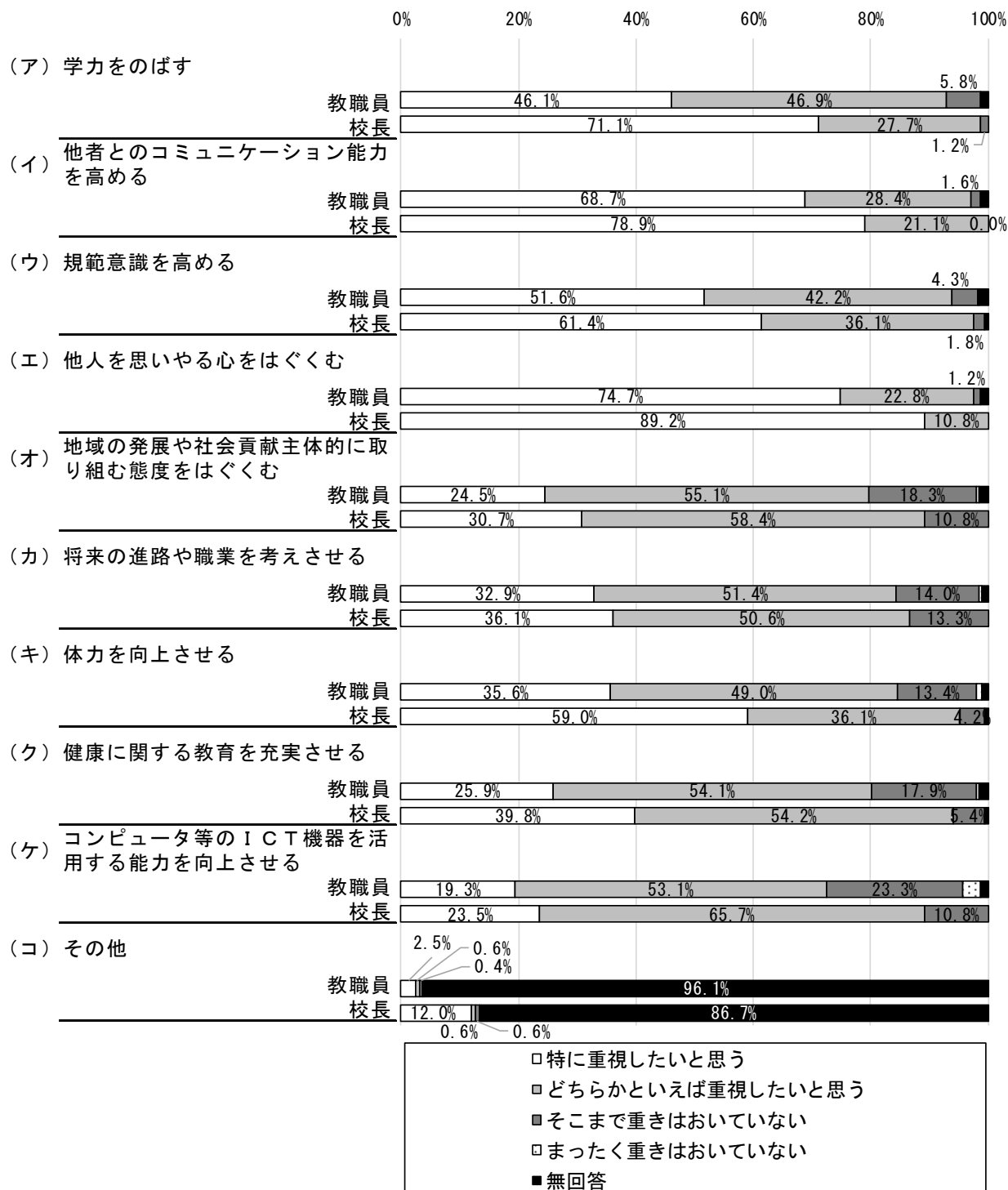
教職員：486

校長：166

今後、あなたの学校の教育指導等について、どのように思いますか。(それぞれ1つに○)

■教職員：問4、校長：問4

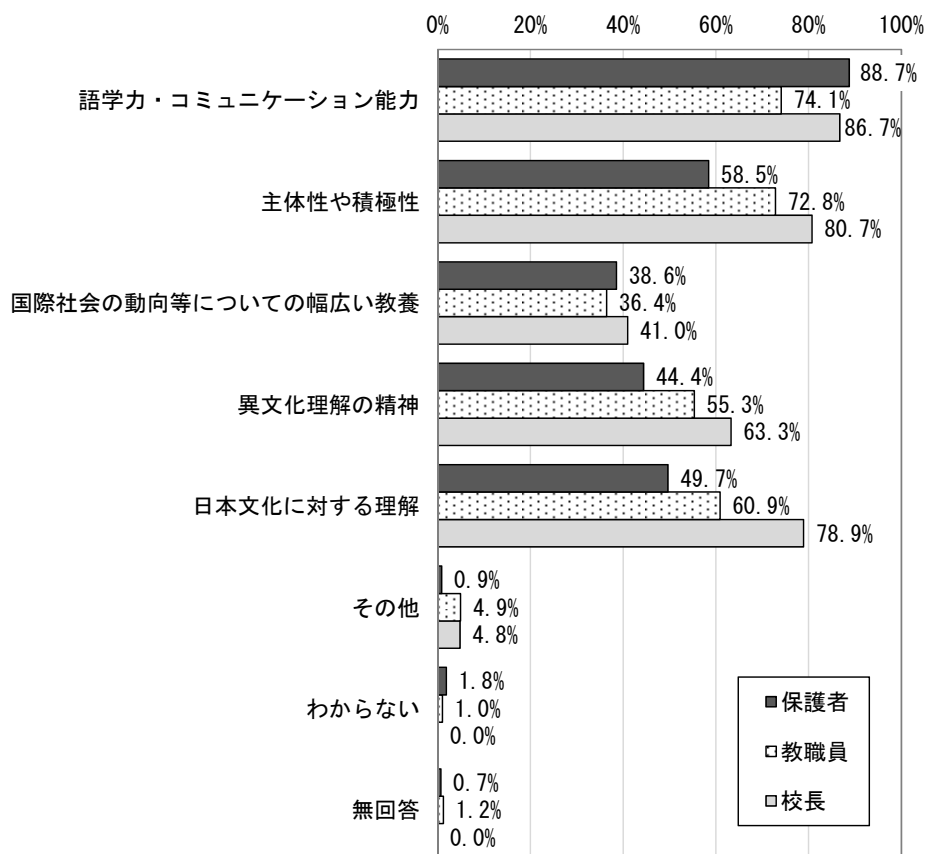
教職員・校長とも、「特に重視したいと思う」の回答は、「(エ)他人を思いやる心をはぐくむ」、「(イ)他者とのコミュニケーション能力を高める」、「(ア)学力をのばす」、「(ウ)規範意識を高める」の順に高く、「(ケ)コンピュータ等のICT機器を活用する能力を向上させる」が最も低くなっています。また、全ての項目で、「特に重視したいと思う」との回答割合は、校長のほうが教職員よりも高くなっています。



あなたは、グローバル人材を育成していくために、今後、教育においてどのような能力を伸ばしていくことが重要であると考えますか。(あてはまるものすべてに○)

■保護者：問4、教職員：問5、校長：問5

「語学力・コミュニケーション能力」との回答が保護者と校長で9割近く、教職員でも74%で第1位となっていますが、教職員と校長では「主体性や積極性」、「異文化理解の精神」、更に校長では「日本文化に対する理解」も高くなっています。一方、保護者の第2位も「主体性や積極性」ですが、1位とは30%の大きな差があります。

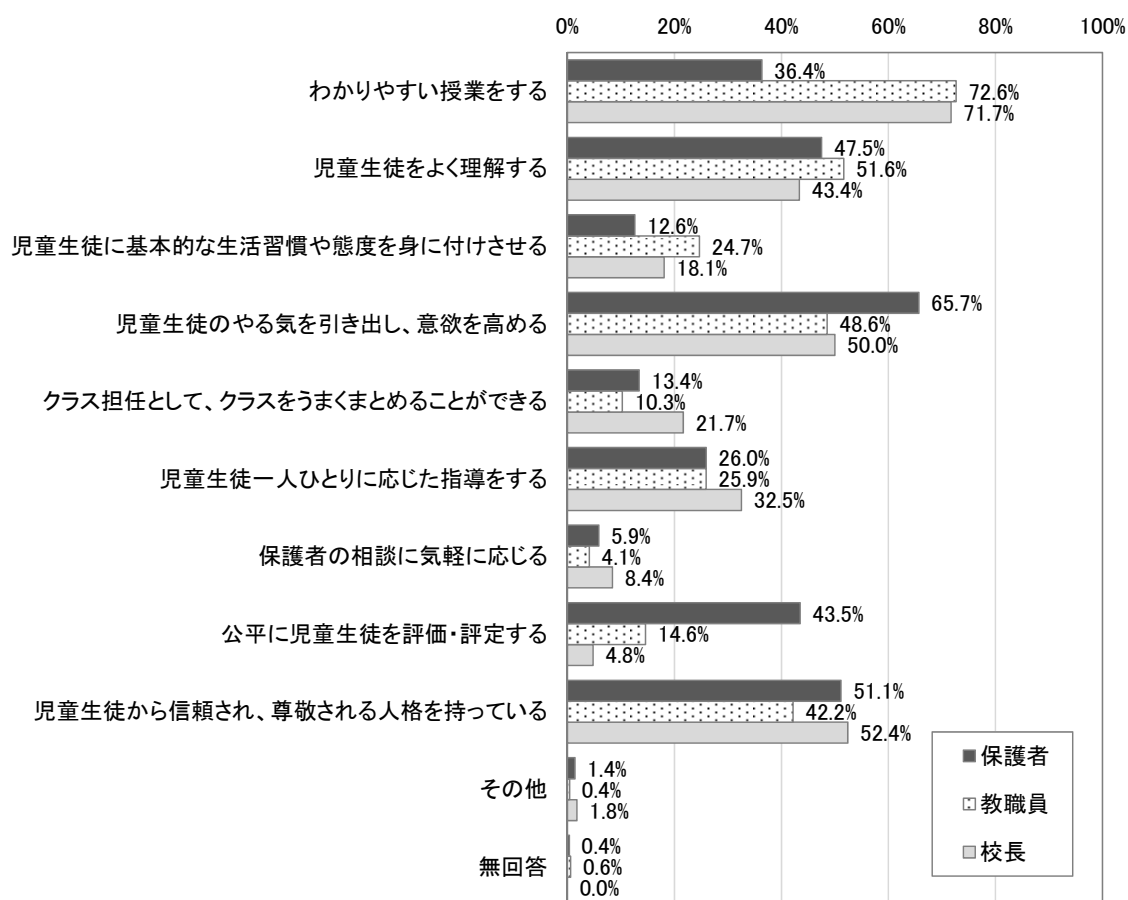


あなたは、どのような教員が望ましいと考えますか。(3つまでに○)

■保護者：問8、教職員：問6、校長：問6

保護者は「児童生徒のやる気を引き出し、意欲を高めてくれる」が65.7%、教職員と校長は「わかりやすい授業をする」が70%台でそれぞれ最も高くなっています。

「わかりやすい授業をする」をあげた保護者の割合は、教職員・校長の半分に留まり、「公平に児童生徒を評価・評定する」をあげた保護者は、教職員の3倍、校長の9倍と、特に差が大きくなっています。



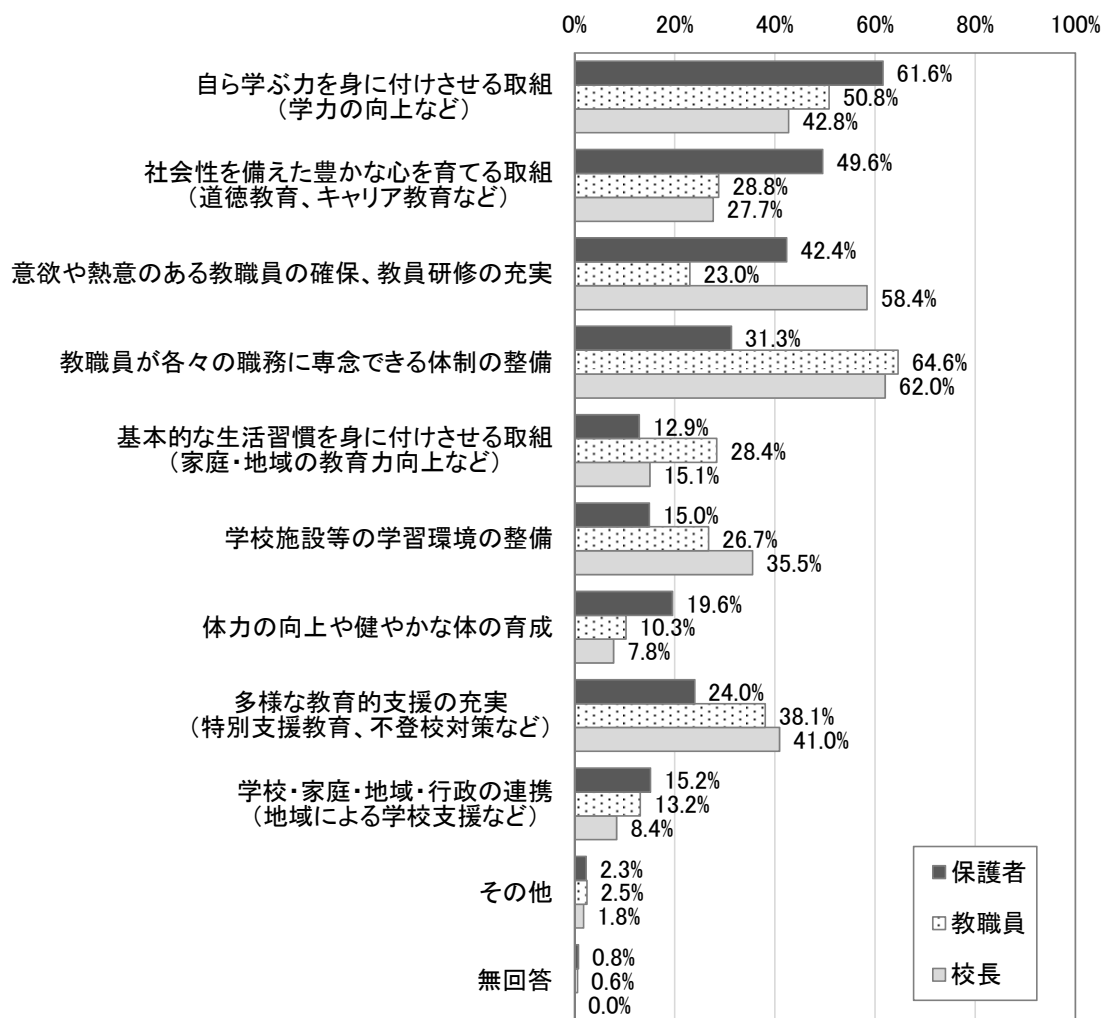
今後の教育施策で特に重要だと思うものを次の中から選んでください。(3つまでに○)

■保護者：問9、教職員：問7、校長：問7

保護者では、「自ら学ぶ力を身につけさせる取組」(61.6%)、「社会性を備えた豊かな心を育てる取組(道徳教育、キャリア教育など)」(49.6%)、「意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実」(42.4%)が回答の上位となっています。

教職員・校長では、「教職員が各々の職務に専念できる体制の整備」がそれぞれ62.0%、64.6%で最も高くなりましたが保護者は31.3%と半分程度に留まっています。校長の2位である「意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実」(58.4%)については、教職員は23.0%と保護者・校長よりも低くなっています。

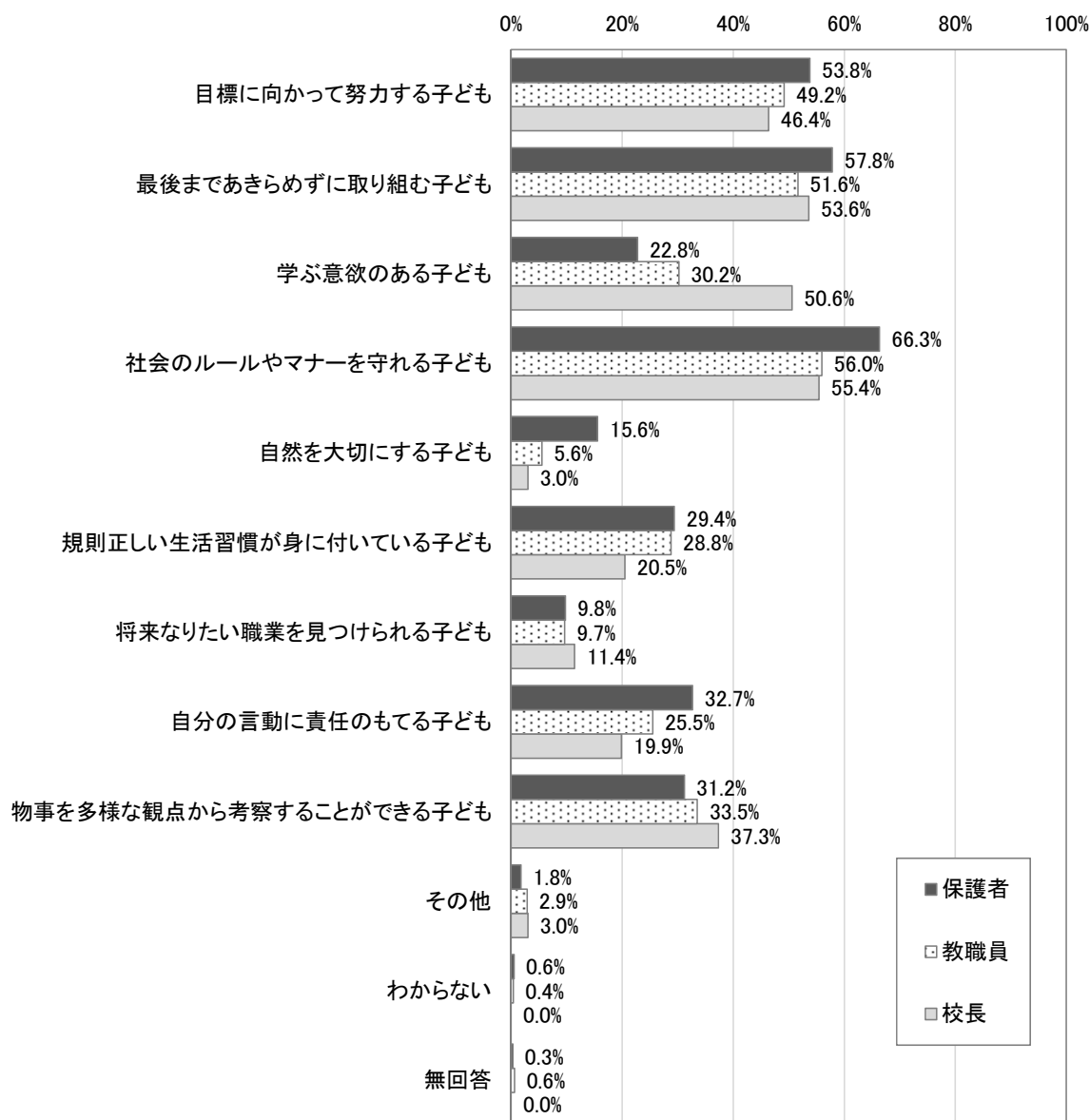
教職員の2位は保護者1位の「自ら学ぶ力を身につけさせる取組」(50.8%)ですが、3位の「多様な教育的支援の充実(特別支援教育、不登校対策など)」は、校長でも41.0%と高い回答となっています。



あなたは、どのような子どもの姿が望ましいと思いますか。次の項目についてお考えに近いと思うものを選んでください。(3つまでに○)

■保護者：問5、教職員：問9、校長：問9

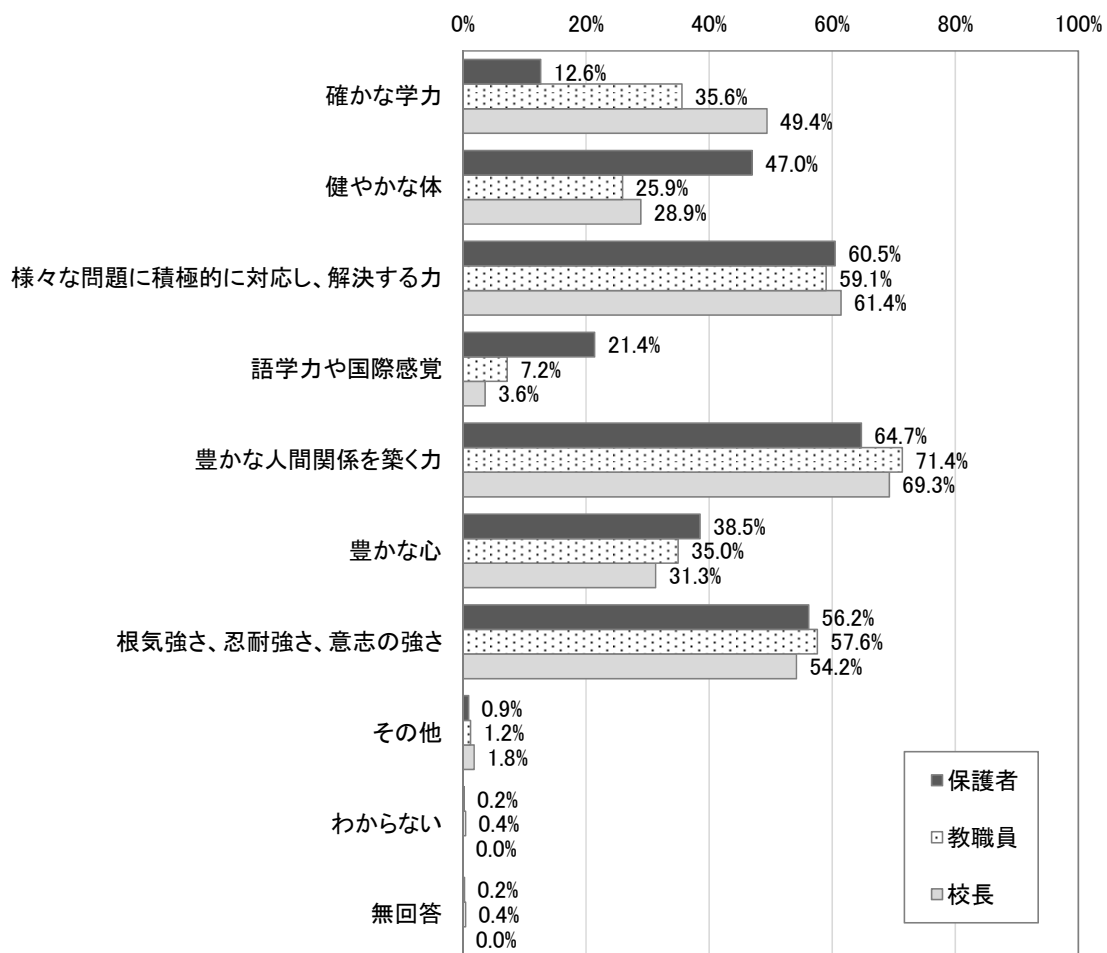
保護者・教職員・校長とも「社会のルールやマナーを守れる子ども」、「最後まであきらめずに取り組む子ども」、「目標に向かって努力する子ども」への回答が高くなっていますが、校長では「学ぶ意欲のある子ども」も50.6%と高く、保護者や教職員と20ポイント以上の差が出ています。



これからの社会を生きるために、子どもに必要と思われる資質・能力は何ですか。
(3つまでに〇)

■保護者：問6、教職員：問8、校長：問8

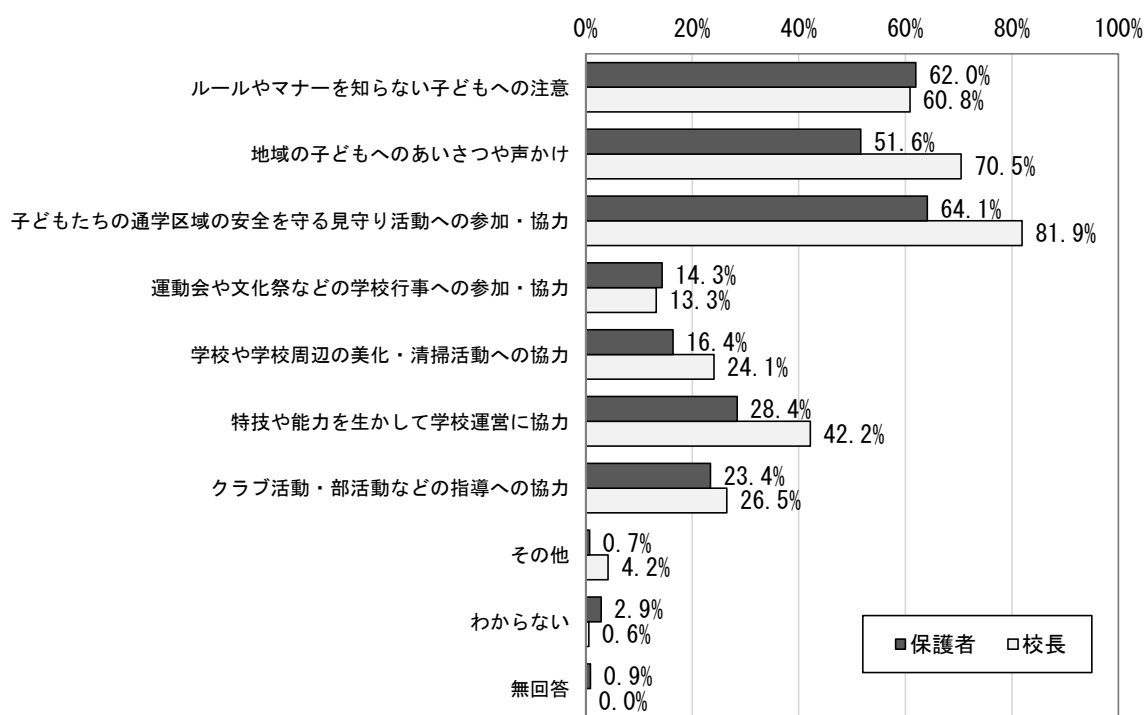
保護者・教職員・校長とも「豊かな人間関係を築く力」が最も高く、次いで「様々な問題に積極的に対応し、解決する力」、「根気強さ、忍耐強さ、意志の強さ」と続く結果となりました。また、「健やかな体」と「語学力や国際感覚」については保護者の回答が教職員や校長と比べて高く、「確かな学力」については、保護者の回答は教職員・校長と比べ低い結果となりました



教育問題に対して、より一層地域の力が必要だと思うものを、次の中から選んでください。
 (あてはまるものすべてに○)

■保護者：問 10、校長：問 10

保護者・校長とも「ルールやマナーを知らない子どもへの注意」、「地域の子どもへのあいさつや声かけ」、「子どもたちの通学区域の安全を守る見守り活動への参加・協力」が高くなっていますが、「地域の子どもへのあいさつや声かけ」、「子どもたちの通学区域の安全を守る見守り活動への参加・協力」、「特技や能力を生かして学校運営に協力」、「学校や学校周辺の美化・清掃活動への協力」などでは、保護者よりも校長のほうが回答割合は高くなっています。

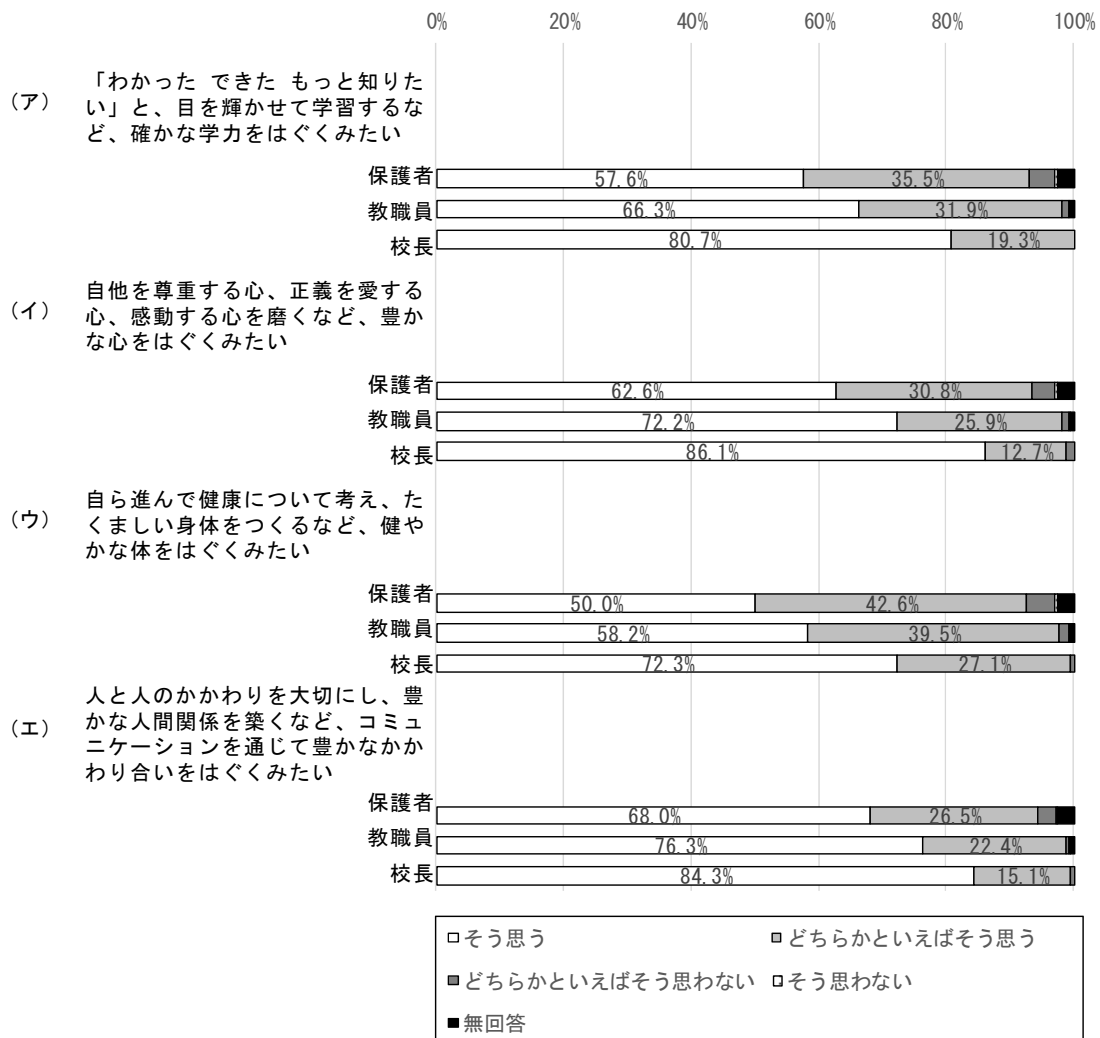


現在、さいたま市では、本市の目指す子ども像である「ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども」の実現を目指し、様々な取組を行っています。このことに関連して、次の事項について、あなたはどのように思いますか。（それぞれ1つに○）

■保護者：問 12、教職員：問 11、校長：問 12

（ア）～（エ）の全ての項目について、肯定的回答は校長が最も多く、教職員、保護者の順となっています。

3者に共通して肯定的回答が多いのは、「（イ）自他を尊重する心、正義を愛する心、感動する心を磨くなど、豊かな心をはぐくみたい」と「（エ）人と人のかかわりを大切にし、豊かな人間関係を築くなど、コミュニケーションを通じて豊かなかかわり合いをはぐくみたい」で、「（ウ）自ら進んで健康について考え、たくましい身体をつくるなど、健やかな身体をはぐくみたい」がやや低いという結果となっています。



調査票

きょういく ちようさ 教育についてのアンケート調査

ごきょうりよく ねが 御協力をお願い

このアンケート調査は、さいたま市の児童生徒のみなさんのふだんの生活の状況や、
学校生活や勉強についてどのように考えているのかを教えてください。

調査の結果は、これからのさいたま市の学校づくりやまちづくりに生かしたいと考えて
いますので、御協力をお願いいたします。

へいせい ねん がつ
平成29年10月

さいたま市 教育委員会

ごきにゅう ねが 御記入にあたってのお願い

- この調査は個人の名前を書かないで行いますので、だれが書いたのかはわかり
いようになっています。正直に回答してください。
- 質問によって、1つに○をつけるものと、いくつかに○をつけるものがありま
すので、よく読んでお答えください。

① あなた自身について

問1 あなたは現在、次のうちどれにあてはまりますか。 (1つに○)

1. 小学生	2. 中学生	3. 高校生
--------	--------	--------

問2 あなたは自分自身のことで、次のことがらについてどう感じたり、考えたりしますか。あなたの考えに近いと思うものを選んでください。(それぞれ1つに○)

	そう思う	そう思う どちらかといえば	そう思わない どちらかといえば	そう思わない
(ア) 明るく元気だ	1	2	3	4
(イ) 友だちに自慢できるよいところを持っている	1	2	3	4
(ウ) やさしさや思いやりがある	1	2	3	4
(エ) やる気がある	1	2	3	4
(オ) ねばりづよく、最後までやりとげる	1	2	3	4
(カ) 何事もまじめに取り組む	1	2	3	4
(キ) スポーツなど体を動かすことが好きだ	1	2	3	4
(ク) 仲のよい友だちがいる	1	2	3	4
(ケ) 自分で考え、何かをつくりだすのが得意だ	1	2	3	4
(コ) 将来なりたい職業がある	1	2	3	4
(サ) 自分の言葉や行動に責任がもてる	1	2	3	4
(シ) 将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4
(ス) 自分のことが好きである	1	2	3	4
(セ) 自分の個性を大事にしたい	1	2	3	4
(ソ) 自分の中には様々な可能性がある	1	2	3	4

② 学校や勉強、先生について

問3 学校生活についてどのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

	そう思う おも	そう思う おも	どちらかといえば おも	どちらかといえば おも	そう思わない おも
(ア) 学校の授業がよくわかる	1	2	3	4	4
(イ) 先生との関係がうまくいっている	1	2	3	4	4
(ウ) 友達との関係がうまくいっている	1	2	3	4	4
(エ) 遠足や運動会、校外学習などの行事が楽しい	1	2	3	4	4
(オ) クラスの係や委員会活動が楽しい	1	2	3	4	4
(カ) クラブ活動・部活動が楽しい	1	2	3	4	4

問4 あなたが勉強する理由は何ですか。(2つまでに○)

1. 新しいことを知ることができるから	2. 勉強が好きだから
3. 立派な大人になるため	4. 高校や大学に進学したいから
5. やりたい仕事があるから	6. 将来何かの役に立つと思うから
7. わからないことが、わかるようになるから	8. 先生や親から勉強しなさいといわれるから
9. 友達に負けたくないから	10. その他 ()
11. わからない	

問5 学校で特にしてほしいことは何ですか。

(3つまでに○)

1. 読み書き計算などをしっかり教 えてほしい	2. 授業によってクラスの人数を少 なくして教 えてほしい
3. クラスの一人ひとりにていね いに教 えてほしい	4. 自分の学校だけにしかない、特 色ある 活動をしてほしい
5. 職業体験などの社会体験活動 をたくさんしてほしい	6. パソコンなどのコンピュータを使 った 授業をたくさんしてほしい
7. 悩みがあるときに、気軽に相 談できる 専門の先生がいてほしい	8. 地域の人が学校にきて、色々 なことを 教 えてほしい
9. 勉強する習慣を身につけさせ てほしい	10. 読書活動をたくさんしてほしい
11. その他 ()	12. 特にしてほしいことはない

問6 あなたは、先生についてどのように感じていますか。

(それぞれ1つに○)

	そう 思う	そう 思う	どちらか と い え ば	そう 思 わ な い	ど ち ら か と い え ば	そう 思 わ な い
(ア) わかりやすく教 えてくれる	1	2	3	4		
(イ) 相談したいときに、よく話 をきいてくれる	1	2	3	4		
(ウ) 社会のきまりをきちんと教 えてくれる	1	2	3	4		
(エ) 自分のことを理解してく れる	1	2	3	4		
(オ) 自分のことを信頼してく れる	1	2	3	4		

問7 あなたが教わりたい先生はどのような人ですか。(3つまでに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. わかりやすい授業をしてくれる | 2. 自分たちと一緒に何でもやってくれる |
| 3. 自分たちのことをわかってくれる | 4. やる気や意欲を高めてくれる |
| 5. 誰にでも公平に接してくれる | 6. 将来や進路の相談にのってくれる |
| 7. 社会のきまりや守るべきことを教えてくれる | 8. 放課後や休み時間に、よく話をしてくれる |
| 9. 自分の目標や手本になってくれる | 10. 何でも良く知っている |
| 11. クラスを楽しみやすい雰囲気にしてくれる | 12. その他 () |
| 13. わからない | |

③ いじめや悩みごとについて

問8 どうしたらいじめを減らしたり、解決したりできると思いますか。(3つまでに○)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| 1. いじめをしてはいけないことを先生がしっかりと教える | 2. 児童や生徒を中心とした「いじめ対策委員会」の活動を活発にする |
| 3. 学校にいじめを許さない雰囲気を作る | 4. 先生がいじめから全力で守ってくれる |
| 5. いじめの相談がしやすいようにする | 6. いじめた人を厳しく罰する |
| 7. 地域の方や保護者が先生と連絡を取り合い、協力する | 8. いじめをしてはいけないことを保護者がしっかりと教える |
| 9. いじめの体験談を聞いたり、いじめについて学習したりする | 10. 自信のない子に、自信が持てるように声をかけ、励ます |
| 11. いじめに気がついたらすぐに先生や友達に知らせる | 12. その他 () |
| | 13. わからない |

問9 あなたが悩んでいることや、気がかりなことは何ですか。 (○はいくつでも)

1. 友だちのこと	2. からだのこと
3. 学校のこと	4. 異性のこと
5. 勉強のこと	6. 将来のこと
7. 家族のこと	8. その他 ()
9. 悩みはない	

問10 あなたは悩みや不安なことや、自分だけでは解決できないことがあるとき、誰に相談しますか。 (○はいくつでも)

1. 親	2. 兄弟姉妹
3. 祖父母	4. 親せきの大人
5. 学校の先生	6. 学校のスクールカウンセラー、さわやか相談員
7. 友だち	8. 塾や習い事の先生
9. 近所の人	10. 電話相談ダイヤル
11. インターネットを使って	12. その他 ()
13. 相談する人がいない	

問11 学校で出会った友だちとあなたのかかわりはどのようなものですか。

(それぞれ1つに○)

	そう思う	どちらかといえ	どちらかといえ	そう思わない
(ア) 何でも悩みを相談できる	1	2	3	4
(イ) 楽しく話せる時がある	1	2	3	4
(ウ) 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
(エ) 他の人には言えない本音話せることがある	1	2	3	4
(オ) 強いつながりを感じている	1	2	3	4

④ 将来について

問12 あなたは、働くことについてどのように考えていますか。次の中から特に
あてはまるものを選んでください。(1つに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 働くことの喜びを感じたい | 2. 働いてほしいものを手に入れたたい |
| 3. 働いて自分の希望をかなえたい | 4. できれば働きたくない |
| 5. まだわからない | 6. その他 () |

問13 あなたは、将来どんな大人になりたいですか。(4つまでに○)

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 自分らしさを持っている人 | 2. 常に努力をする人 |
| 3. 新しいことに取り組もうとする人 | 4. 困難を乗り越えられる人 |
| 5. 健康で体力に自信がある人 | 6. 社会のきまりを守る人 |
| 7. 得意なことをたくさん持っている人 | 8. 夢を実現するために、最後まであきらめない人 |
| 9. 友だちや仲間がたくさんいる人 | 10. 人を思いやる心を持っている人 |
| 11. リーダーとして活躍する人 | 12. 海外で活躍する人 |
| 13. 社会の役に立てる人 | 14. 家族を大切にする人 |
| 15. その他 () | |

以上でアンケートはすべて終了です。御協力ありがとうございました。

教育についてのアンケート調査

御協力をお願い

平素より教育行政に御理解、御協力いただきお礼申し上げます。

さいたま市では、現在、市の中長期的な目指すべき教育の方向性を示す「さいたま市教育総合ビジョン」の更新に向けた基礎調査を行っています。今回、保護者の皆様を対象にアンケート用紙をお送りし、お答えいただいた内容を今後の参考とさせていただきたいと考えております。

皆様からいただいた回答は無記名としており、統計的に処理します。個人が特定されたり、個別の回答が公表されたりすることは決してありません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 29 年 10 月

さいたま市 教育委員会

御記入にあたってのお願い

- この調査票には、住所・氏名を記入する必要はありません。
- 質問により 1 つに○をつけるものと、いくつかに○をつけるものがありますので、説明に従ってお答えください。

① お子さんについて

問1 お子さんは現在、次のうちどれにあてはまりますか。

(1つに○)

1. 小学生	2. 中学生	3. 高校生
--------	--------	--------

② 教育やしつけについて

以下の質問は、あなたのお子様に限らず、一般的なこととしてお答え願います。

問2 今後の子どもに対する家庭での教育について、どのように思いますか。

(それぞれ1つに○)

	特に重視すべき	どちらかといえば重視すべき	そこまで重きはおかない	まったく重きはおかない
(ア) 学力をのばす	1	2	3	4
(イ) 他者とのコミュニケーション能力を高める	1	2	3	4
(ウ) 規範意識を高める	1	2	3	4
(エ) 他人を思いやる心をはぐくむ	1	2	3	4
(オ) 地域の発展や社会貢献に主体的に取り組む態度をはぐくむ	1	2	3	4
(カ) 将来の進路や職業を考えさせる	1	2	3	4
(キ) 体力を向上させる	1	2	3	4
(ク) 健康に関する教育を充実させる	1	2	3	4
(ケ) コンピュータ等のICT機器を活用する能力を向上させる	1	2	3	4
(コ) その他 ()	1	2	3	4

問3 子どもの教育やしつけについて、大人が心がけるべきだと思うものを次の中から選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 子どもの勉強をみるようにする。 | 2. 毎日、夕食を一緒にとるようにする。 |
| 3. 見る時間を決めてテレビを見させるようにする。 | 4. 本を読むように勧めたり、読んだ本の感想を話し合ったりするようにする。 |
| 5. 博物館、美術館、図書館、映画、演劇などに連れて行くようにする。 | 6. スポーツを一緒にするようにする。 |
| 7. 自然の中で一緒に遊んだり、キャンプをしたりするようにする。 | 8. 近所の人たちと家族ぐるみで付き合うようにする。 |
| 9. 近所のお祭りや行事に、一緒に参加するようにする。 | 10. 学校の行事には必ず参加するようにする。 |
| 11. 欲しがるものは、たいてい買い与えるようにする。 | 12. 自分にできることは、できるだけ任せるようにする。 |
| 13. 普段からよく褒めるようにする。 | 14. 子どもの誤った言動については毅然とした態度で対応するようにする。 |

問4 グローバル人材を育成していくために、今後、教育においてどのような能力を伸ばしていくことが重要であると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 語学力・コミュニケーション能力 | 2. 主体性や積極性 |
| 3. 国際社会の動向等についての幅広い教養 | 4. 異文化理解の精神 |
| 5. 日本文化に対する理解 | 6. その他 () |
| 7. わからない | |

③ 子どもについて

以下の質問は、あなたのお子様に限らず、一般的なこととしてお答え願います。

問5 あなたは、どのような子どもの姿が望ましいと思いますか。次の項目について
お考えに近いと思うものを選んでください。 (3つまでに○)

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 目標に向かって努力する子ども | 2. 最後まであきらめずに取り組む子ども |
| 3. 学ぶ意欲のある子ども | 4. 社会のルールやマナーを守れる子ども |
| 5. 自然を大切に作る子ども | 6. 規則正しい生活習慣が身に付いている子ども |
| 7. 将来なりたい職業を見つけられる子ども | 8. 自分の言動に責任のもてる子ども |
| 9. 物事を多様な観点から考察することができ
きる子ども | 10. その他 () |
| 11. わからない | |

問6 これからの社会を生きるために、子どもに必要なと思われる資質・能力は何ですか。
(3つまでに○)

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 確かな学力 | 2. 健やかな体 |
| 3. 様々な問題に積極的に対応し、解決する力 | 4. 語学力や国際感覚 |
| 5. 豊かな人間関係を築く力 | 6. 豊かな心 |
| 7. 根気強さ、忍耐強さ、意志の強さ | 8. その他 () |
| 9. わからない | |

④ 学校・教員について

問7 あなたは、教員全般に対してどのような印象をお持ちですか。一般的なこととして、あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。

(それぞれ1つに○)

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない
(ア) 子どもに信頼されている	1	2	3	4	5
(イ) 保護者に信頼されている	1	2	3	4	5
(ウ) 授業などにいろいろな工夫をしている	1	2	3	4	5
(エ) 家庭や地域との連携に積極的である	1	2	3	4	5
(オ) 子ども一人ひとりと接する時間が多い	1	2	3	4	5
(カ) 子どものことに熱心に取り組んでいる	1	2	3	4	5
(キ) 子どもの悩みや不安にすぐに対応してくれる	1	2	3	4	5

問8 あなたはどのような教員が望ましいと考えますか。

(3つまでに○)

1. わかりやすい授業をしてくれる	2. 子どもをよく理解してくれる
3. 子どもに基本的な生活習慣や態度を身に付けさせてくれる	4. 子どものやる気を引き出し、意欲を高めてくれる
5. 学級担任として、クラスをうまくまとめてくれる	6. 子ども一人ひとりに応じた指導をしてくれる
7. 保護者の相談に気軽に応じてくれる	8. 公平に子どもを評価してくれる
9. 子どもから信頼され、尊敬される人格を持っている	10. その他 ()

問9 今後の教育施策で特に重要だと思うものを次の中から選んでください。

(3つまでに○)

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 自ら学ぶ力を身に付けさせる取組(学力の向上など) | 2. 社会性を備えた豊かな心を育てる取組(道徳教育、キャリア教育など) |
| 3. 意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実 | 4. 教職員が各々の職務に専念できる体制の整備 |
| 5. 基本的な生活習慣を身に付けさせる取組(家庭・地域の教育力向上など) | 6. 学校施設等の学習環境の整備 |
| 7. 体力の向上や健やかな体の育成 | 8. 多様な教育的支援の充実(特別支援教育、不登校対策など) |
| 9. 学校・家庭・地域・行政の連携(地域による学校支援など) | 10. その他() |

⑤ 地域や行政の取組について

問10 教育問題に対して、より一層地域の力が必要だと思うものを、次の中から選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. ルールやマナーを知らない子どもへの注意 | 2. 地域の子どもへのあいさつや声かけ |
| 3. 子どもたちの通学区域の安全を守る見守り活動への参加・協力 | 4. 運動会や文化祭などの学校行事への参加・協力 |
| 5. 学校や学校周辺の美化・清掃活動への協力 | 6. 特技や能力を生かして学校運営に協力 |
| 7. クラブ活動・部活動などの指導への協力 | 8. その他() |
| 9. わからない | |

問 11 現在、さいたま市では、学校・家庭・行政・地域が連携・協力して、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくむため、様々な教育施策を行っています。これらの取組について、どのように評価しますか。

(それぞれ1つに○)

	そう思う	そう思う どちらかといえば	そう思わない どちらかといえば	そう思わない
(ア) 学校は、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスを大切にした教育を実践している	1	2	3	4
(イ) 学校は、一人ひとりの子どものよさを生かし、確かな学力の向上を図っている	1	2	3	4
(ウ) 家庭は、家族のふれあいや学びの機会を増やしている	1	2	3	4
(エ) 家庭は、子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせるようにしている	1	2	3	4
(オ) 行政は、学校や保護者、地域のニーズと時代の要請をとらえ、未来を見据えた教育施策を推進している	1	2	3	4
(カ) 行政は、学校の教育環境を整備している	1	2	3	4
(キ) 地域は、地域の教育資源や教育力を積極的に生かし、子どもの成長を支えている	1	2	3	4
(ク) 地域は、地域の中の連携・協力を深め、地域の教育力を高めている	1	2	3	4

問 12 現在、さいたま市では、学校・家庭・行政・地域が連携・協力して、さいたま市の目指す子ども像である「ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども」の実現に向けた取組を行っています。このことに関連して、次の事項について、あなたはどのように思いますか。
(それぞれ1つに○)

	そう思う	そう思う どちらかといえば	そう思わない どちらかといえば	そう思わない
(ア) 「わかった できた もっと知りたい」と、目を輝かせて学習するなど、確かな学力をはぐくみたい	1	2	3	4
(イ) 自他を尊重する心、正義を愛する心、感動する心を磨くなど、豊かな心をはぐくみたい	1	2	3	4
(ウ) 自ら進んで健康について考え、たくましい身体をつくるなど、健やかな体をはぐくみたい	1	2	3	4
(エ) 人と人とのかかわりを大切に、豊かな人間関係を築くなど、コミュニケーションを通じて豊かなかかわり合いをはぐくみたい	1	2	3	4

以上でアンケートはすべて終了です。御協力ありがとうございました。

教育についてのアンケート調査

御協力をお願い

平素より教育行政に御理解、御協力いただきお礼申し上げます。

さいたま市では、現在、市の中長期的な目指すべき教育の方向性を示す「さいたま市教育総合ビジョン」の更新に向けた基礎調査を行っています。今回、市立学校の教職員の皆様を対象にアンケート用紙をお送りし、お答えいただいた内容を今後の参考とさせていただきたいと考えております。

皆様からいただいた回答は無記名としており、統計的に処理します。個人が特定されたり、個別の回答が公表されたりすることは決してありません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 29 年 10 月

さいたま市 教育委員会

御記入にあたってのお願い

- この調査票には、学校名・氏名を記入する必要はありません。
- 質問により 1 つに○をつけるものと、いくつかに○をつけるものがありますので、説明に従ってお答えください。

① あなた自身について

問1 あなたは、次のうちどれにあてはまりますか。

(1つに○)

1. 小学校教職員	2. 中学校教職員	3. 高等学校教職員	4. 特別支援学校教職員
-----------	-----------	------------	--------------

② 教育への取組について

問2 教諭にお尋ねします。それ以外の職種の方については回答不要です。

あなたが担当するクラスの児童生徒に対する指導に関して、取り組んでいるものはどれですか。
(それぞれ1つに○)

	よく行う	行う どちらかといえ ば	あまり行 っていない	全く行 っていない
(ア) 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫	1	2	3	4
(イ) 授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示す取組	1	2	3	4
(ウ) 授業の最後に学習したことを振り返る活動の計画的な取り入れ	1	2	3	4
(エ) 各教科等の指導のねらいを明確にした上での、言語活動の適切な位置付け	1	2	3	4
(オ) 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導	1	2	3	4
(カ) 児童生徒の発言や活動の時間を確保した授業の進行	1	2	3	4
(キ) 授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くことの指導	1	2	3	4

(ク) 授業において、児童生徒自ら課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動の取り入れ	1	2	3	4
(ケ) 児童生徒に対して、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くような指導	1	2	3	4
(コ) 児童生徒に対して、資料を使って発表ができるような指導	1	2	3	4
(サ) 児童生徒に自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章にまとめさせる指導	1	2	3	4
(シ) 児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導	1	2	3	4
(ス) 児童生徒への、クラス全員で取り組んだり、挑戦したりする課題やテーマの付与	1	2	3	4
(セ) 道徳の時間における、児童生徒自らが考え、話し合う指導	1	2	3	4
(ソ) 学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、授業開始のチャイムを守るなど）の維持の徹底	1	2	3	4
(タ) 各教科等や「人間関係プログラム」の授業等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会の設定	1	2	3	4

問3 以下の問いは皆様にお尋ねします。

あなたは、日々の業務についてどのように感じていますか。次の項目について

あなたのお考えと近いものを選んでください。

(それぞれ1つに○)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
(ア) 児童生徒を理解することが、これまで以上に難しくなった	1	2	3	4	5
(イ) 授業準備や教材研究等に費やす時間が取れない	1	2	3	4	5
(ウ) 教育的な支援を必要とする児童生徒が多くなり、対応に苦慮している	1	2	3	4	5
(エ) 保護者への対応に悩むことが多くなった	1	2	3	4	5
(オ) 児童生徒の問題行動にどこまで対応すべきか迷うことが多くなった	1	2	3	4	5
(カ) 授業に関すること以外の事務的な作業が増えた	1	2	3	4	5
(キ) 今の仕事にやりがいを感じている	1	2	3	4	5
(ク) 今の仕事を通じて成長できていると思う	1	2	3	4	5
(ケ) 今の仕事で自分の能力を十分に発揮できている	1	2	3	4	5
(コ) 今の仕事は自分に向いている	1	2	3	4	5
(サ) 他の教職員と一緒に仕事をするのが楽しい	1	2	3	4	5

③ 教育・指導方針について

問4 今後、あなたの学校の教育指導等について、どのように思いますか。

(それぞれ1つに○)

	思う 特に重視したいと	重 視 し た い と 思 う	ど ち ら か と い え ば	お い て い な い	ま っ た く 重 き は
(ア) 学力をのばす	1	2	3	4	
(イ) 他者とのコミュニケーション能力を高める	1	2	3	4	
(ウ) 規範意識を高める	1	2	3	4	
(エ) 他人を思いやる心をはぐくむ	1	2	3	4	
(オ) 地域の発展や社会貢献に主体的に取り組む態度をはぐくむ	1	2	3	4	
(カ) 将来の進路や職業を考えさせる	1	2	3	4	
(キ) 体力を向上させる	1	2	3	4	
(ク) 健康に関する教育を充実させる	1	2	3	4	
(ケ) コンピュータ等のICT機器を活用する能力を向上させる	1	2	3	4	
(コ) その他 ()	1	2	3	4	

問5 あなたは、グローバル人材を育成していくために、今後、教育においてどのような能力を伸ばしていくことが重要であると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 語学力・コミュニケーション能力	2. 主体性や積極性
3. 国際社会の動向等についての幅広い教養	4. 異文化理解の精神
5. 日本文化に対する理解	6. その他 ()
7. わからない	

問6 あなたは、どのような教員が望ましいと考えますか。 (3つまでに○)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. わかりやすい授業をする | 2. 児童生徒をよく理解する |
| 3. 児童生徒に基本的な生活習慣や態度を身に付けさせる | 4. 児童生徒のやる気を引き出し、意欲を高める |
| 5. クラス担任として、クラスをうまくまとめる | 6. 児童生徒一人ひとりに応じた指導をする |
| 7. 保護者の相談に気軽に応じる | 8. 公平に児童生徒を評価・評定する |
| 9. 児童生徒から信頼され、尊敬される人格を持っている | 10. その他 () |

問7 今後の教育施策で特に重要だと思うものを次の中から選んでください。

(3つまでに○)

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 自ら学ぶ力を身に付けさせる取組 (学力の向上など) | 2. 社会性を備えた豊かな心を育てる取組 (道徳教育、キャリア教育など) |
| 3. 意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実 | 4. 教職員が各々の職務に専念できる体制の整備 |
| 5. 基本的な生活習慣を身に付けさせる取組 (家庭・地域の教育力向上など) | 6. 学校施設等の学習環境の整備 |
| 7. 体力の向上や健やかな体の育成 | 8. 多様な教育的支援の充実 (特別支援教育、不登校対策など) |
| 9. 学校・家庭・地域・行政の連携 (地域による学校支援など) | 10. その他 () |

④ 子どもについて

問8 これからの社会を生きるために、子どもに必要と思われる資質・能力は何ですか。

(3つまでに○)

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 確かな学力 | 2. 健やかな体 |
| 3. 様々な問題に積極的に対応し、解決する力 | 4. 語学力や国際感覚 |
| 5. 豊かな人間関係を築く力 | 6. 豊かな心 |
| 7. 根気強さ、忍耐強さ、意志の強さ | 8. その他 () |
| 9. わからない | |

問9 あなたは、どのような子どもの姿が望ましいと思いますか。次の項目について

お考えに近いと思うものを選んでください。

(3つまでに○)

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 目標に向かって努力する子ども | 2. 最後まであきらめずに取り組む子ども |
| 3. 学ぶ意欲のある子ども | 4. 社会のルールやマナーを守れる子ども |
| 5. 自然を大切にしている子ども | 6. 規則正しい生活習慣が身に付いている子ども |
| 7. 将来なりたい職業を見つけられる子ども | 8. 自分の言動に責任をもてる子ども |
| 9. 物事を多様な観点から考察することができ
きる子ども | 10. その他 () |
| 11. わからない | |

⑤ 地域や行政の取組について

問 10 現在、さいたま市では、学校・家庭・行政・地域が連携・協力して、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくむため、様々な教育施策を行っています。これらの取組について、どのように評価しますか。

(それぞれ1つに○)

	そう思う	そう思う どちらかといえば	そう思わない どちらかといえば	そう思わない
(ア) 学校は、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスを大切にした教育を実践している	1	2	3	4
(イ) 学校は、一人ひとりの子どものよさを生かし、確かな学力の向上を図っている	1	2	3	4
(ウ) 家庭は、家族のふれあいや学びの機会を増やしている	1	2	3	4
(エ) 家庭は、子どもに基本的生活習慣を身に付けさせるようにしている	1	2	3	4
(オ) 行政は、学校や保護者、地域のニーズと時代の要請をとらえ、未来を見据えた教育施策を推進している	1	2	3	4
(カ) 行政は、学校の教育環境を整備している	1	2	3	4
(キ) 地域は、地域の教育資源や教育力を積極的に生かし、子どもの成長を支えている	1	2	3	4
(ク) 地域は、地域の中の連携・協力を深め、地域の教育力を高めている	1	2	3	4

問 11 現在、さいたま市では、本市の目指す子ども像である「ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども」の実現を目指し、様々な取組を行っています。このことに関連して、次の事項について、あなたはどのように思いますか。 (それぞれ1つに○)

	そう思う	そう思う どちらかといえば	そう思わない どちらかといえば	そう思わない
(ア) 「わかった できた もっと知りたい」と、目を輝かせて学習するなど、確かな学力をはぐくみたい	1	2	3	4
(イ) 自他を尊重する心、正義を愛する心、感動する心を磨くなど、豊かな心をはぐくみたい	1	2	3	4
(ウ) 自ら進んで健康について考え、たくましい身体をつくるなど、健やかな体をはぐくみたい	1	2	3	4
(エ) 人と人とのかかわりを大切にし、豊かな人間関係を築くなど、コミュニケーションを通じて豊かなかかわり合いをはぐくみたい	1	2	3	4

以上でアンケートはすべて終了です。御協力ありがとうございました。

教育についてのアンケート調査

御協力をお願い

平素より教育行政に御理解、御協力いただきお礼申し上げます。

さいたま市では、現在、市の中長期的な目指すべき教育の方向性を示す「さいたま市教育総合ビジョン」の更新に向けた基礎調査を行っています。今回、市立学校の校長の皆様を対象にアンケート用紙をお送りし、お答えいただいた内容を今後の見直しの参考とさせていただきます。

皆様からいただいた回答は無記名としており、統計的に処理します。個人が特定されたり、個別の回答が公表されたりすることは決してありません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 29 年 10 月

さいたま市 教育委員会

御記入にあたってのお願い

- この調査票には、学校名・氏名を記入する必要はありません。
- 質問により 1 つに○をつけるものと、いくつかに○をつけるものがありますので、説明に従ってお答えください。

① あなた自身について

問1 あなたは、次のうちどれにあてはまりますか。 (1つに○)

1. 小学校長	2. 中学校長	3. 高等学校長	4. 特別支援学校長
---------	---------	----------	------------

② 学校や教職員への取組について

問2 あなたの学校では、次の事項にどの程度当てはまりますか。 (それぞれ1つに○)

	よく行っている	どちらかといえは行っている	あまり行っていない	全く行っていない
(ア) いのちの大切さやいじめ防止対策について理解させる、具体的な取組や工夫を行っている	1	2	3	4
(イ) 特別支援教育について理解させる交流学級など、具体的な取組や工夫を行っている	1	2	3	4
(ウ) スクールアシスタントを有効に活用している	1	2	3	4
(エ) 家庭に対し、早寝早起きやテレビゲームやスマートフォン等の節度ある使用といった、児童生徒の生活習慣改善のための啓発や協力依頼を行っている	1	2	3	4
(オ) 将来の仕事や社会について、児童生徒が考えるような具体的な取組を行っている	1	2	3	4
(カ) 学校地域連携コーディネーターやスクールサポートネットワークを有効に活用している	1	2	3	4
(キ) コミュニケーションの基盤である「心を潤す4つの言葉」推進運動を実施し、あいさつや礼儀を踏まえた言葉であふれる学校づくりを行っている。	1	2	3	4

問3 あなたの学校の教職員の研修状況は、次の事項にどの程度当てはまりますか。

(それぞれ1つに○)

	よくしている	どちらかといえ ば している	あまりしていない	全くしていない
(ア) 校長のリーダーシップのもと、研修主任等を校内に設け、校内研修実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている	1	2	3	4
(イ) 模擬授業や事例研究など、授業をお互いに参観しあうような実践的な研修を行っている	1	2	3	4
(ウ) 教職員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしている	1	2	3	4
(エ) 個々の教職員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教職員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加している	1	2	3	4
(オ) 児童生徒が自ら課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの活動を学ぶ校内研修を行っている	1	2	3	4

③ 教育・指導方針について

問4 今後、あなたの学校の教育指導等について、どのように思いますか。

(それぞれ1つに○)

	思う 特に重視したいと	重視したいと思う どちらかといえば	おいていない そこまで重きは	まったく重きは おいていない
(ア) 学力をのばす	1	2	3	4
(イ) 他者とのコミュニケーション能力を高める	1	2	3	4
(ウ) 規範意識を高める	1	2	3	4
(エ) 他人を思いやる心をはぐくむ	1	2	3	4
(オ) 地域の発展や社会貢献に主体的に取り組む態度をはぐくむ	1	2	3	4
(カ) 将来の進路や職業を考えさせる	1	2	3	4
(キ) 体力を向上させる	1	2	3	4
(ク) 健康に関する教育を充実させる	1	2	3	4
(ケ) コンピュータ等のICT機器を活用する能力を向上させる	1	2	3	4
(コ) その他 ()	1	2	3	4

問5 あなたは、グローバル人材を育成していくために、今後、教育においてどのような能力を伸ばしていくことが重要であると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 語学力・コミュニケーション能力	2. 主体性や積極性
3. 国際社会の動向等についての幅広い教養	4. 異文化理解の精神
5. 日本文化に対する理解	6. その他 ()
7. わからない	

問6 あなたは、どのような教員が望ましいと考えますか。 (3つまでに○)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. わかりやすい授業をする | 2. 児童生徒をよく理解する |
| 3. 児童生徒に基本的な生活習慣や態度を身に付けさせる | 4. 児童生徒のやる気を引き出し、意欲を高める |
| 5. クラス担任として、クラスをうまくまとめる | 6. 児童生徒一人ひとりに応じた指導をする |
| 7. 保護者の相談に気軽に応じる | 8. 公平に児童生徒を評価・評定する |
| 9. 児童生徒から信頼され、尊敬される人格を持っている | 10. その他 () |

問7 今後の教育施策で特に重要だと思うものを次の中から選んでください。

(3つまでに○)

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 自ら学ぶ力を身に付けさせる取組 (学力の向上など) | 2. 社会性を備えた豊かな心を育てる取組 (道徳教育、キャリア教育など) |
| 3. 意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実 | 4. 教職員が各々の職務に専念できる体制の整備 |
| 5. 基本的な生活習慣を身に付けさせる取組 (家庭・地域の教育力向上など) | 6. 学校施設等の学習環境の整備 |
| 7. 体力の向上や健やかな体の育成 | 8. 多様な教育的支援の充実 (特別支援教育、不登校対策など) |
| 9. 学校・家庭・地域・行政の連携 (地域による学校支援など) | 10. その他 () |

④ 子どもについて

問8 これからの社会を生きるために、子どもに必要と思われる資質・能力は何ですか。

(3つまでに○)

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 確かな学力 | 2. 健やかな体 |
| 3. 様々な問題に積極的に対応し、解決する力 | 4. 語学力や国際感覚 |
| 5. 豊かな人間関係を築く力 | 6. 豊かな心 |
| 7. 根気強さ、忍耐強さ、意志の強さ | 8. その他 () |
| 9. わからない | |

問9 あなたは、どのような子どもの姿が望ましいと思いますか。次の項目について

お考えに近いと思うものを選んでください。

(3つまでに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 目標に向かって努力する子ども | 2. 最後まであきらめずに取り組む子ども |
| 3. 学ぶ意欲のある子ども | 4. 社会のルールやマナーを守れる子ども |
| 5. 自然を大切にしている子ども | 6. 規則正しい生活習慣が身に付いている子ども |
| 7. 将来なりたい職業を見つけられる子ども | 8. 自分の言動に責任をもてる子ども |
| 9. 物事を多様な観点から考察することができる子ども | 10. その他 () |
| 11. わからない | |

⑤ 地域や行政の取組について

問 10 教育問題に対して、より一層地域の力が必要だと思ふものを、次の中から選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. ルールやマナーを知らない子どもへの注意 | 2. 地域の子どもへのあいさつや声かけ |
| 3. 子どもたちの通学区域の安全を守る見守り
活動への参加・協力 | 4. 運動会や文化祭などの学校行事への
参加・協力 |
| 5. 学校や学校周辺の美化・清掃活動への協力 | 6. 特技や能力を生かして学校運営に協力 |
| 7. クラブ活動・部活動などの指導への協力 | 8. その他 () |
| 9. わからない | |

問 11 現在、さいたま市では、学校・家庭・行政・地域が連携・協力して、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくむため、様々な教育施策を行っています。これらの取組について、どのように評価しますか。

(それぞれ1つに○)

	そう思う	そう思う どちらかといえ ば	そう思わない どちらかといえ ば	そう思わない
(ア) 学校は、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスを大切にした教育を実践している	1	2	3	4
(イ) 学校は、一人ひとりの子どものよさを生かし、確かな学力の向上を図っている	1	2	3	4
(ウ) 家庭は、家族のふれあいや学びの機会を増やしている	1	2	3	4
(エ) 家庭は、子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせるようにしている	1	2	3	4

(オ) 行政は、学校や保護者、地域のニーズと時代の要請をとらえ、未来を見据えた教育施策を推進している	1	2	3	4
(カ) 行政は、学校の教育環境を整備している	1	2	3	4
(キ) 地域は、地域の教育資源や教育力を積極的に生かし、子どもの成長を支えている	1	2	3	4
(ク) 地域は、地域の中の連携・協力を深め、地域の教育力を高めている	1	2	3	4

問 12 現在、さいたま市では、本市の目指す子ども像である「ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども」の実現を目指し、様々な取組を行っています。このことに関連して、次の事項について、あなたはどのように思いますか。 (それぞれ1つに○)

	そう思う	そう思う どちらかといえば	そう思わない どちらかといえば	そう思わない
(ア) 「わかった できた もっと知りたい」と、目を輝かせて学習するなど、確かな学力をはぐくみたい	1	2	3	4
(イ) 自他を尊重する心、正義を愛する心、感動する心を磨くなど、豊かな心をはぐくみたい	1	2	3	4
(ウ) 自ら進んで健康について考え、たくましい身体をつくるなど、健やかな体をはぐくみたい	1	2	3	4
(エ) 人と人とのかかわりを大切にし、豊かな人間関係を築くなど、コミュニケーションを通じて豊かなかかわり合いをはぐくみたい	1	2	3	4

以上でアンケートはすべて終了です。御協力ありがとうございました。

教育についてのアンケート調査報告書

平成30年5月

さいたま市 教育委員会事務局
管理部 教育政策室

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4

電話：048-829-1626 FAX：048-829-1989